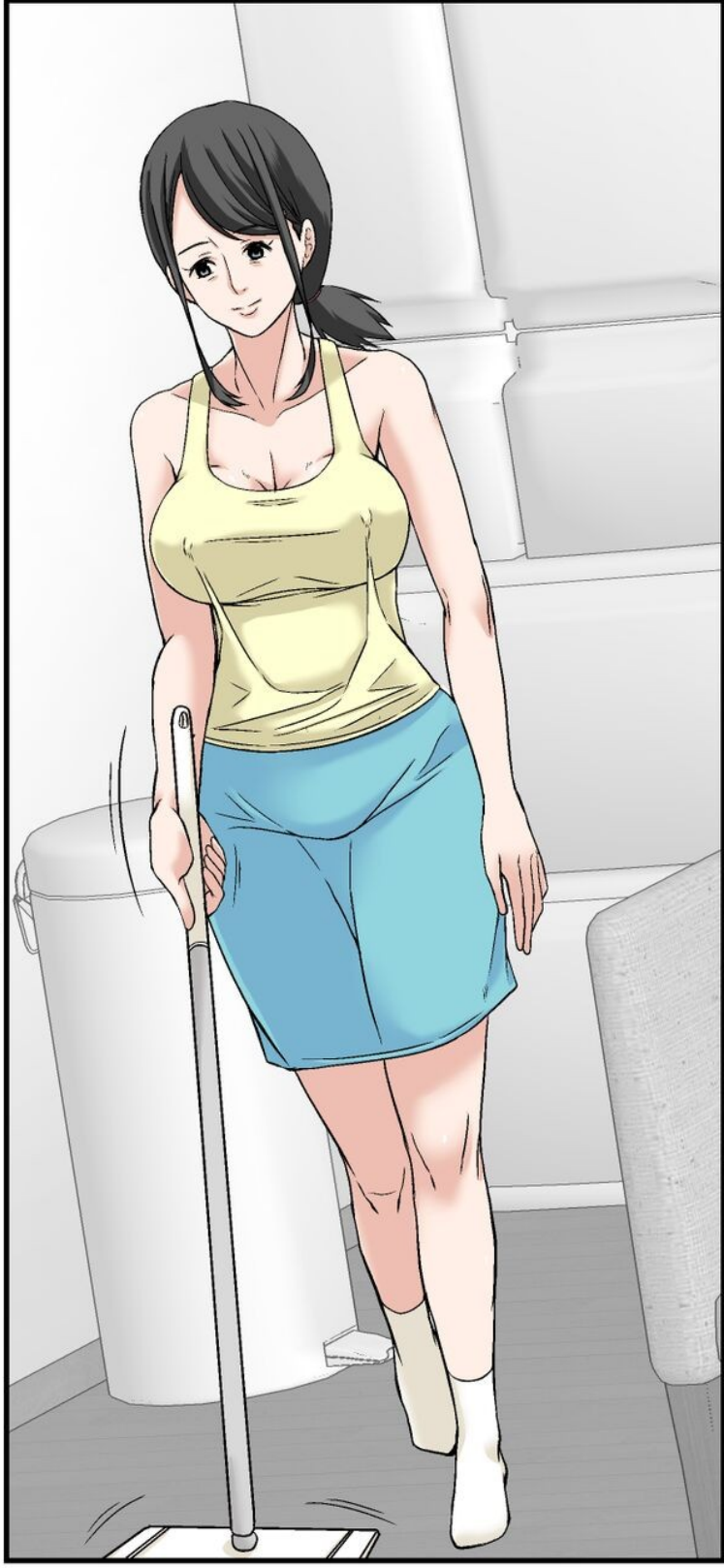
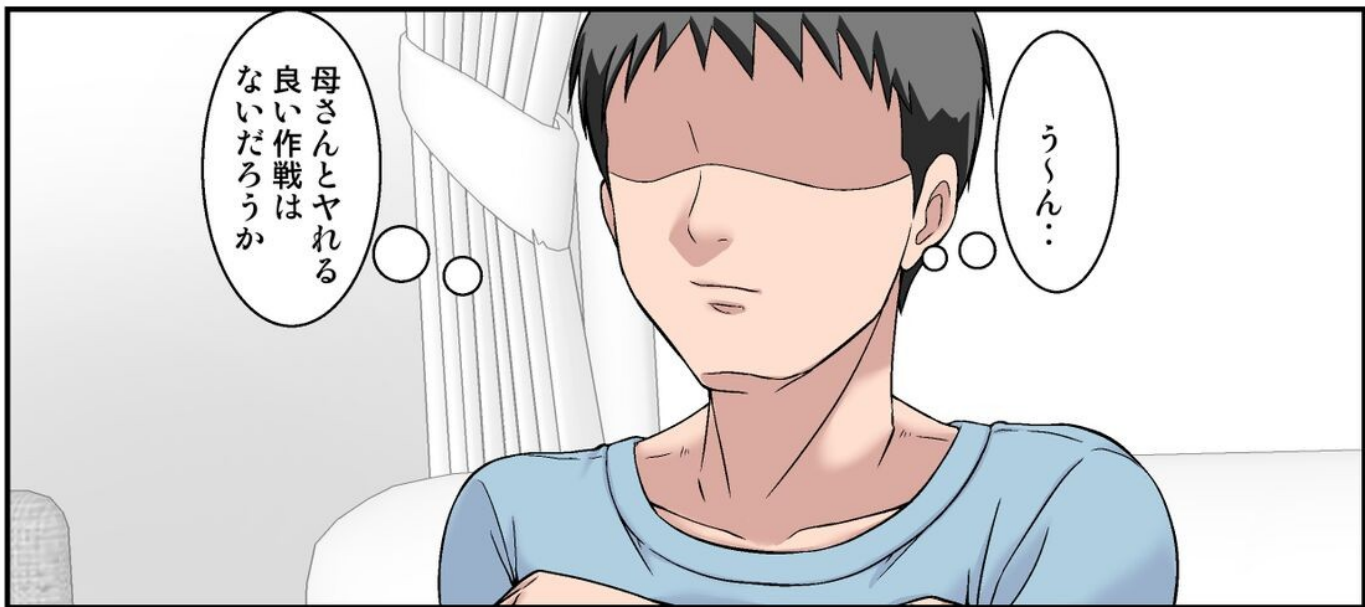
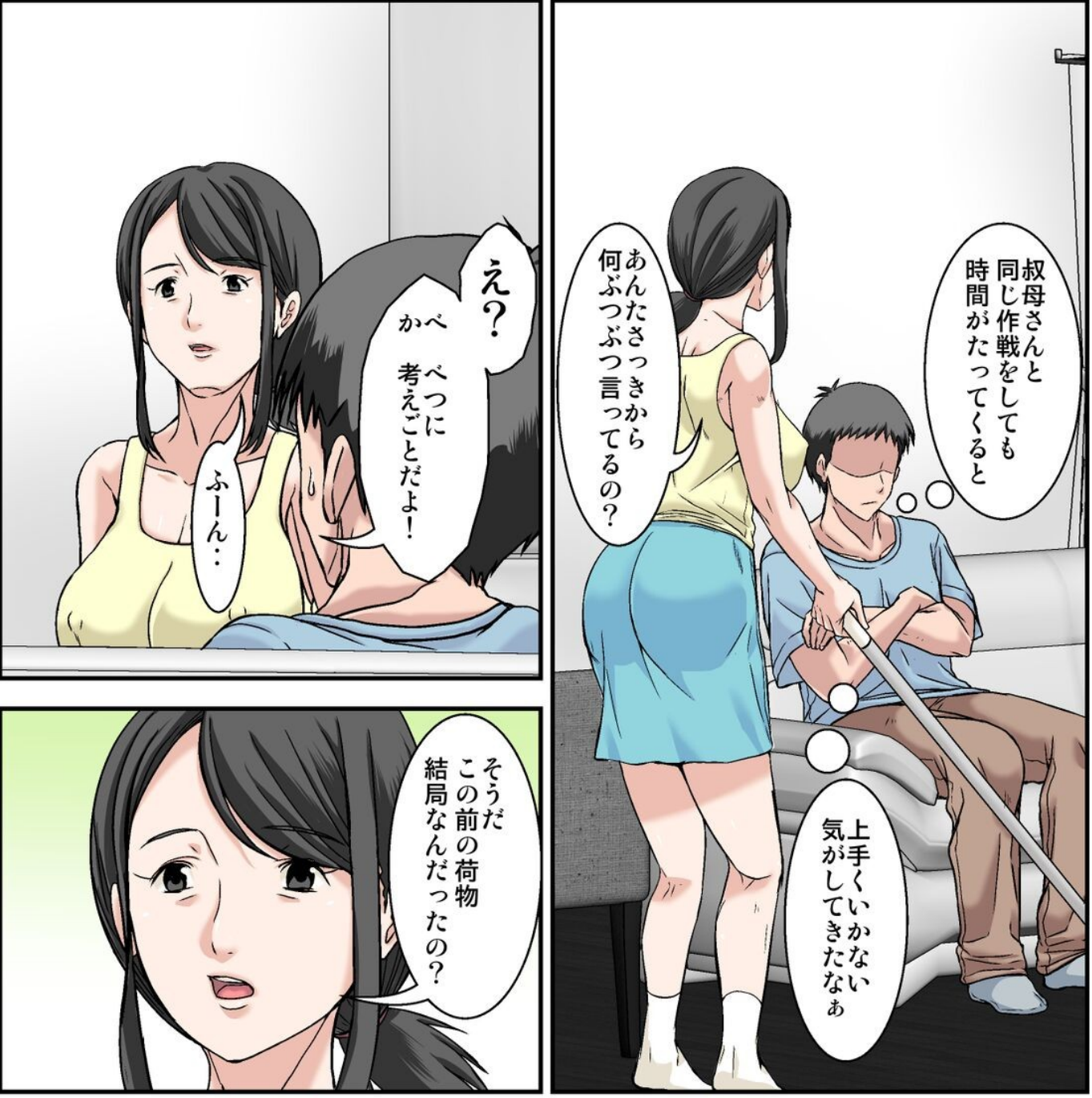
息子の巨根の虜になってしまった
超敏感体質のお母さん
ほよよ堂

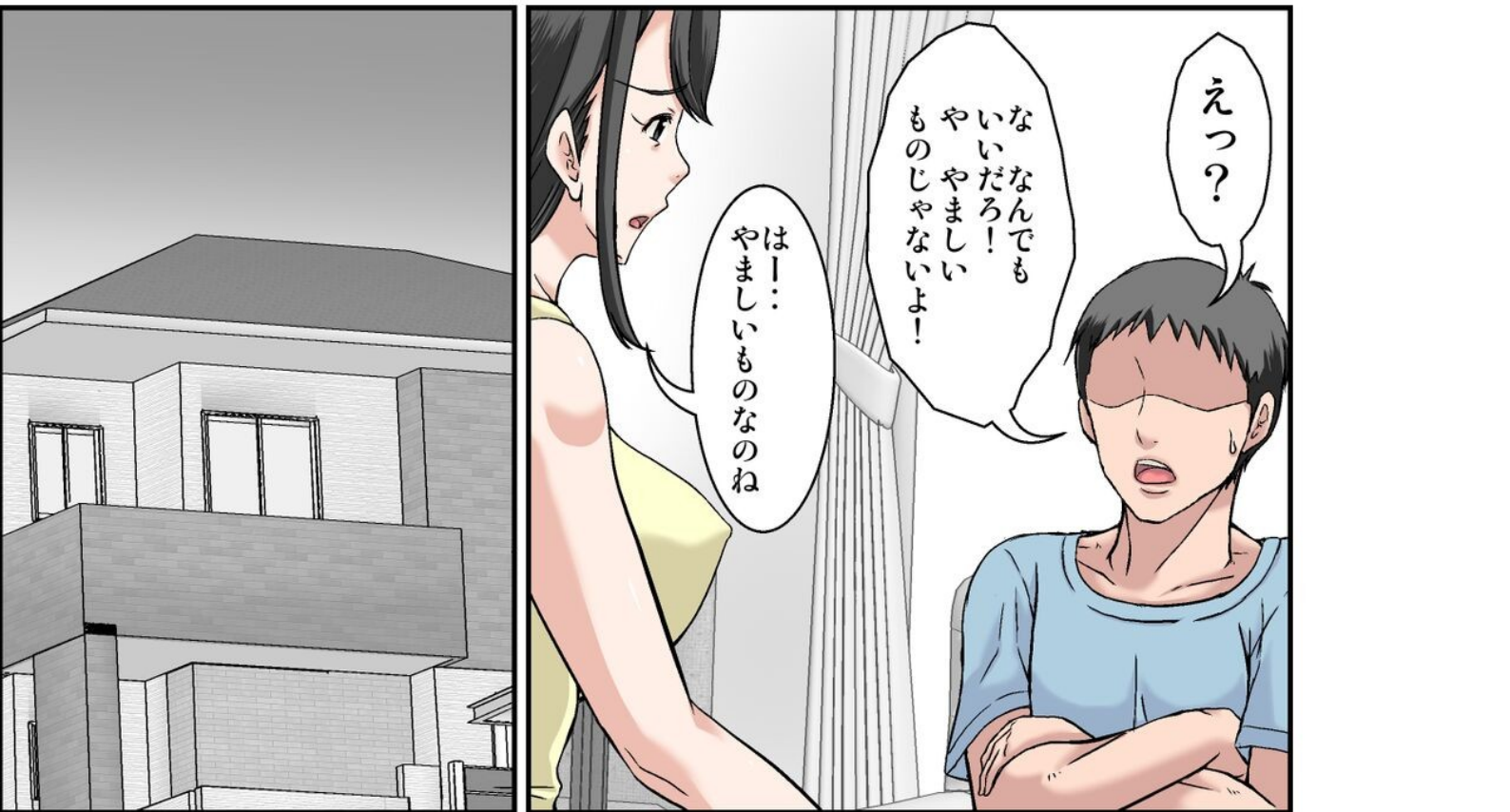
ぷる
ぷる

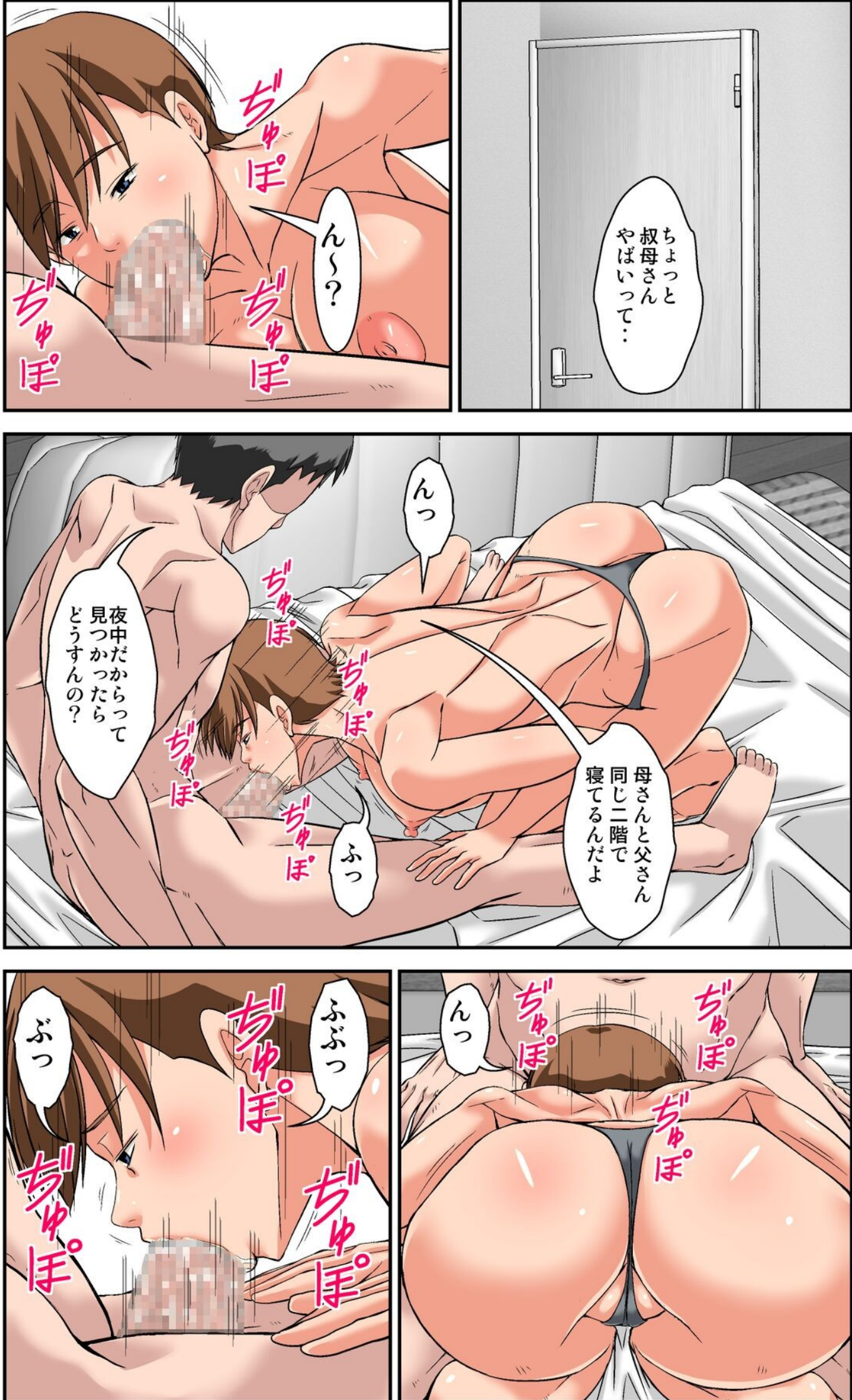


ぷり
ぷり


う～ん・・
母さんとヤれる良い作戦はないだろうか


叔母さんと
同じ作戦をしても
時間がたってくると
あんたさっきから
何ぶつぶつ言ってるの？
上手くいかない
気がしてきたなぁ
え？
べ　べつに
か　考えごとだよ！
ふーん・・
そうだ
この前の荷物
結局なんだったの？


えっ？
な　なんでも
いいだろ！
や　やましい
ものじゃないよ！
はー・・
やましいものなのね


ちょっと
叔母さん
やばいって・・
ん～？
じゅぽ
じゅぽ
じゅぽ
んっ
母さんと父さん
同じ二階で
寝てるんだよ
ふっ
夜中だからって
見つかったら
どうすんの？
じゅぽ
じゅぽ
じゅぽ
じゅぽ
んっ
じゅぽ
じゅぽ
じゅぽ
ふぶっ
ぶっ
じゅぽ
じゅぽ
じゅぽ

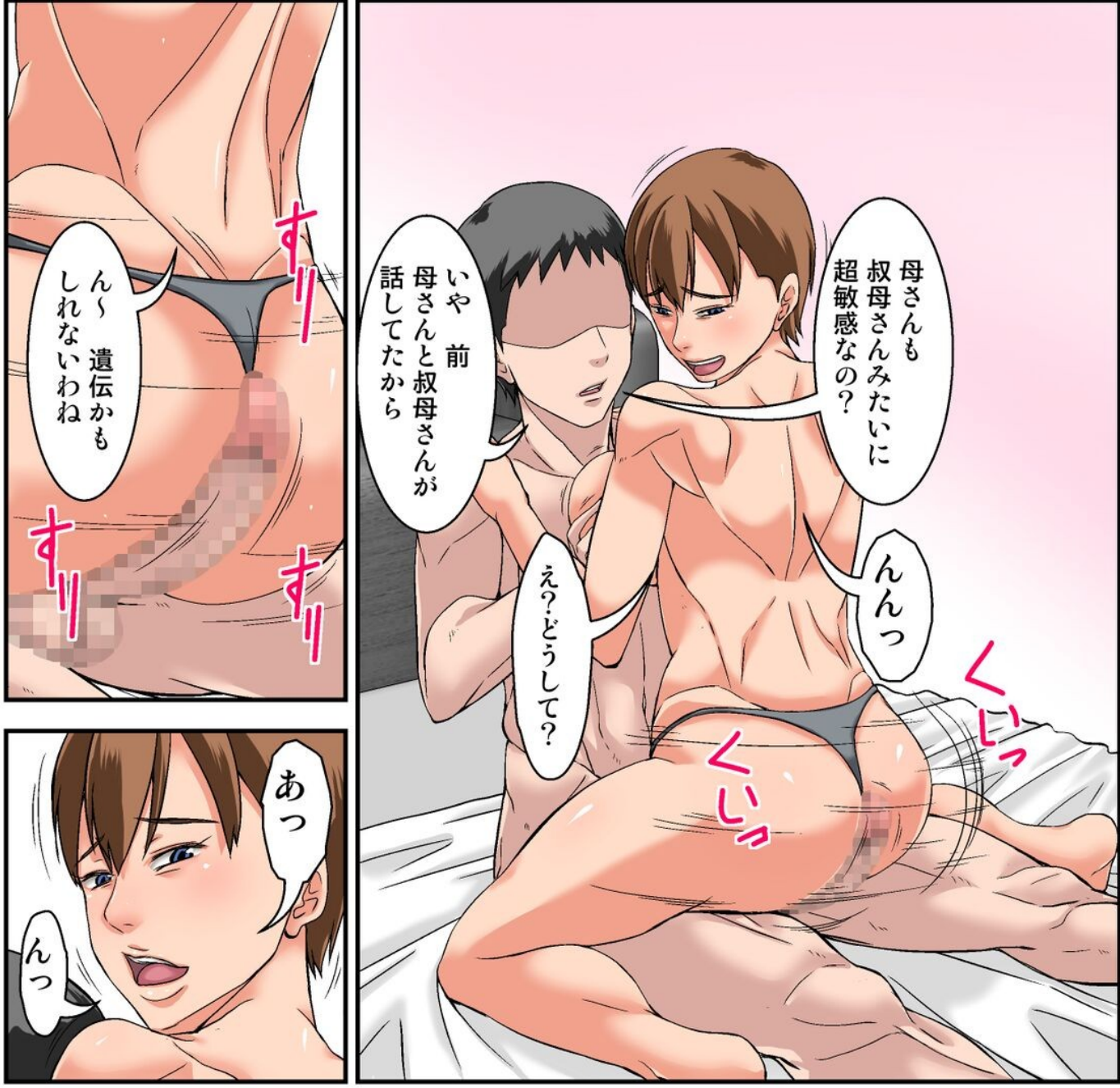
ぷはぁっ
大丈夫よ
大きな声
出さなきゃ
だ　だけどさ・・
ちゅぽんっ
ばるんっ

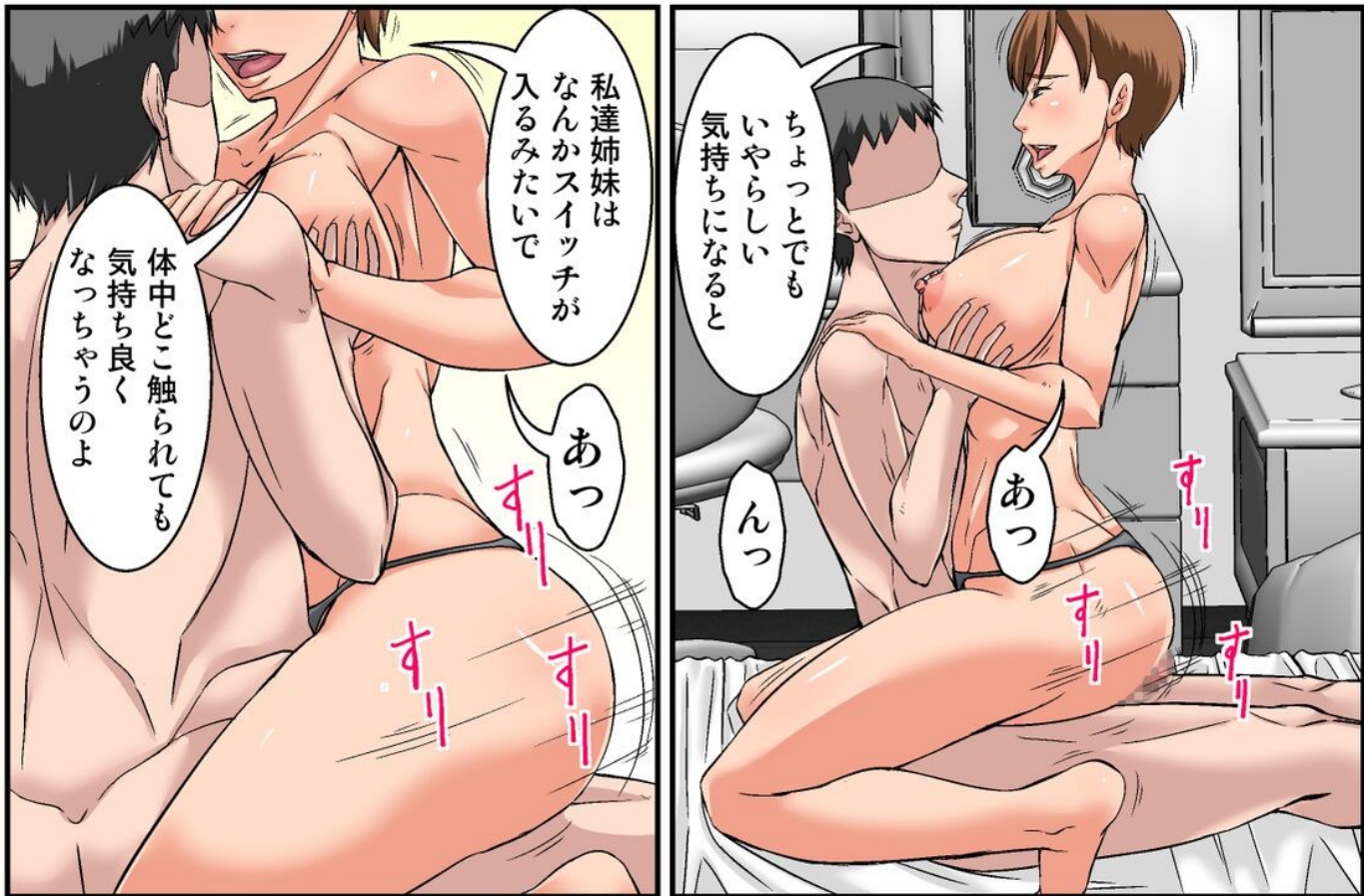
叔母さん
このチンポに
はまっちゃった
ちゃんと
責任とって
くれないと
れろ
れろ
れろ

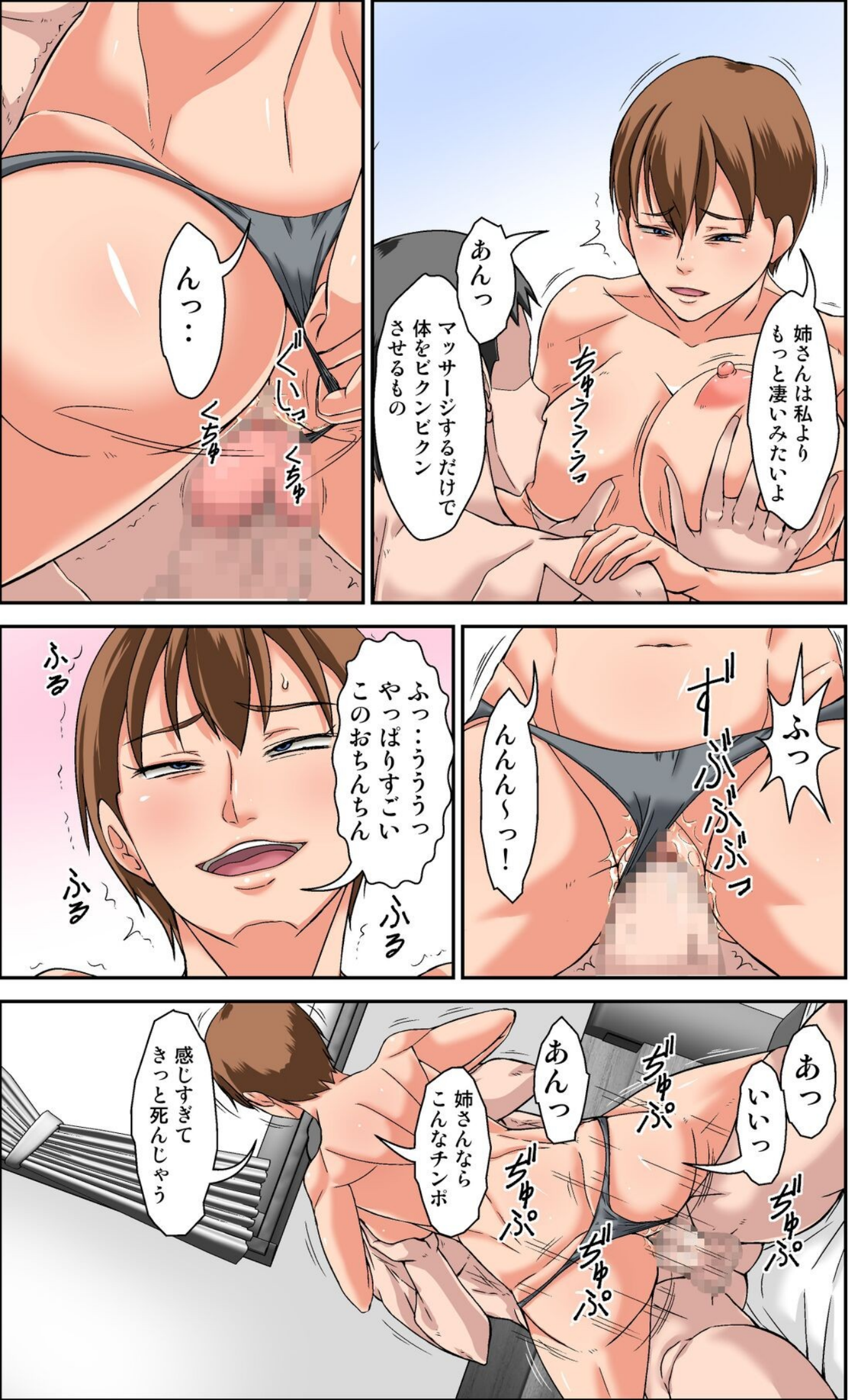
タケシ君が
悪いのよ
れろぉ～

仕事中もタケシ君と
エッチしたくて
うずうずしてたのよ
ずいっ

ねえ
叔母さん
あっ
もみ
もみ
もみ


母さんも
叔母さんみたいに
超敏感なの？
いや　前
母さんと叔母さんが
話してたから
んんっ
え？どうして？
くいっ
くいっ
すりすり
ん～　遺伝かも
しれないわね
あっ
んっ


ちょっとでも
いやらしい
気持ちになると
あっ
んっ
すりすりすり
私達姉妹は
なんかスイッチが
入るみたいで
体中どこ触られても
気持ち良く
なっちゃうのよ
あっ
すりすりすり

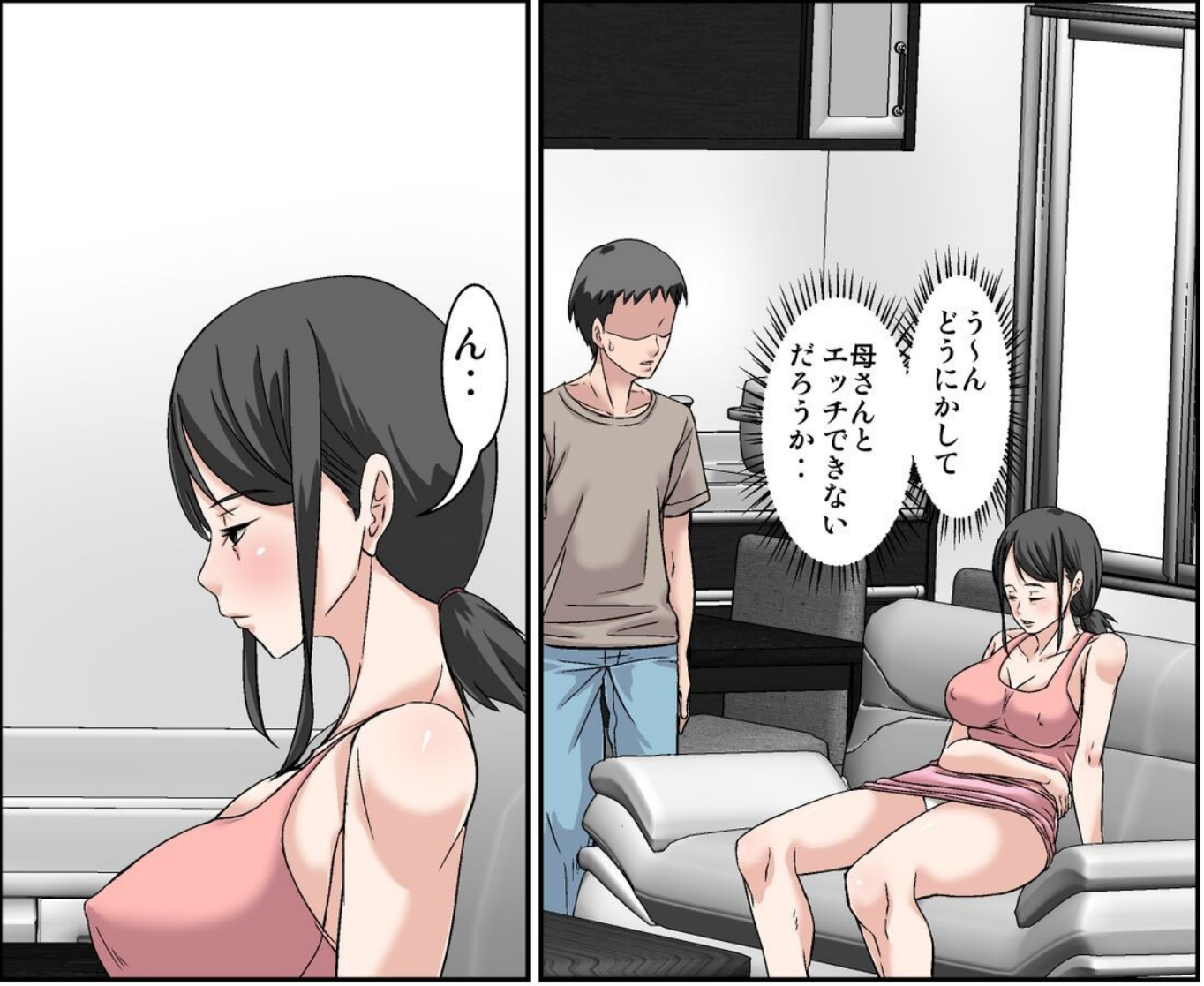

姉さんは私よりもっと凄いみたいよ
ちゅううう
あんっ
マッサージするだけで体をビクンビクンさせるもの
んっ・
ぐぐぐぐ
くちゅ
くちゅ
ふっ
ずぶぶぶぶ
んんん～っ！
ふっ・・ううううっ
やっぱりすごいこのおちんちん
ふる
ふる
ふる
あっ
いいっ
ちゅぷ
ちゅぷ
あんっ
姉さんならこんなチンポ
ちゅぷ
ちゅぷ
感じすぎてきっと死んじゃう

ちゅぱ
すごいっ
ちゅぱ
なるほど・・
ちゅぷ
あっ
ちゅぷ
ああんっ
ちゅぷ

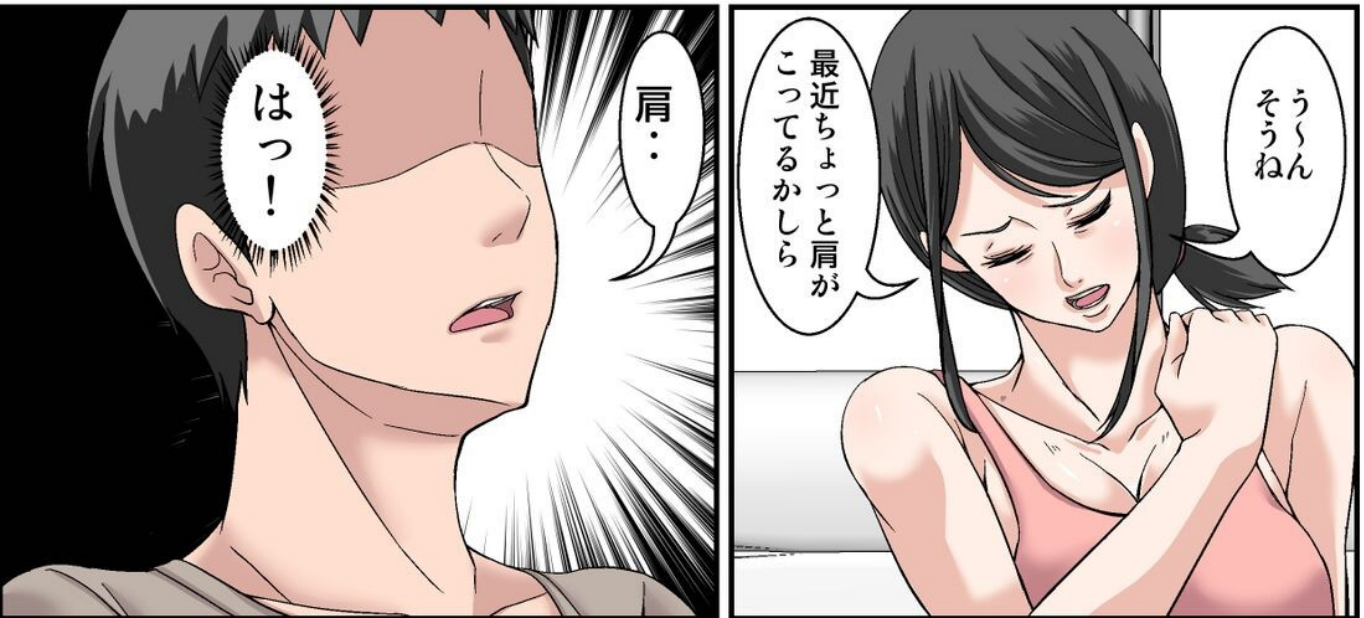
ガチャ

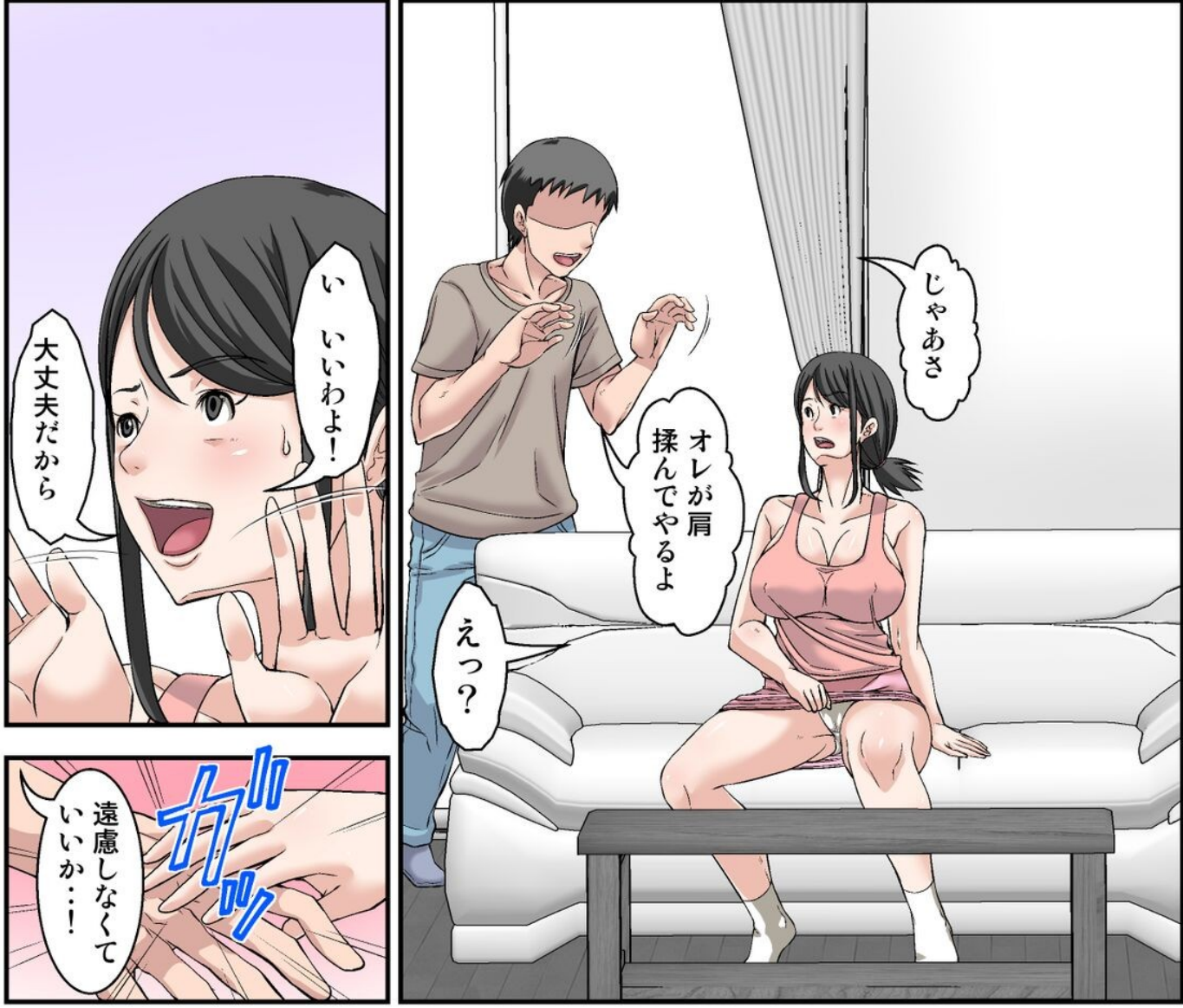
無防備に寝てんな・・
すー
すー
息子にエロい目で見られてるなんて夢にも思ってないだろうな・・

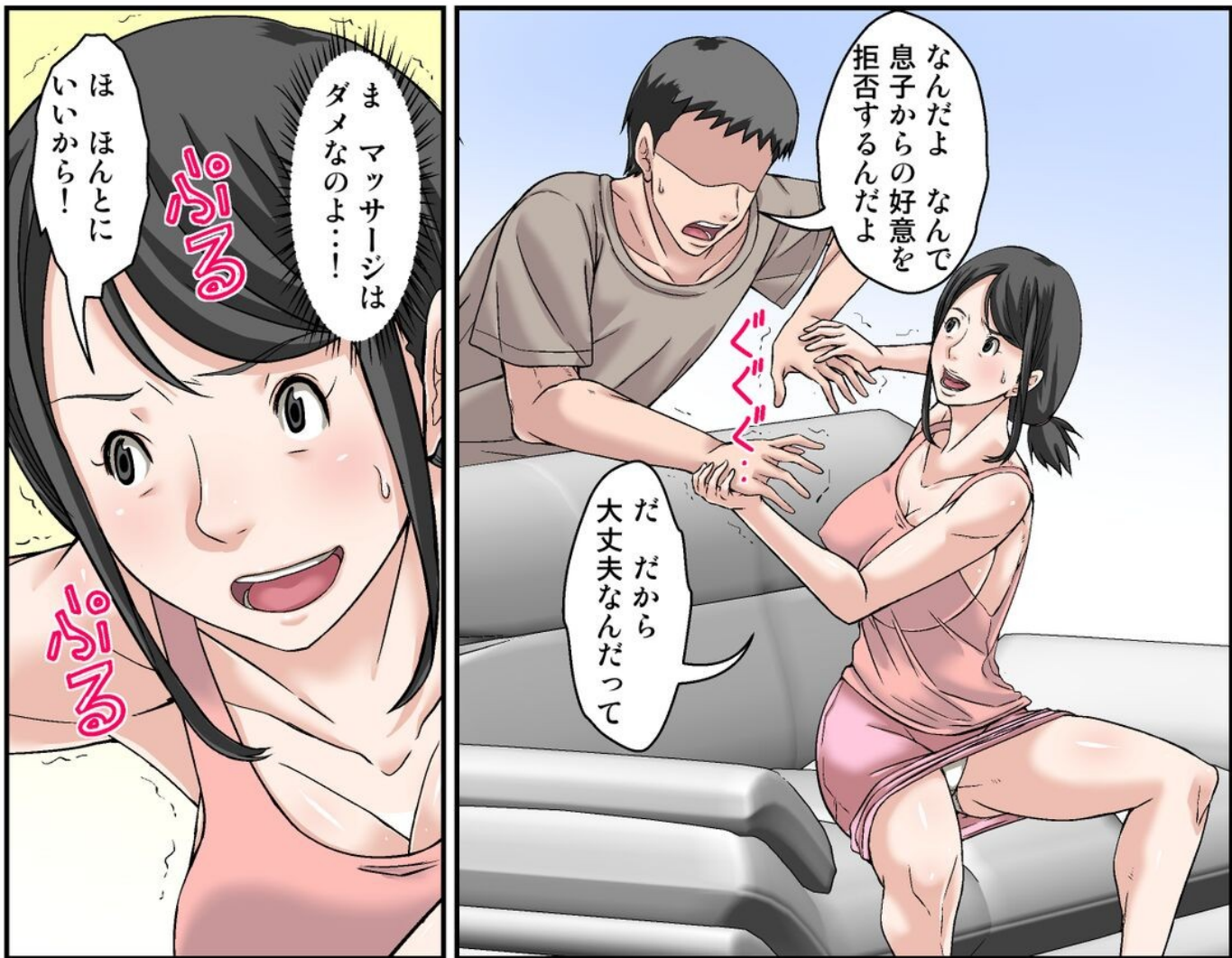
！

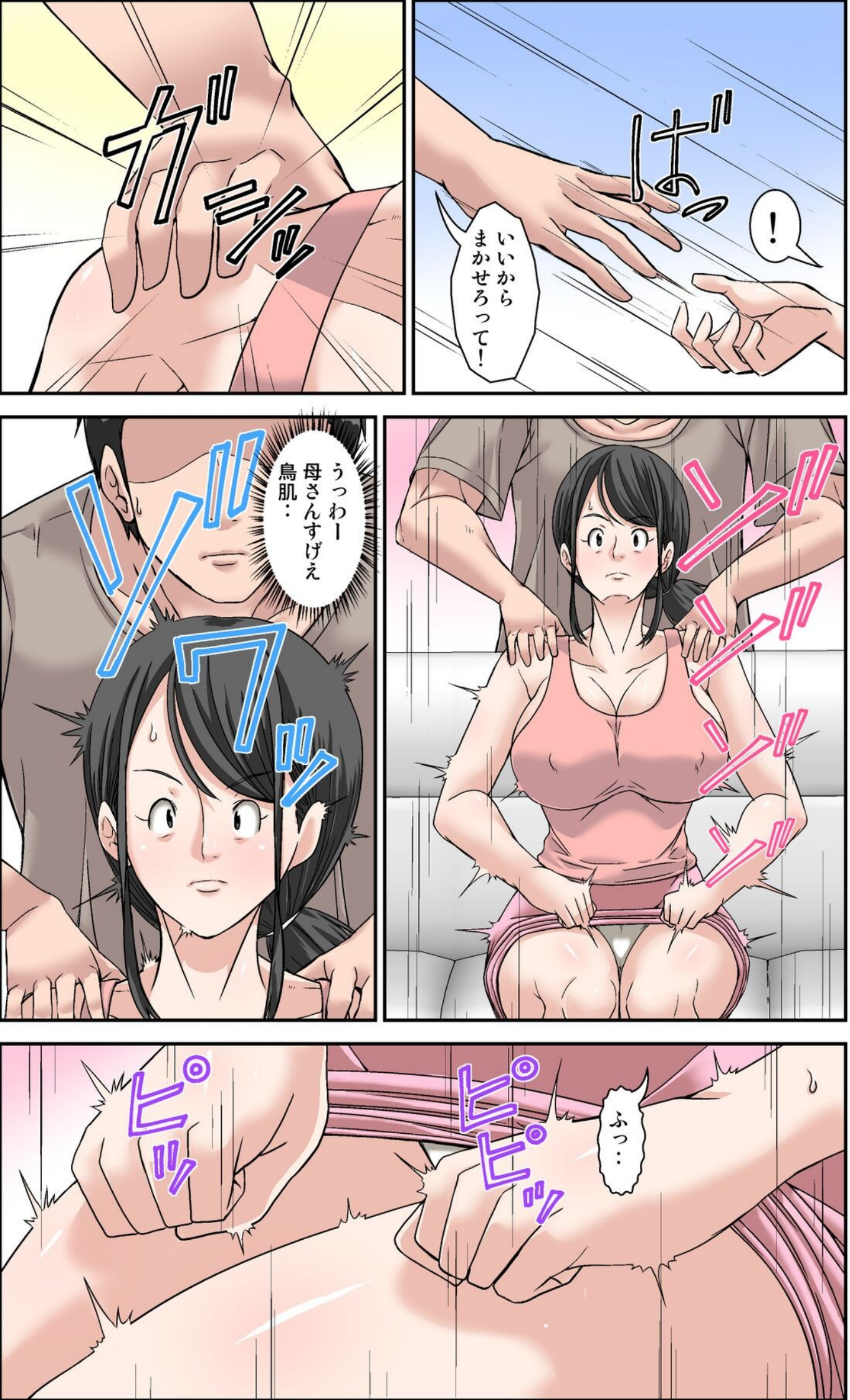

ん・
う〜ん
どうにかして
母さんと
エッチできない
だろうか・・

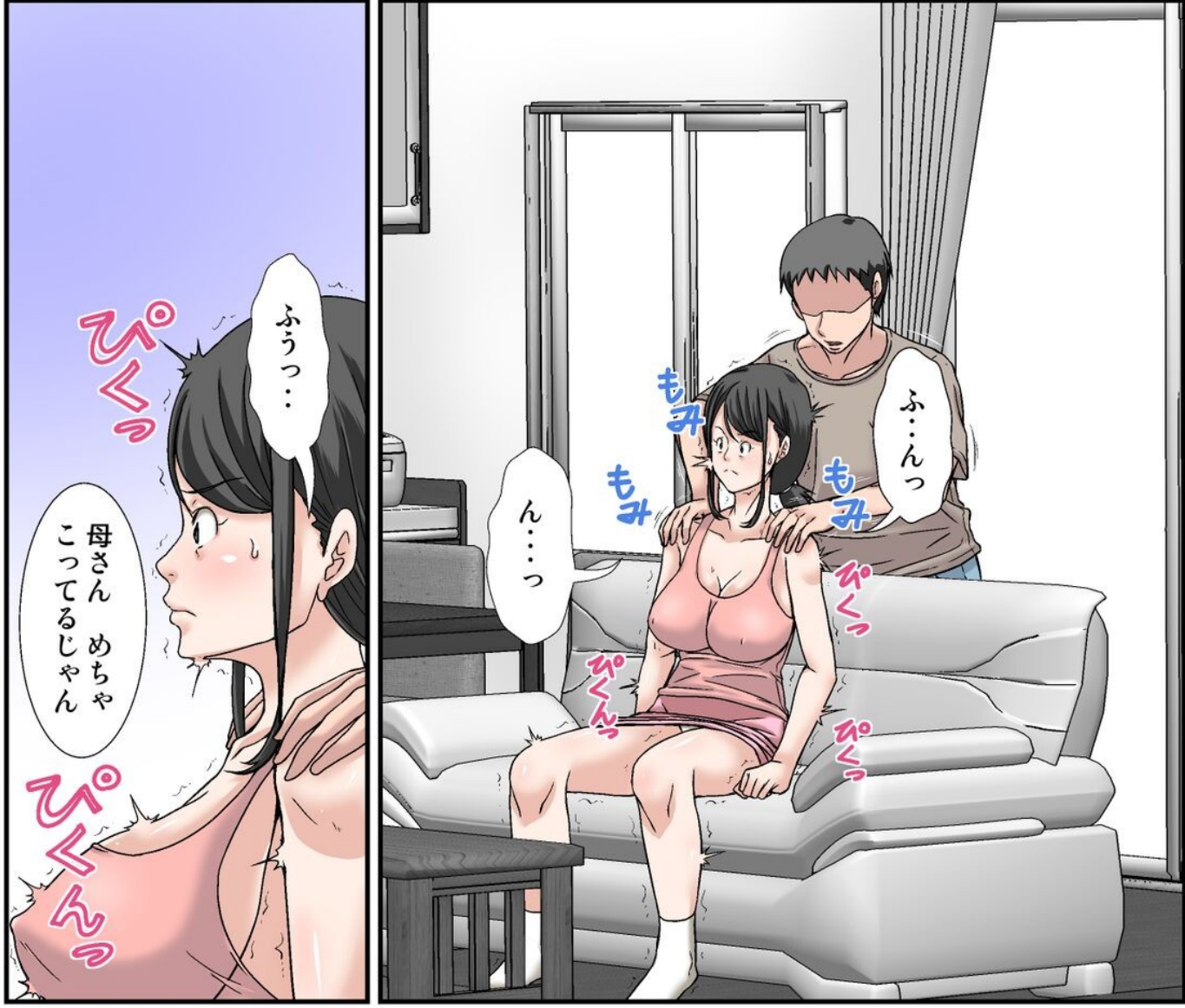
あれ？
タケシ
あんた
帰ってきてたの？
なに？
こんなとこで寝て
疲れてんの？


う〜ん
そうね
最近ちょっと肩が
こってるかしら
肩・・
はっ！

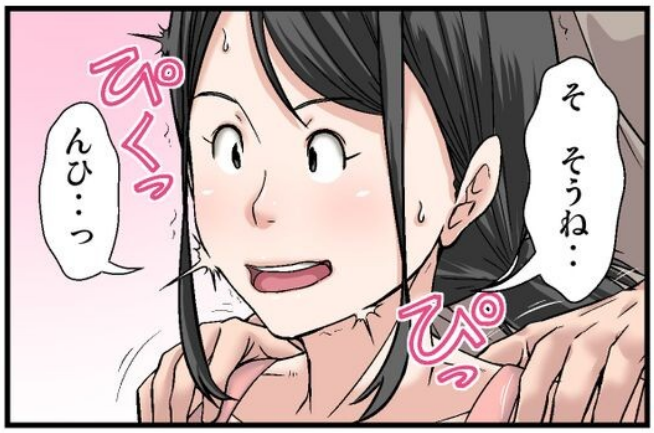

じゃあさ
オレが肩揉んでやるよ
えっ？
い　いいわよ！
大丈夫だから
カッ
遠慮しなくていいか…！

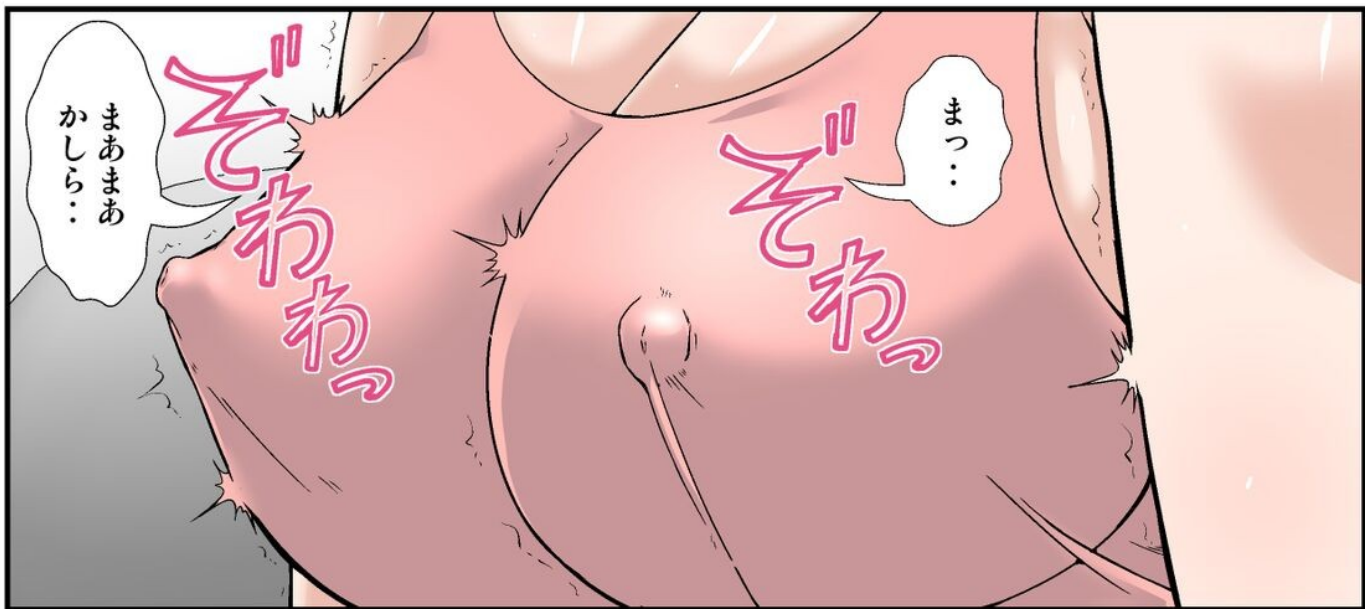

なんだよ　なんで息子からの好意を拒否するんだよ
ぐぐぐ…
だ　だから大丈夫なんだって
ま　マッサージはダメなのよ…！
ほ　ほんとにいいから！
ぷる
ぷる

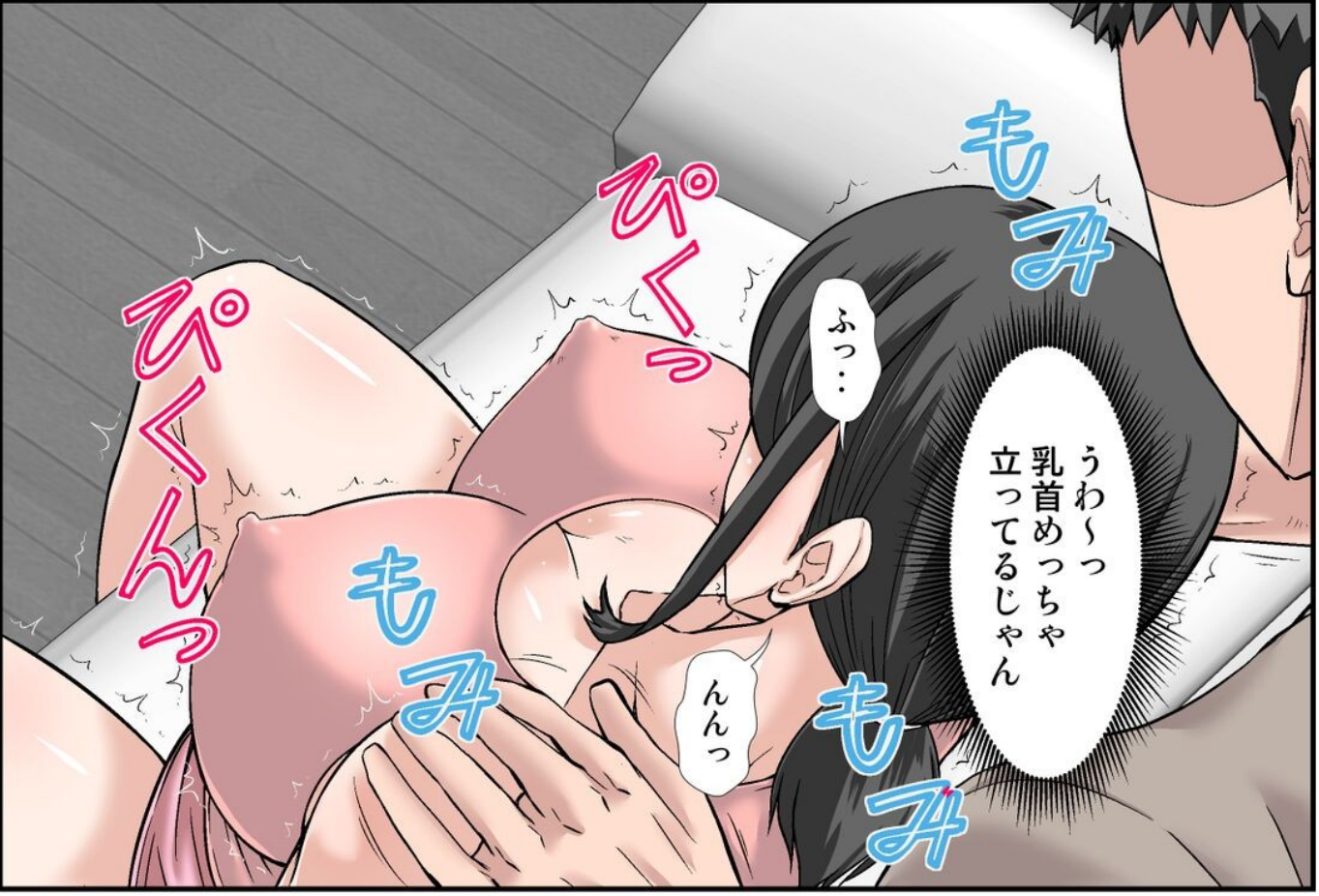

ガッ
ばっ
！
いいから
まかせろって！
うっわー
母さんすげえ
鳥肌・
ピッ
ピピッ
ふっ・・

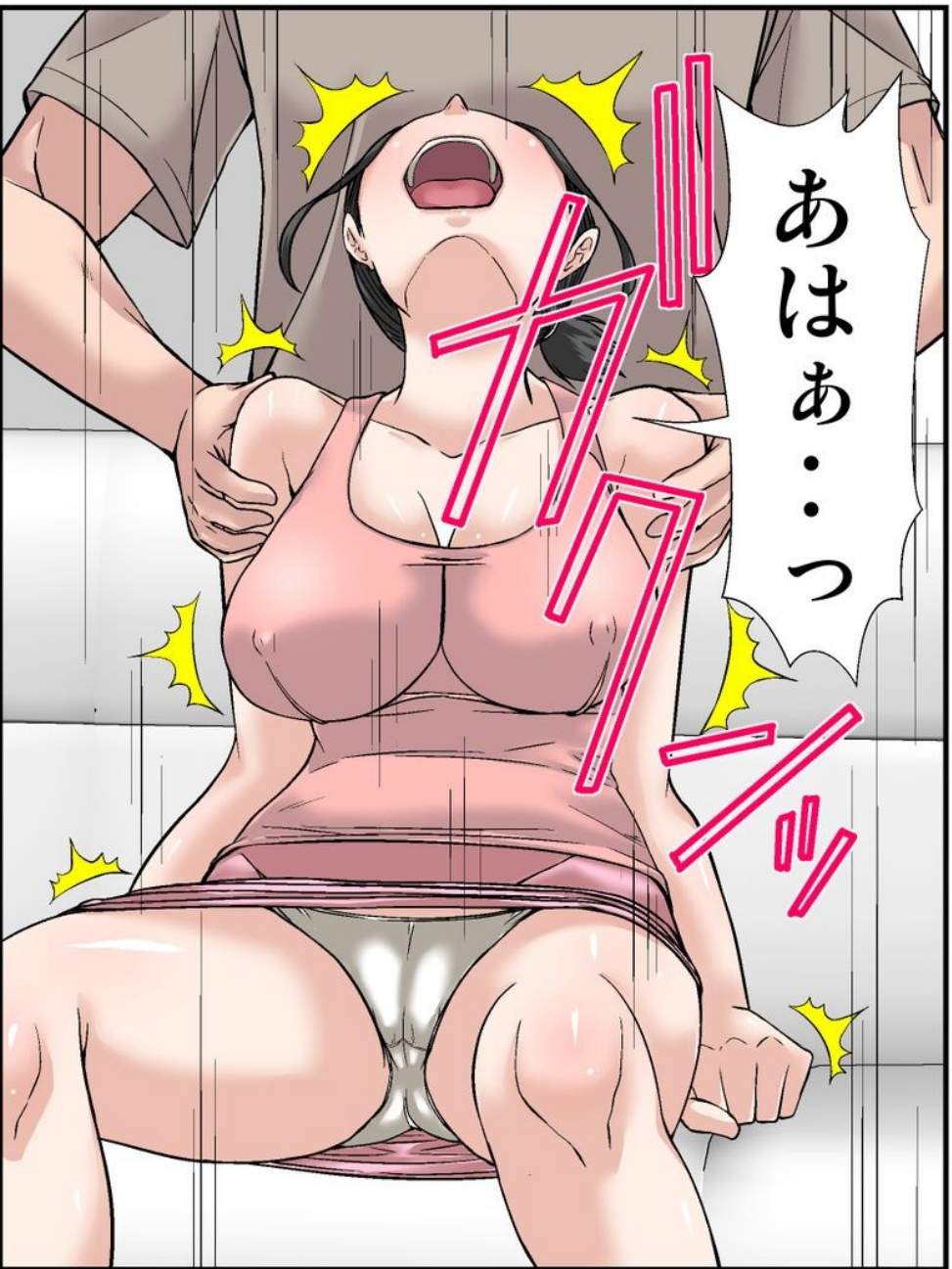

ふ…んっ
もみ
もみ
もみ
ん…っ
ぴくっ
ぴくっ
ぴくっ
ふうっ…
母さん　めちゃ
こってるじゃん
ぴくっ
ぴくんっ

なっ　オレ
マッサージ
上手いだろ？


そ　そうね…
ぴっ
ぴくっ
んひ…っ

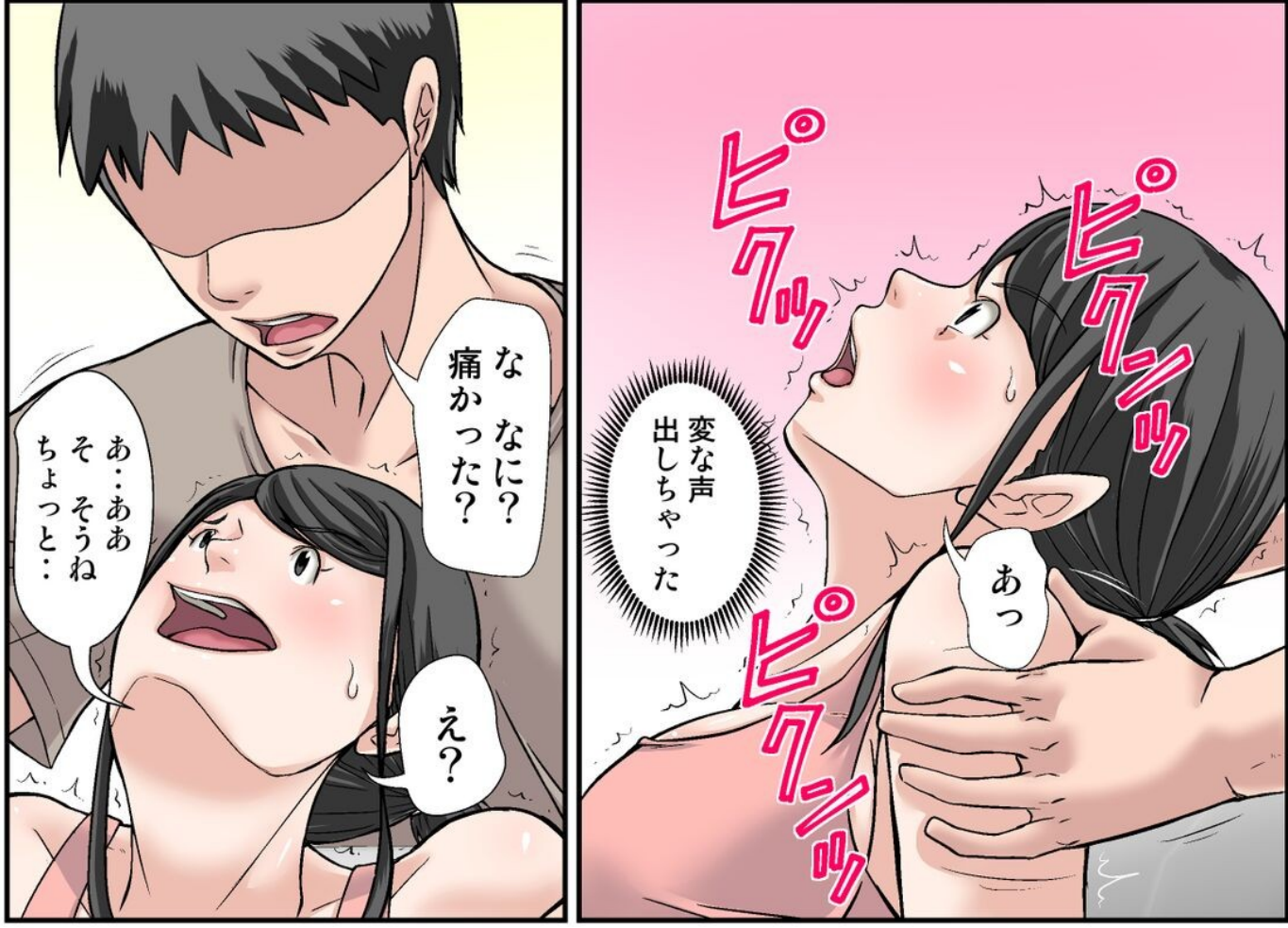

まっ…
ぞわっ
ぞわわっ
まあまあ
かしら…

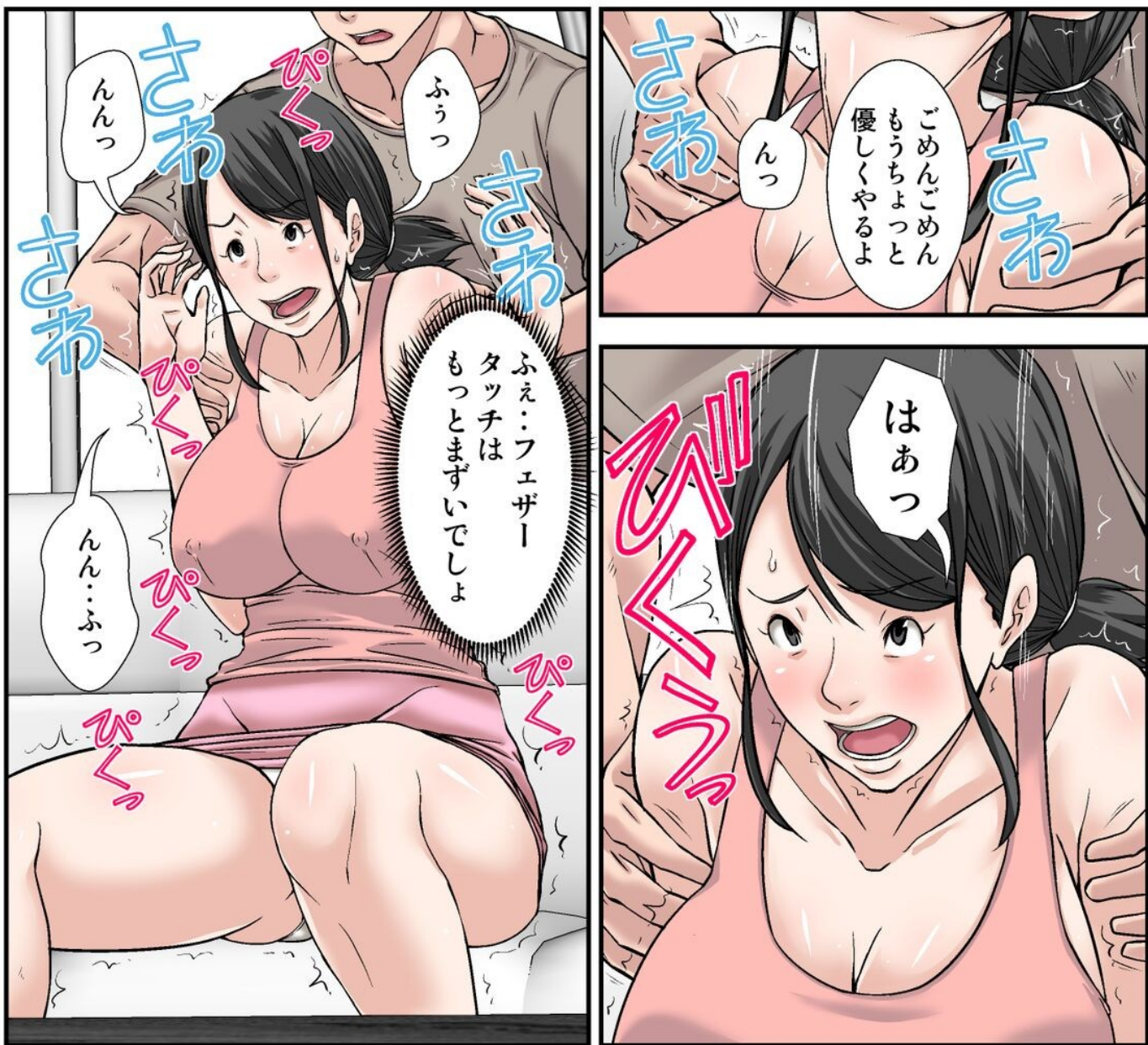

もみ
ぴくっ
ぴくんっ
ふっ・・
うわ～っ
乳首めっちゃ
立ってるじゃん
んんっ
もみ
もみ


あはぁ・・っ
ビクンッ

！
むにっ

ふ・・っ


ピクッ
ピクッ
ピクッ
あっ
変な声
出しちゃった
な なに？
痛かった？
え？
あ・ああ
そ そうね
ちょっと・

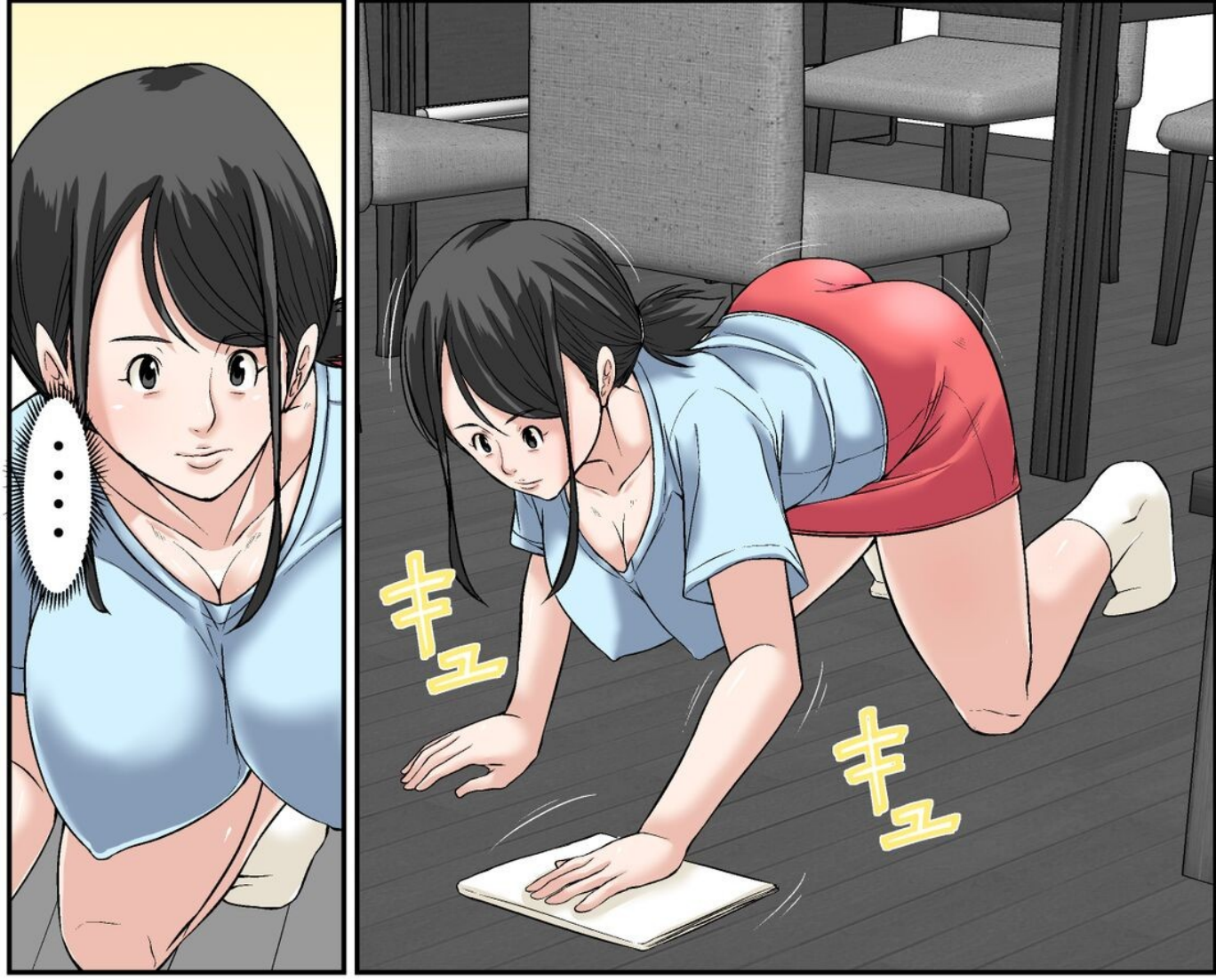

さわ
さわ
さわ
ごめんごめん
もうちょっと
優しくやるよ
んっ
ふぅっ
んんっ
ふぇ・フェザー
タッチは
もっとまずいでしょ
んん・ふっ
ぴくっ
ぴくっ
ぴくっ
ぴくっ
はあっ
ぴくっ

お母さんが好きなんだ！

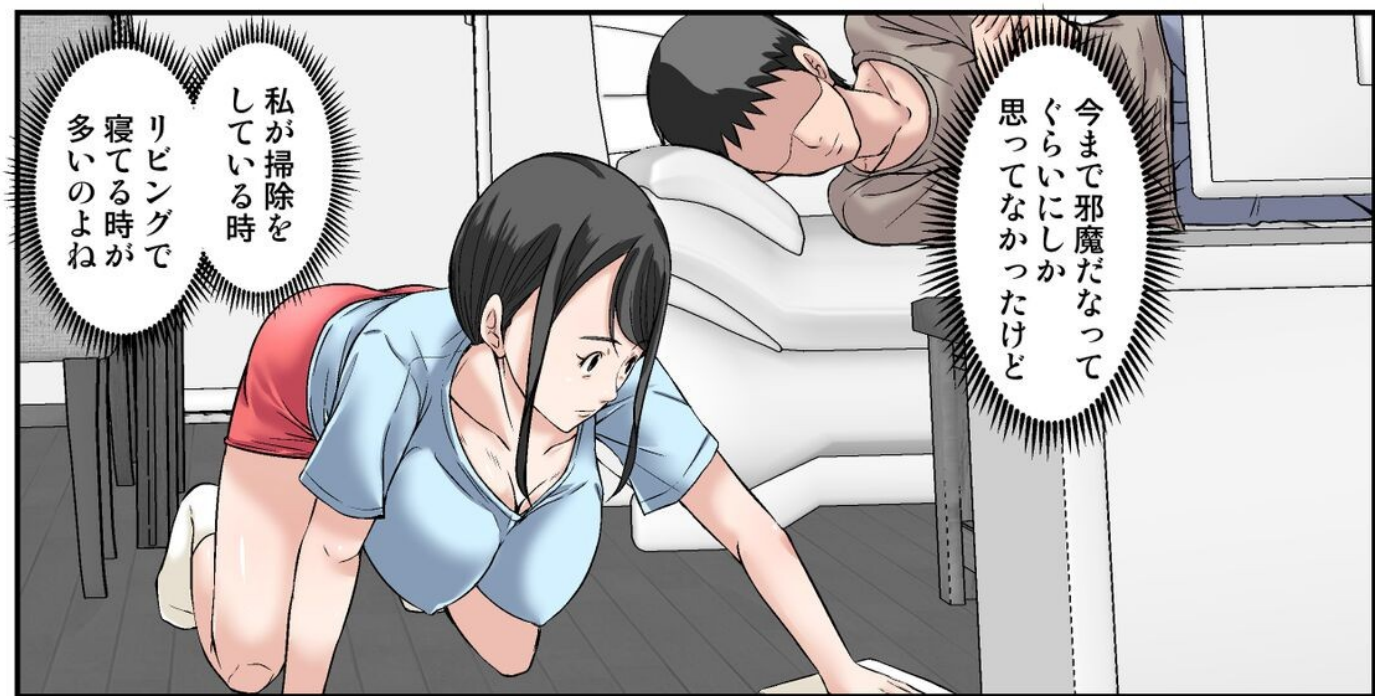
な・何？このエッチな漫画

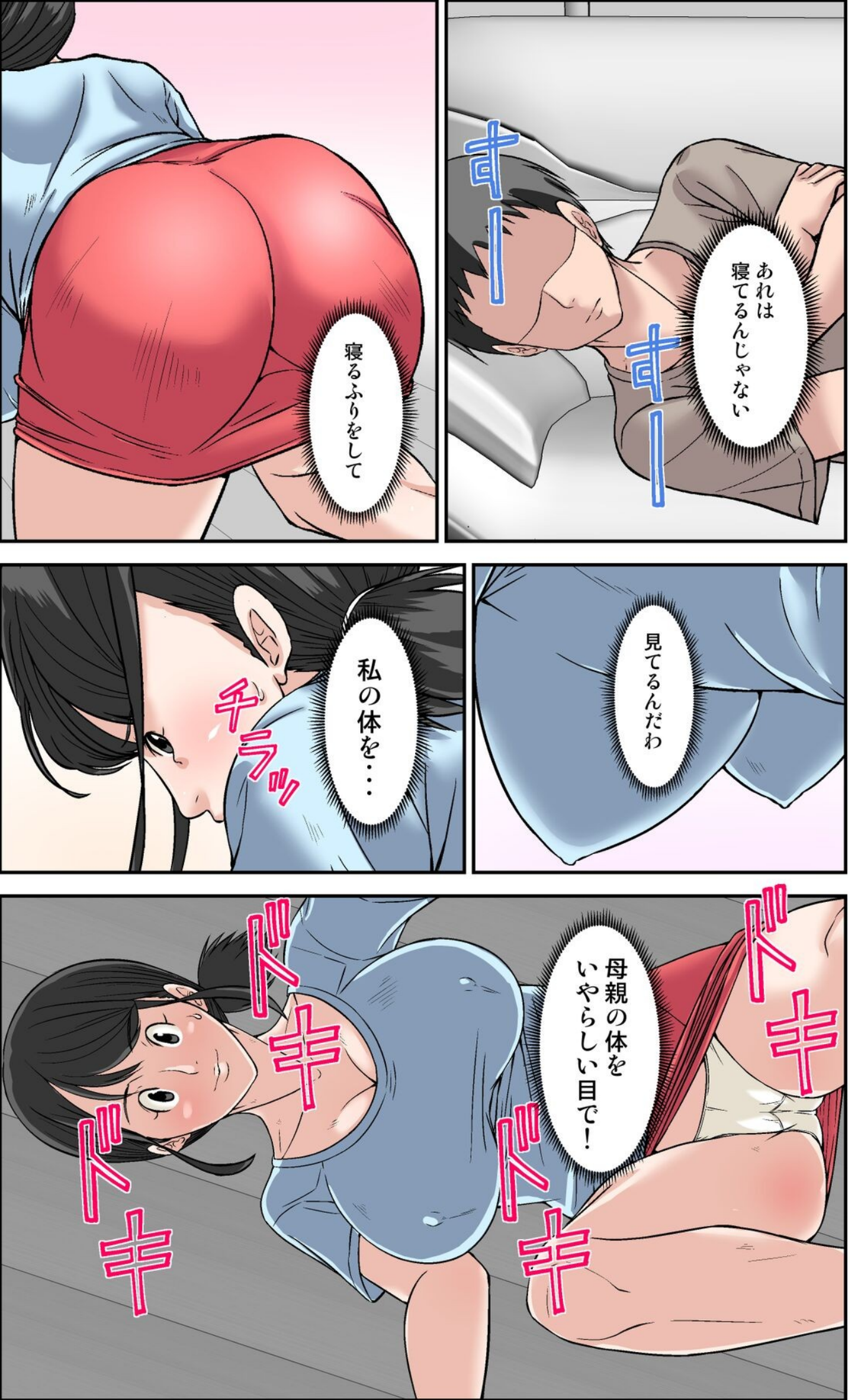
ぷる
んっ
ぷる
ふっ
実は母は気付いていた
んんっ
ぷる
ぷる
ぷる

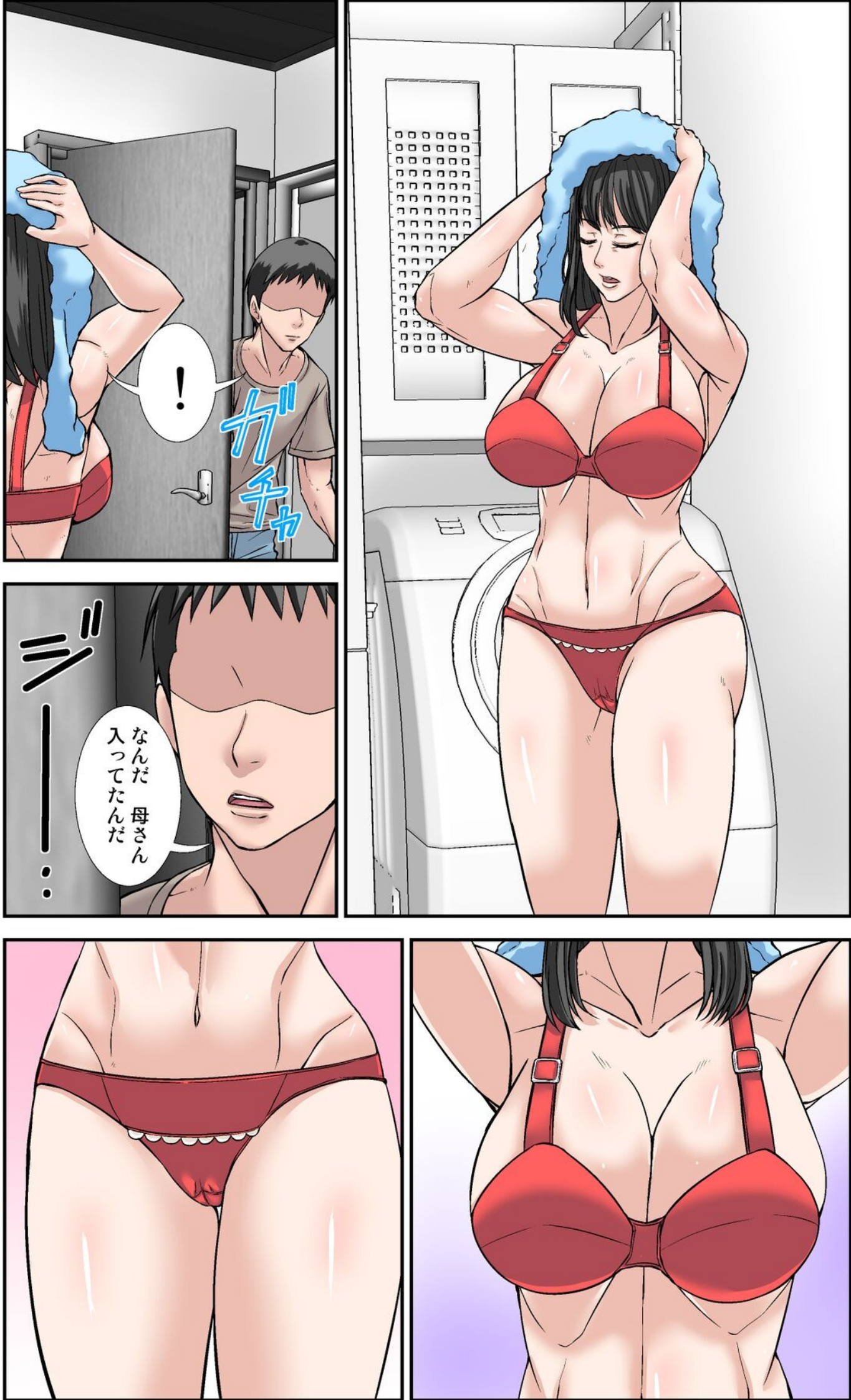
え・？まさかあのこ
母親の私をこんな目で
見てたりしやしないでしょうね

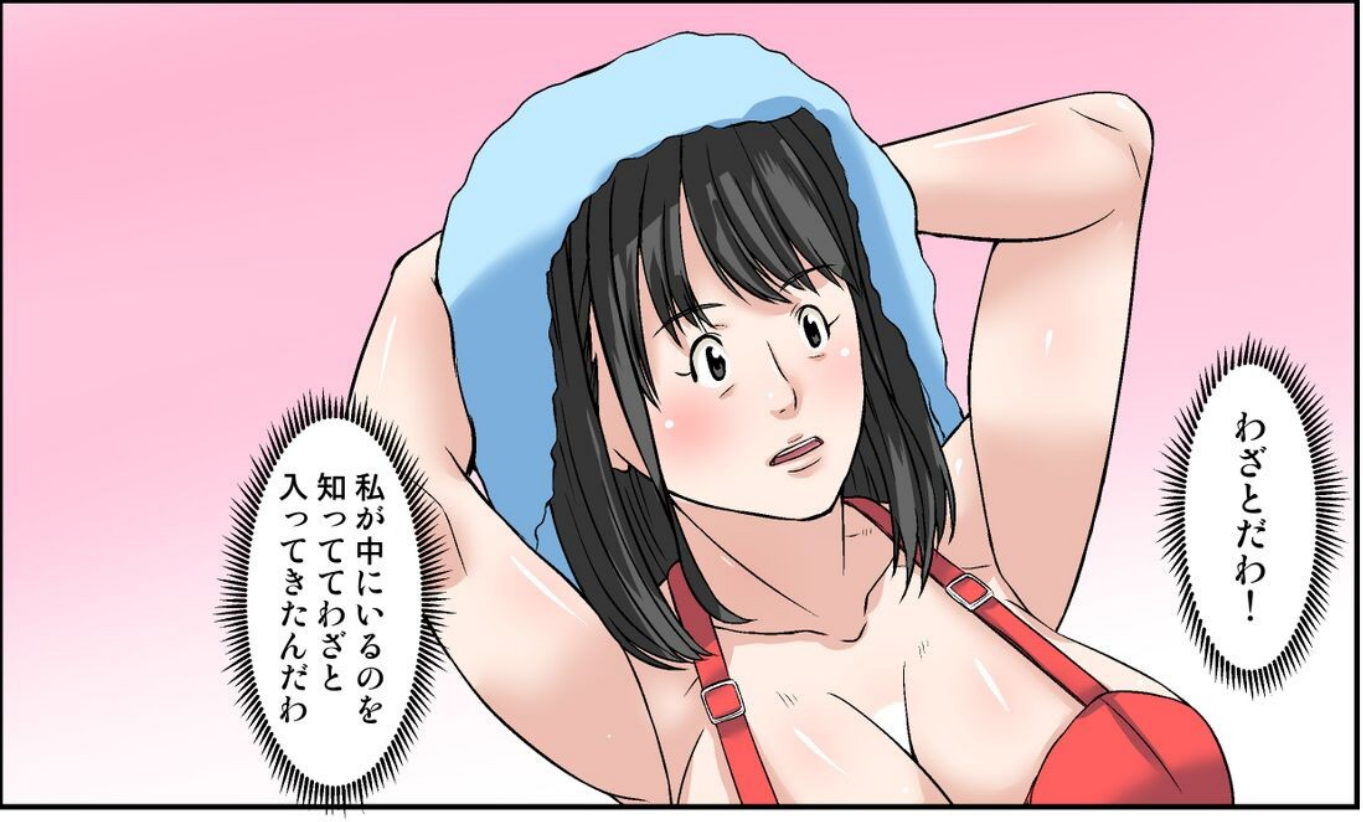

・・・・
キュ
キュ

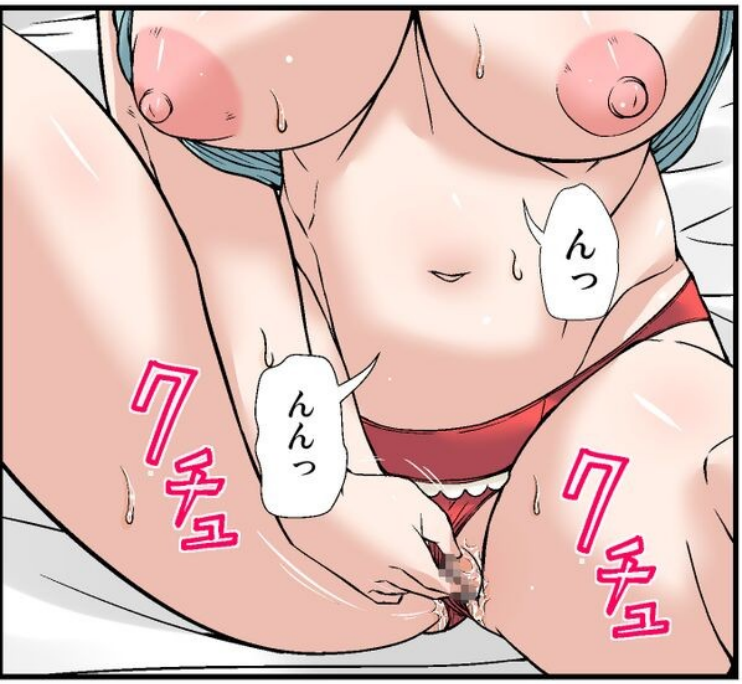
やっぱり
視線を感じる・・
チラッ


今まで邪魔だなって
ぐらいにしか
思ってなかったけど
私が掃除を
している時
リビングで
寝てる時が
多いのよね

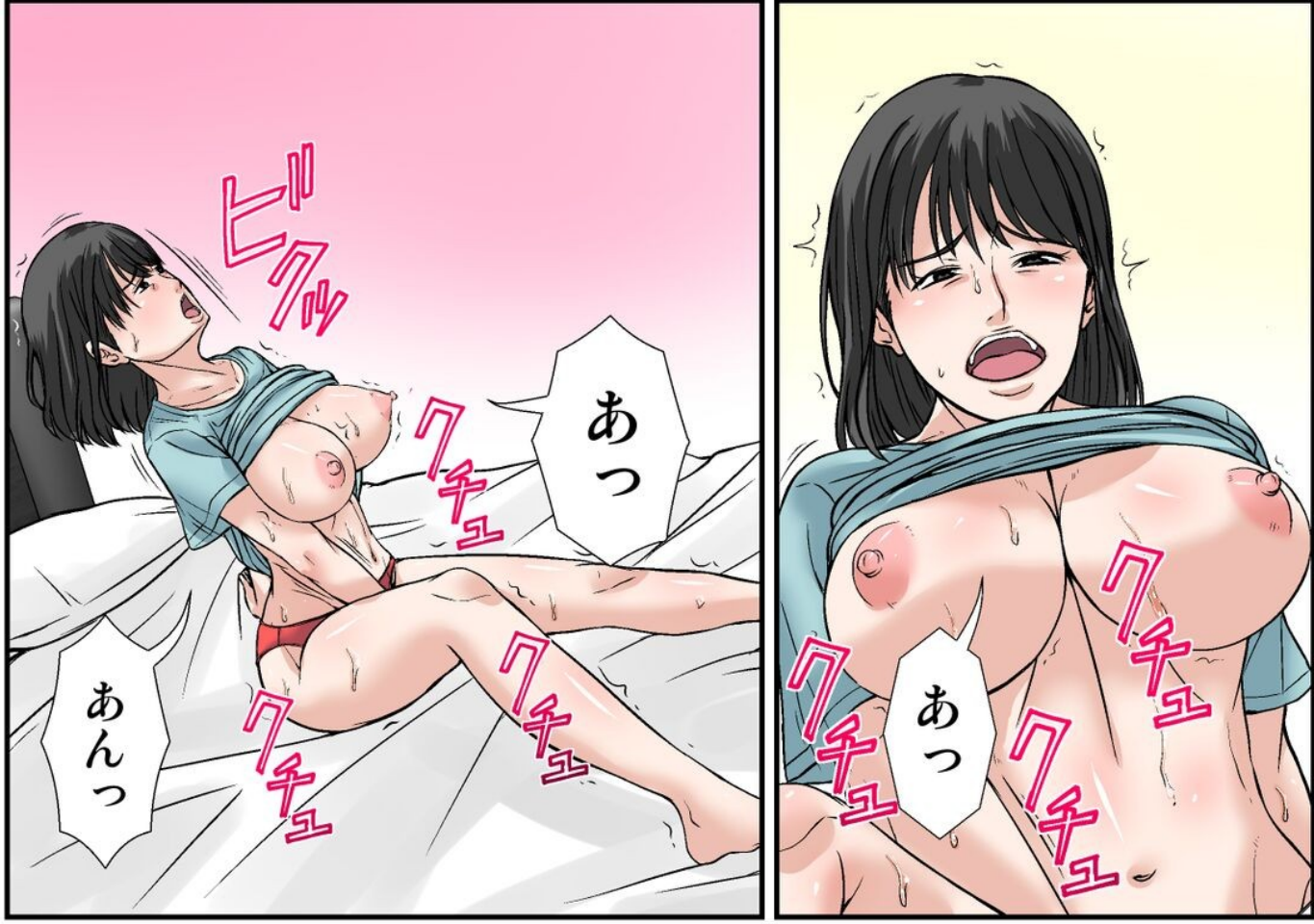

すー
すー
あれは
寝てるんじゃない
寝るふりをして
見てるんだわ
チラッ
私の体を・・・
ズッ
ズッ
ズッ
ズッ
ズッ
母親の体を
いやらしい目で！


！
ガチャ
ジーーー…
なんだ 母さん
入ってたんだ

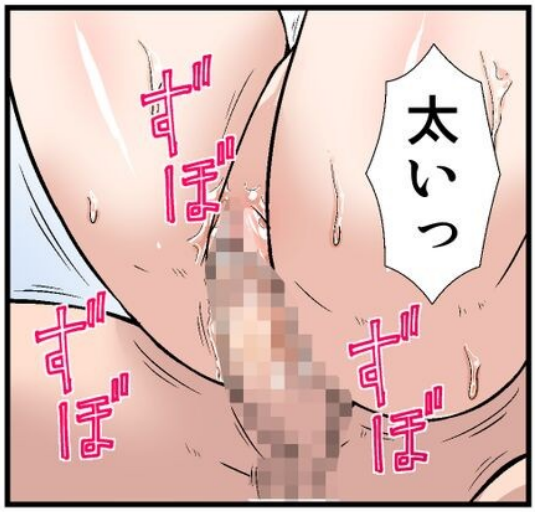

わざとだわ！
私が中にいるのを
知っててわざと
入ってきたんだわ


んっ
んんっ
クチュ
クチュ

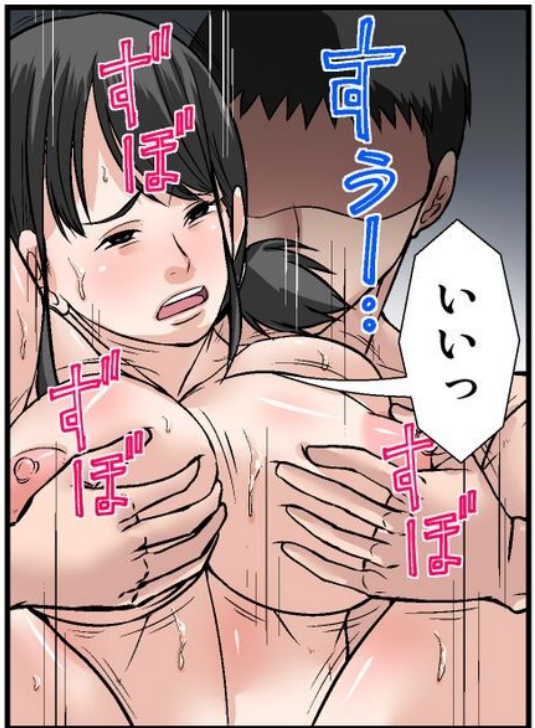
は
母親を
あっ
あんな
いやらしい目で
見てくるなんて・
クチュ
クチュ
クチュ

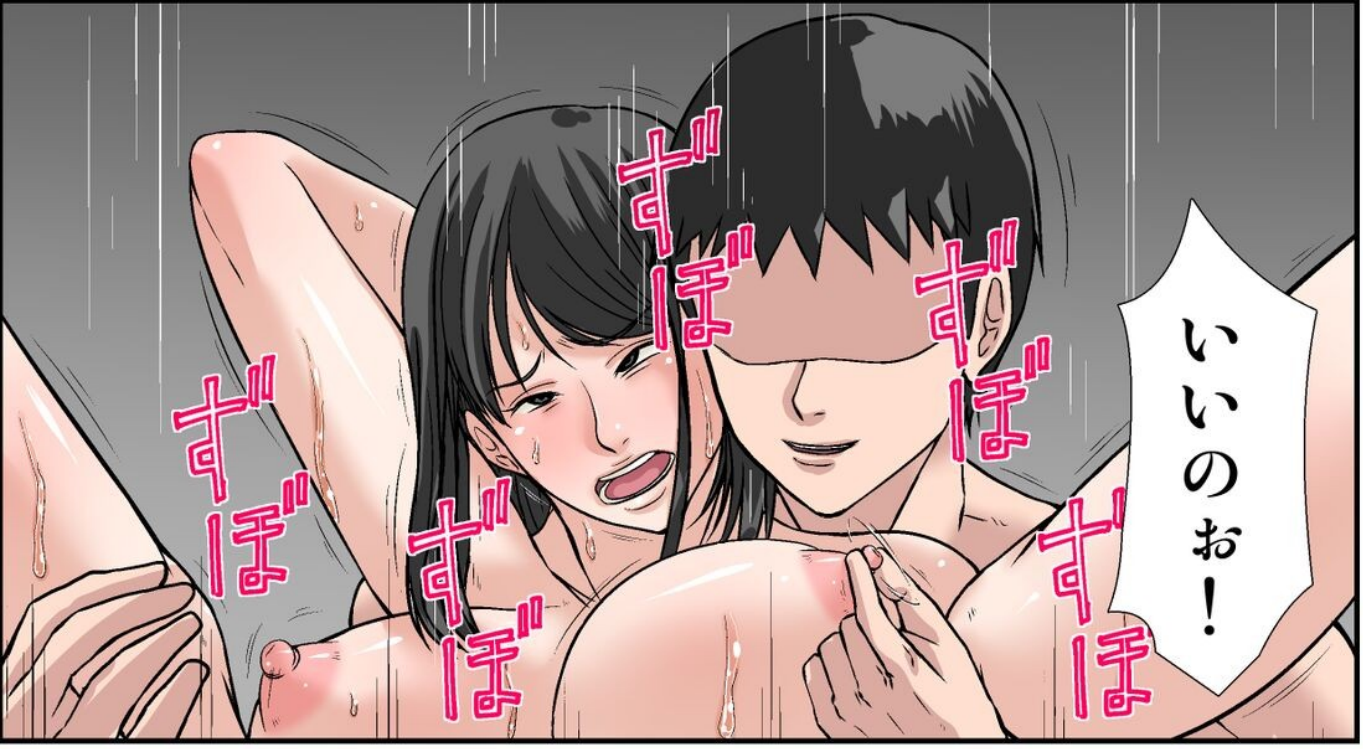

ビクッ
あっ
クチュ
クチュ
クチュ
あんっ

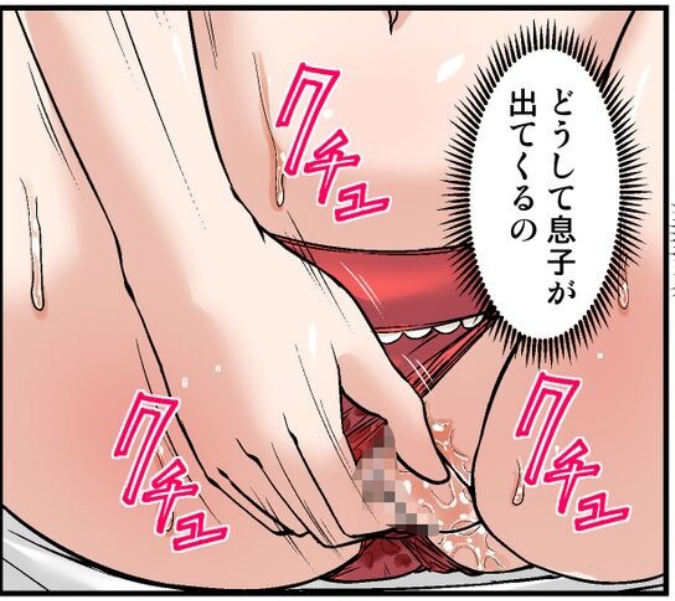
クチュ
あっ
クチュ
クチュ


太いっ
ずぼ
ずぼ
ずぼ

いいっ
あっ
すごいっ
ずぼ
ずぼ
ずぼ
ずぼ


すう!!
いいっ
ずぼ
ずぼ
ずぼ
ずぼ

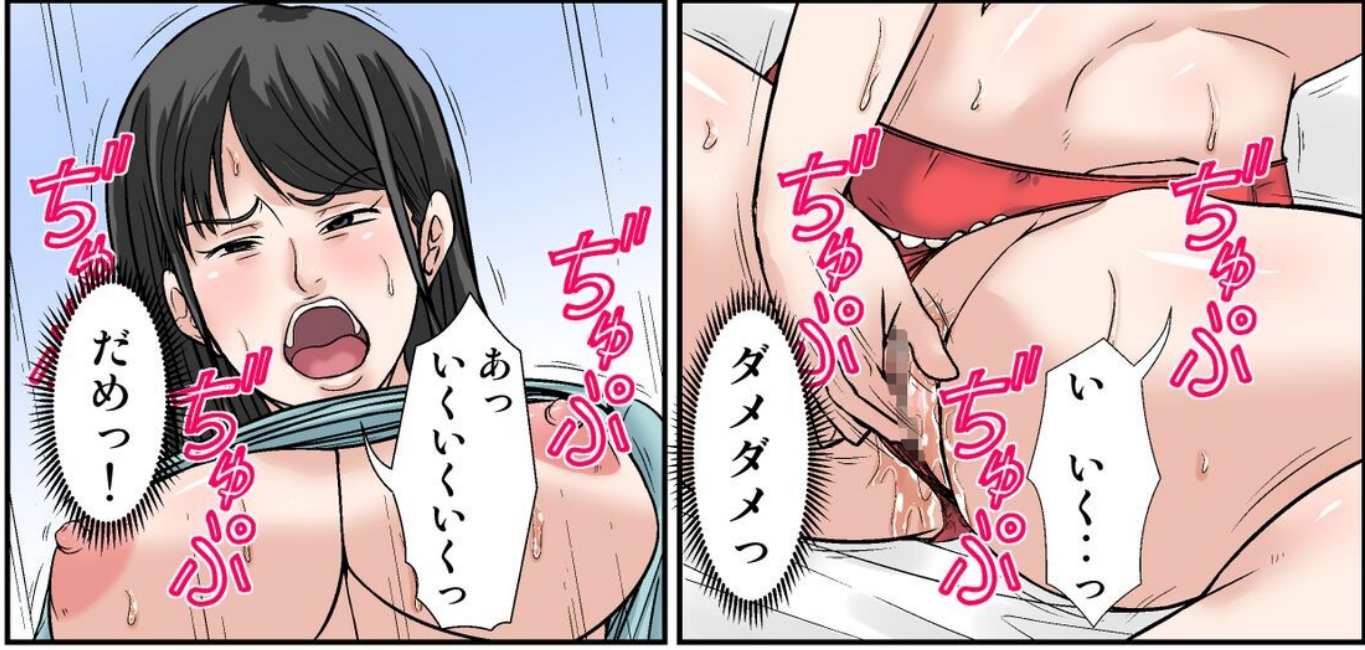

いいのお！
ずぼ
ずぼ
ずぼ
ずぼ
ずぼ

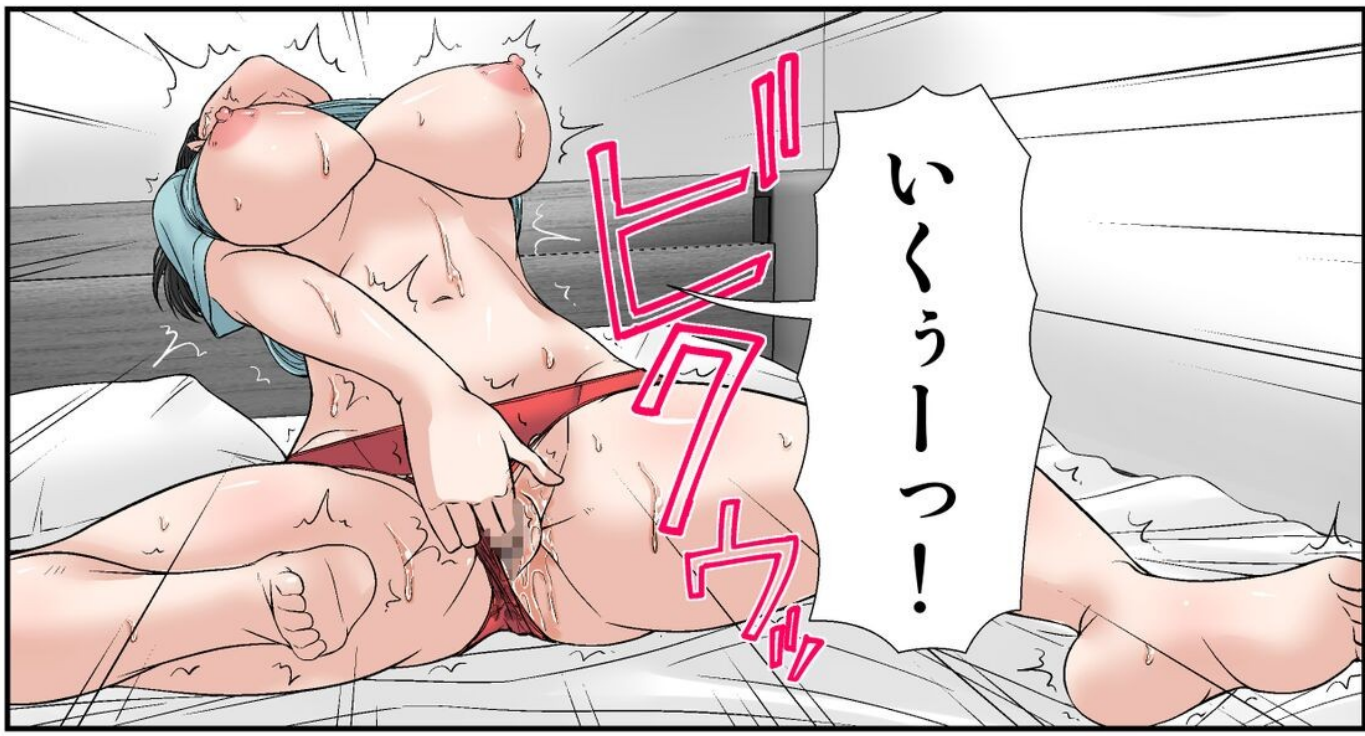

どうして息子が出てくるの
クチュ
クチュ
クチュ

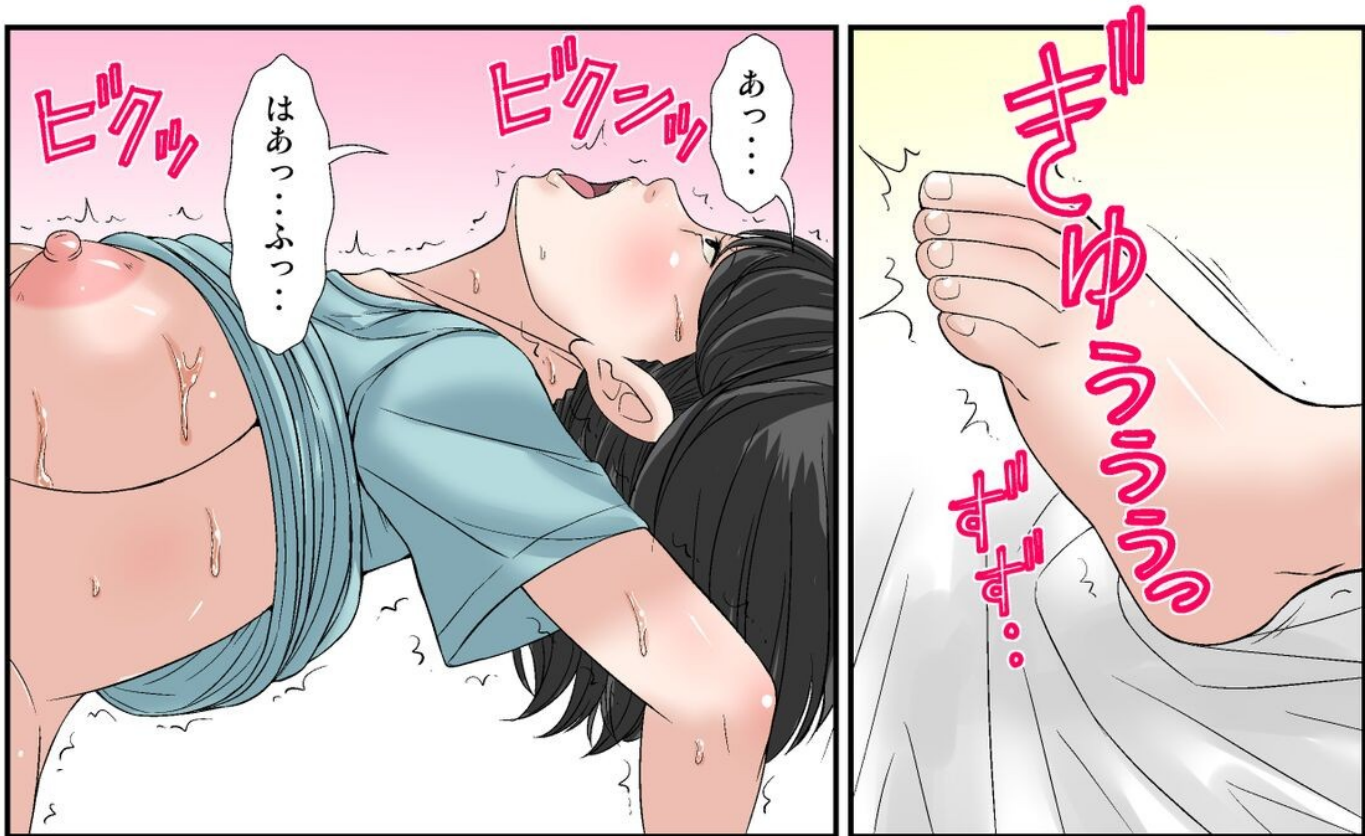
な なにを考えてるの？わたし！
誰でもない人とのエッチを想像してるのに
あっ
クチュ
クチュ
クチュ

あっ
だめっ！
ちゅぷ
ちゅぷ
ちゅぷ

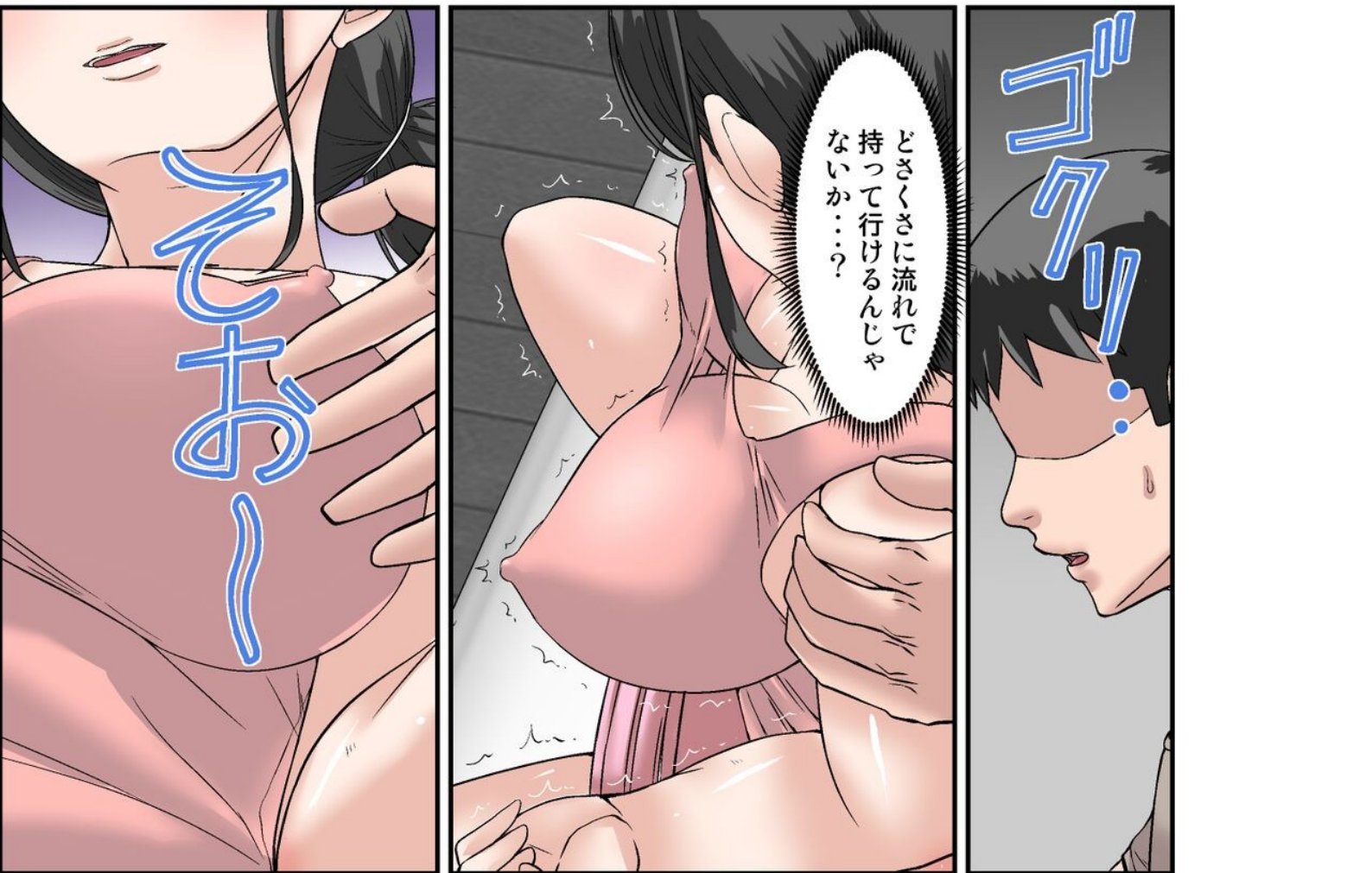
あんっ
消しても息子がでてくる・・
あはんっ
ちゅぷ
ちゅぷ
ちゅぷ

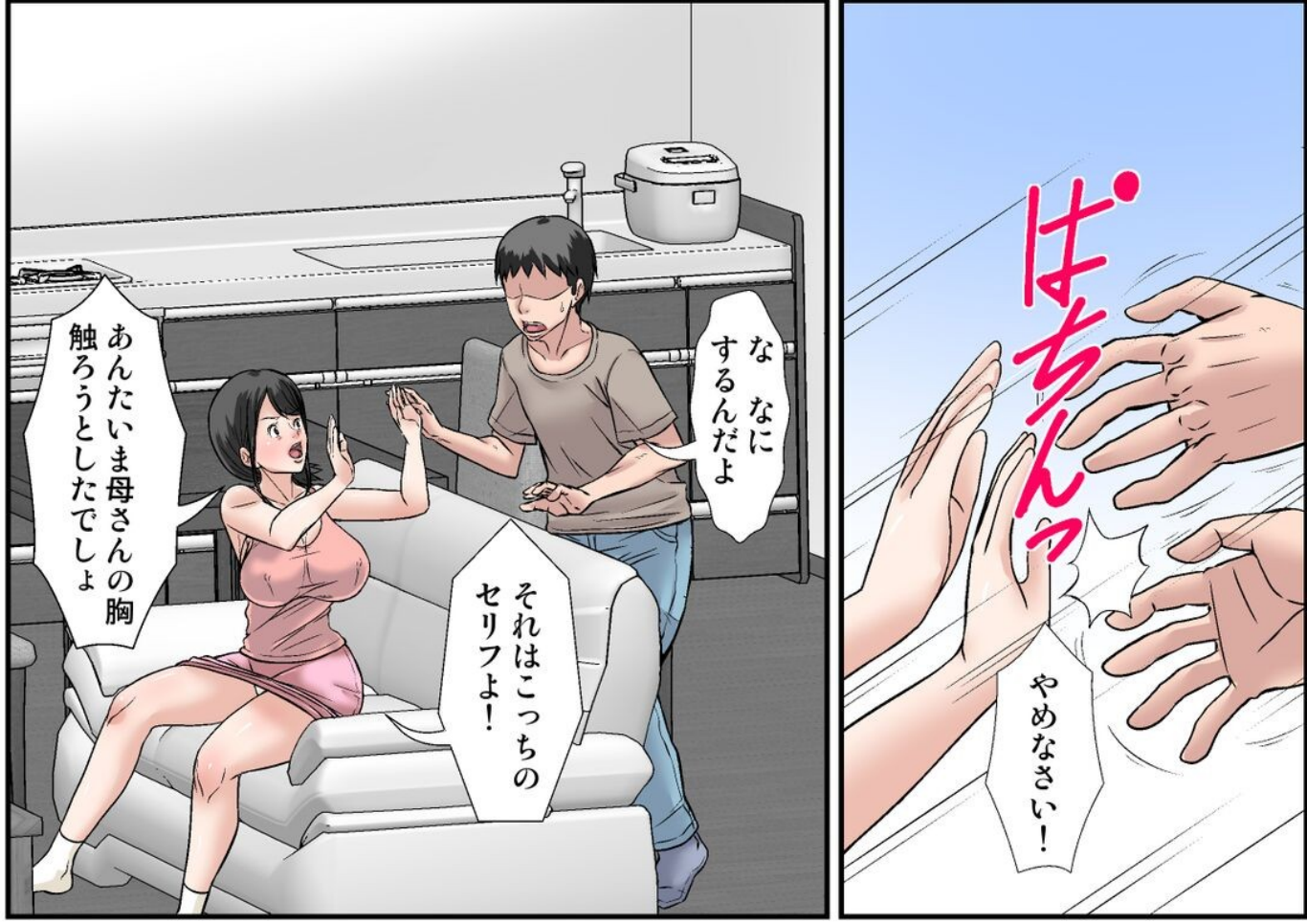

ちゅぱ
ちゅぱ
ちゅぱ
いく…っ
ダメダメっ
ちゅぱ
ちゅぱ
ちゅぱ
あっ
いくいくいくっ
だめっ！


いくぅーっ！
ビクゥ

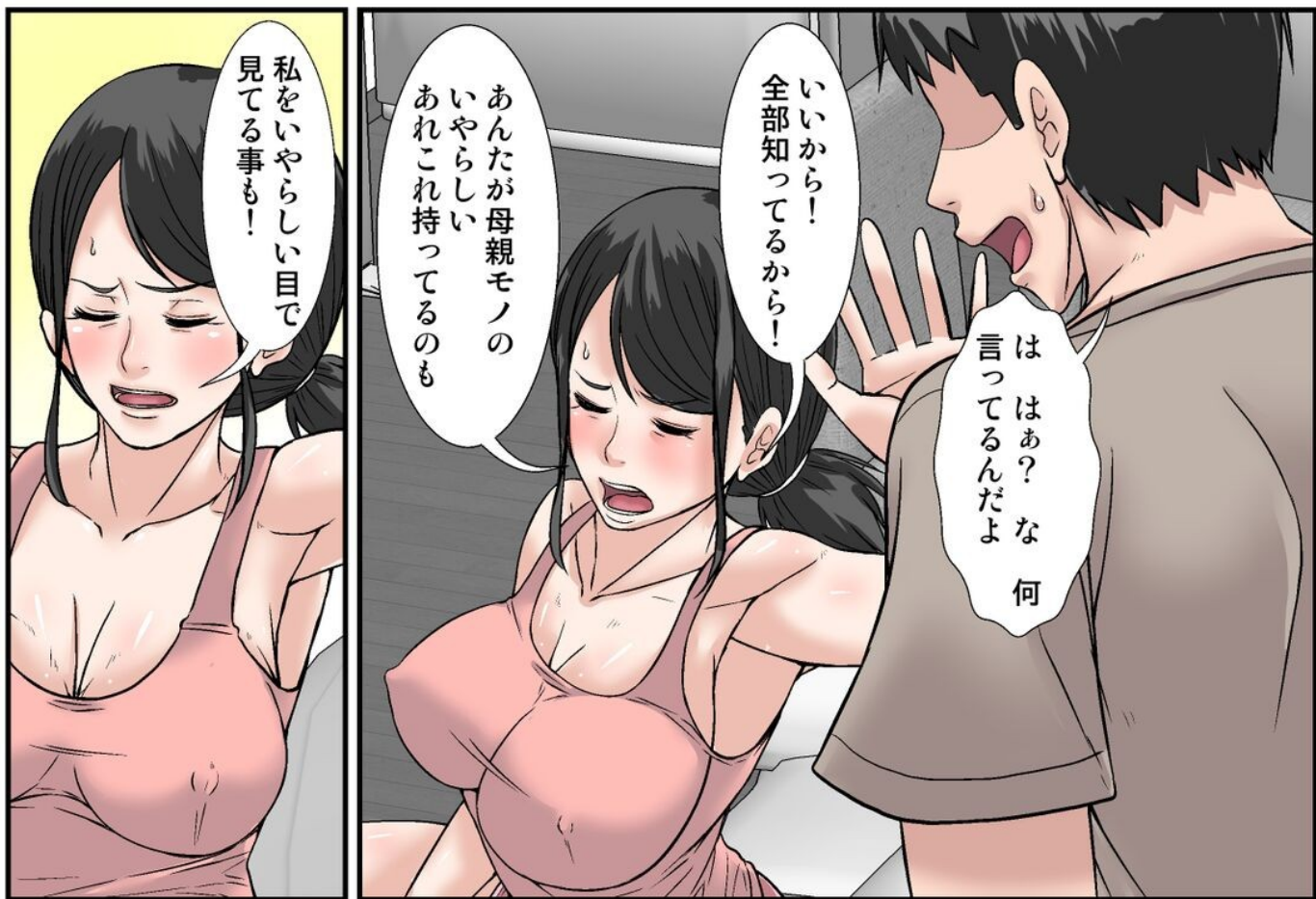

ビクッ
ビクンッ
あっ…
はあっ…ふっ…
ぎゅうううっ
すす…

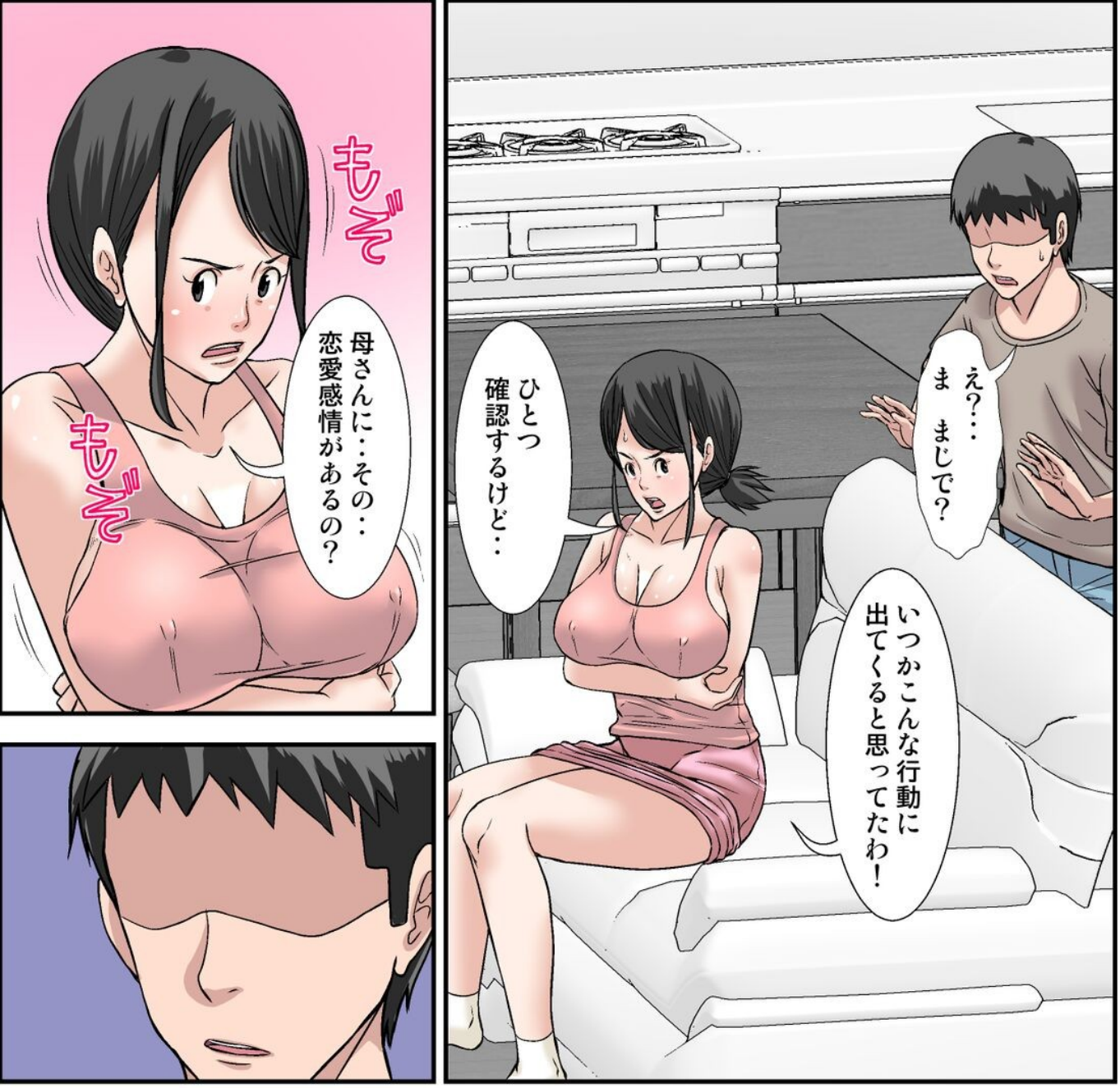
叔母さんの話じゃちょっとでもいやらしい気持ちにならないと って感じだったけど
これ母さん絶対感じてるじゃん
はっ・ん
ぴくっ
さわさわ
ぴくっ
あっ
んんっ
えっ・・？
あっ
母さんもしかしていやらしい気持ちになってるって事？
ふうっ


ゴクリ・・
どさくさに流れで持って行けるんじゃないか・・・？
そお～


ばちんっ
やめなさい！
な なにするんだよ
それはこっちのセリフよ！
あんたいま母さんの胸触ろうとしたでしょ

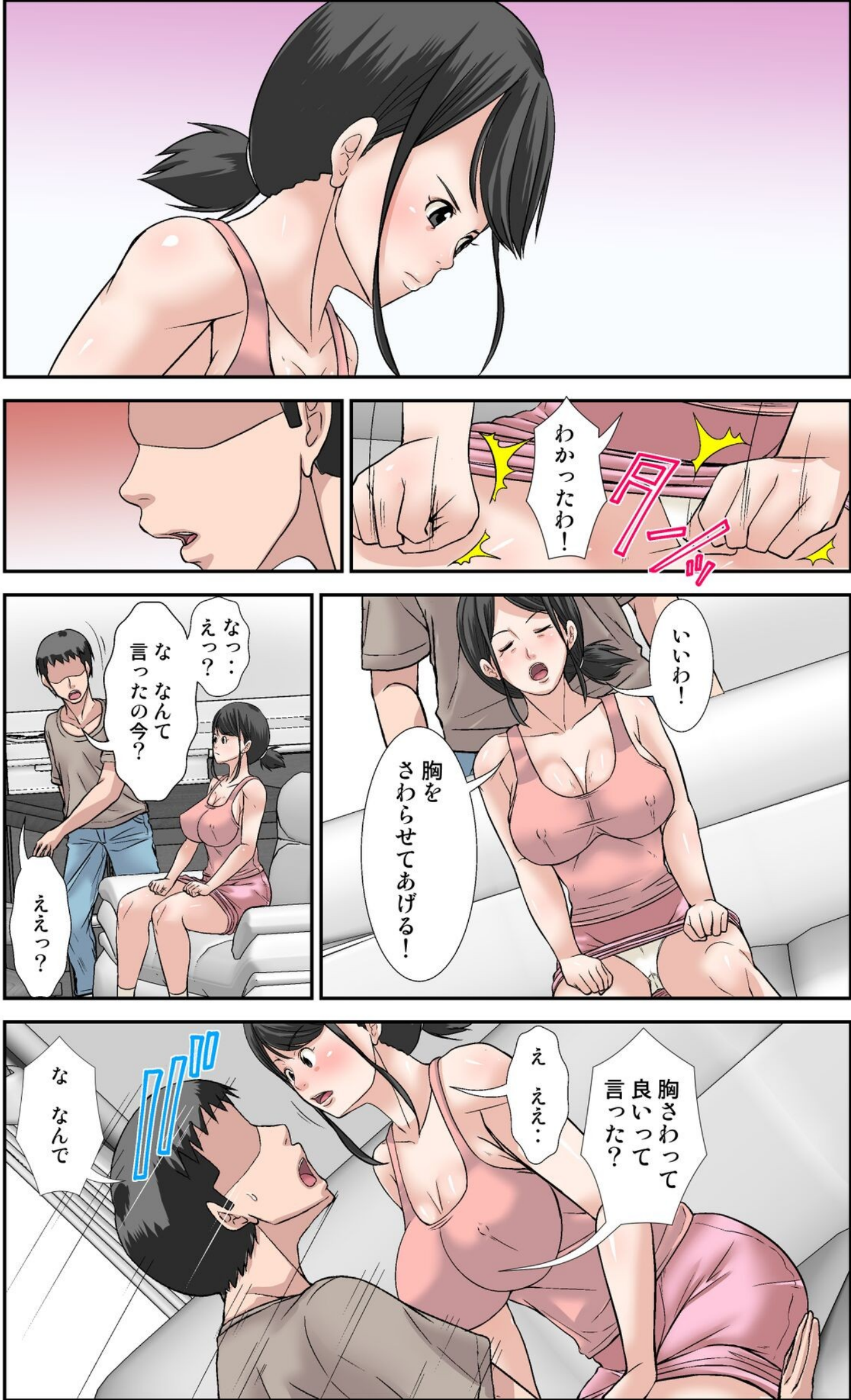
え？


は はぁ？ な 何言ってるんだよ
いいから！全部知ってるから！
あんたが母親モノのいやらしいあれこれ持ってるのも
私をいやらしい目で見てる事も！


え？…
ま　まじで？
いつかこんな行動に
出てくると思ってたわ！
ひとつ
確認するけど…
もぞ
母さんに…その…
恋愛感情があるの？
もぞ

う～ん…
それはないな
ただエロい対象として
見てただけで
まちがい
ないのね！
ばっ

ほんとに恋愛感情は
ないのね


わかったわ！
ガーッ
いいわ！
胸を
さわらせてあげる！
なっ・・
えっ？
な なんて
言ったの今？
ええっ？
胸さわって
良いって
言った？
え ええ・・
な なんで

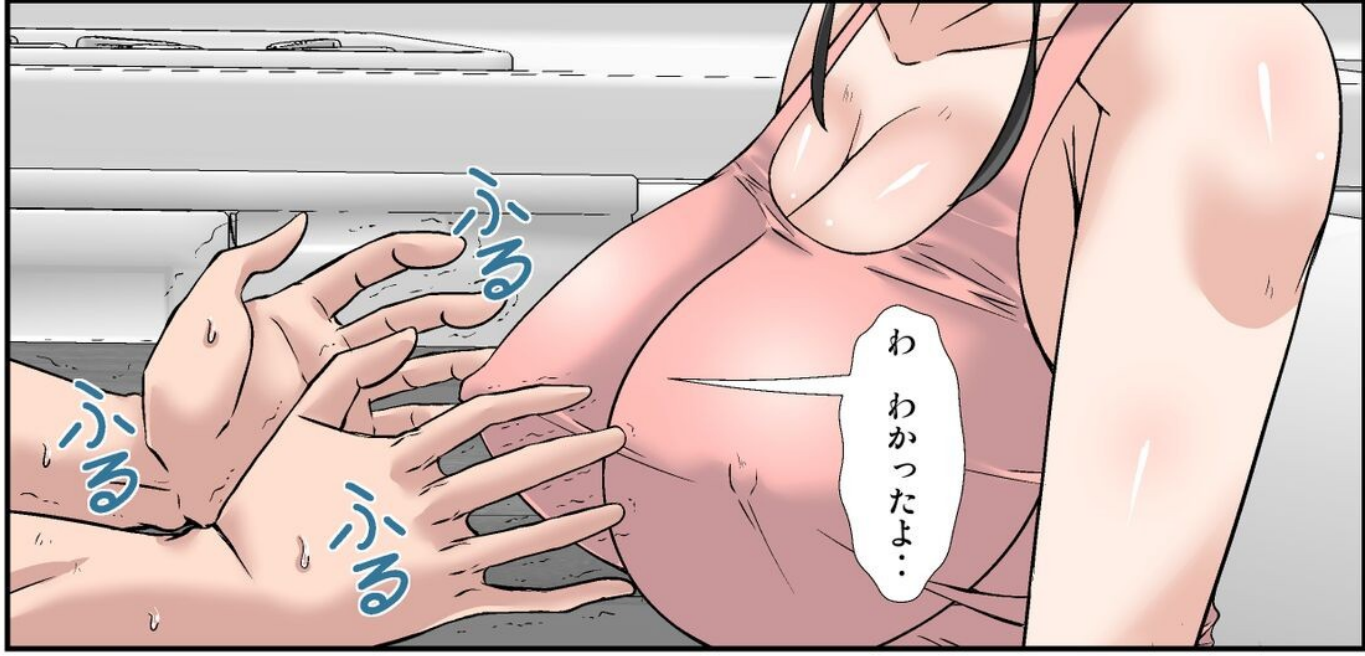
その代わり金輪際
母さんに興味を
持つんじゃないわよ！
母さん
バカまじめな
性格だから
息子が母親の自分を
エロい目で見てる事を
知ってから
解決案をずっと
考えてたんだろうな

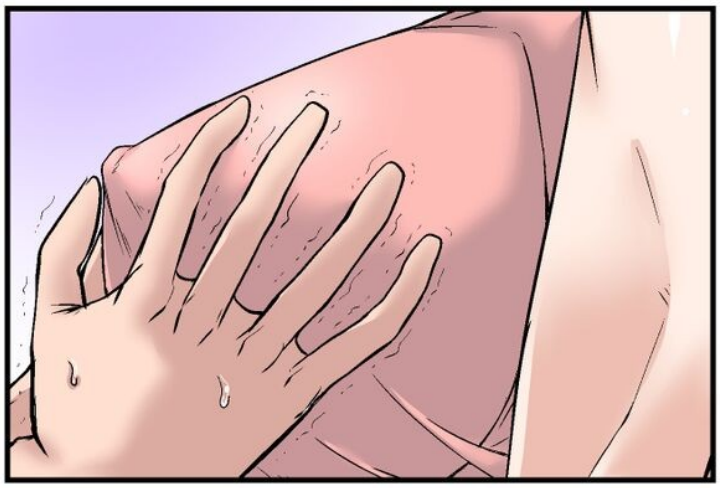
唐突な
提案に思えるけど

想定していた中で
「恋愛感情がない」
というのが
一番軽い答え
だったんだろう

ちょっと
聞いてるの！
！

いいわね
約束よ！

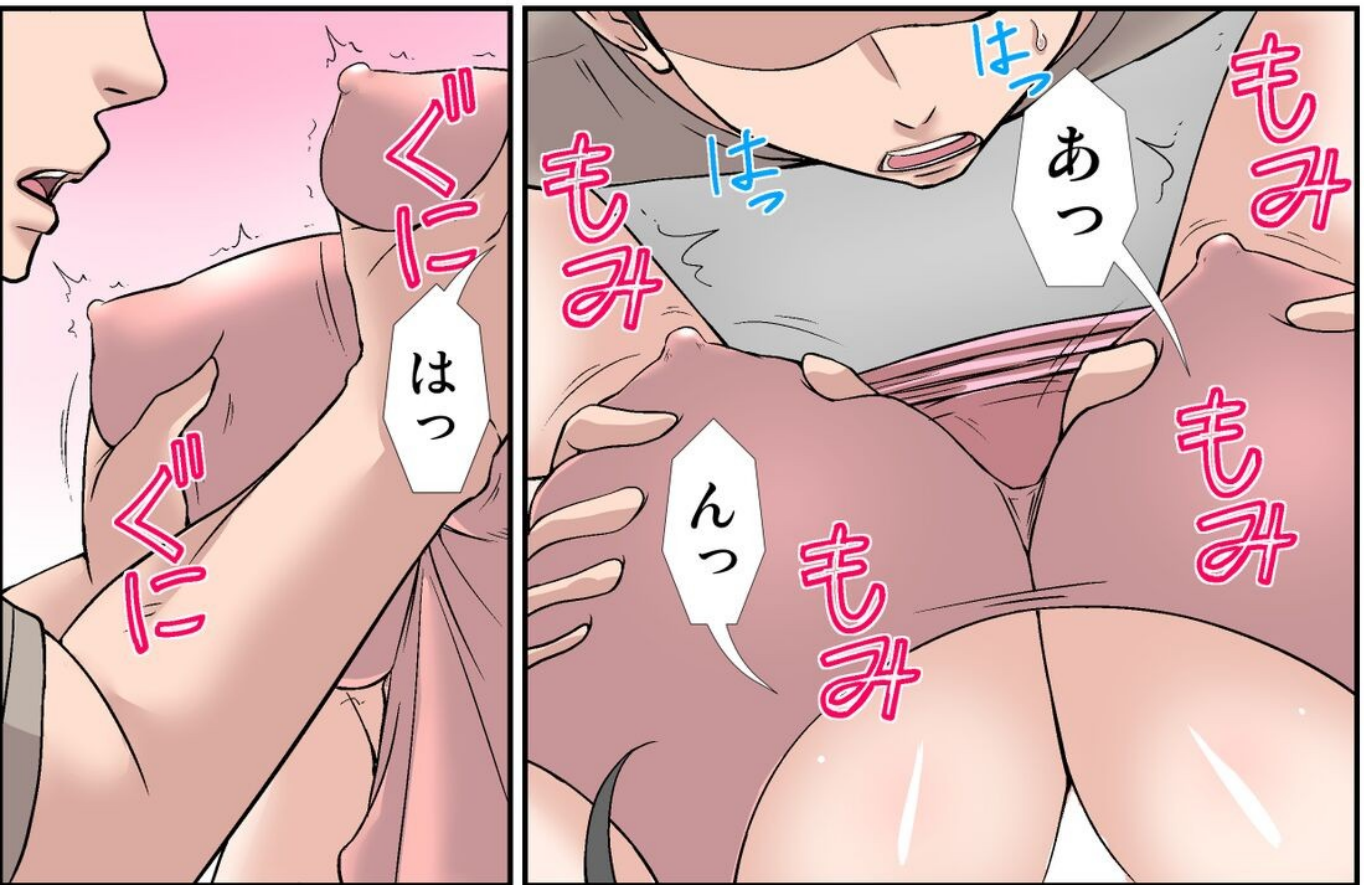

わ わかったよ・・
ふる
ふる
ふる

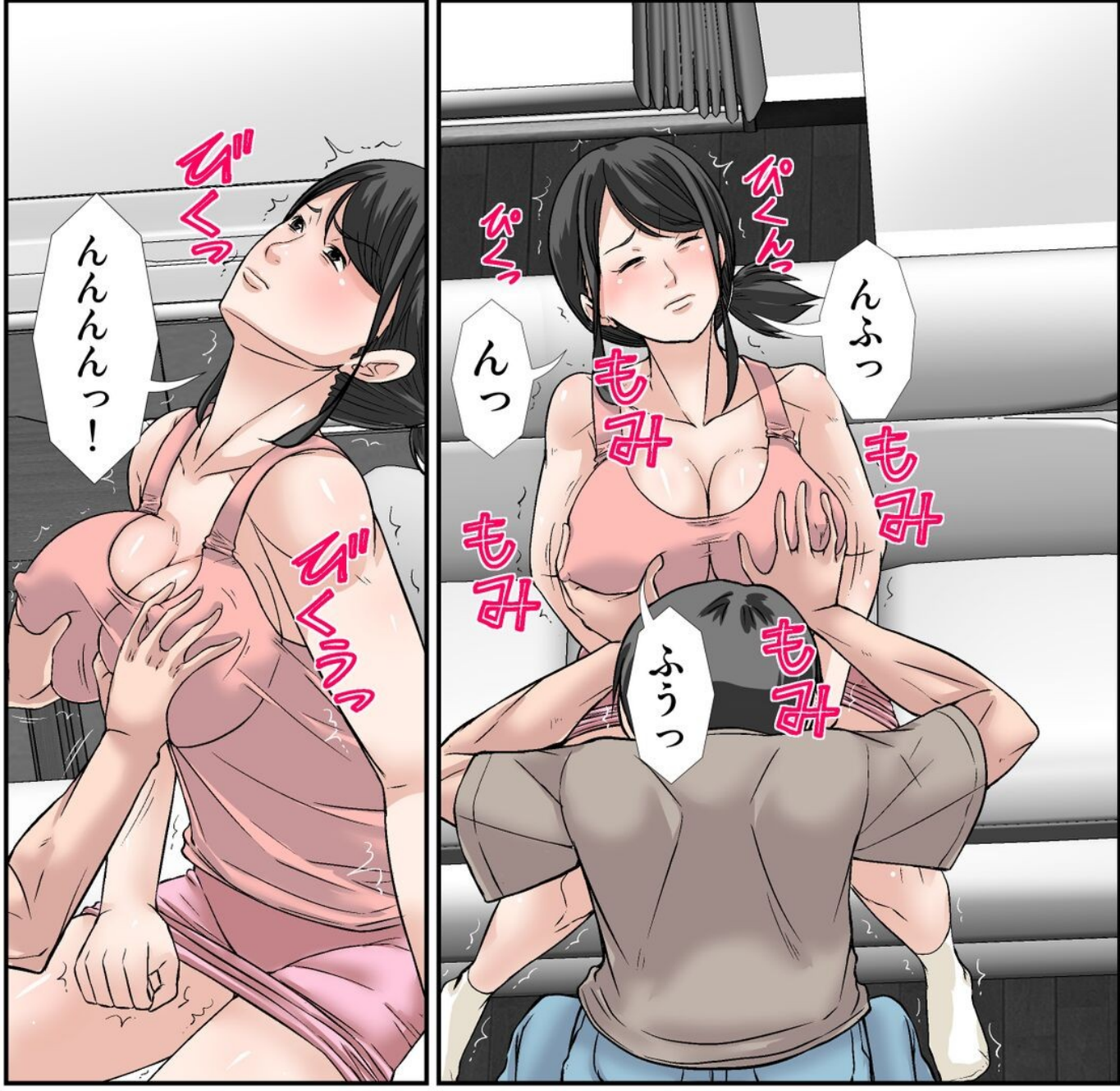


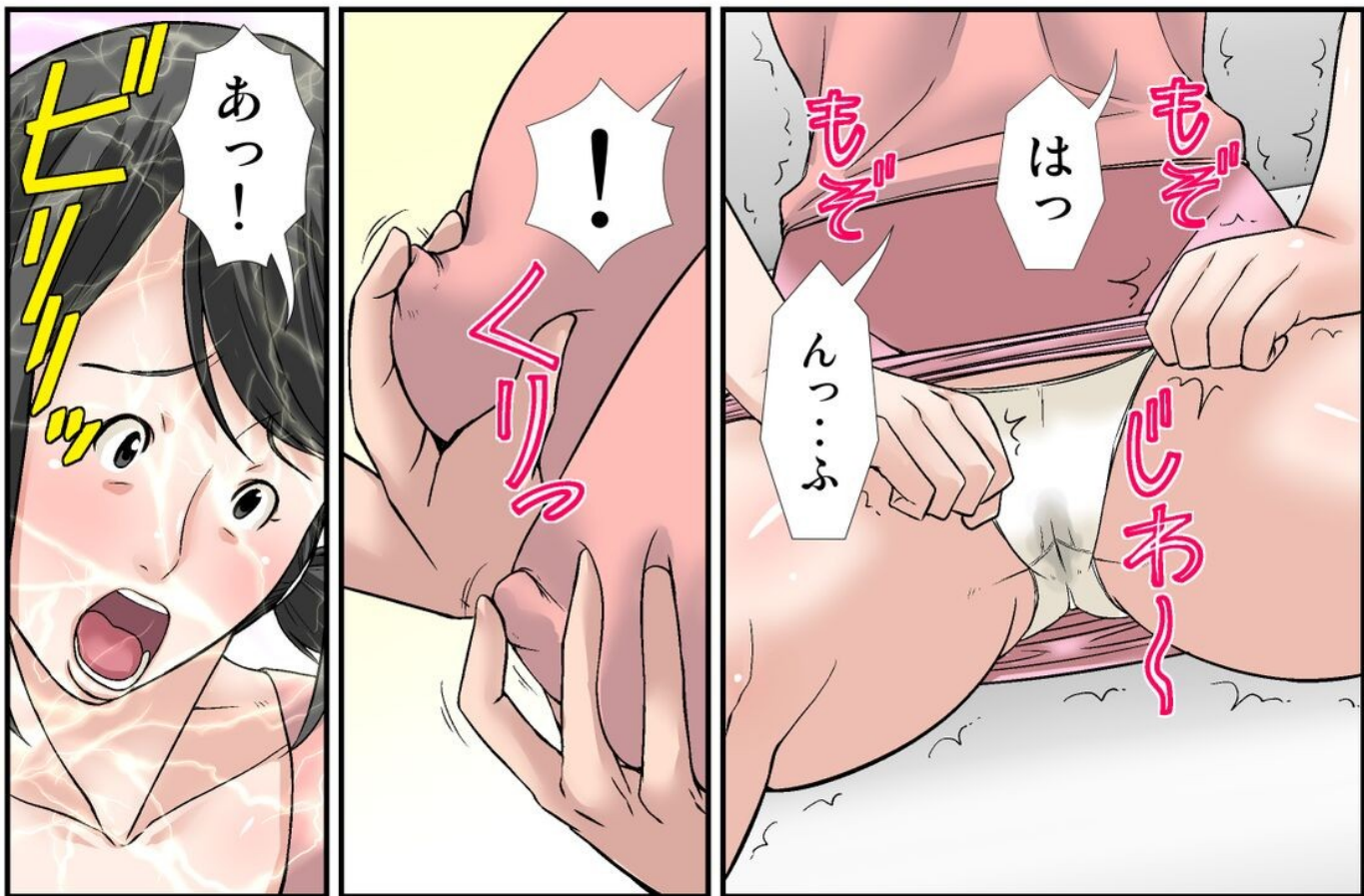
どきどき
どきどき

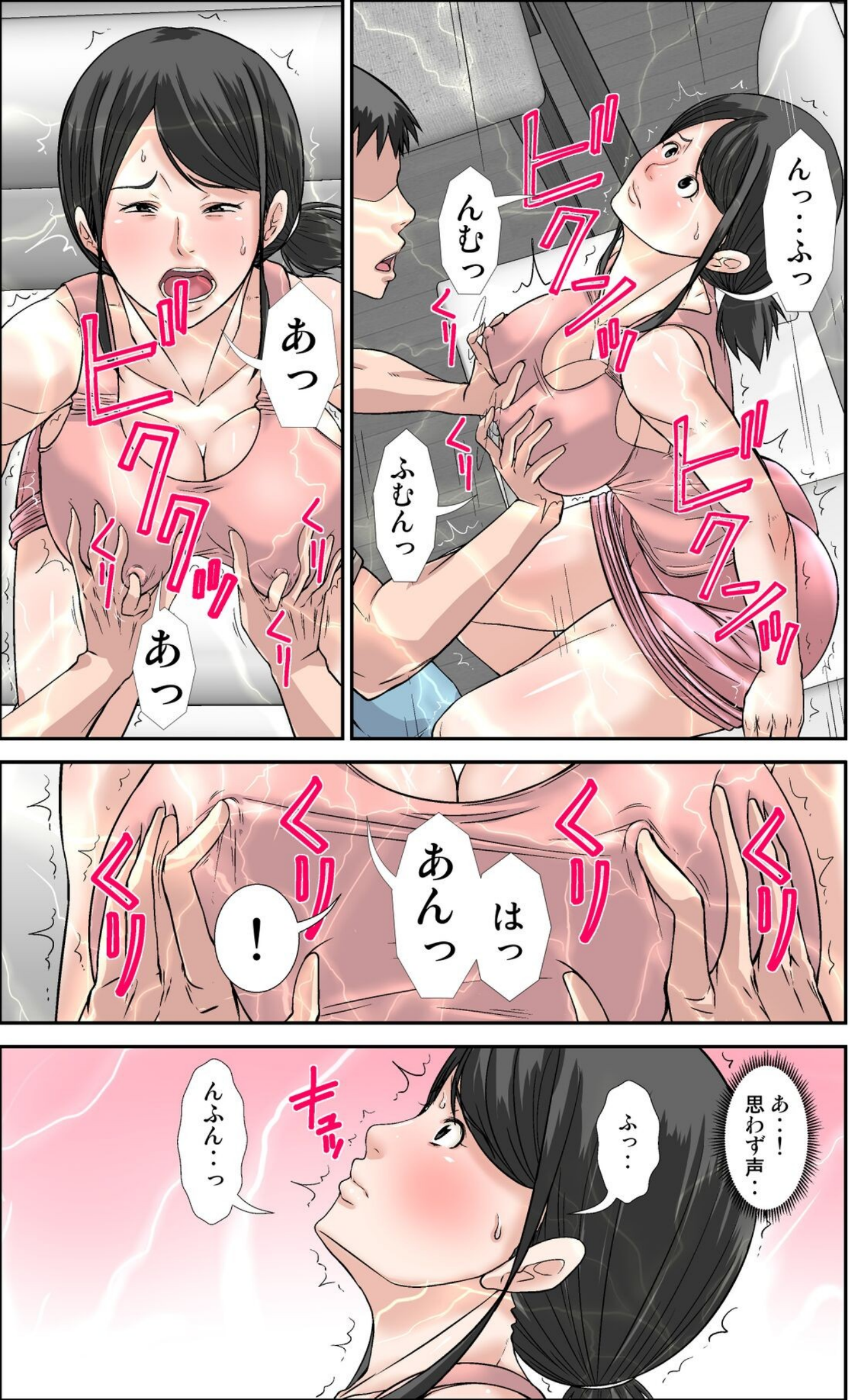
むにゅ
ふんんっ！

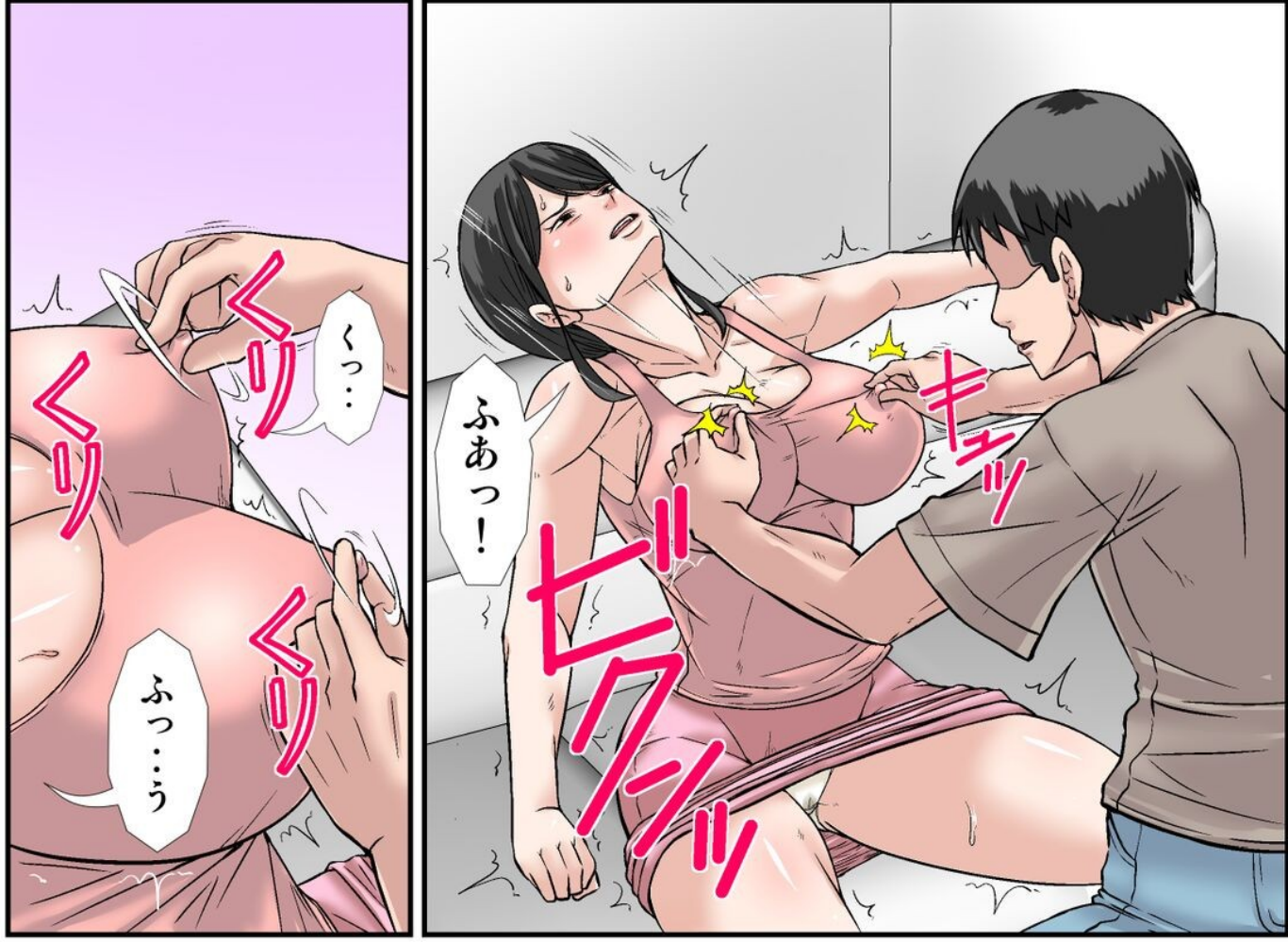
ずくっ
お　おお～！
これが母さんの
でかパイ…！
もみ
もみ
もみ
んっ
んんっ
ずくっ
ふんっ
叔母さんとはまた
違うタイプで
すげー柔らかい！
ずるるるっ
んうっ
ふっ
びくくっ
もみ
もみ
んっ

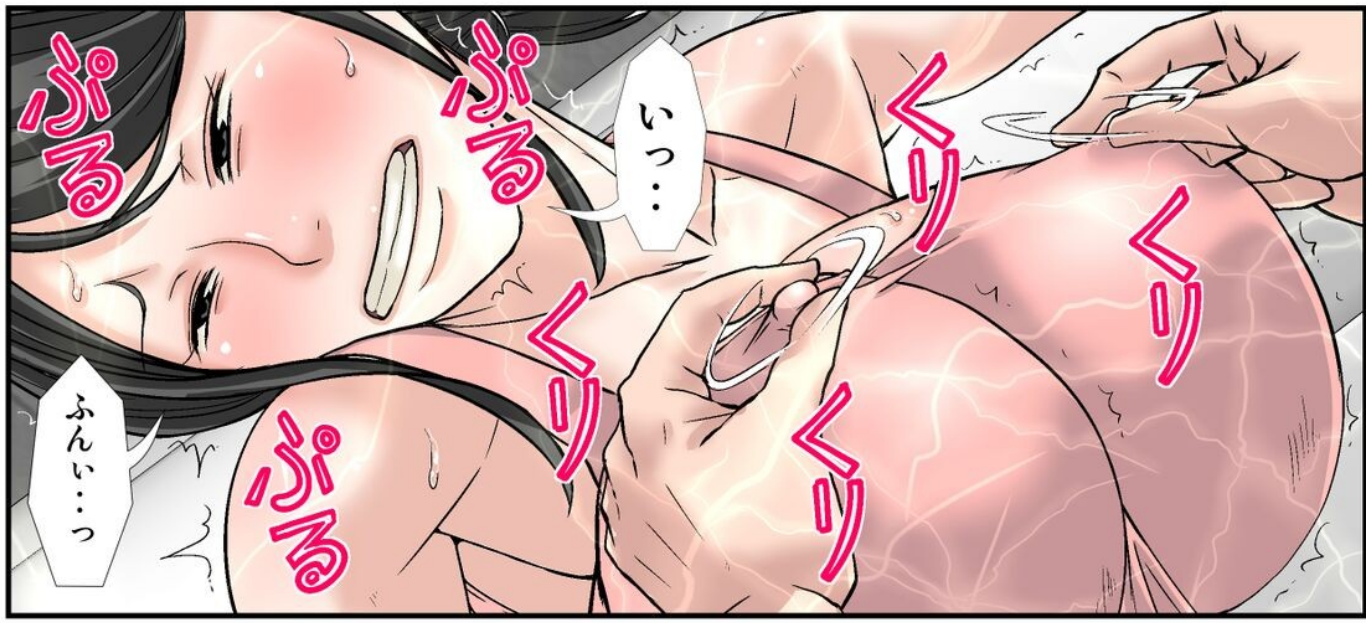

はっ
あっ
はっ
もみ
もみ
もみ
もみ
んっ
ぐにー
はっ
ぐにー

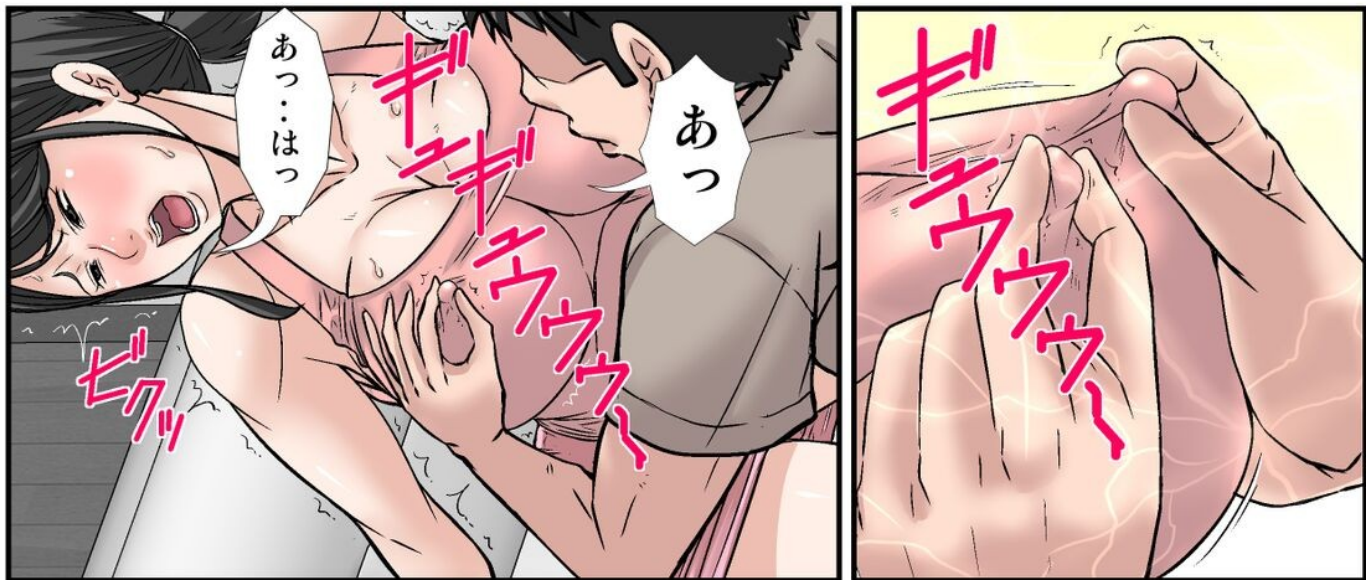

んふっ
ぴくんっ
もみ
ぴくっ
んっ
もみ
もみ
もみ
ふうっ
ぴくっ
んんんんっ！
びくうっ


はっ
もぞ
もぞ
んっ…ふ
じわ～
！
くりっ
あっ！
ビリリッ


んっ・・ふっ
ビクーン
んむっ
くりくり
ふむんっ
ビクーン
あっ
ビクーン
くりくり
あっ
はっ
あんっ
くりくり
！
あ・・！
思わず声・・
ふっ・・
キュッ
んふん・・っ

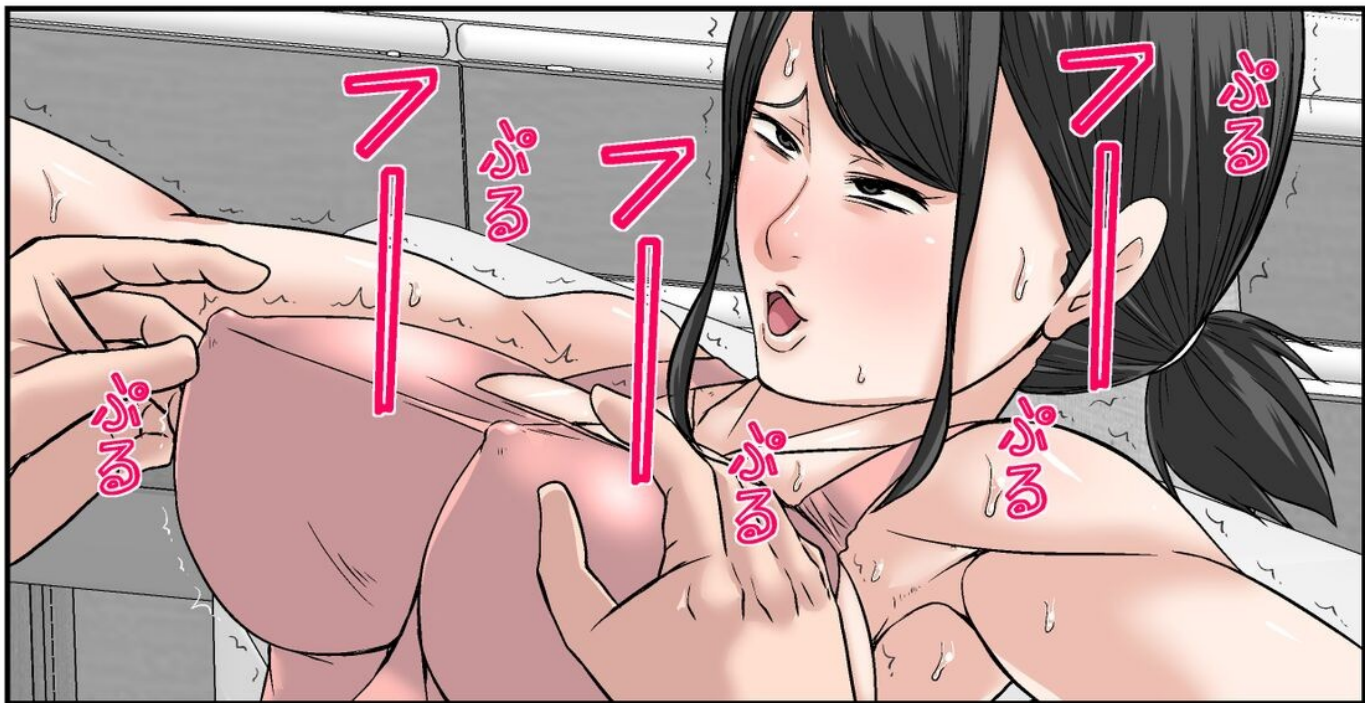

キュッ
ビクッ
ふあっ！
くっ…
クリ
クリ
クリ
ふっ…う

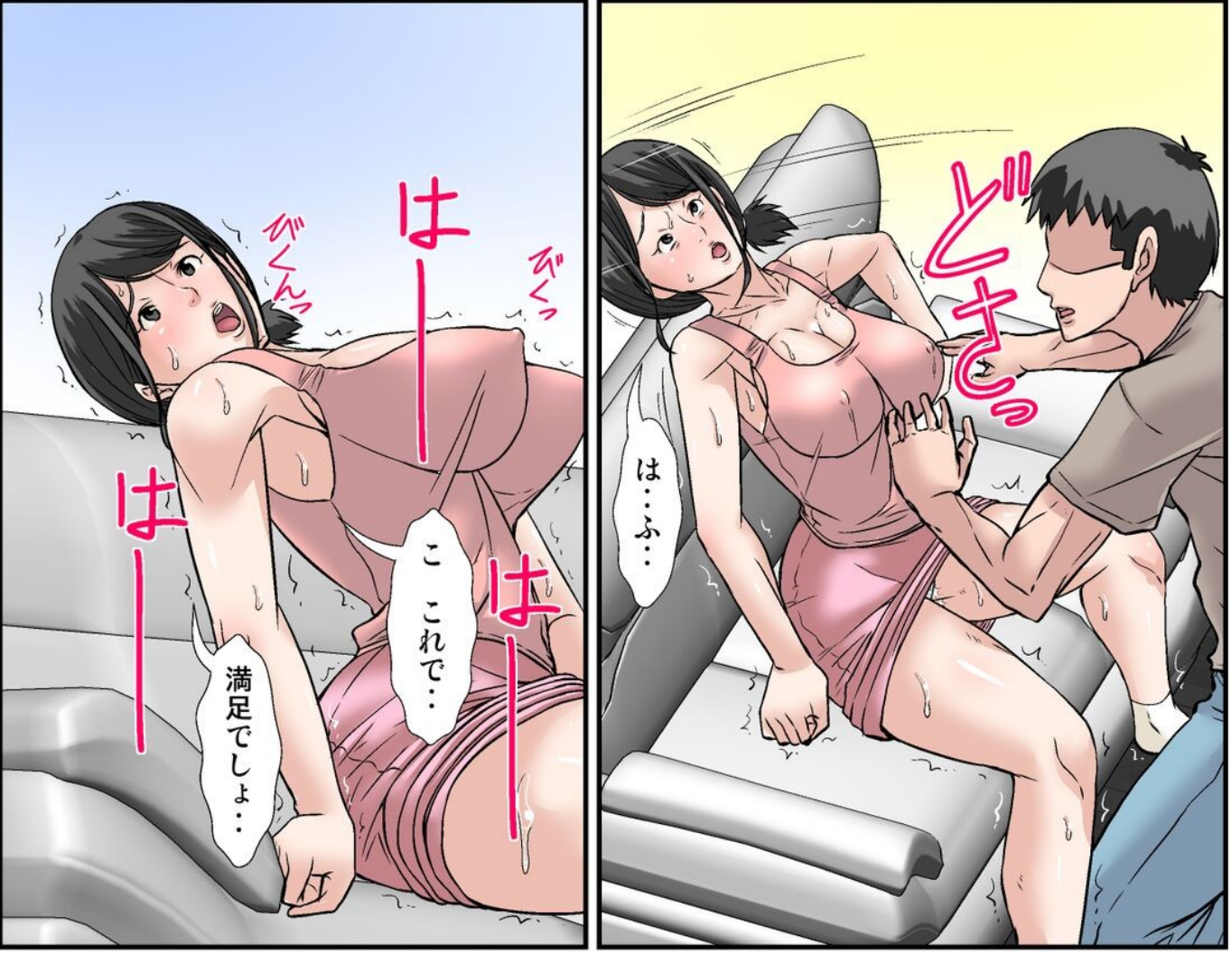

いっ…
クリ
クリ
クリ
ぷる
ぷる
ふんぃ…っ

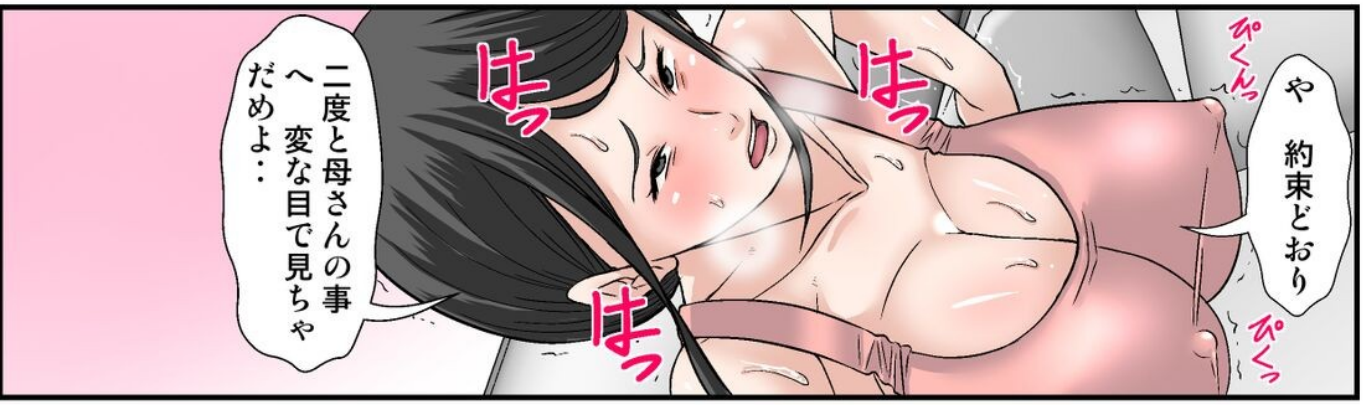

あっ
ギュギュウウウ〜
あっ…はっ
ビクッ
ギュウウウ〜

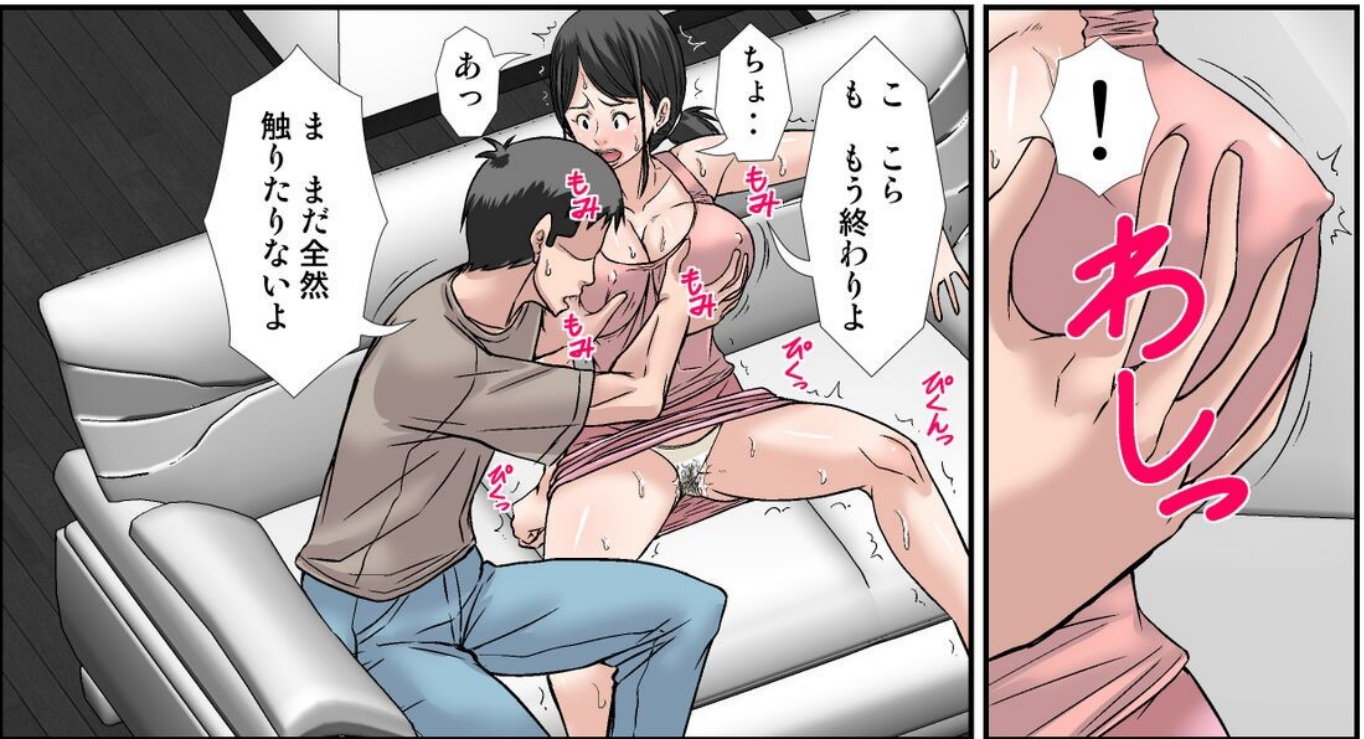
ふっ
ふっ
ふふっ
くりくりくり
んっ・・
んんっ・・
きゅうぅぅぅ
じゅわっ
ふっ
ふっ
ぐぐ・・
くりくりくり
ガシッ
ふっ
！
ふっ
ふっ
ぷる
ふっ
ふっ
ぷる
ふっ
ぷる

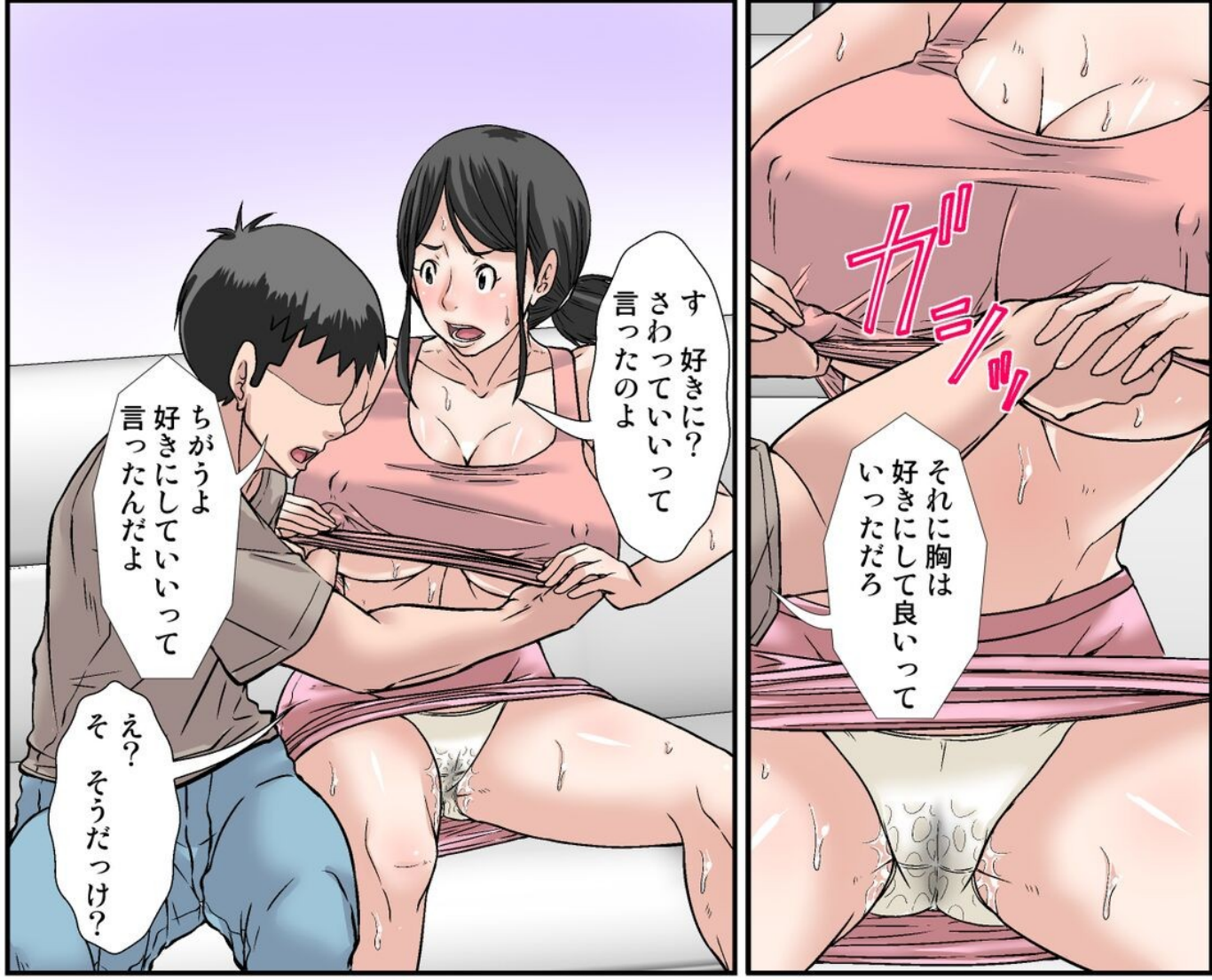
ふんんん～…っ！
レ
ロ
ン
ッ
ロ
ン
ッ
ロ
ン
ッ
ぎゅうううっ
ふっ…
ふう…っ
ぴくんっ
ぴくんっ

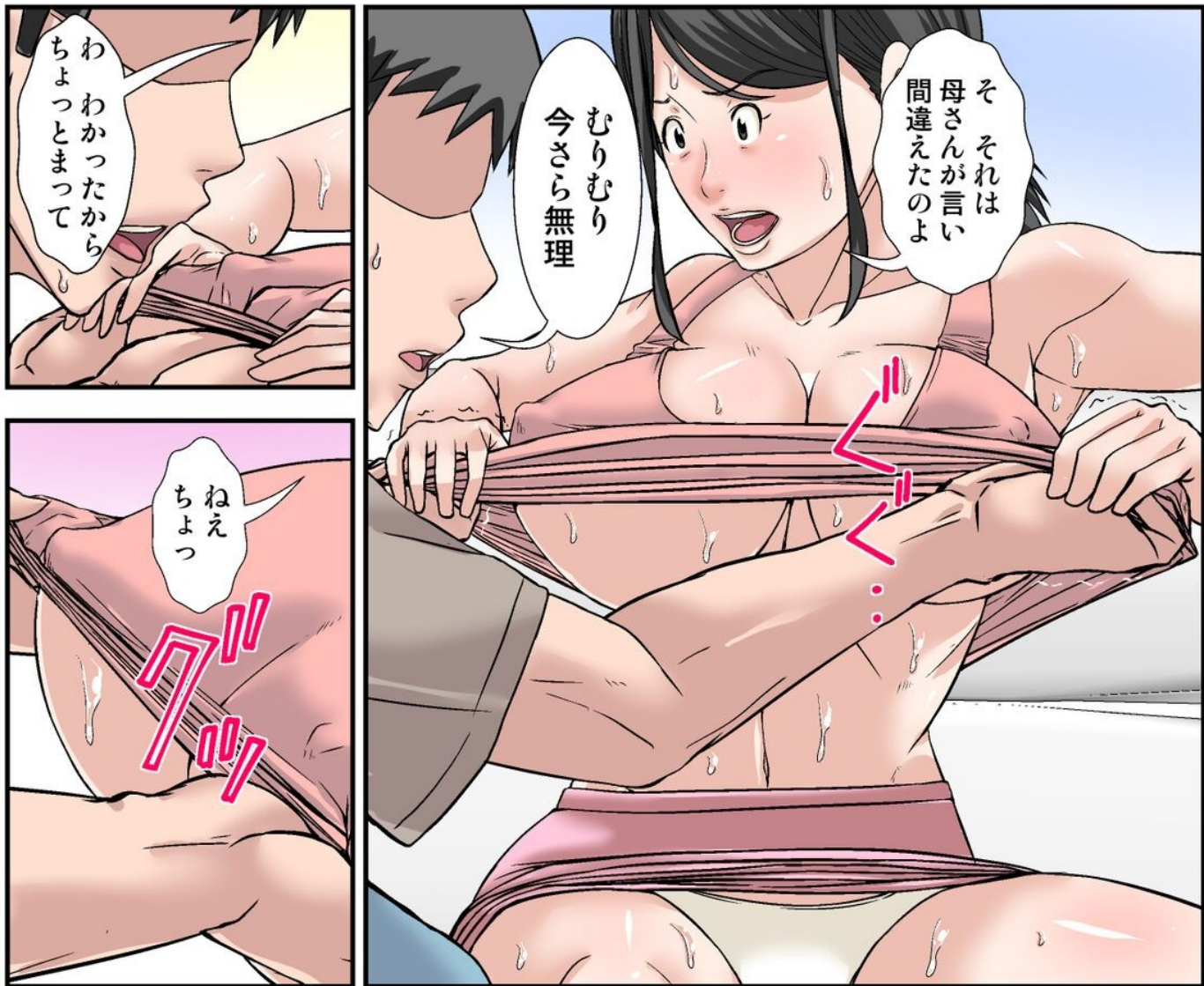

ぷる
フー
ぷる
フー
ぷる
フー
ぷる

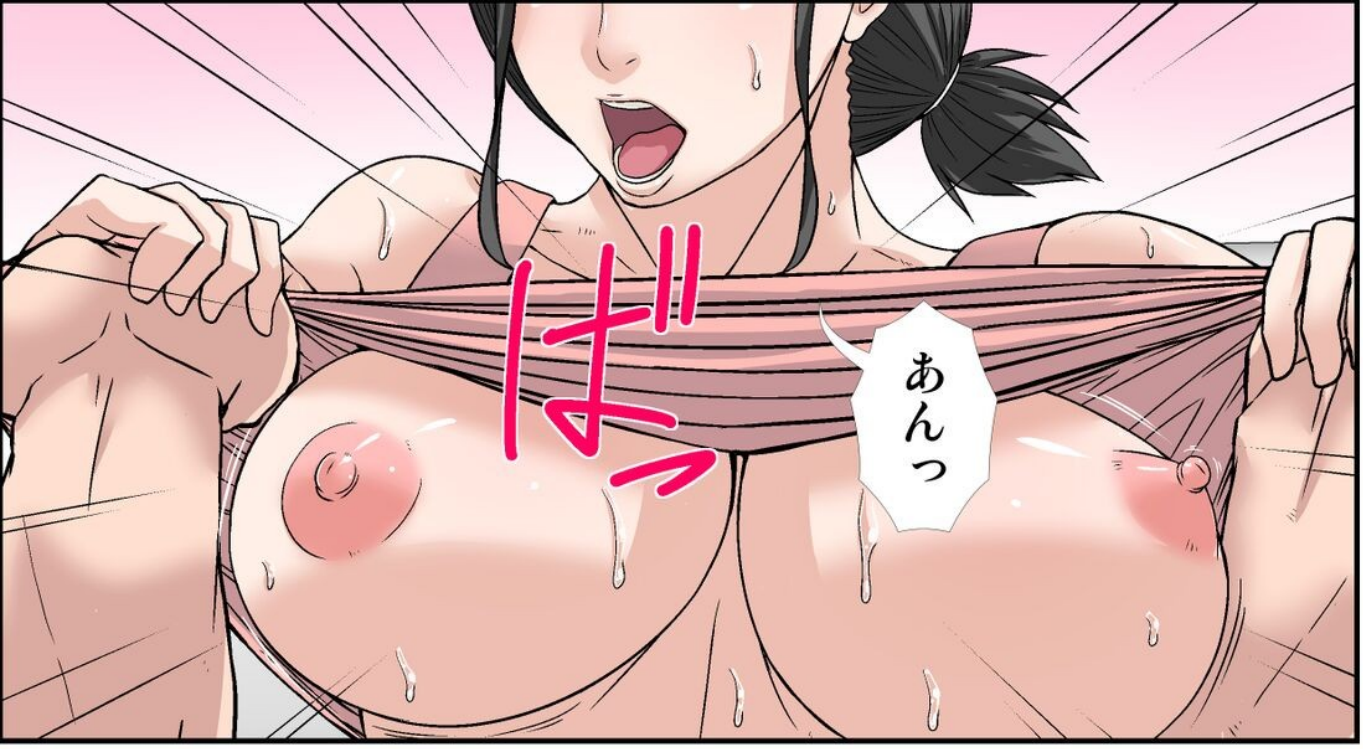

どさっ
は・・ふ・・
はーー
ぴくっ
ぴくんっ
こ　これで・・
はーー
満足でしょ・・


や　約束どおり
ぴくんっ
ぴくっ
はっ
はっ
二度と母さんの事
へ　変な目で見ちゃ
だめよ・・


！
わしっ
こ　こら
も　もう終わりよ
ちょ・・
もみ
もみ
もみ
もみ
ぴくっ
ぴくんっ
ぴくっ
あっ
ま　まだ全然
触りたりないよ

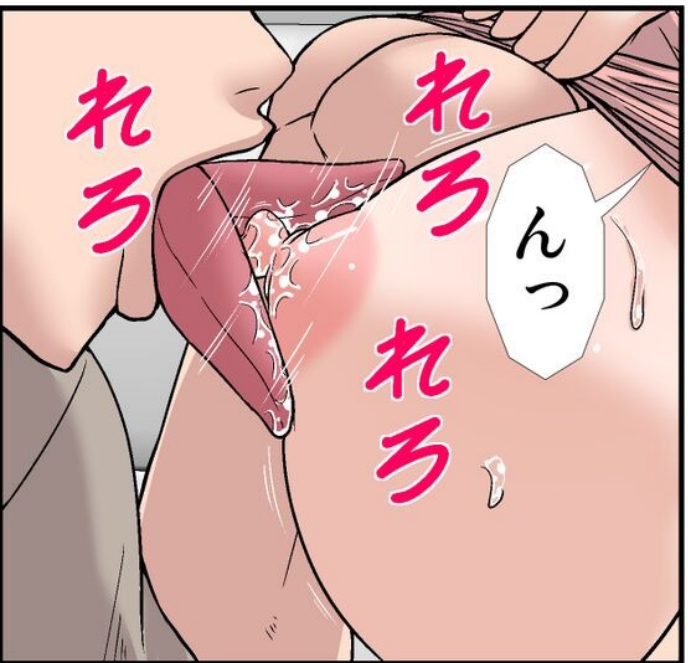

ガシッ
それに胸は好きにして良いっていっただろ
す 好きに？さわっていいって言ったのよ
ちがうよ好きにしていいって言ったんだよ
え？そ そうだっけ？


そ それは母さんが言い間違えたのよ
むりむり今さら無理
わ わかったからちょっとまって
ねえちょっ
グッ
ぐぐぐ・・・

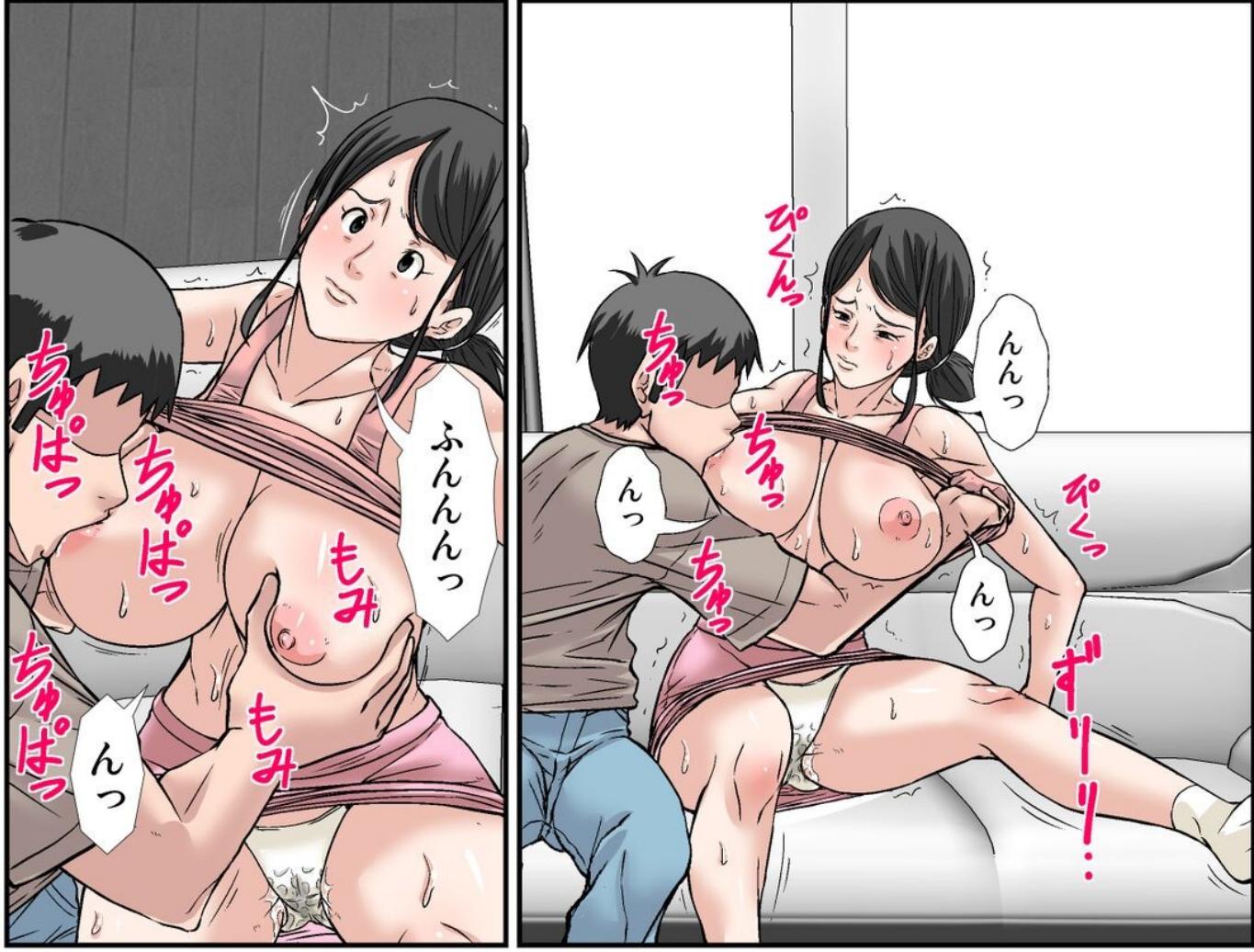

ばっ
あんっ

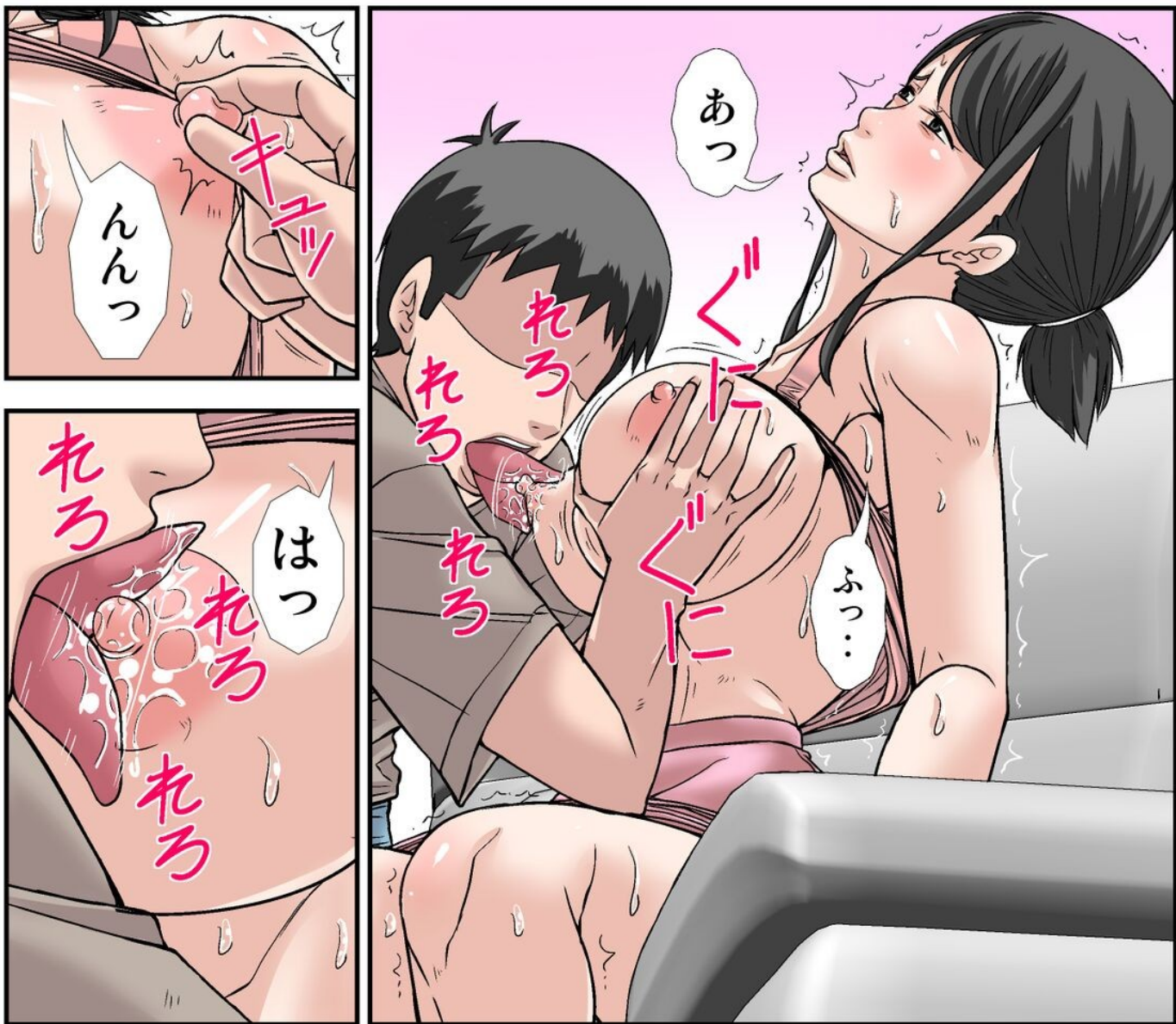
はむっ

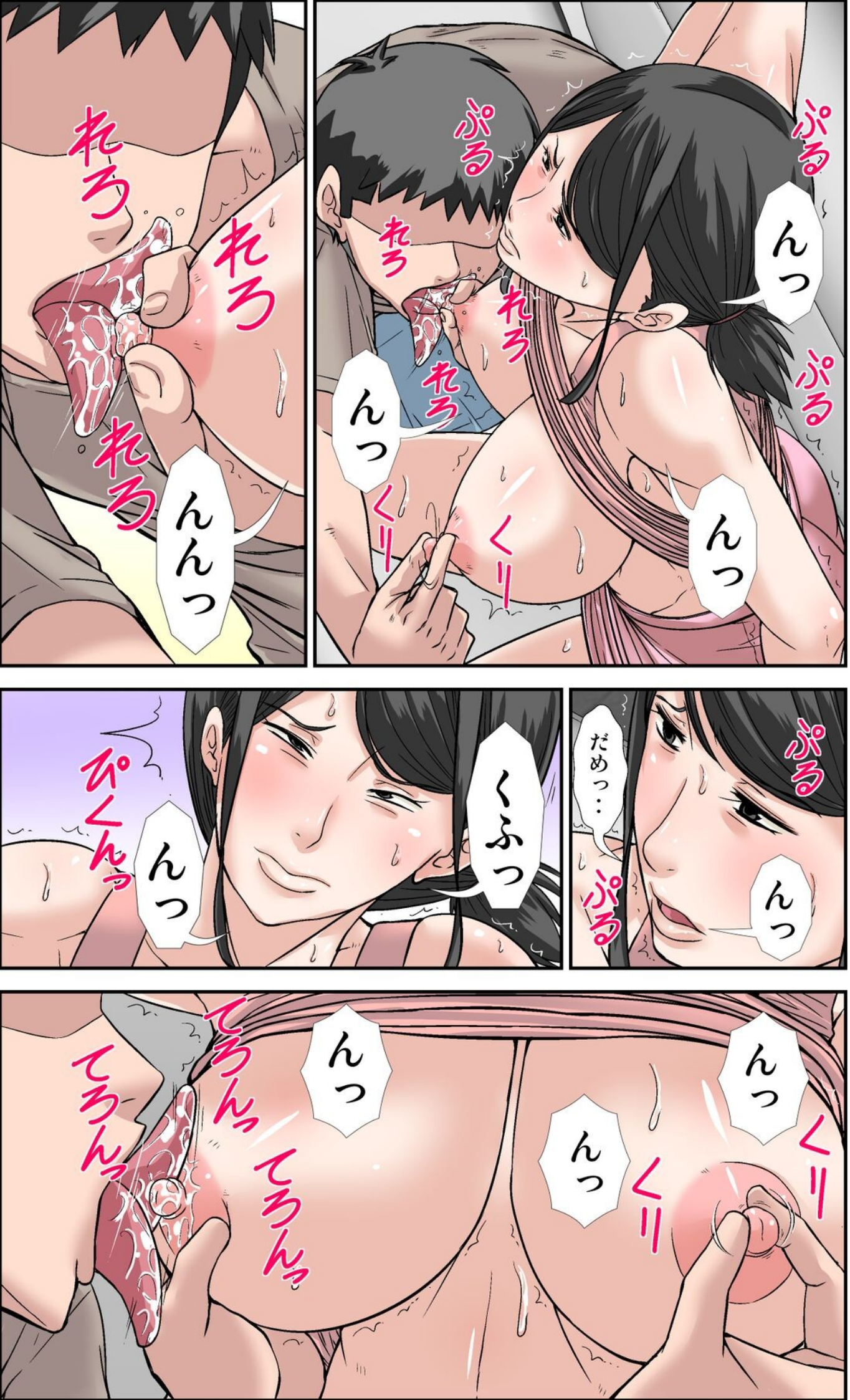
は
あ・・
は


れろ
れろ
れろ
んっ

ぴくっ
ふ・んっ！


ぴくんっ
ちゅっ
んんっ
ちゅっ
ぴくっ
んっ
ずりり…
ふんんんっ
ちゅぱっ
もみ
ちゅぱっ
もみ
んっ

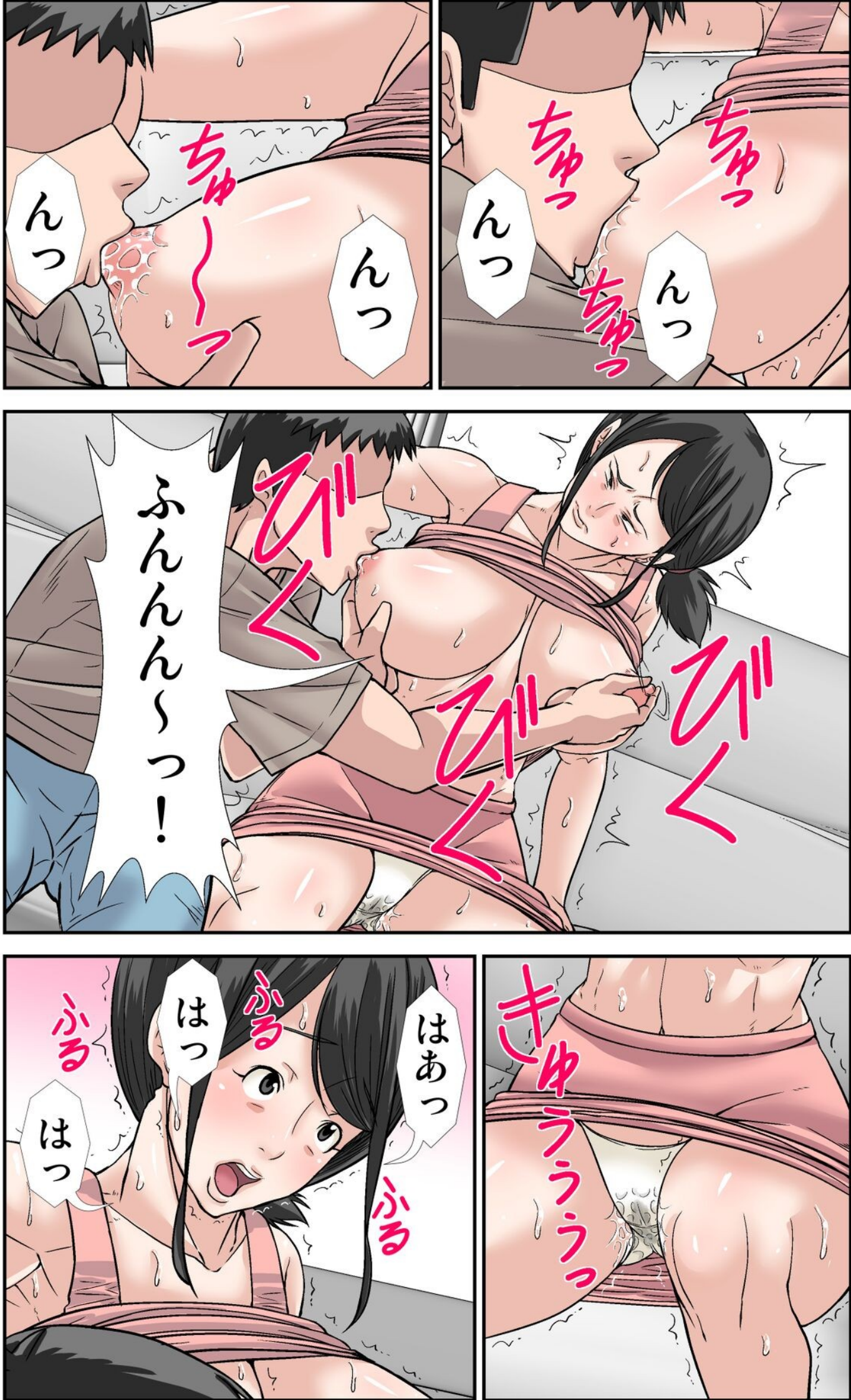

あっ
ぐにぐにぐにぐに
れろれろれろれろ
ふっ…
キュッ
んんっ
はっ
れろれろれろれろ

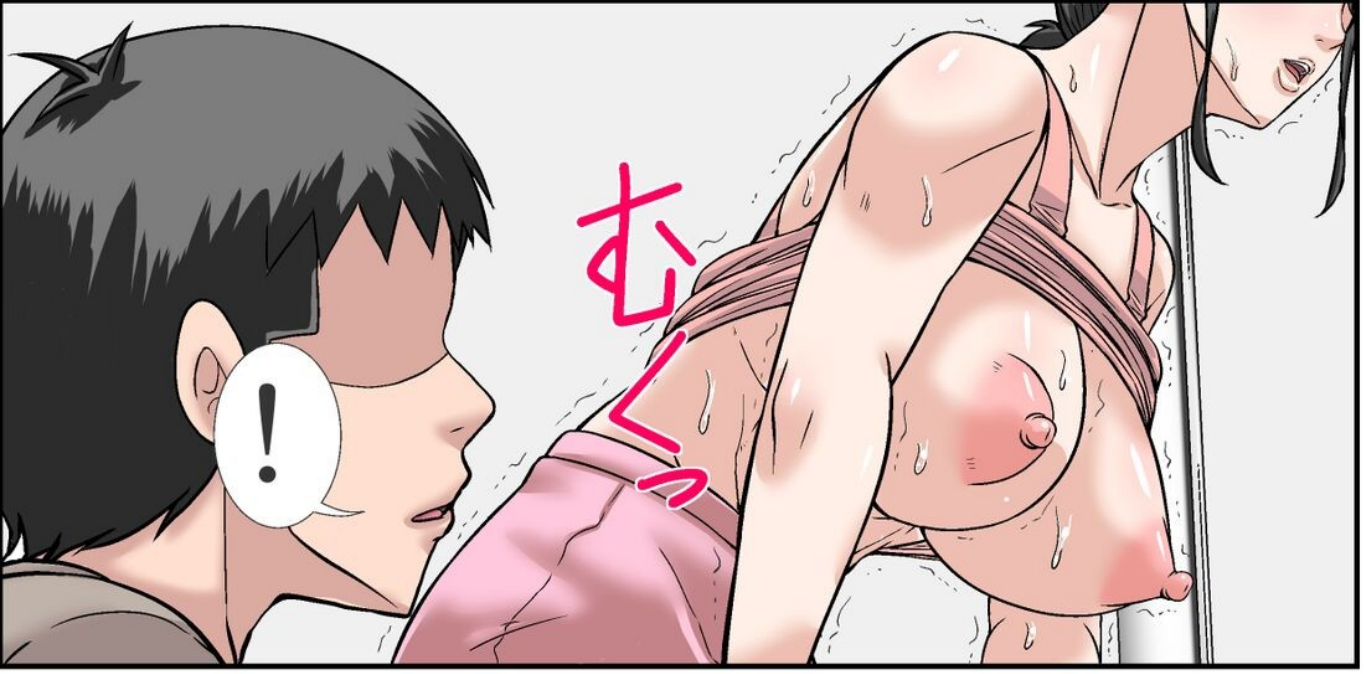

ぷる
んっ
ぷる
れろ
れろ
れろ
んっ
くリ
くリ
れろ
れろ
んんっ

くふっ
んっ
ぴくんっ

ぷる
だめっ…
んっ
ぷる

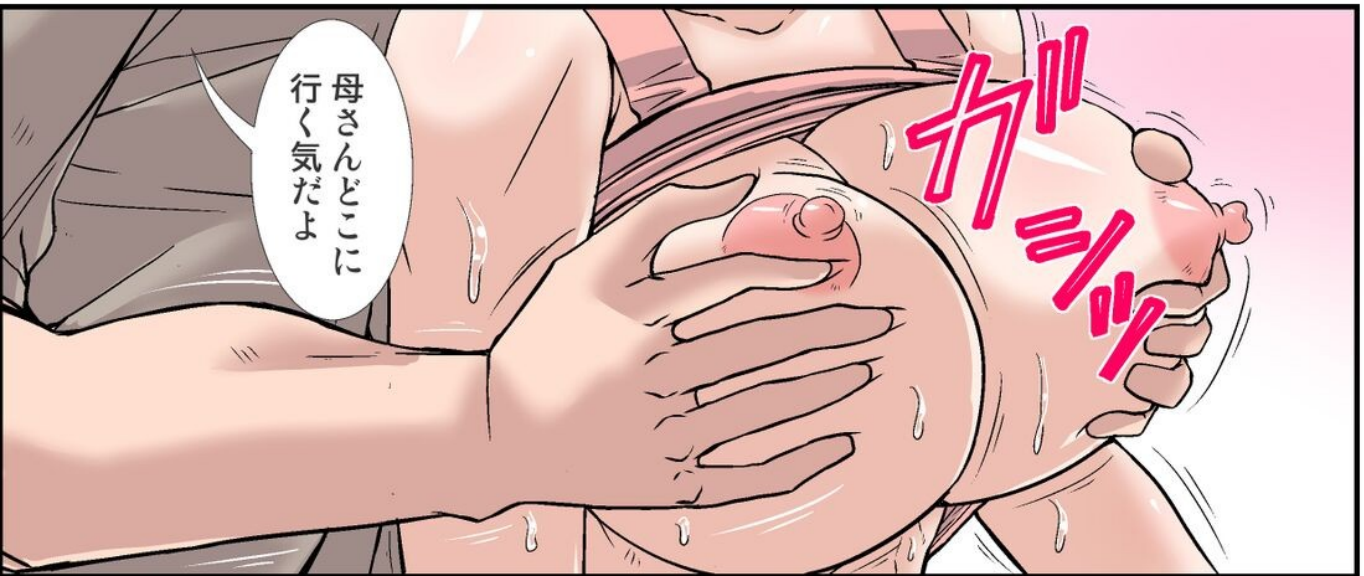
んっ
くリ
んっ
くリ
てろんっ
てろんっ
てろんっ

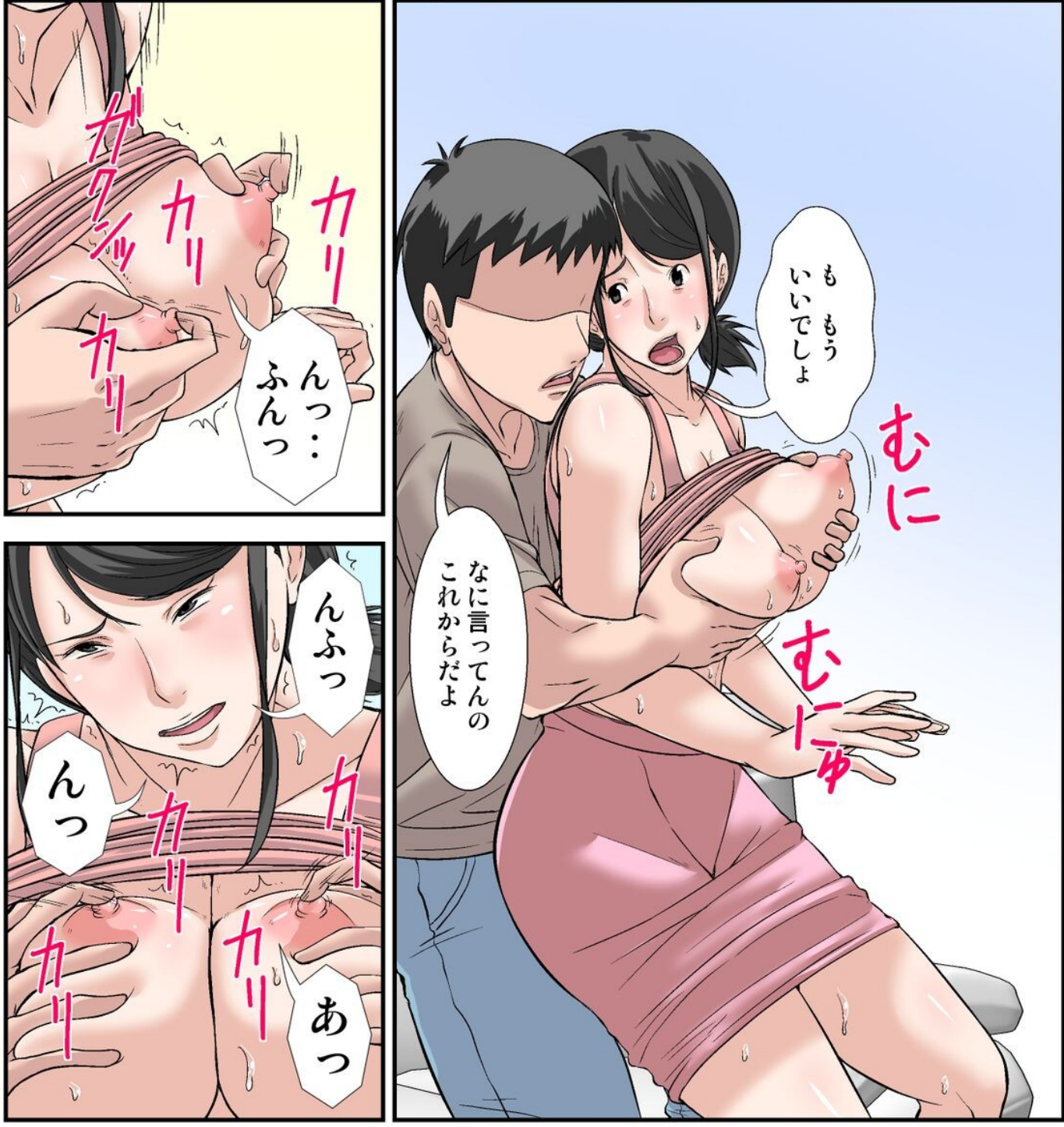

ちゅっ
ちゅっ
んっ
ちゅっ
ちゅ～っ
んっ
んっ
びくっ
びくっ
びくっ
ふんんん～っ！
きゅうううっ
はあっ
ふるっ
はっ
ふるっ
はっ


むくっ
！

ふら
ふら
はー・・
ふら
はー・・

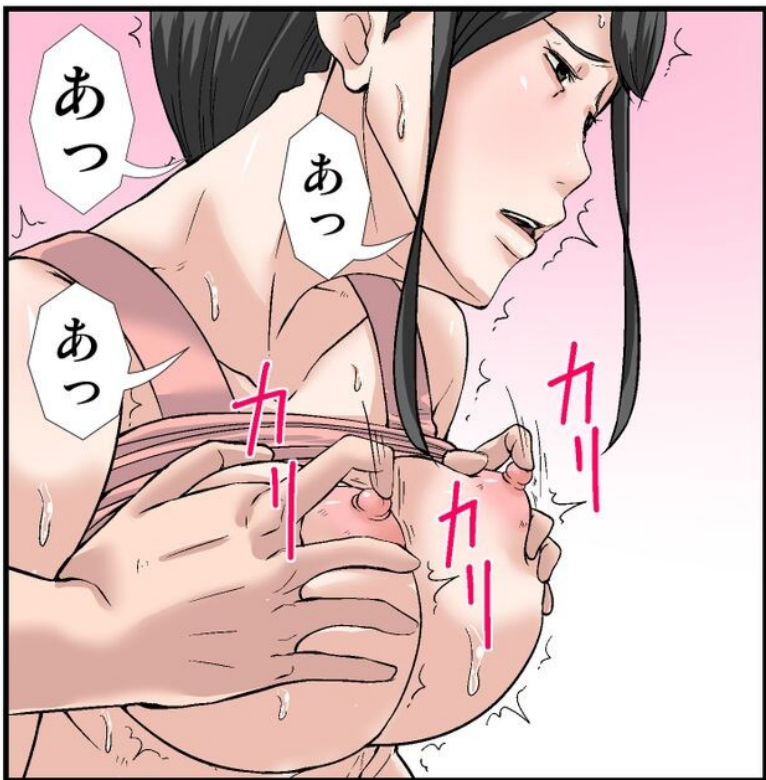
あっ
ガクンッ

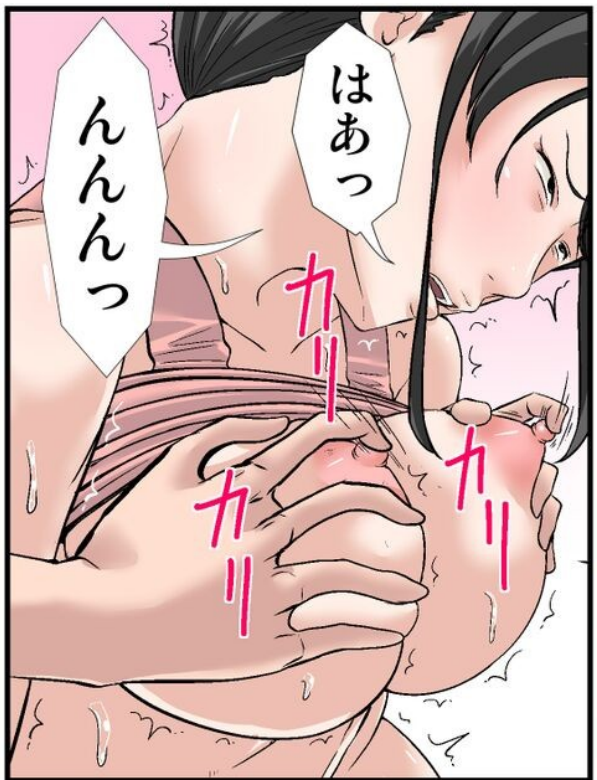

母さんどこに
行く気だよ
ガシッ

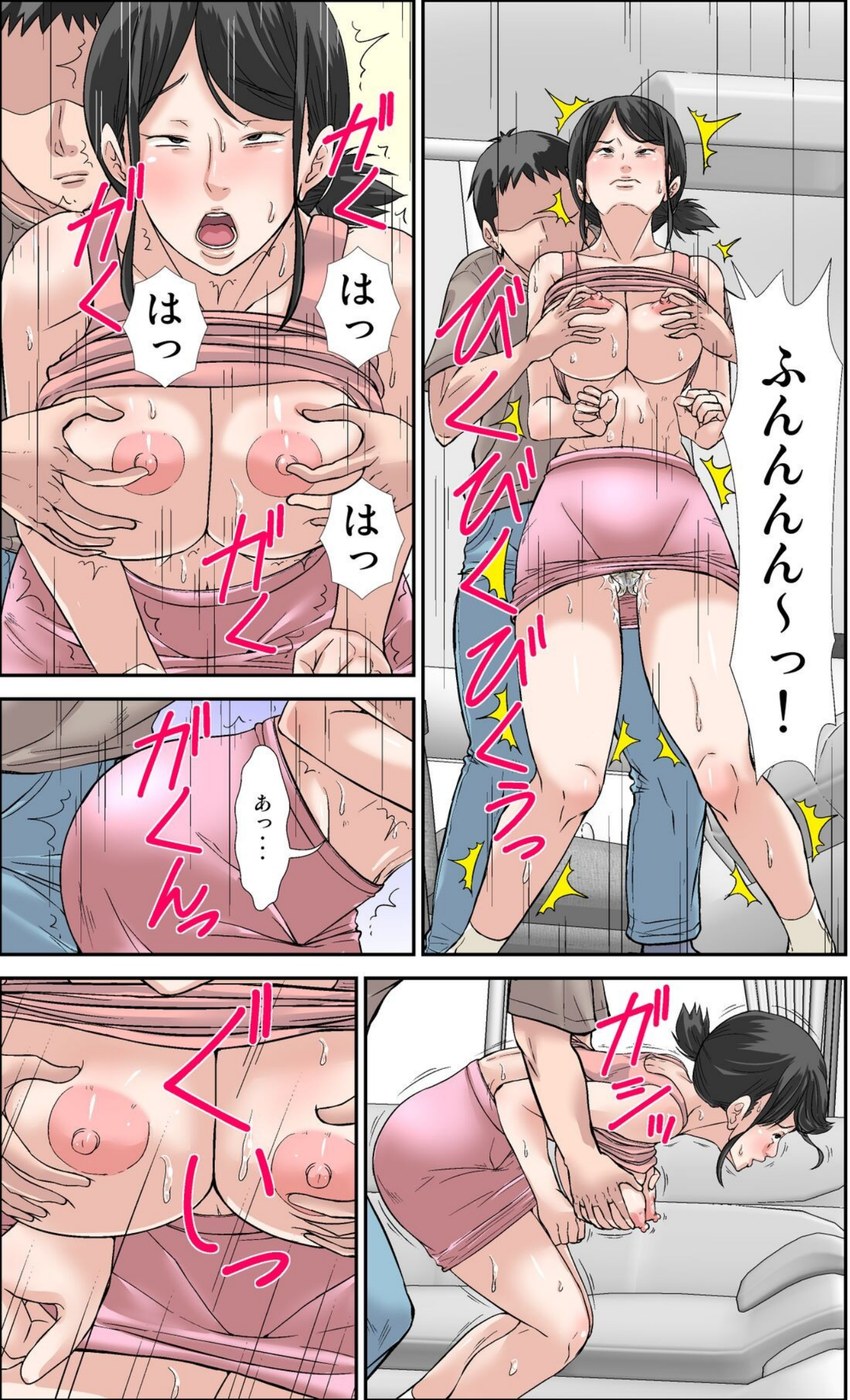

もうもう
いいでしょ
むに
むーゅ
なに言ってんの
これからだよ

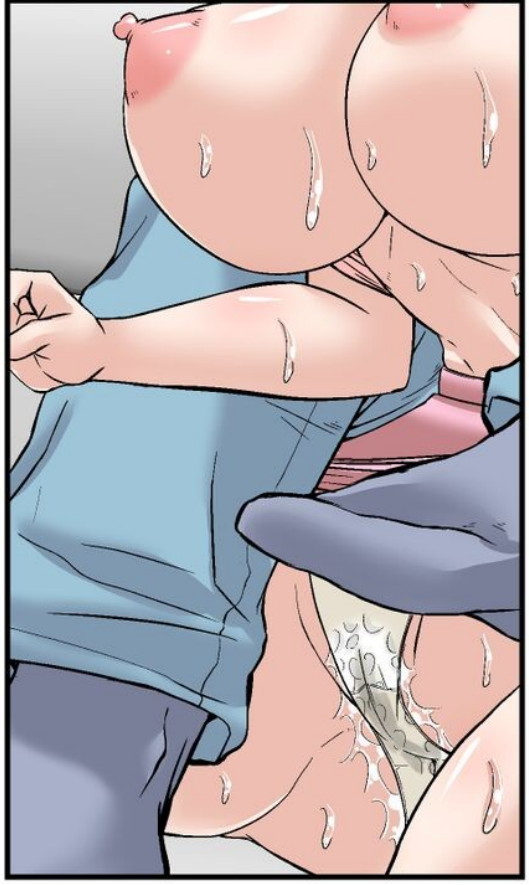
カリ
ガクンッ
カリ
カリ
んっ・
ふんっ

んふっ
カリ
カリ
んっ
カリ
カリ
あっ


あっ
あっ
カリ
カリ
あっ
カリ


はあっ
んんんっ
カリ
カリ
カリ

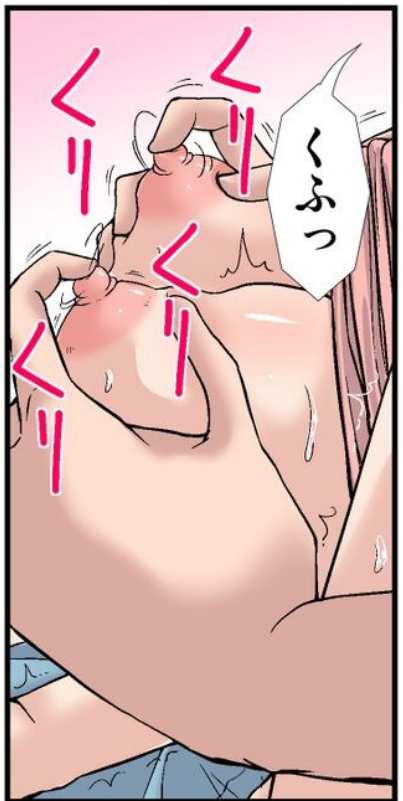

ふんんんん～っ！
ぐぐぐぐぐっ
はっ
はっ
はっ
ガくガくガくっ
あっ…
ガくんっ
ガシッ
ぐぐいっ

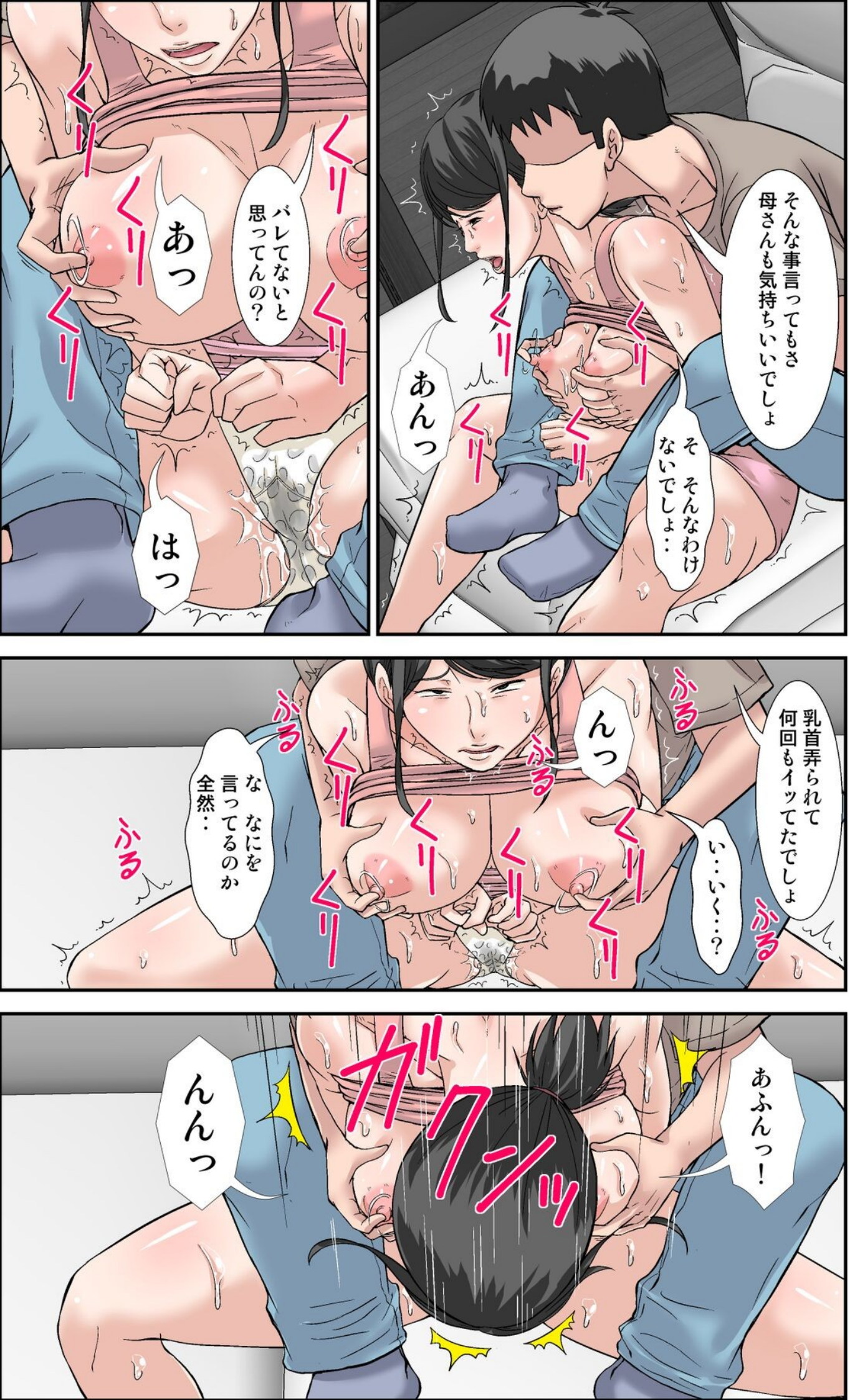


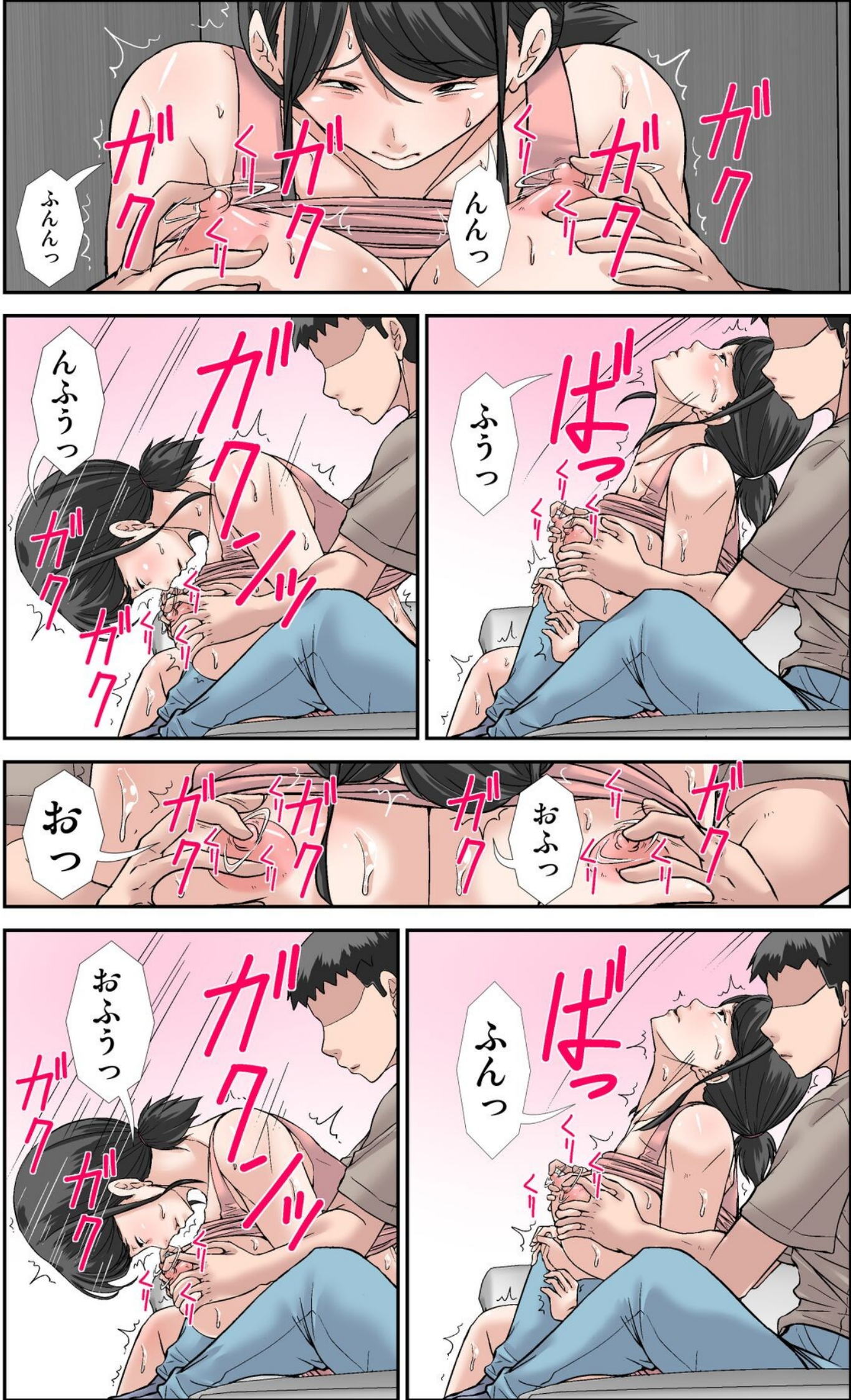
あんっ
ばふっ

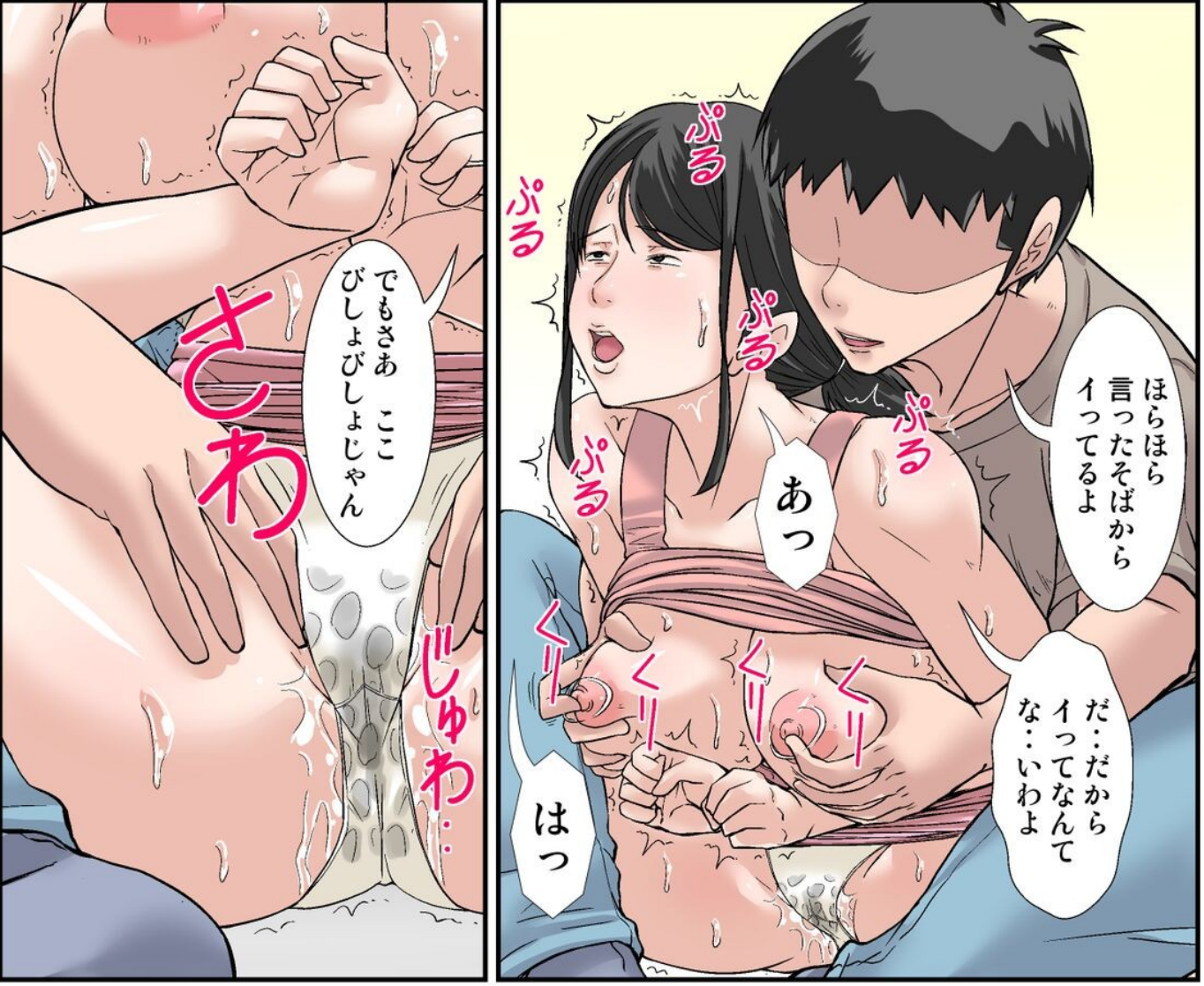
はーー
いいかげんにしなさい

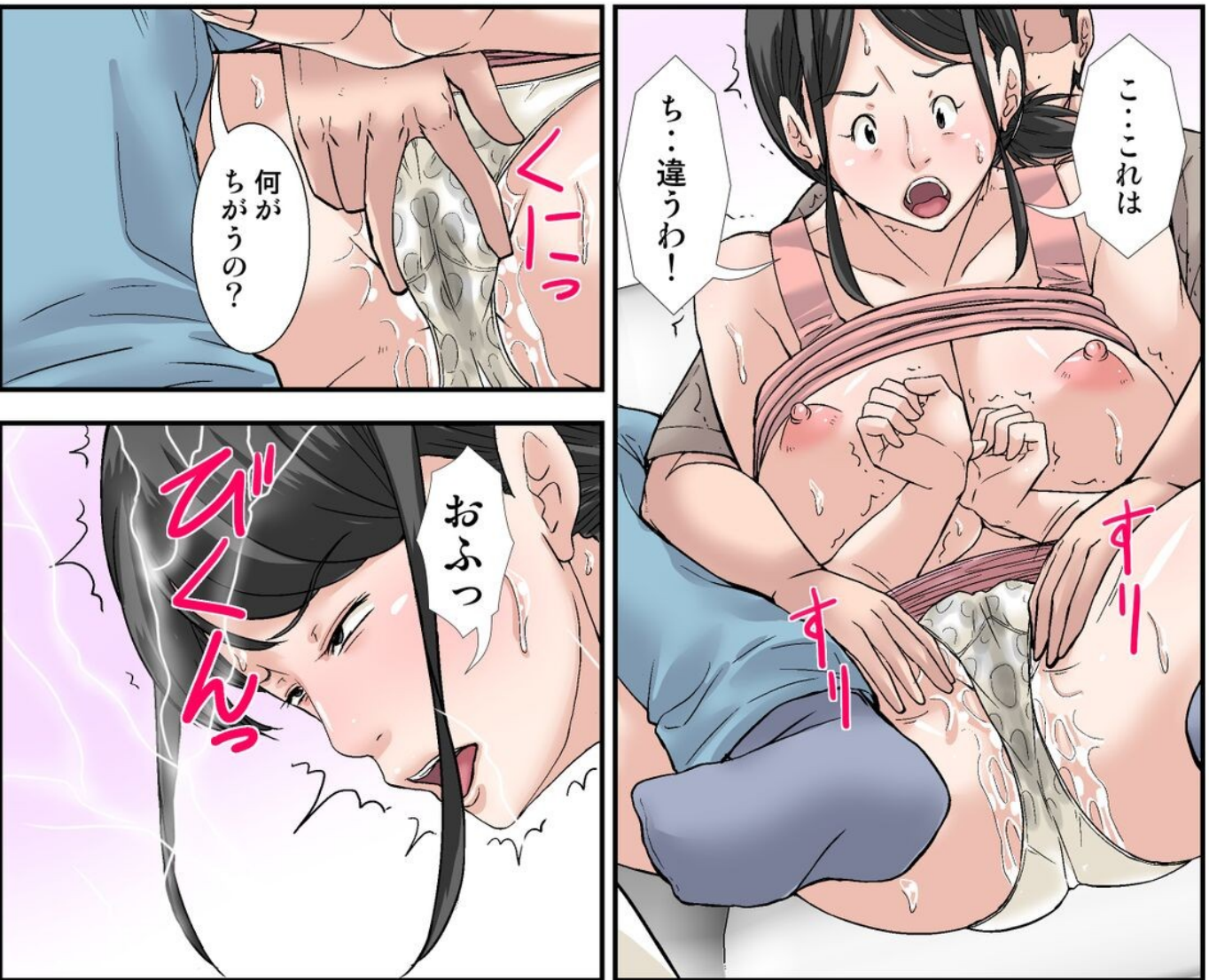
！
ブラ〜ン

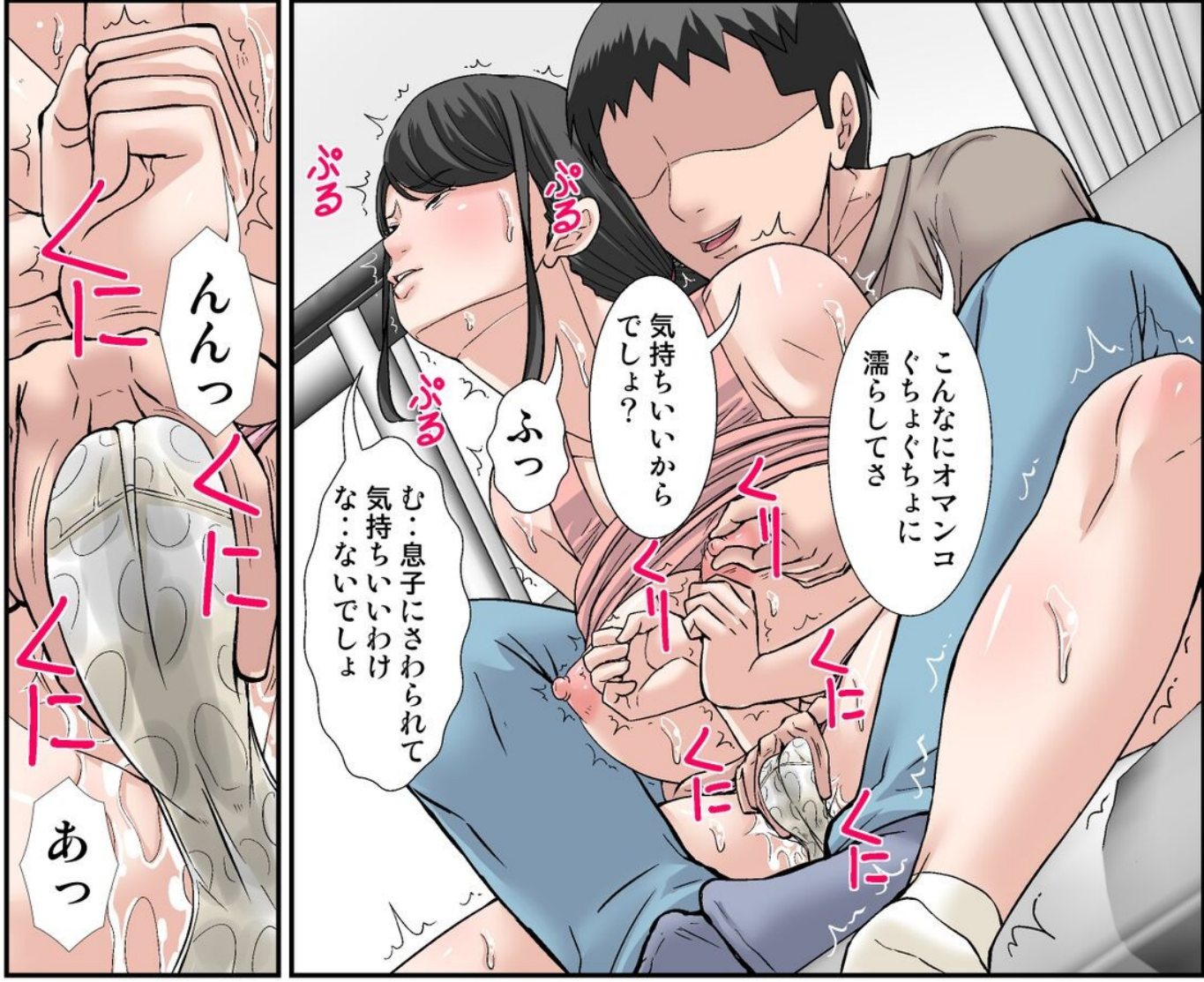

くふっ
くりくりくり

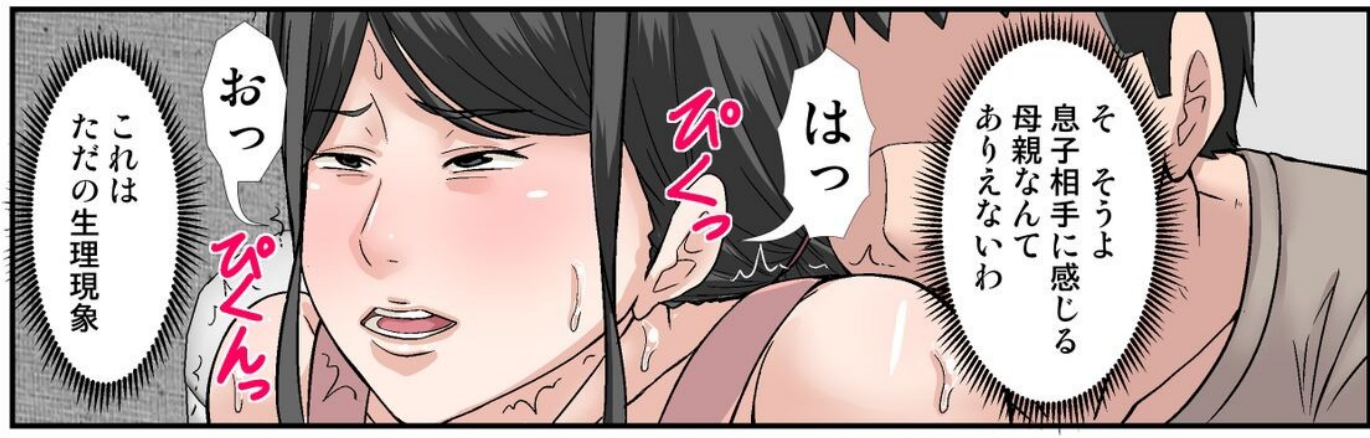

そんな事言ってもさ
母さんも気持ちいいでしょ
そ　そんなわけ
ないでしょ…
あんっ
くりくりくり
バレてないと
思ってんの？
あっ
はっ
乳首弄られて
何回もイッてたでしょ
い…いく…？
んっ
ふるふるふる
な　なにを
言ってるのか
全然…
あふんっ！
ガクンッ
んんっ

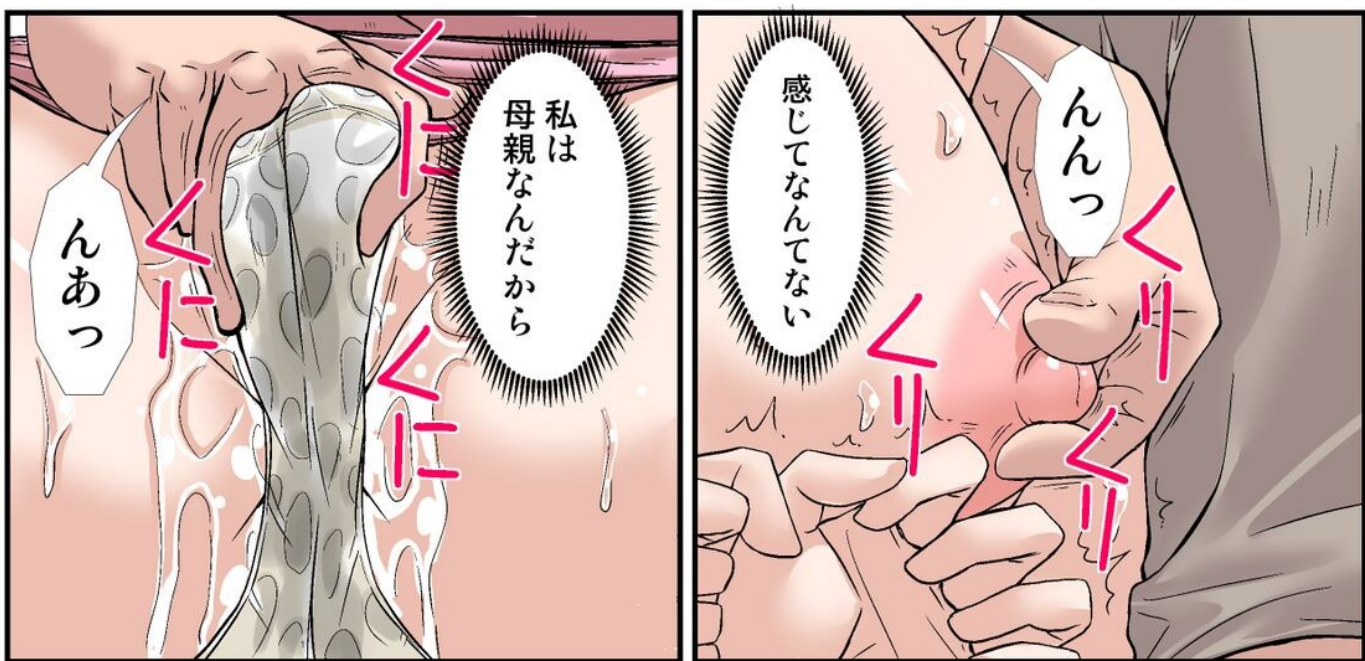

ガク
ガク
ガク
んんっ
ふんんっ
ばっ
ふうっ
ガクンッ
ガクガク
んふうっ
ガクガク
おふっ
おつ
ばっ
ふんっ
ガクンッ
ガクガク
おふうっ

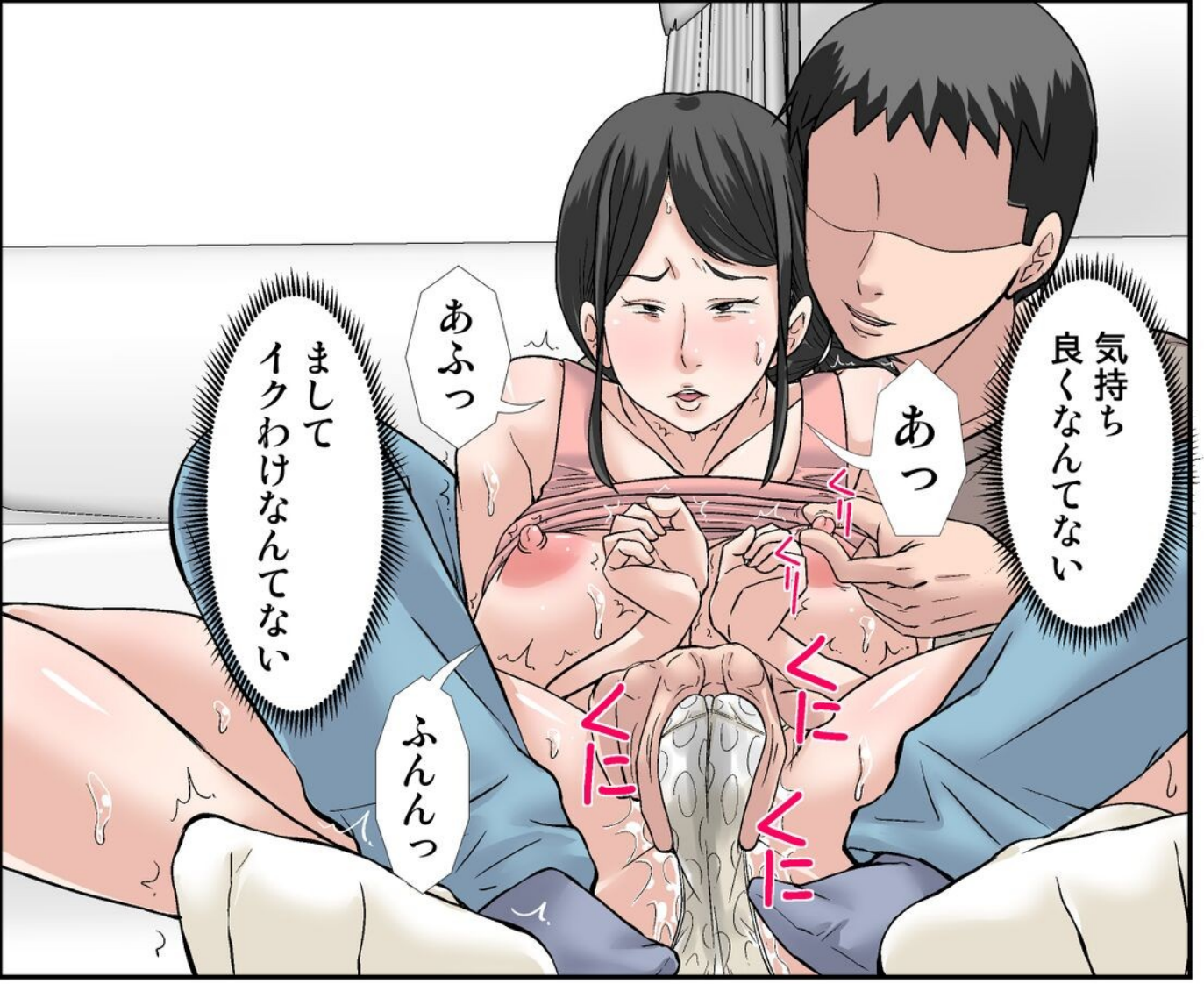

ほらほら
言ったそばから
イってるよ
ぷる
ぷる
ぷる
ぷる
あっ
くり
くり
くり
はっ
だ・だから
イってなんて
な・いわよ
でもさあ
ここ
びしょびしょじゃん
さわ
じゅわ・・

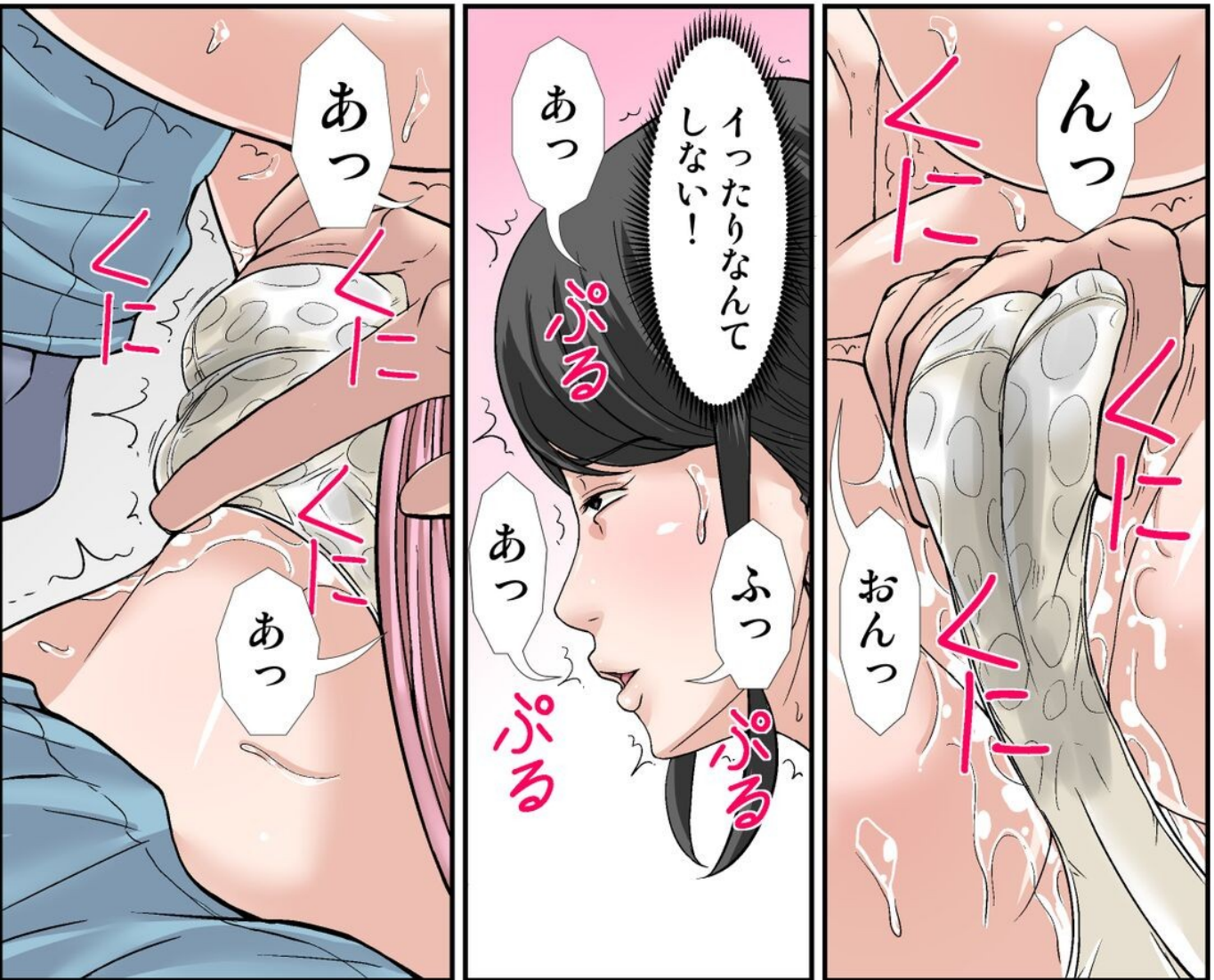

こ・これは
ち・違うわ！
すり
すり
くにっ
何が
ちがうの？
おふっ
びくんっ


こんなにオマンコぐちょぐちょに濡らしてさ
気持ちいいからでしょ？
ふっ
む・息子にさわられて気持ちいいわけな・ないでしょ
ぷる
ぷる
ぷる
くにくにくにくにくにくにくにくに
んんっ
あっ

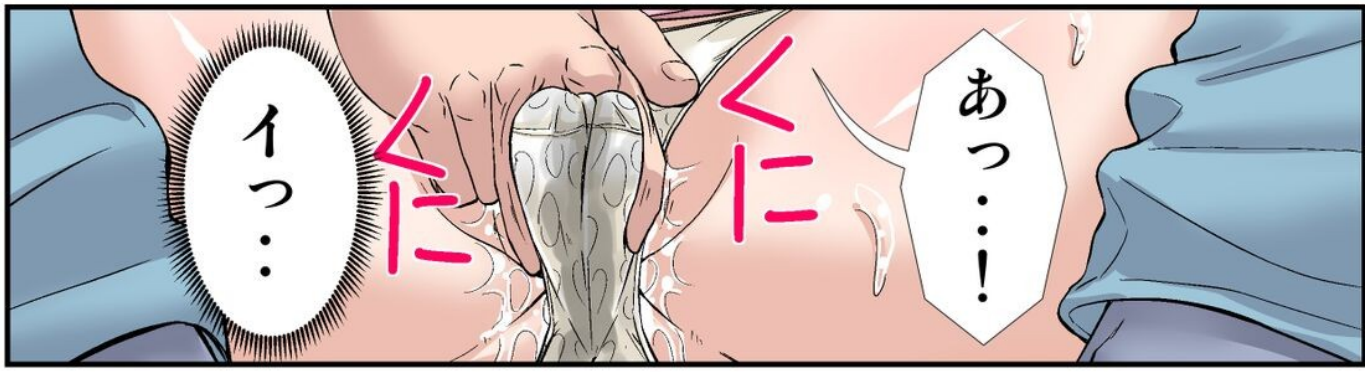

そ　そうよ息子相手に感じる母親なんてありえないわ
はっ
ぴくっ
おっ
これはただの生理現象
ぴくんっ

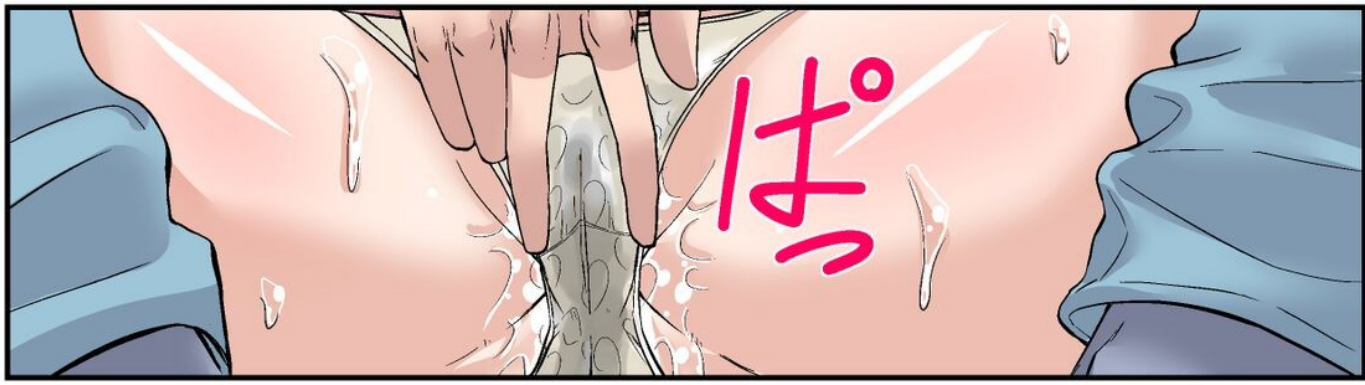

んんっ
感じてなんてない
くりくりくりくり
私は母親なんだから
くにくにくにくにくにくにくにくに
んあっ

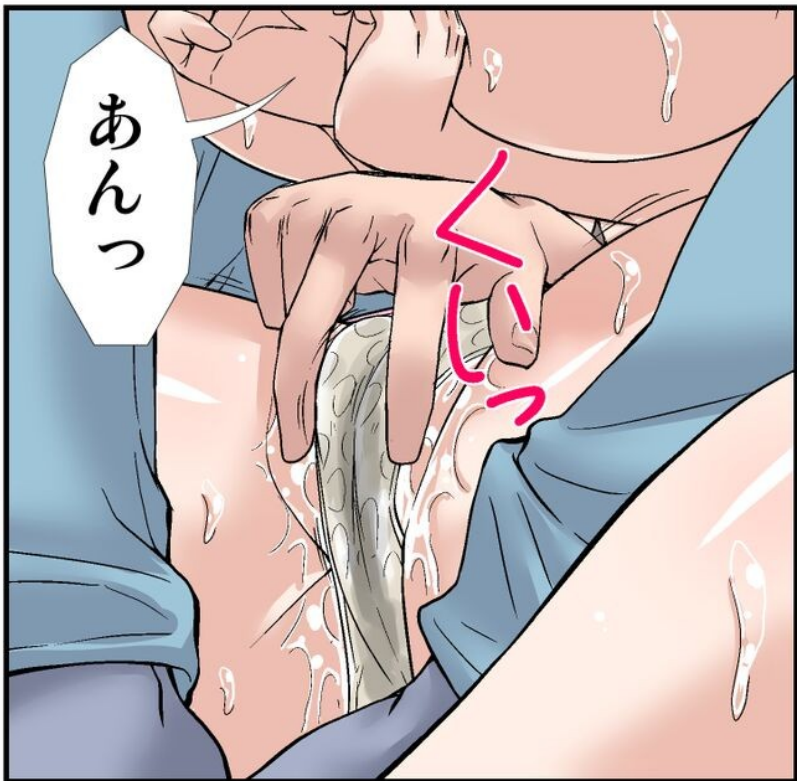

気持ち
良くなんてない
あっ
くりくり
くにくにくに
あふっ
ましてイクわけなんてない
ふんんっ

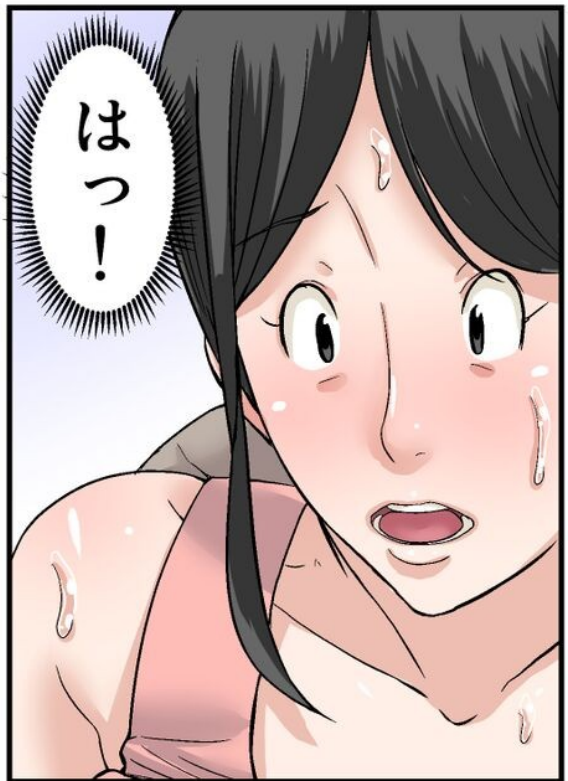

んっ
くにくにくにくに
おんっ
イったりなんてしない！
あっ
ぷるぷるぷる
ふっ
あっ
あっ
くにくにくにくに
あっ

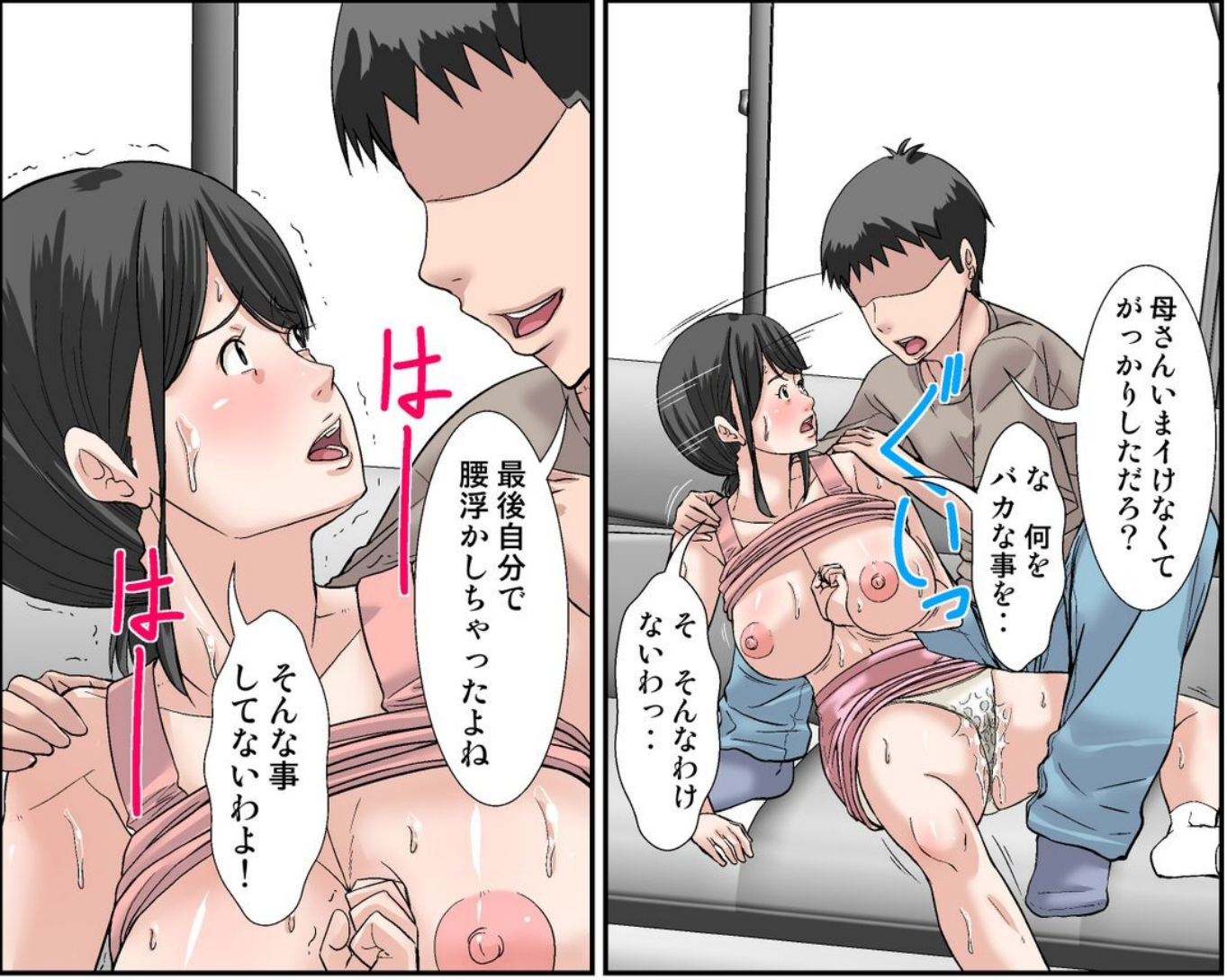
イったりなんて
ふる
あっ
ふる
ふる
あっ
ふる
あっ

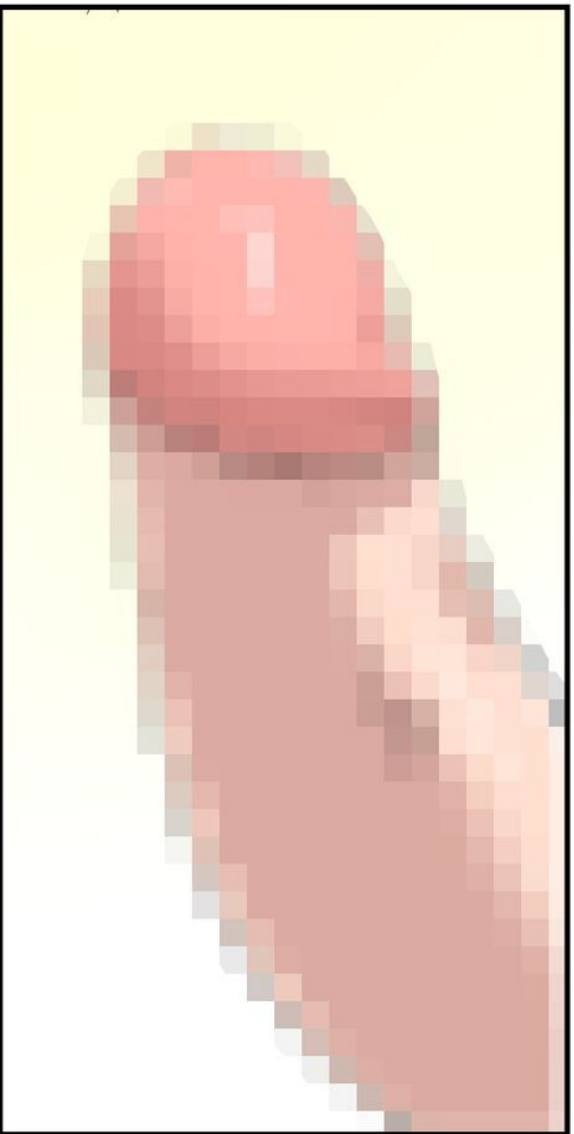

あっ・・！
くに
くに
イっ・・


ぱっ


あんっ
くいっ

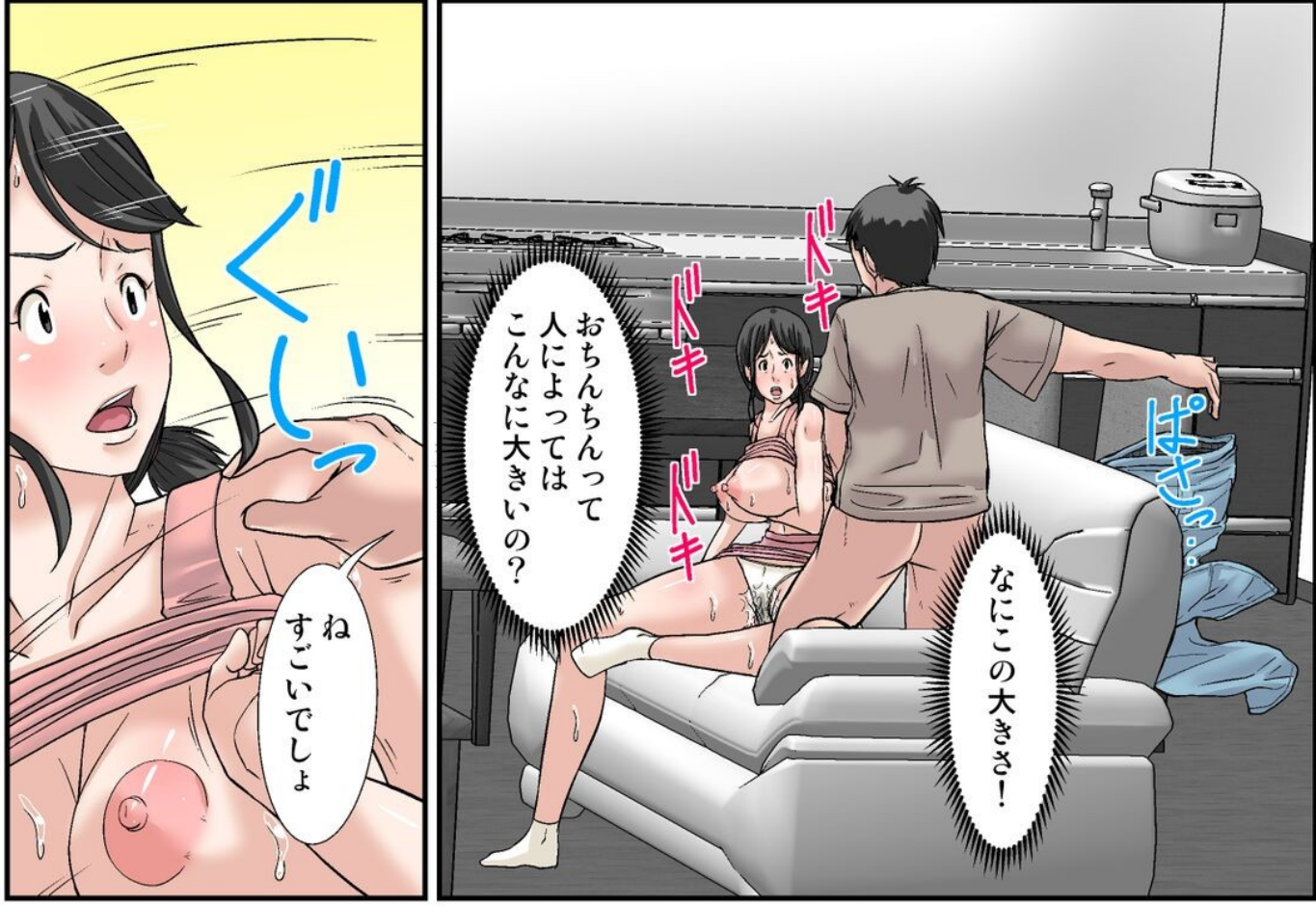

はっ！


母さんいまイけなくてがっかりしただろ？
な 何をバカな事を…
そ そんなわけないわっ…
ぐいっ
最後自分で腰浮かしちゃったよね
そんな事してないわよ！
はー
はー

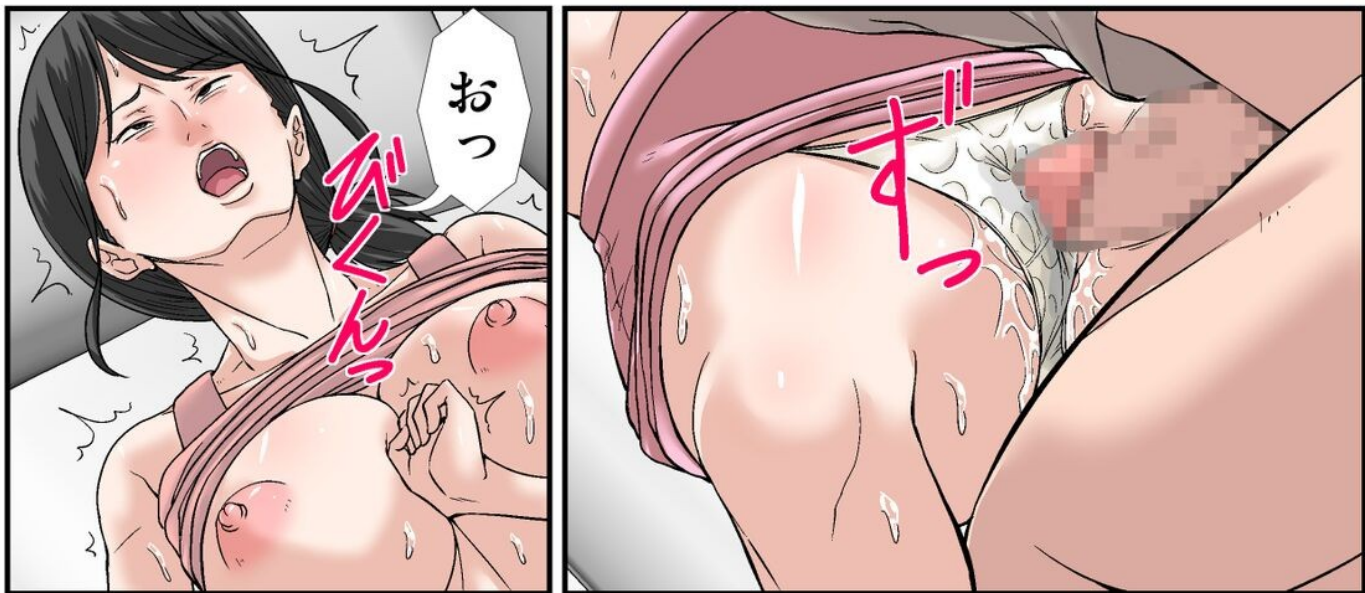


母さんのマンコもぐちょぐちょだけどさオレのも見てよ！
ぐっ
え？

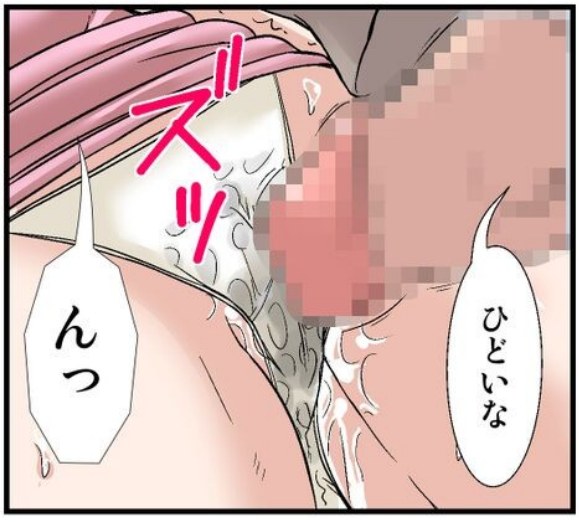
！
ズルッ

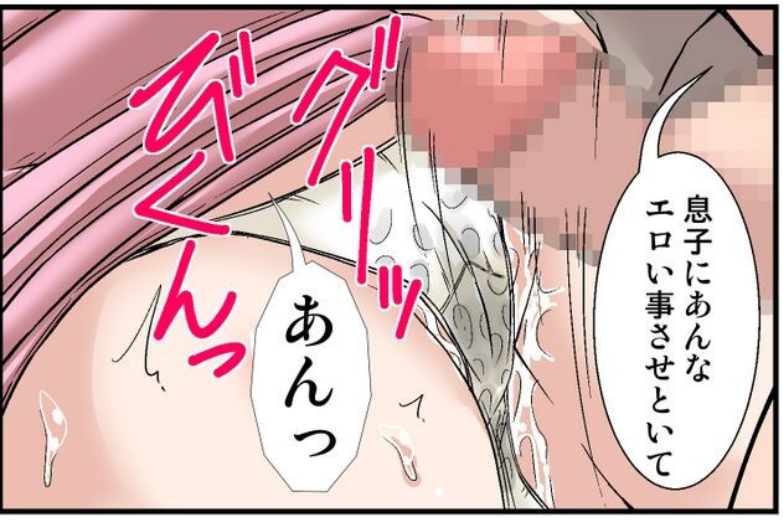

なにこの大きさ！
おちんちんって人によってはこんなに大きいの？
ぱさっ
ビキ
ビキ
ビキ
ねすごいでしょ
ぐいっ

母さんにエロい事してたらこんなになっちゃったよ
あっ
ぼふっ
母さんだけ何度もイッてずるいよ

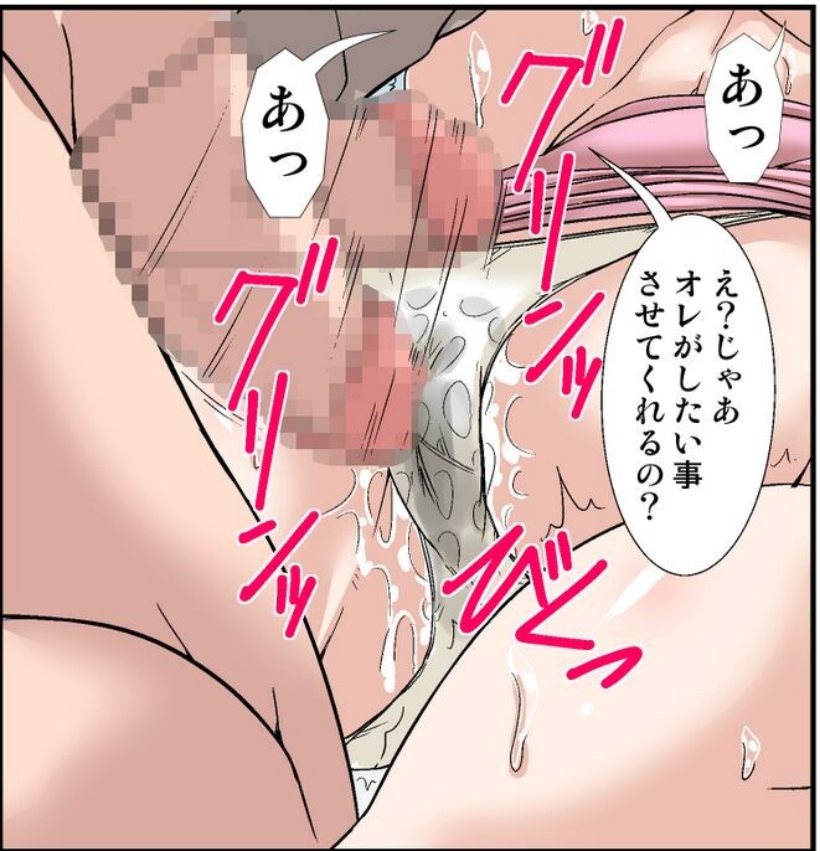

おっ
びくんっ
ずっ

ね？　母さんも
可愛そうだと思うだろ
オレ一人だけこんなんで
我慢させられて
ぐりぐりぐり
あっ
んんっ
そ　そんなの
あんたが勝手に
なったんでしょ・・


ひどいな
ズッ
んっ

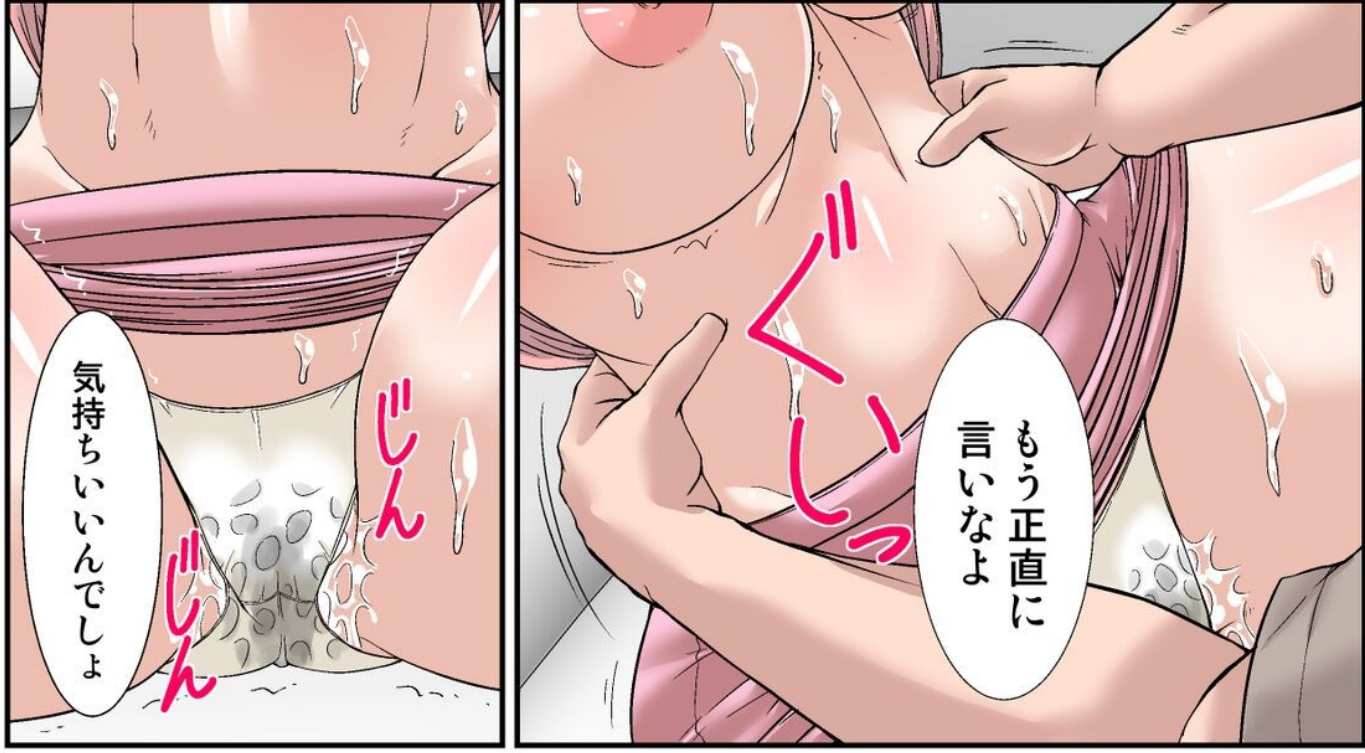

息子にあんな
エロい事させといて
グリッ
びくんっ
あんっ

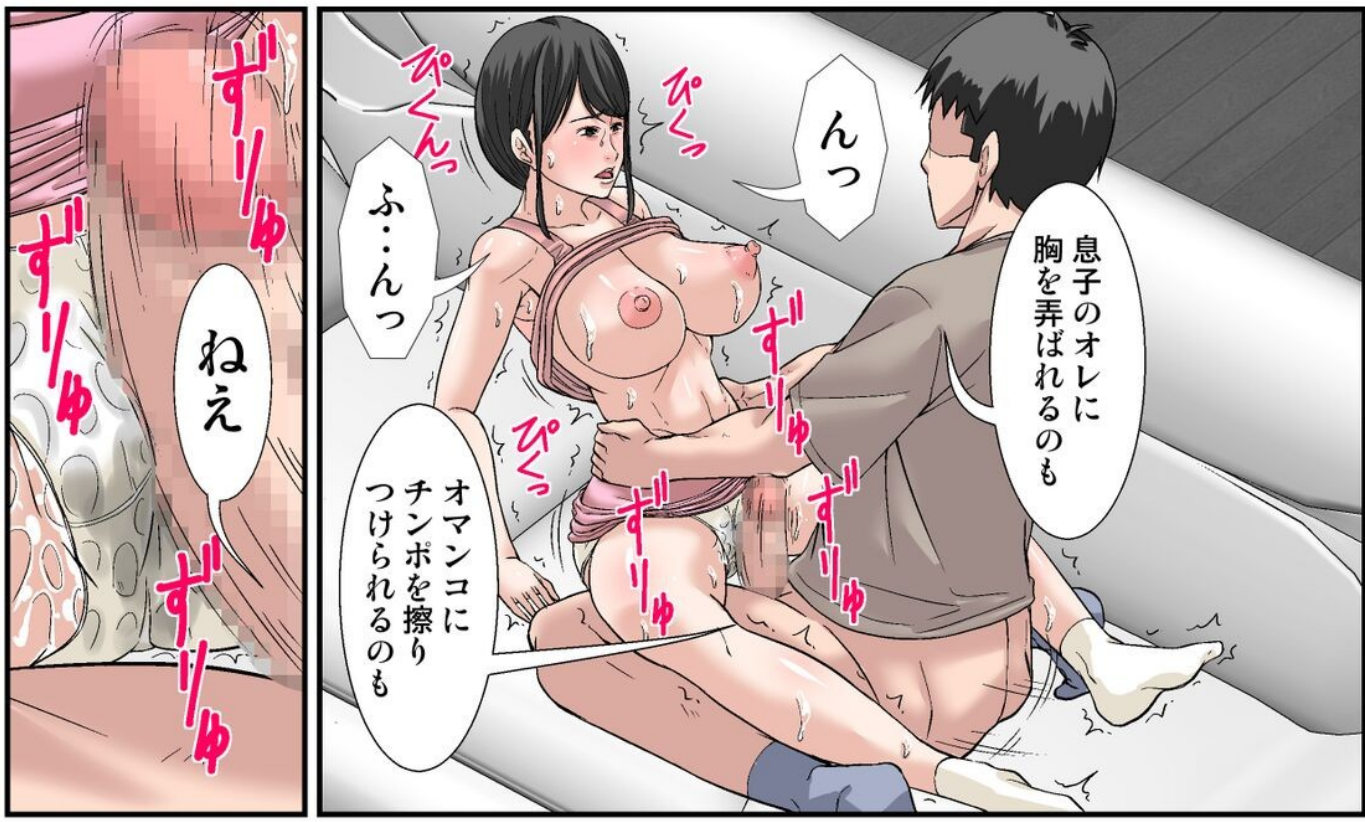
さ・・
させる？
ぴくんっ
あ　あんたが
したいって
言ったんでしょ・・
はっ
はっ


あっ
え？じゃあ
オレがしたい事
させてくれるの？
グリンッ
びくっ
あっ
グリンッ

ズリ
ズリ
はんっ
あっ
はっ
ちゅぱ
ちゅぱ
はっ
ちゅぱ
ちゅぱ
あっ
ぐりんっ
ぐりんっ
そういう事じゃ・・
あんっ
ズリ
ズリ
ズリ
ズリ
あっ
あっ
ちゅば
ちゅば
ちゅば
ちゅば
はっ
はっ
あっ
あっ
ズリ
ズリ
あっ
あっ
ぷる
ぷる
ぷる
ふう・・っ

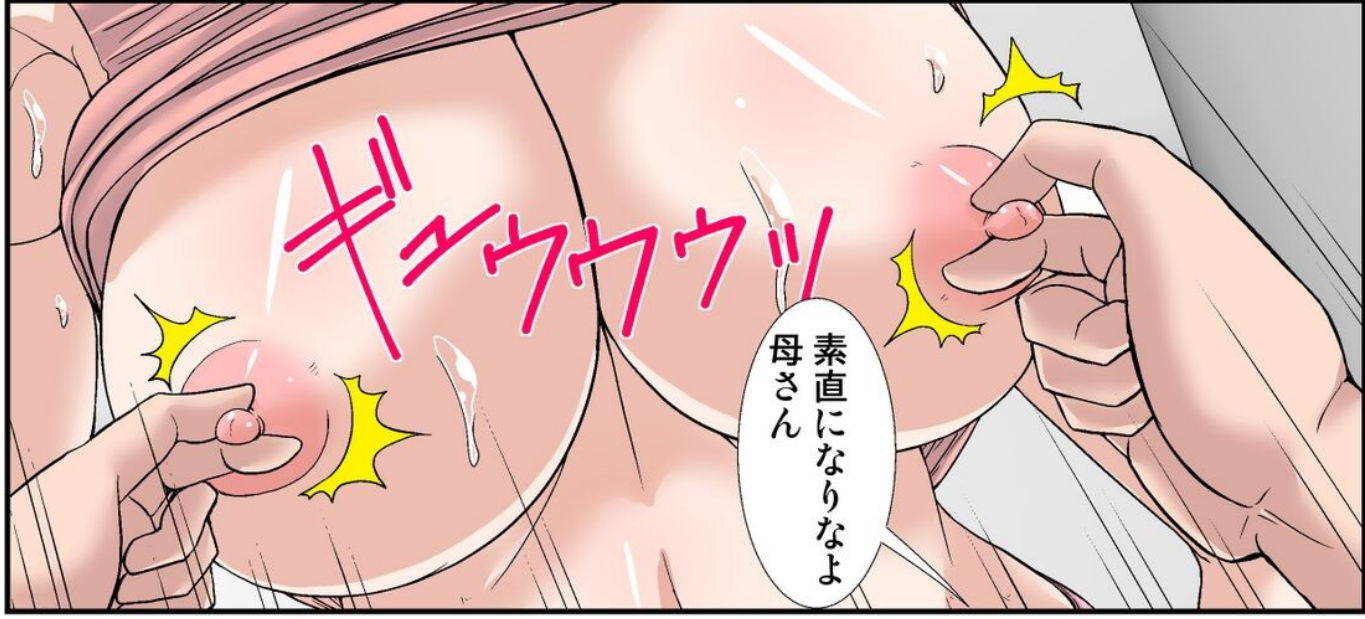
ぐぃんっ
あんっ
ぱっ
あっ・・
！
また腰浮いちゃったね
母さん
はーはー


もう正直に言いなよ
ぐいっ
気持ちいいんでしょ
じん
じん


息子のオレに胸を弄ばれるのも
んっ
ぴくっ
ふ‥んっ
ぴくんっ
オマンコにチンポを擦りつけられるのも
ぴくっ
ずりゅ
ずりゅ
ずりゅ
ずりゅ
ねえ
ずりゅ
ずりゅ
ずりゅ

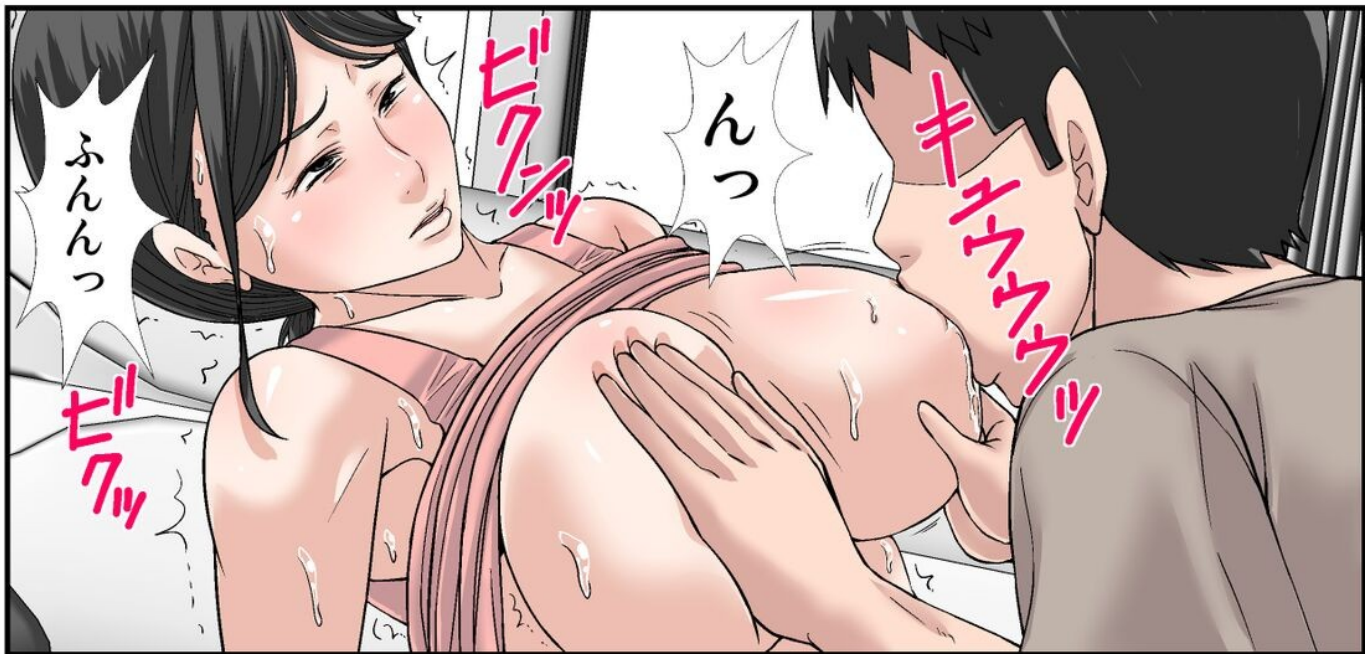
いいかげんにしなさい！息子相手にむ
んんっ
ずりゅ
ずりゅ
ずりゅ
ずりゅ
んっ
は母親が気持ち良くなるわけないでしょ！
びくうっ
びくっ

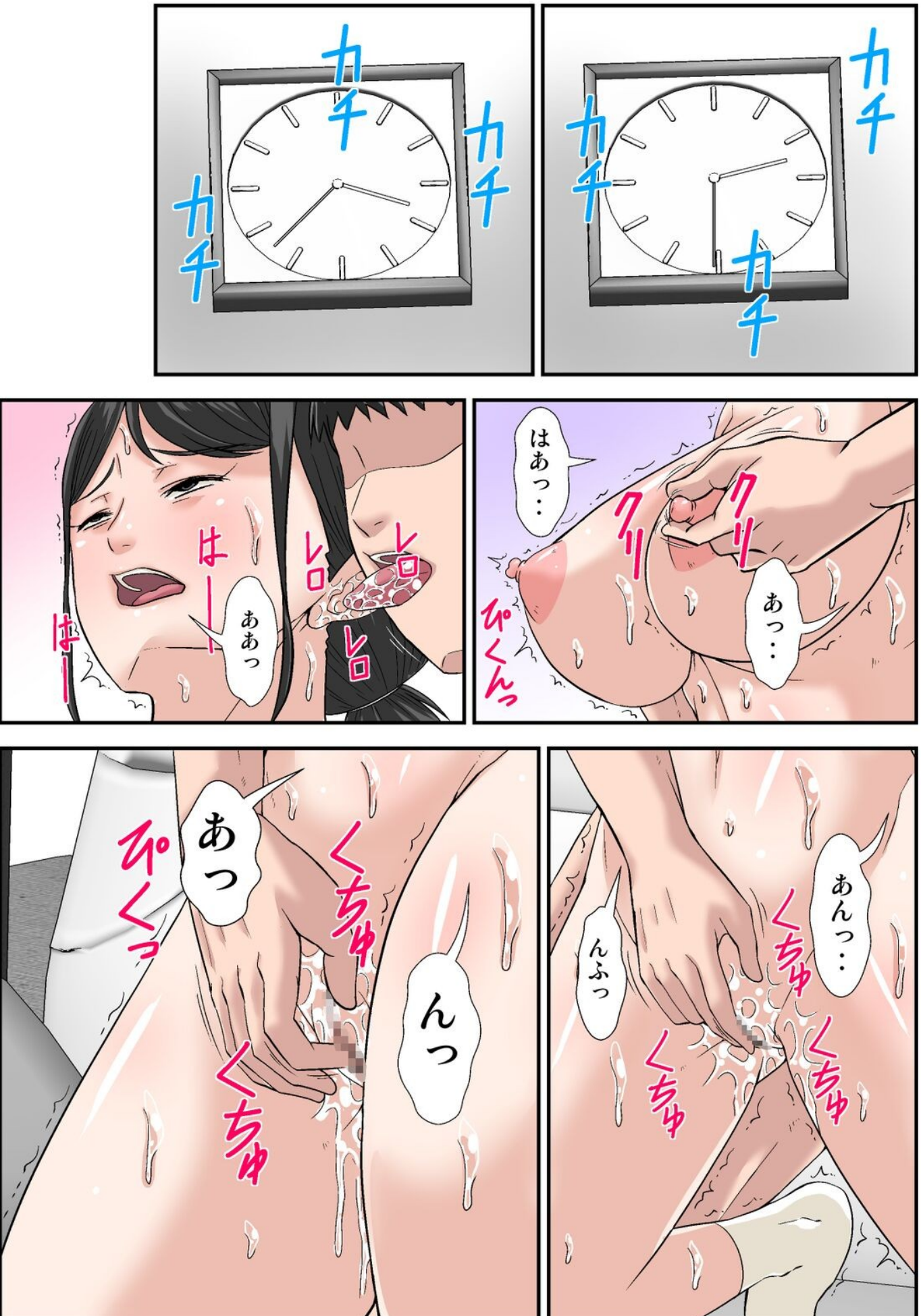
そんな強がっちゃってさ
あっ
あっ
あっ
このままチンポ擦りつけなくていいの？
あっ
ずりゅ
イきたいでしょ母さん
んっ
ずりゅ
んんっ
んっ
んっ！
ほらぁ
ピタッ
んふっ！
フー
フー


ギュウウウッ
素直になりなよ母さん

あっ…ああ
グリグリ
ああっ

んふうっ！
ビクウッ


ふんんっ
ビクッ
んっ
ビクンッ
キュウウウッ


カチ
カチ
カチ
カチ
カチ
カチ
レロ
レロ
はー
ああっ
はー
はあっ・
クリ
クリ
あっ・
ぴくんっ
あっ
ぴくっ
くちゅ
くちゅ
んっ
あんっ・
くちゅ
くちゅ
くちゅ
んふっ

あれ…どうしてこんな事に…？
はあん…
あふっ…
ぴくっ
もみ
もみ
もみ
くちゅ
くちゅ
くちゅ
あっ
ぴくんっ
あんっ
胸をさわらせるだけのはずが繰り返し焦らし続けられて…ちょっとずつちょっとずつ許していって…

息子とキスまで…
フー
ふむぅ…
フー
くちゅ
くちゅ
んふっ…
あむうっ
もみ
もみ

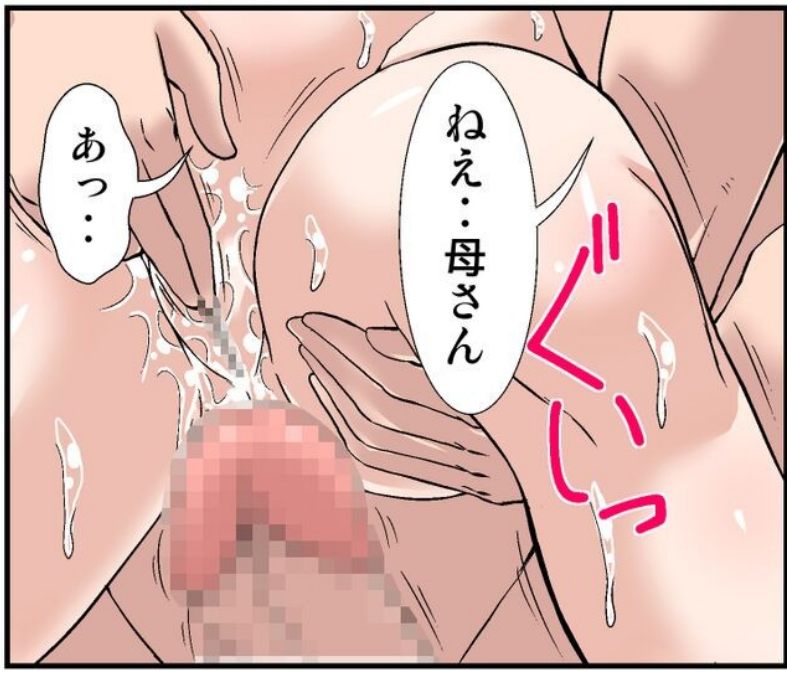
はっ…
舌まで絡めてしまって…
レロ
レロ
レロ
えふ…

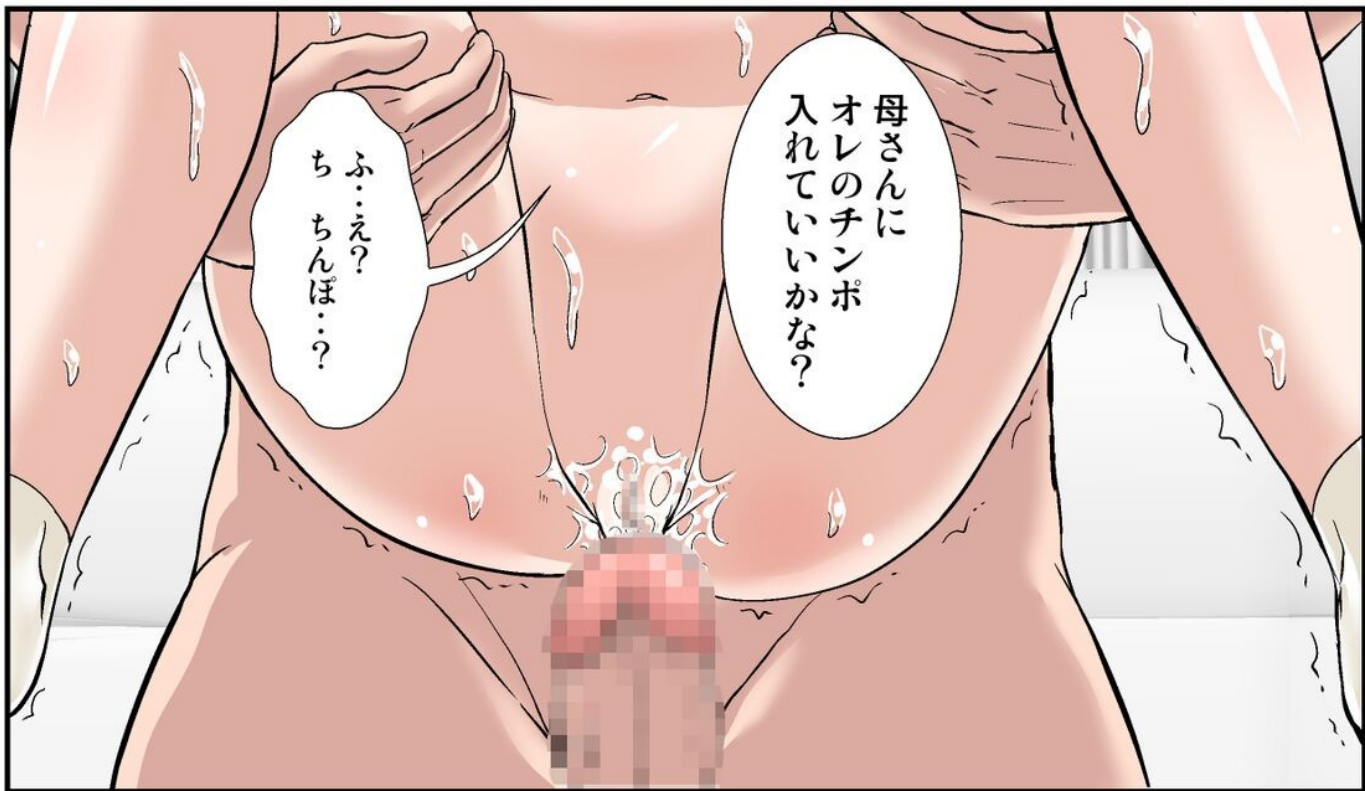
えあ・・
レロ
レロ
レロ
あふっ・・
そもそもなんで
息子にそんな事
させようと
したんだっけ・・
むに
むに
ああ・・そうだ
母親の私をいやらしい
目で見てたからだ・・
それでなんで
触らせたの
くちゅ
くちゅ
ズ
ふっ
頭が
ぼーっとして
回らない・・
リコッ
んんっ

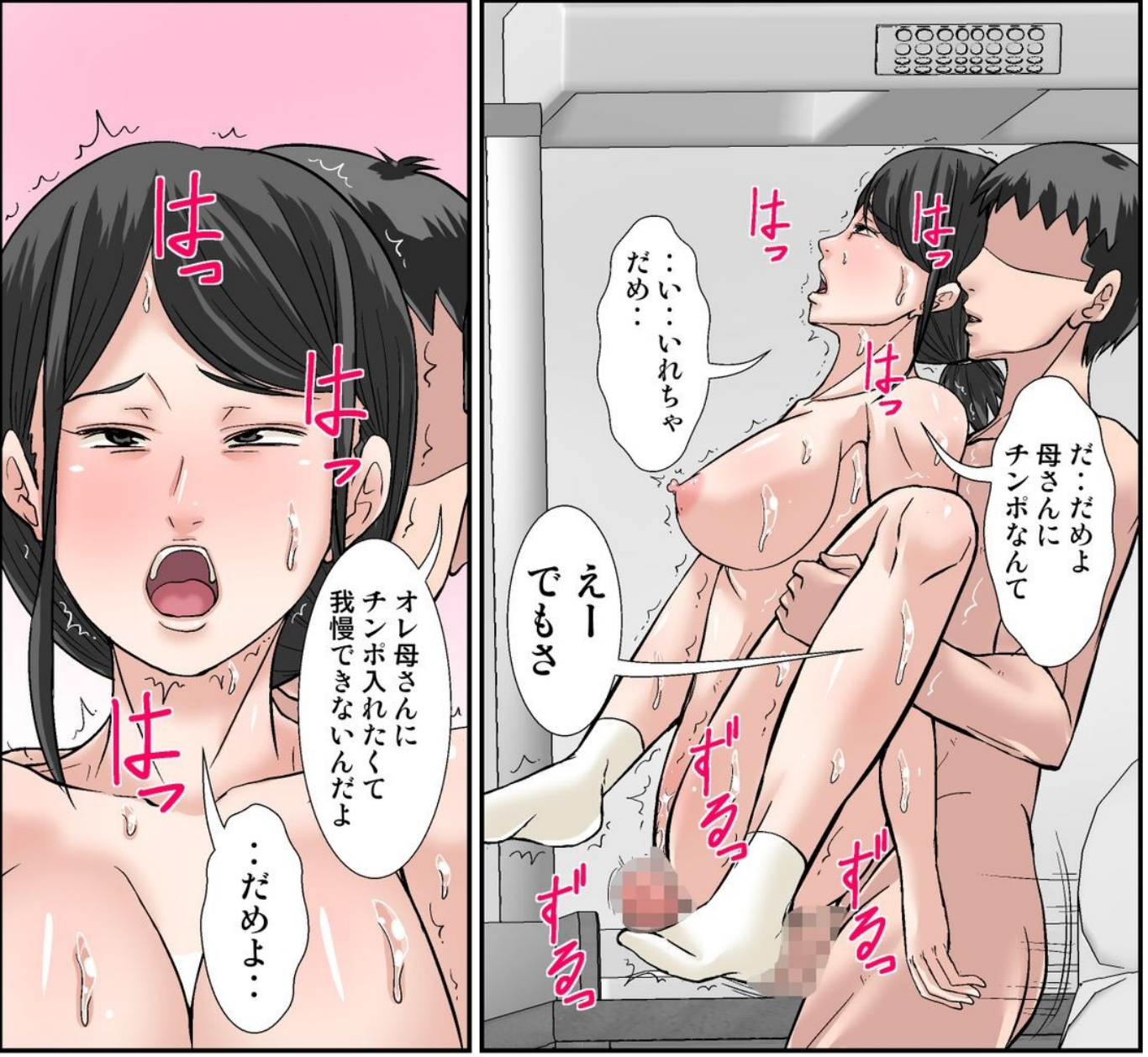
何も
考えたくない・・
ああ・んふ
ぴくっ
はふぅっ
くり
ぴくっ
んあっ
ずりゅっ
ずりゅっ
ずりゅっ
あっ・・
はー
はー
はー
・・たい・・

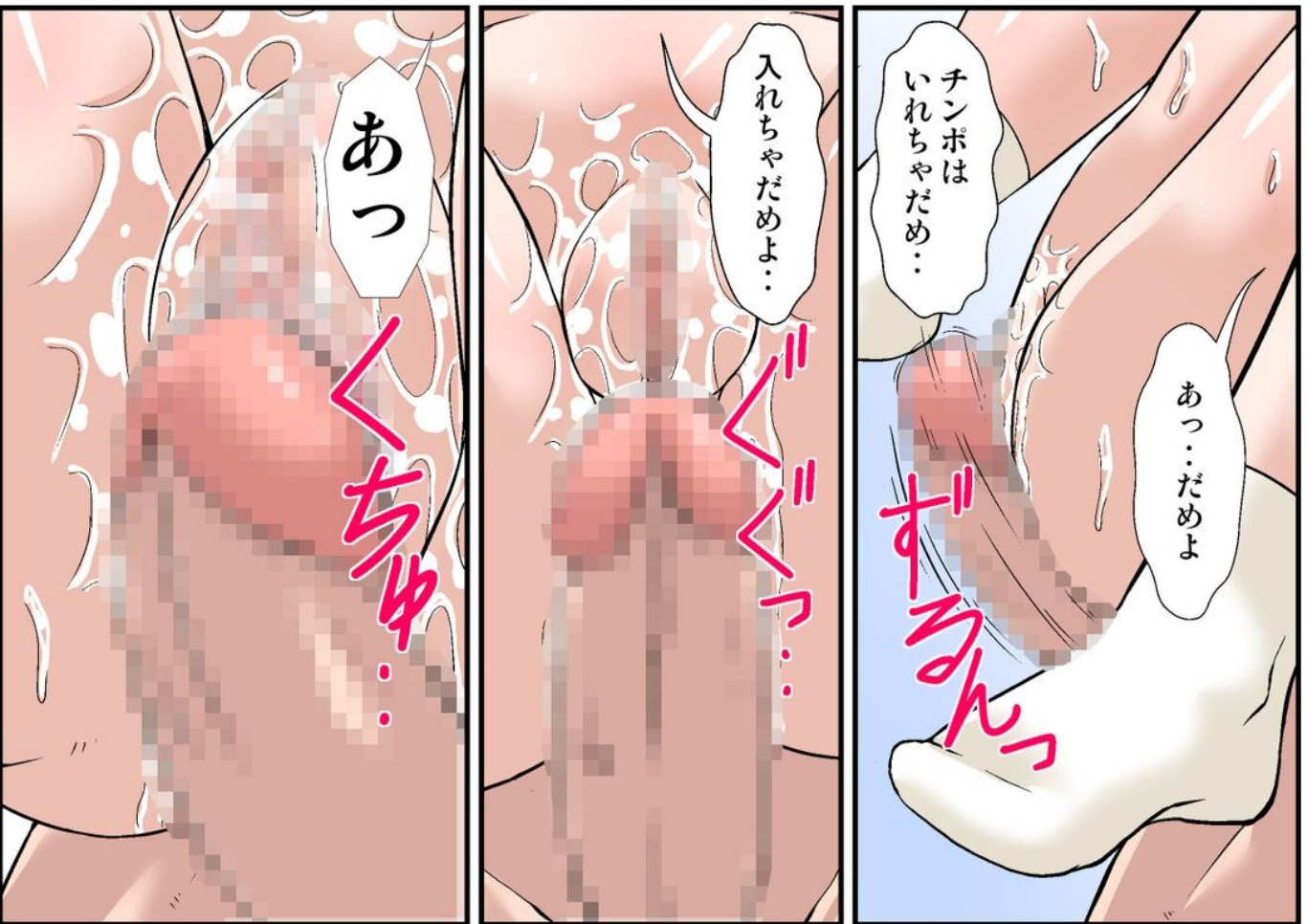
…きたい…
…イきたい…
イきたい！
イきたい！
イきたい！

母さんの中に
入れていい？
くちゅ…

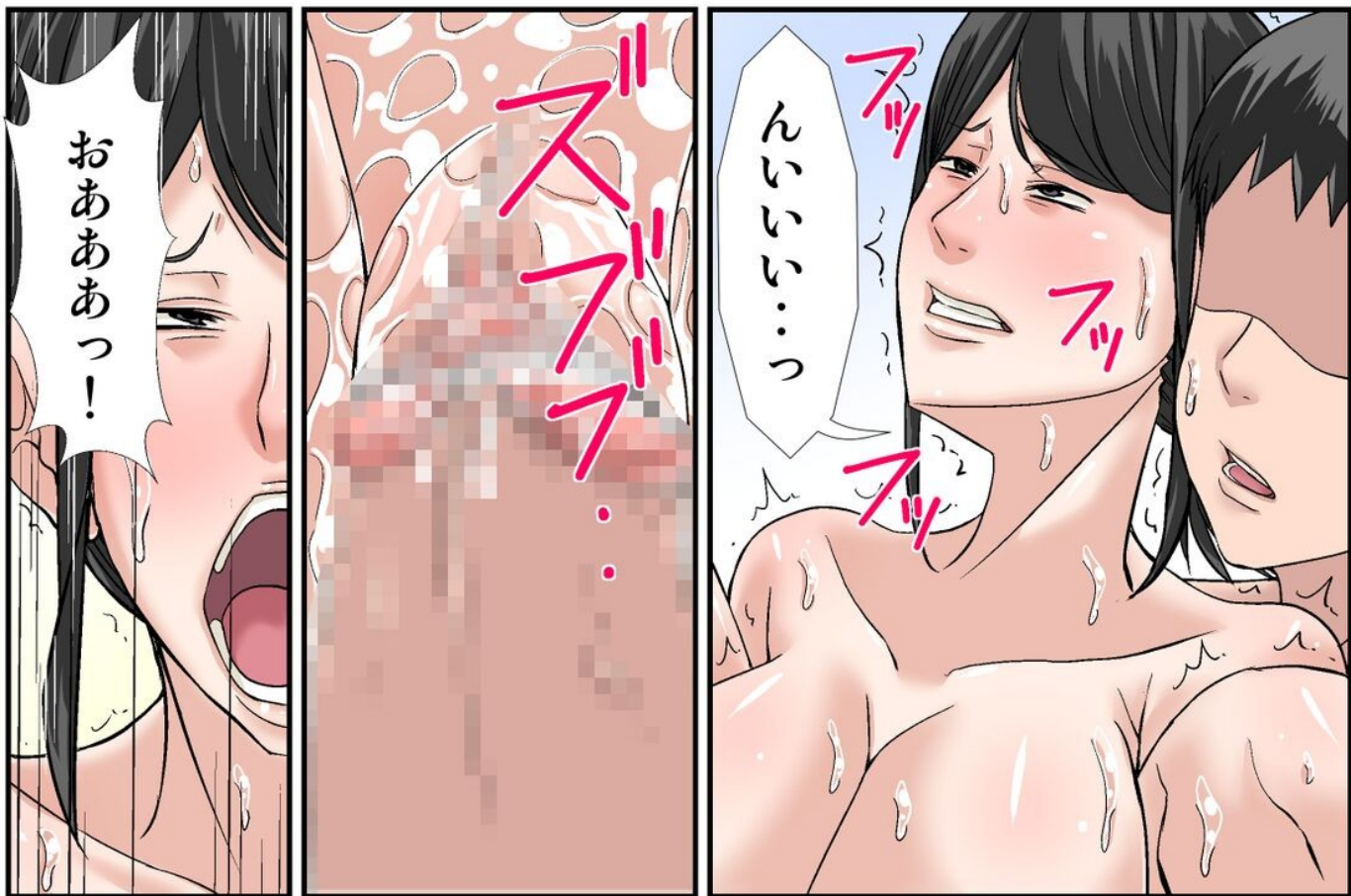

ねえ…母さん
あっ…
ぐいっ

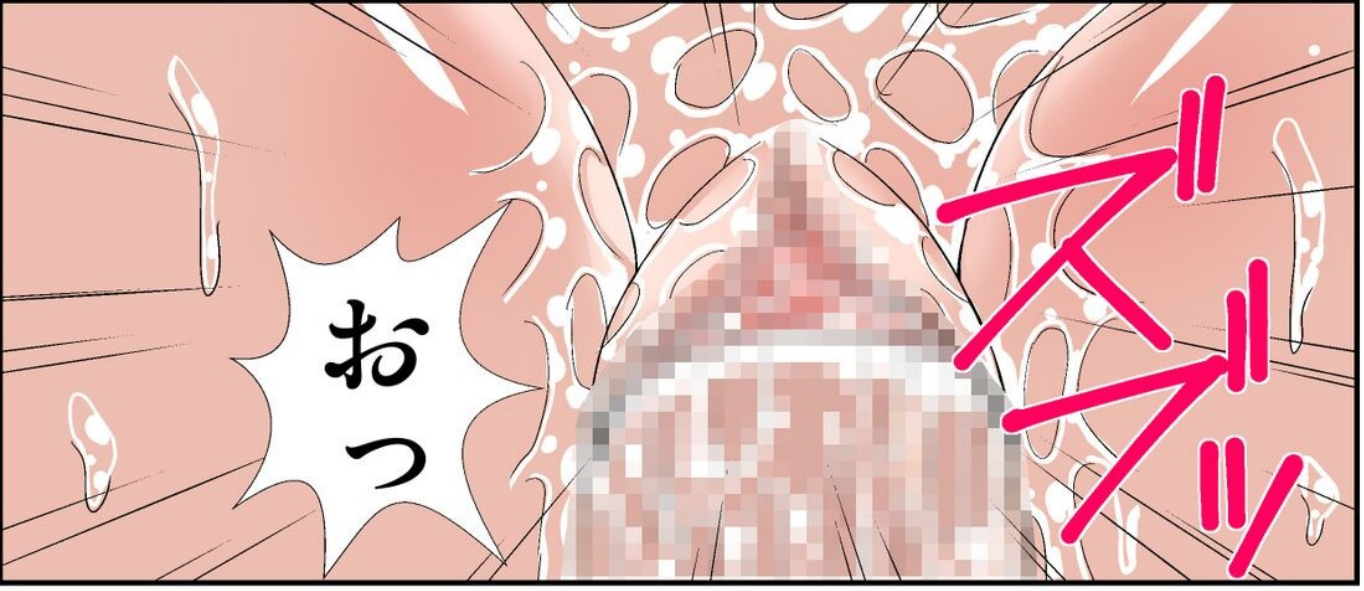

母さんに
オレのチンポ
入れていいかな？
ふ…え？
ち　ちんぽ…？


だ・だめよ
母さんに
チンポなんて
はっ
はっ
はっ
・・い・いれちゃ
だめ・・
えー
でもさ
ずるっ
ずるっ
ずるっ
はっ
はっ
はっ
オレ母さんに
チンポ入れたくて
我慢できないんだよ
・・だめよ・・

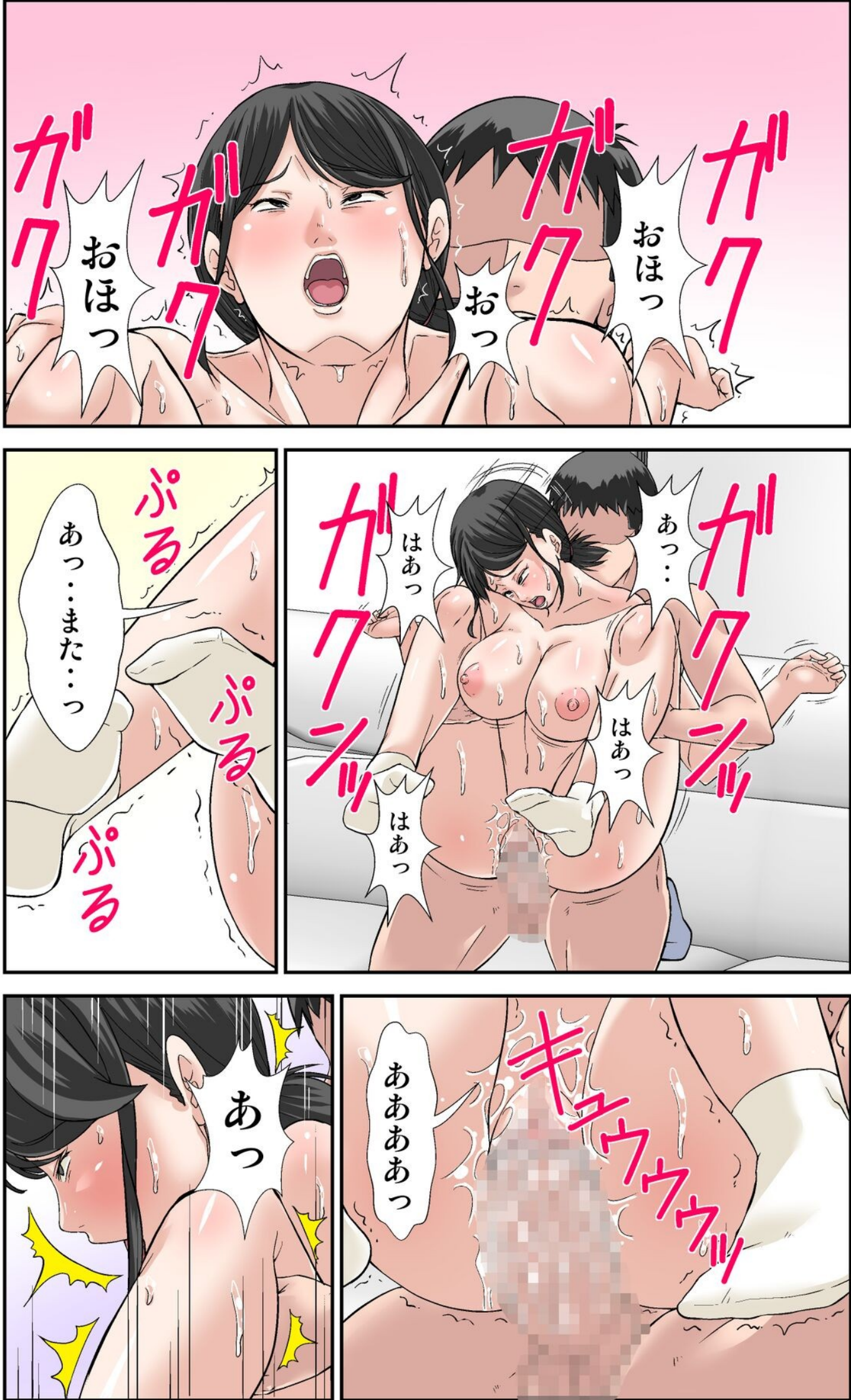

あっ・・だめよ
チンポは
いれちゃだめ・・
ずるんっ
入れちゃだめよ・・
ぐぐっ・・
あっ
くちゅ・・

ねえ 母さん
止めないと
ほんとに入れちゃうよ
はー
だめよ・・
いれちゃだめ・・
はー
いいよね
入れちゃうよ
母さん口だけで
全然止める
気配がない・・
いいんだよな
本当に・・
ズチュ・・


フッ
フッ
フッ
んいいい・・っ
ズブブ・・
おあああっ！


ズッ
おっ

んひいいいい～っ！
ヒクヒクウッ

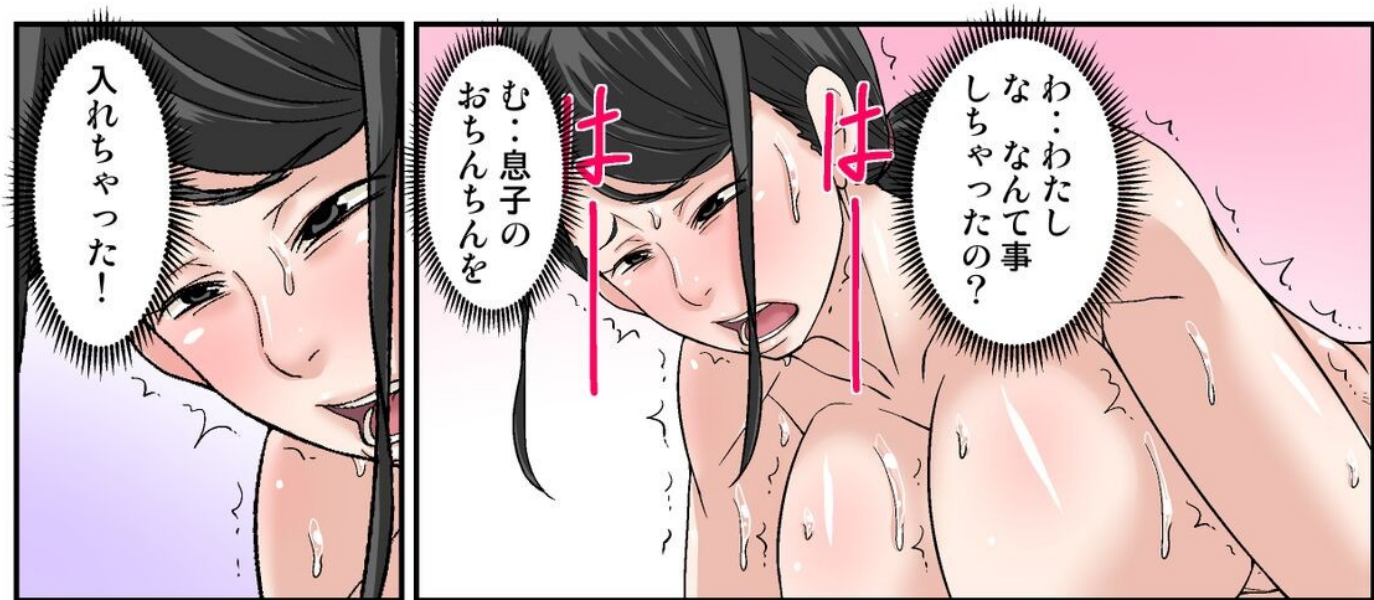

ガクガクガク
おほっ
おっ
おほっ
ガクガクガク
ガクンッ
あっ・・
はあっ
はあっ
はあっ
ぷるぷるぷる
あっ・・また・・っ
キュウウウッ
あああああっ
あっ

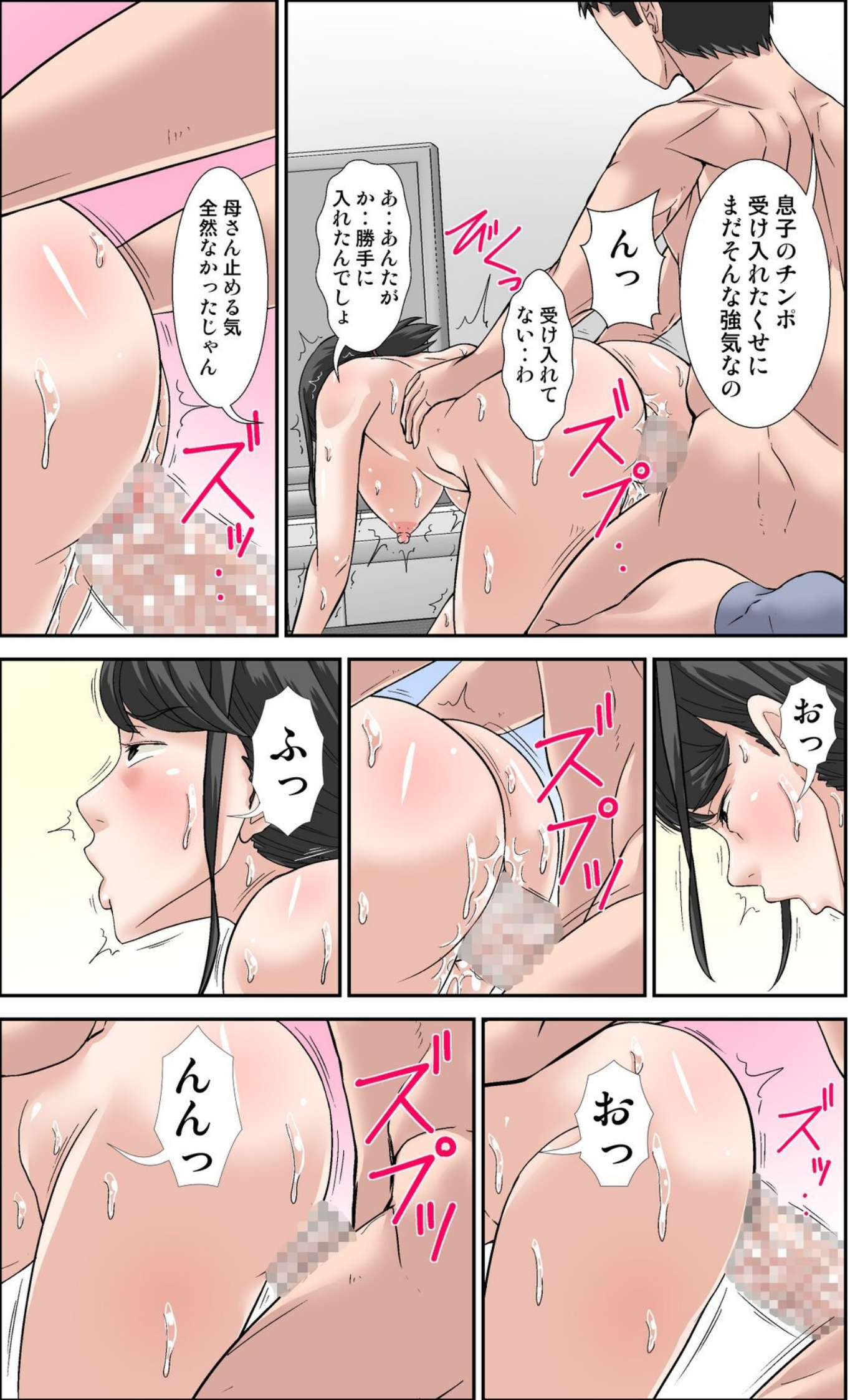
あふんっ！
ガクーンッ
あっ
あふんっ！
ビクッ
あっ
ビクッ
はあっ
うそ・・また・・っ
ぷるぷる

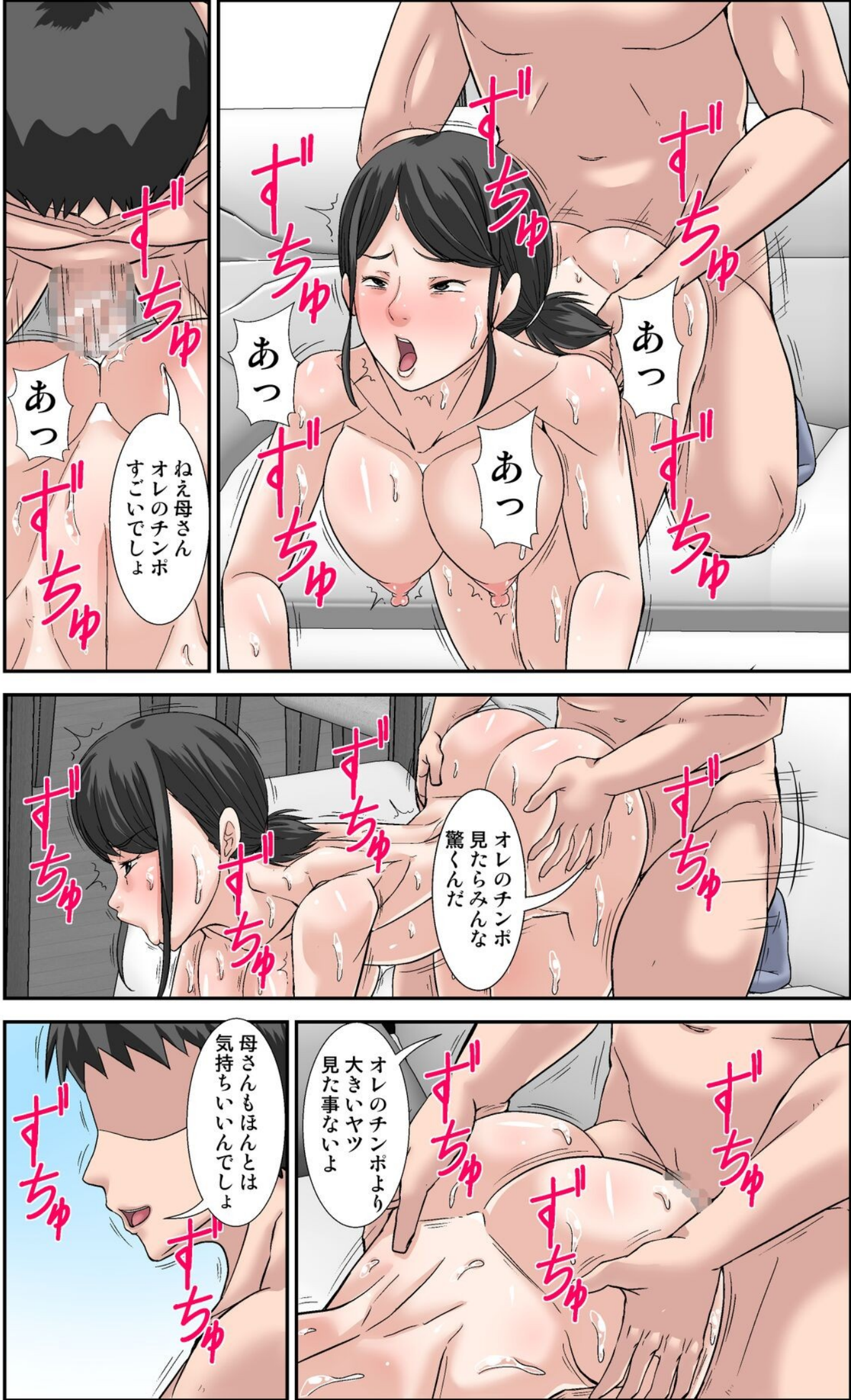
おふっ！
ガクガク
おふんっ！
ガクガク

あっ
ビクンッ
はあっ
すごいね母さん
はあっ
ビクンッ
はあっ

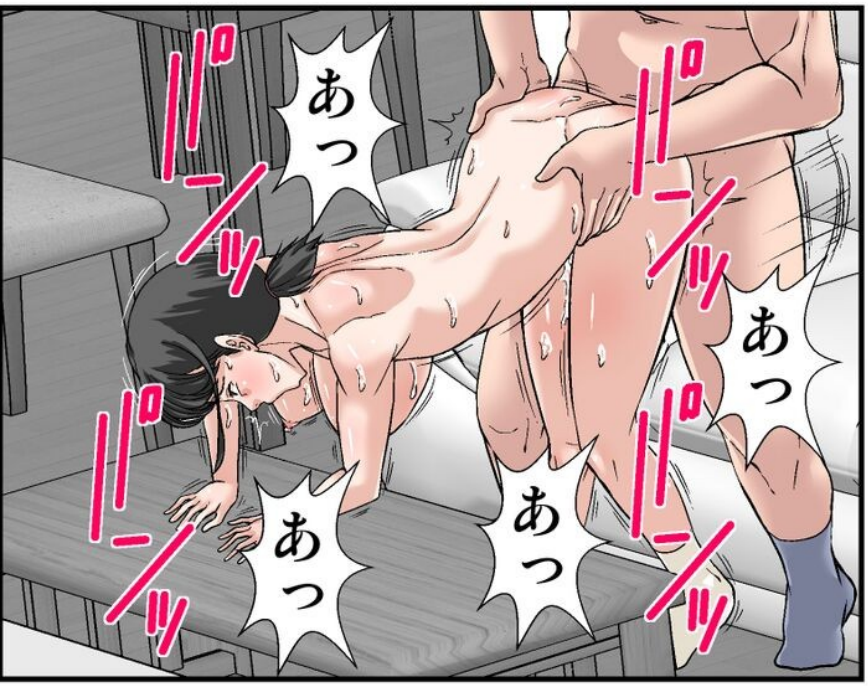
まだチンポ入れただけなのに
何回連続でイくんだよ
あっ
い・いってない・・
あっ
い・イくわけ・・ないでしょ・・

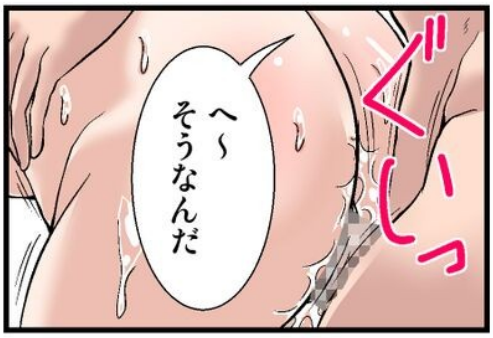

わ・わたしなんて事しちゃったの？
はー
む・息子のおちんちんを
入れちゃった！


息子のチンポ
受け入れたくせに
まだそんな強気なの
んっ
受け入れて
ない・わ
ズプ・・
ぶくっ
あ・あんたが
か・勝手に
入れたんでしょ
母さん止める気
全然なかったじゃん
ズッ・・
おっ
ズプッ
ふっ
おっ
ズッ・・
ズプッ
んんっ

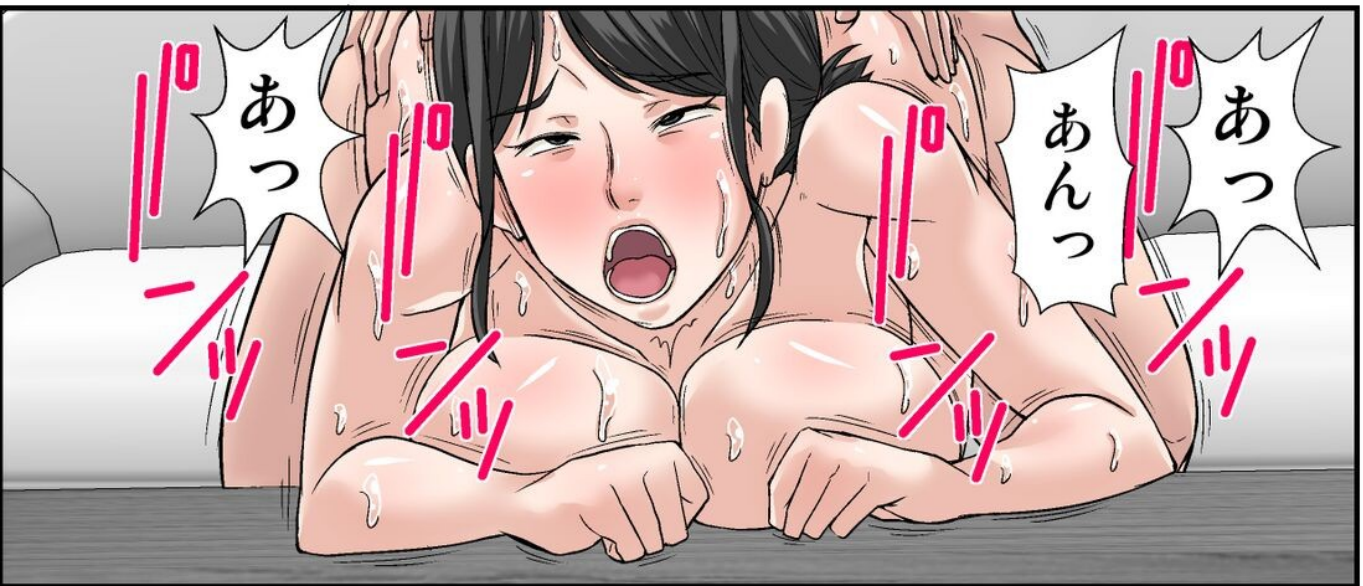

あっ
あっ
あっ
ずちゅ
ずちゅ
ずちゅ
ずちゅ
ずちゅ
ずちゅ
ねえ母さん
オレのチンポ
すごいでしょ
あっ
ずちゅ
ずちゅ
オレのチンポ
見たらみんな
驚くんだ
ずちゅ
ずちゅ
ずちゅ
ずちゅ
オレのチンポより
大きいヤツ
見た事ないよ
ずちゅ
ずちゅ
ずちゅ
母さんもほんとは
気持ちいいんでしょ
ずちゅ
ずちゅ

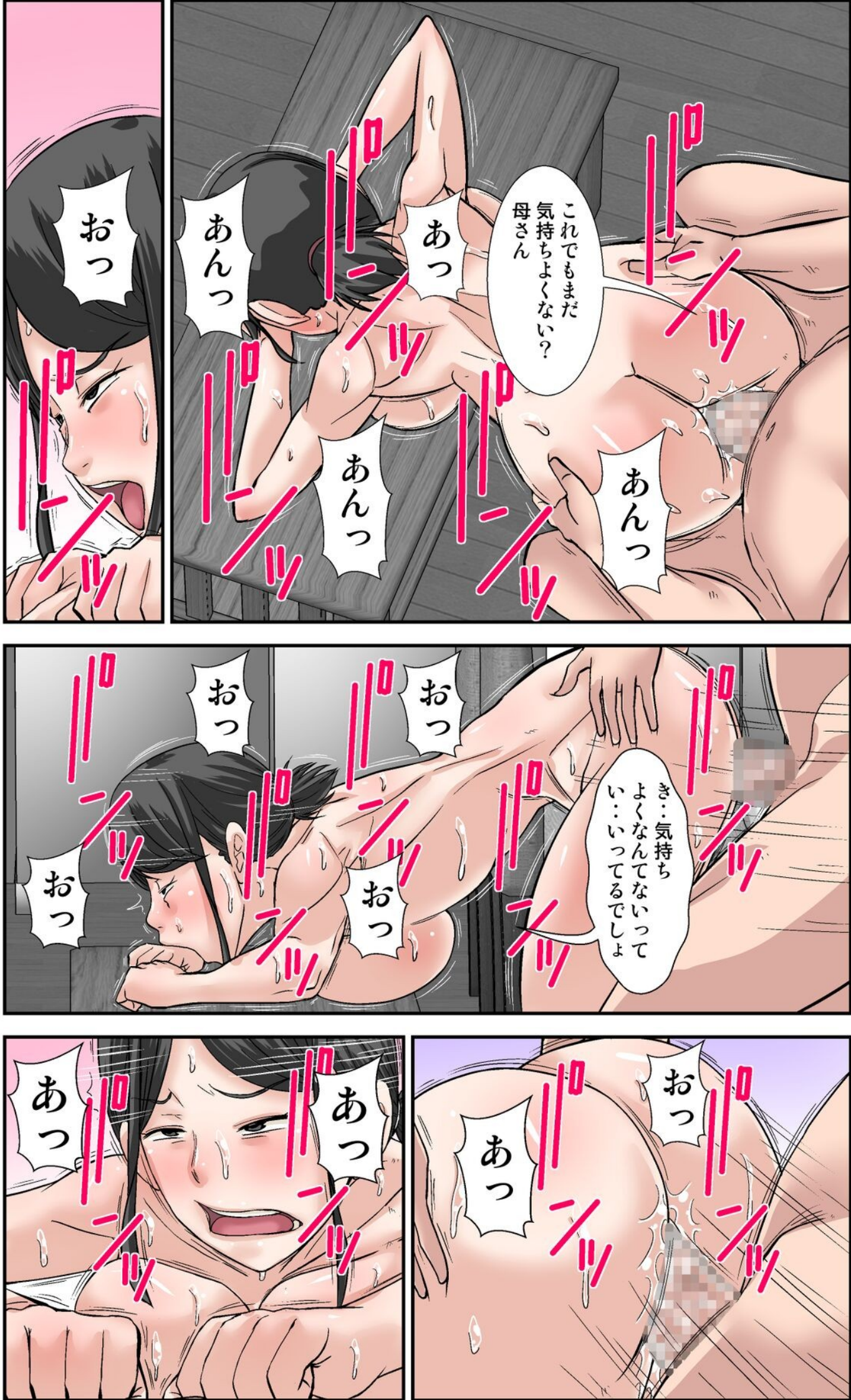
あっ
だ・だから
むす・息子の
おちんちんで
ずちゅ
ずちゅ
んっ
ずちゅ
ずちゅ
ずちゅ
は・母親が
か 感じるなんて
ありえないから
あっ


あっ
あっ
あっ
あっ
パーンッ
パーンッ
パーンッ


へ～
そうなんだ
ぐいっ

あっ


あっ
あんっ
あっ
パーンッ
パーンッ
パーンッ


おっ
あんっ
あっ
これでもまだ気持ちよくない？母さん
あんっ
あんっ
おっ
おっ
おっ
き・・気持ちよくなんてないっていい・・いってるでしょ
おっ
あっ
あっ
あっ

セックッ
セックッ
おっ
あんんんんっ！

んっ
セックッ
んんん～っ

あっ
ガク
あふっ
ガク

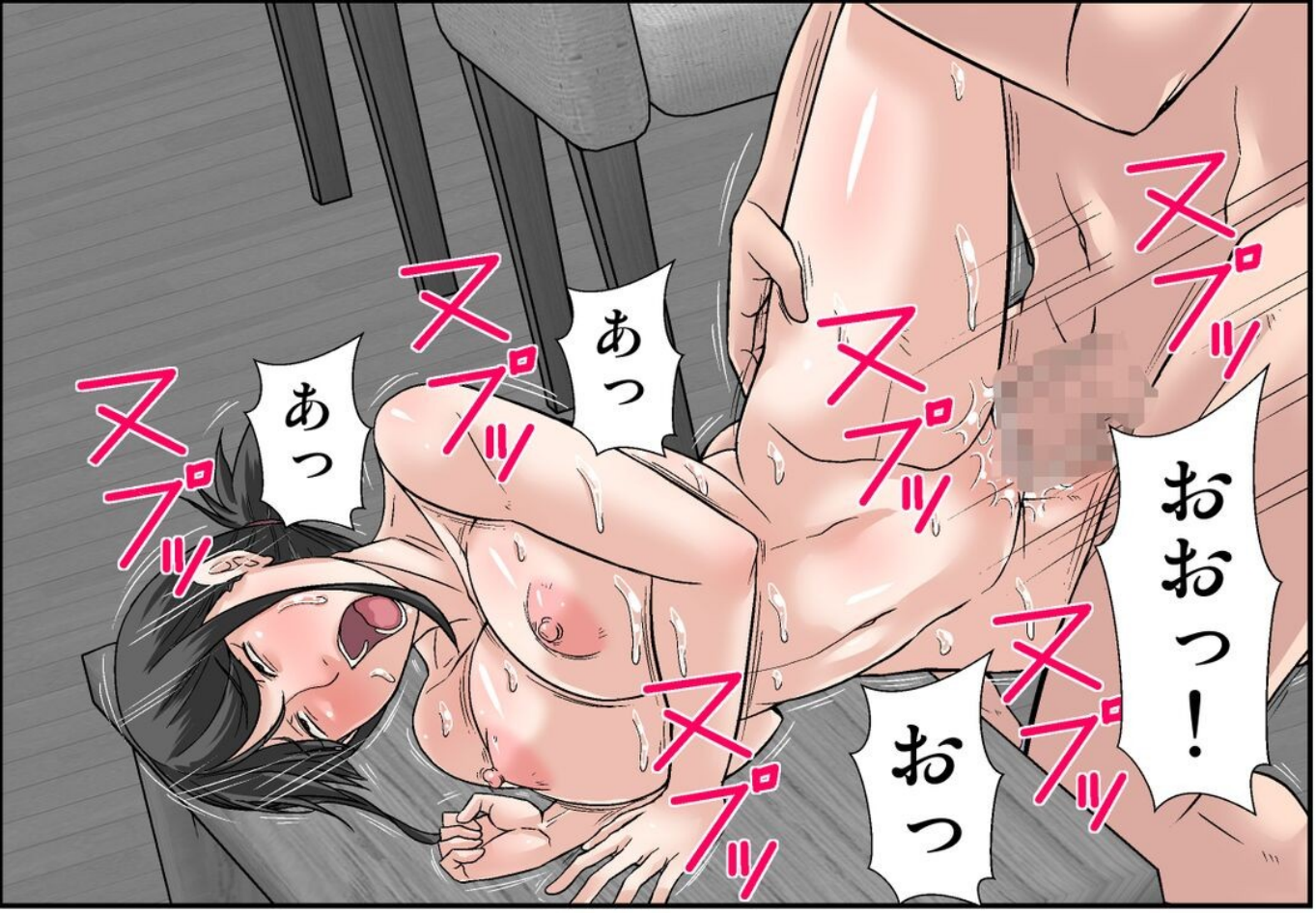
母さんのイく姿
エロすぎるな～
ニヤ
ニヤ

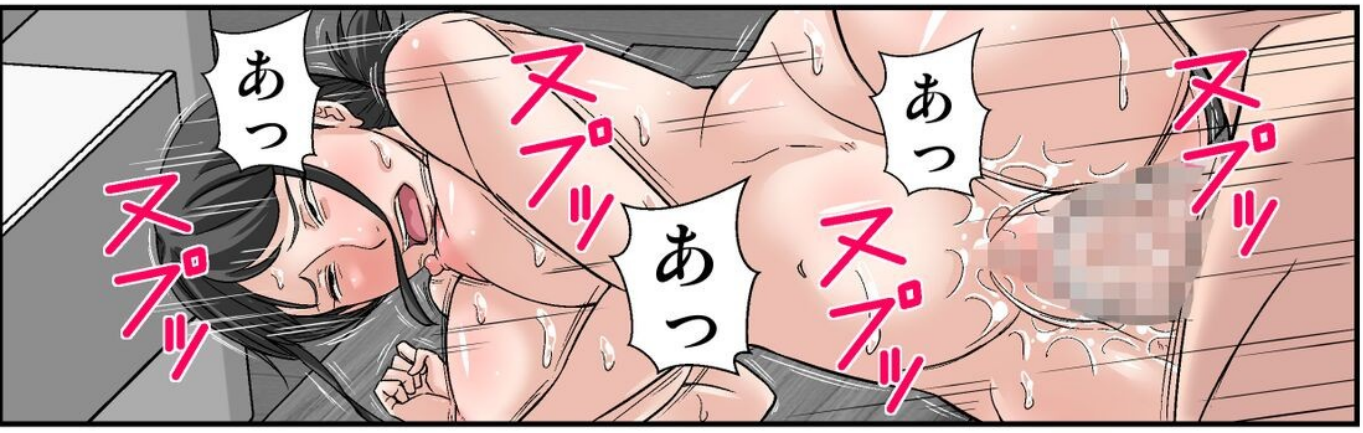
チンポもめちゃ
しめ付けてくる
あっ
キュウ～

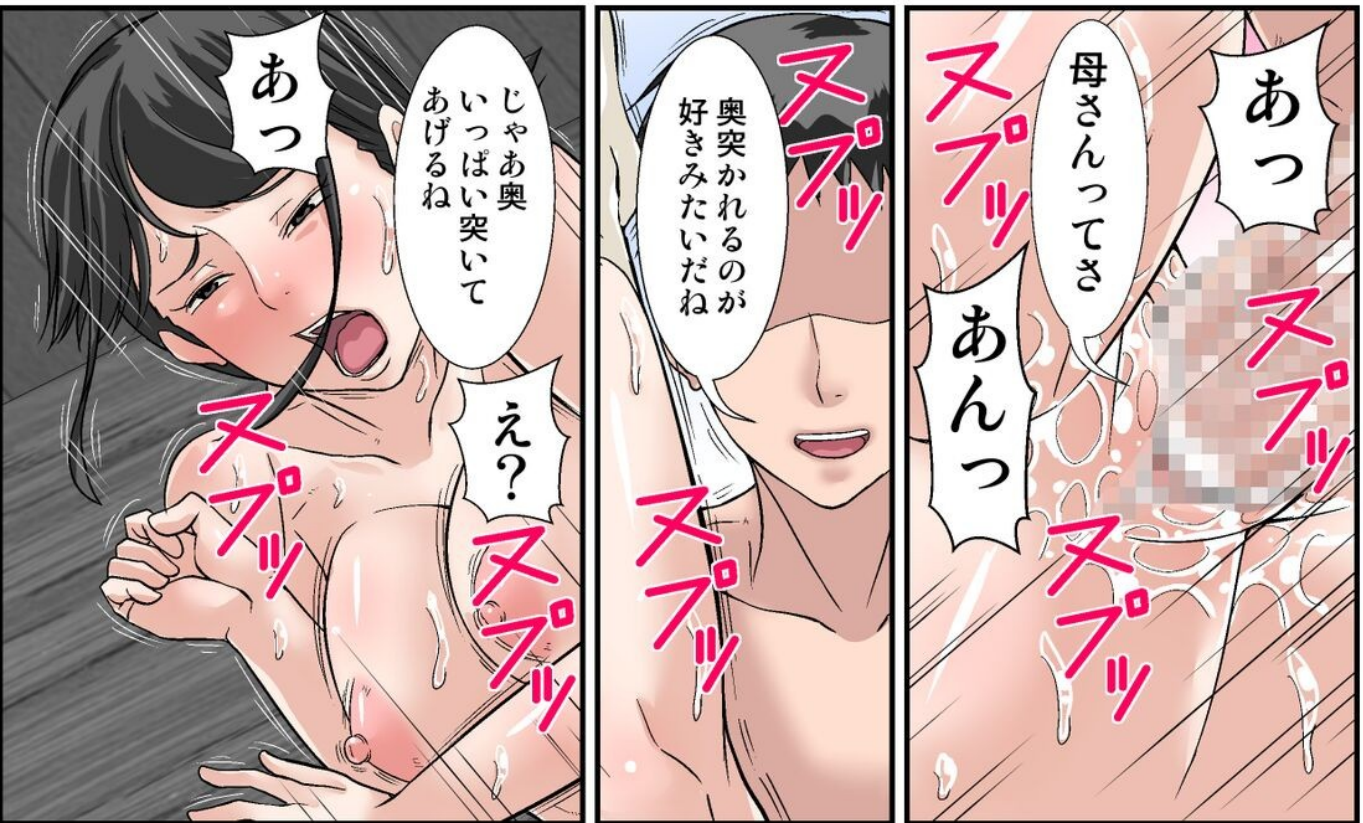
おふっ
いっ
ぶる
い・・イって・・
なんて・・ないぃ・・
あっ
ぶる
イくわけなんて・・
ない・・っ
ぶる

じゃあ今度こそ
母さんをイかそう
え？
ぐっ
ぐっ

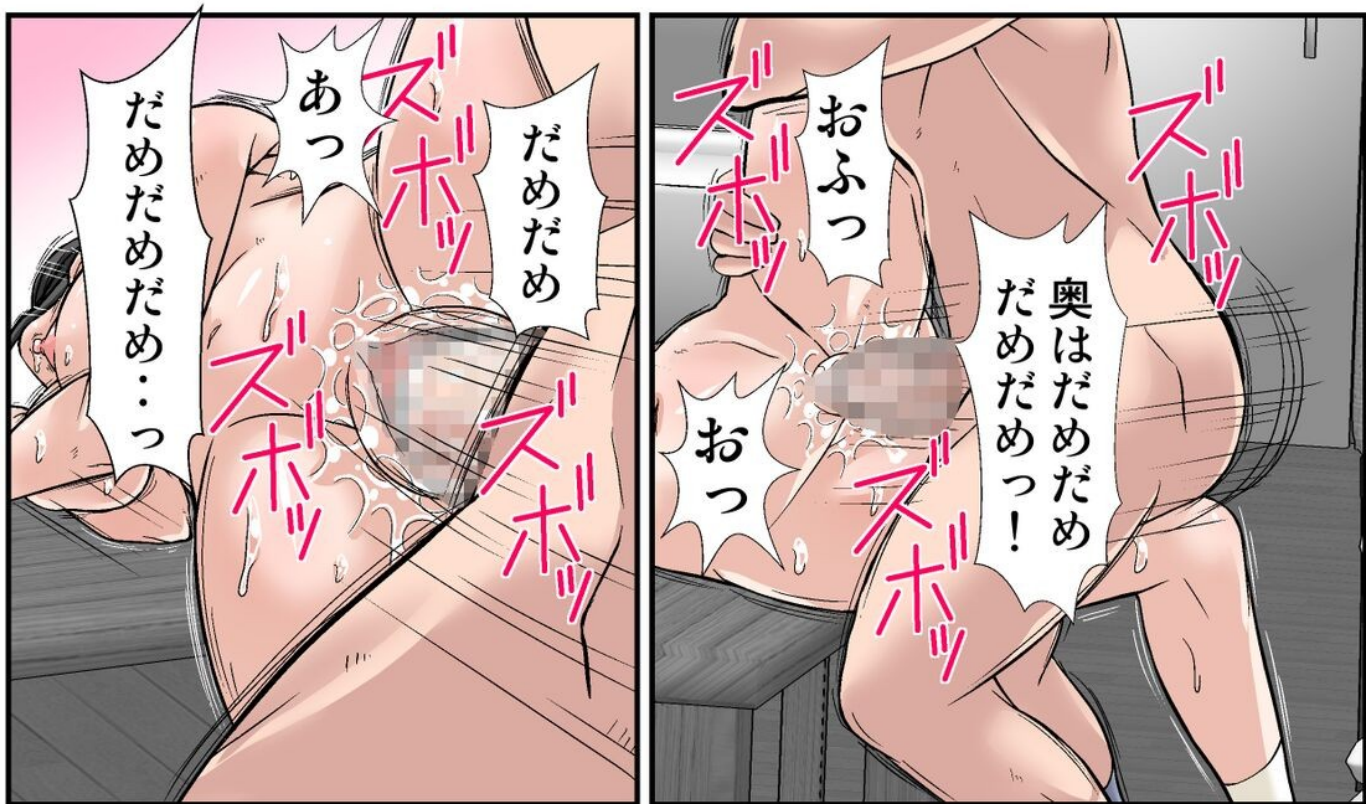
ちょ　ちょっと
まって
そんなすぐ・・っ
ぐいっ
そ　そうだけど
ちょっと
まちなさい！
まっ・・
何が？
イってないんでしょ
ズサ・・

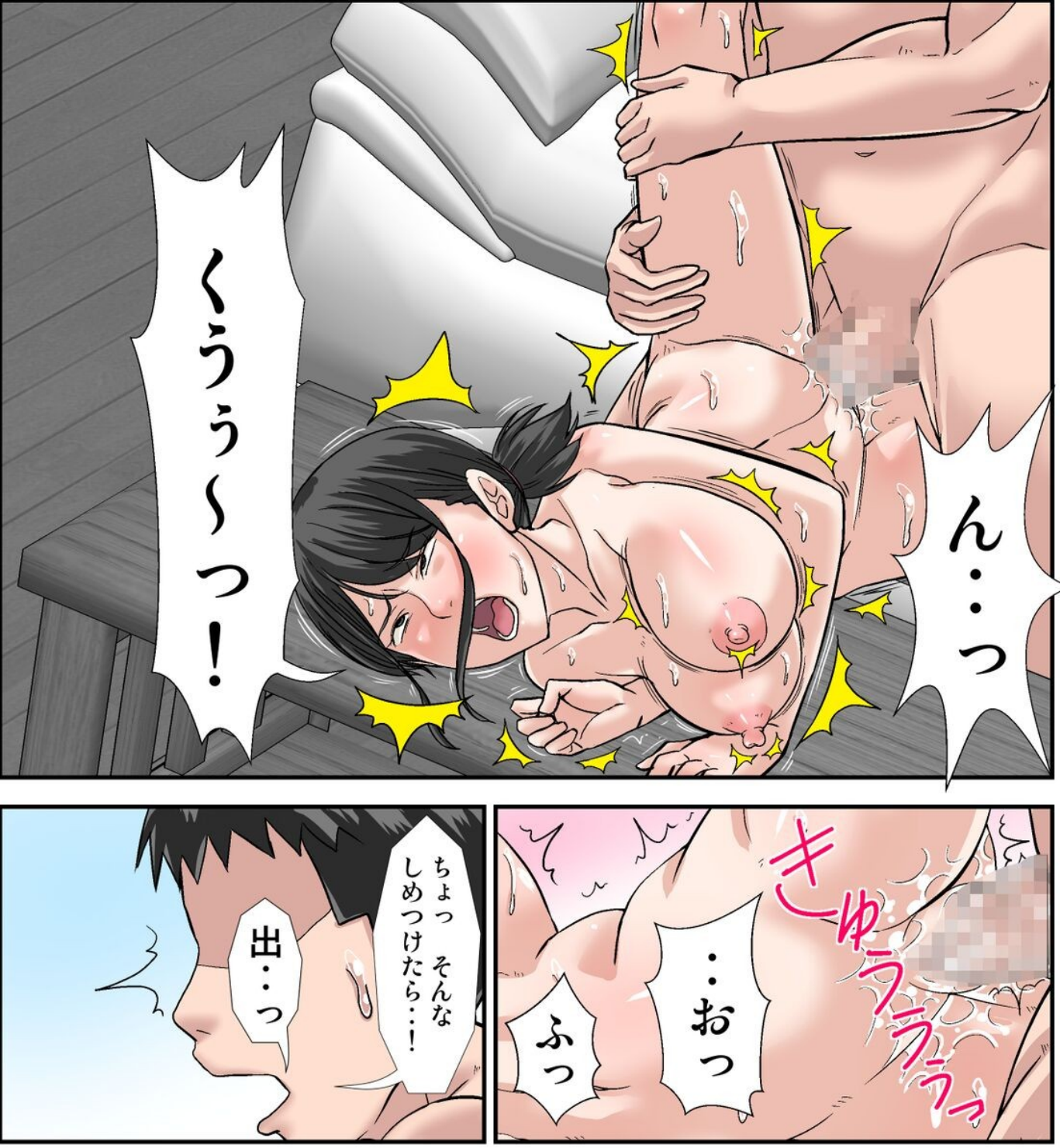

ヌプッ
おおっ！
ヌプッ
おっ
ヌプッ
あっ
ヌプッ
あっ
ヌプッ


ヌプッ
あっ
ヌプッ
あっ
ヌプッ
あっ
ヌプッ


あっ
ヌプッ
母さんってさ
ヌプッ
あんっ
ヌプッ
奥突かれるのが好きみたいだね
ヌプッ
え？
ヌプッ
じゃあ奥いっぱい突いてあげるね
ヌプッ
あっ
ヌプッ

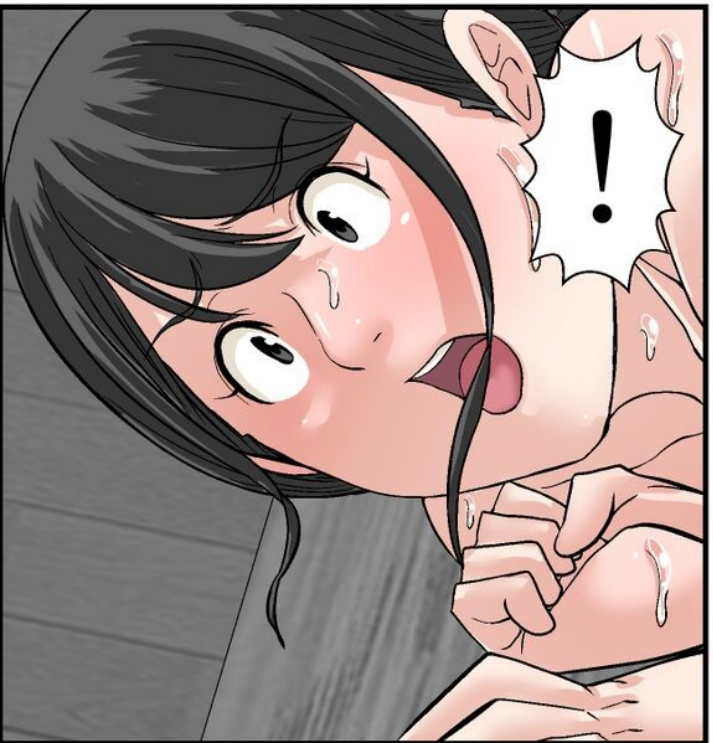
ズボッ
ズボッ
ズボッ
ズボッ
ズボッ
おふっ
おっ
ズボッ
ズボッ
ズボッ
何で？
気持ちよく
ないんでしょ
おっ
そ
ズボッ
ズボッ
そうだけど
あっ


ズボッ
ズボッ
ズボッ
奥はだめだめ
だめだめっ！
おふっ
おっ
だめだめ
だめだめだめ・っ
ズボッ
ズボッ
ズボッ
あっ

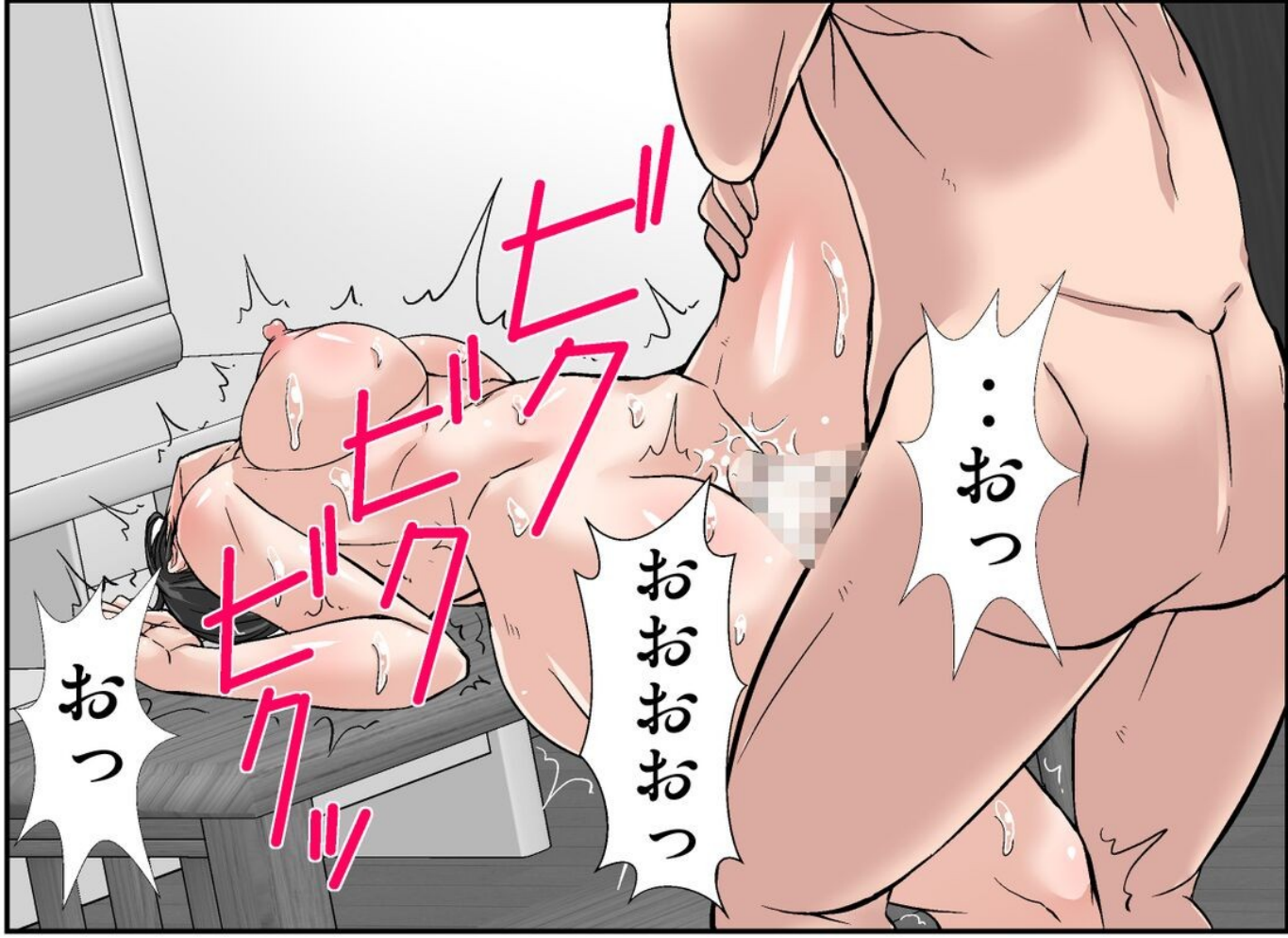

ん・・っ
くうぅ～っ！

ちょっ　そんな
しめつけたら・・！
出・・っ

きゅうぅぅっ
・・おっ
ふっ

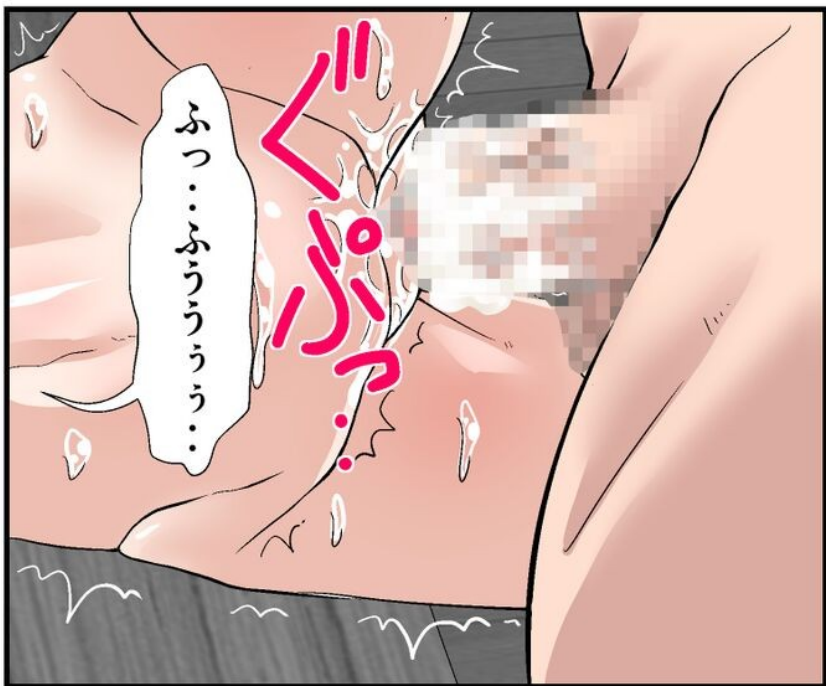

！

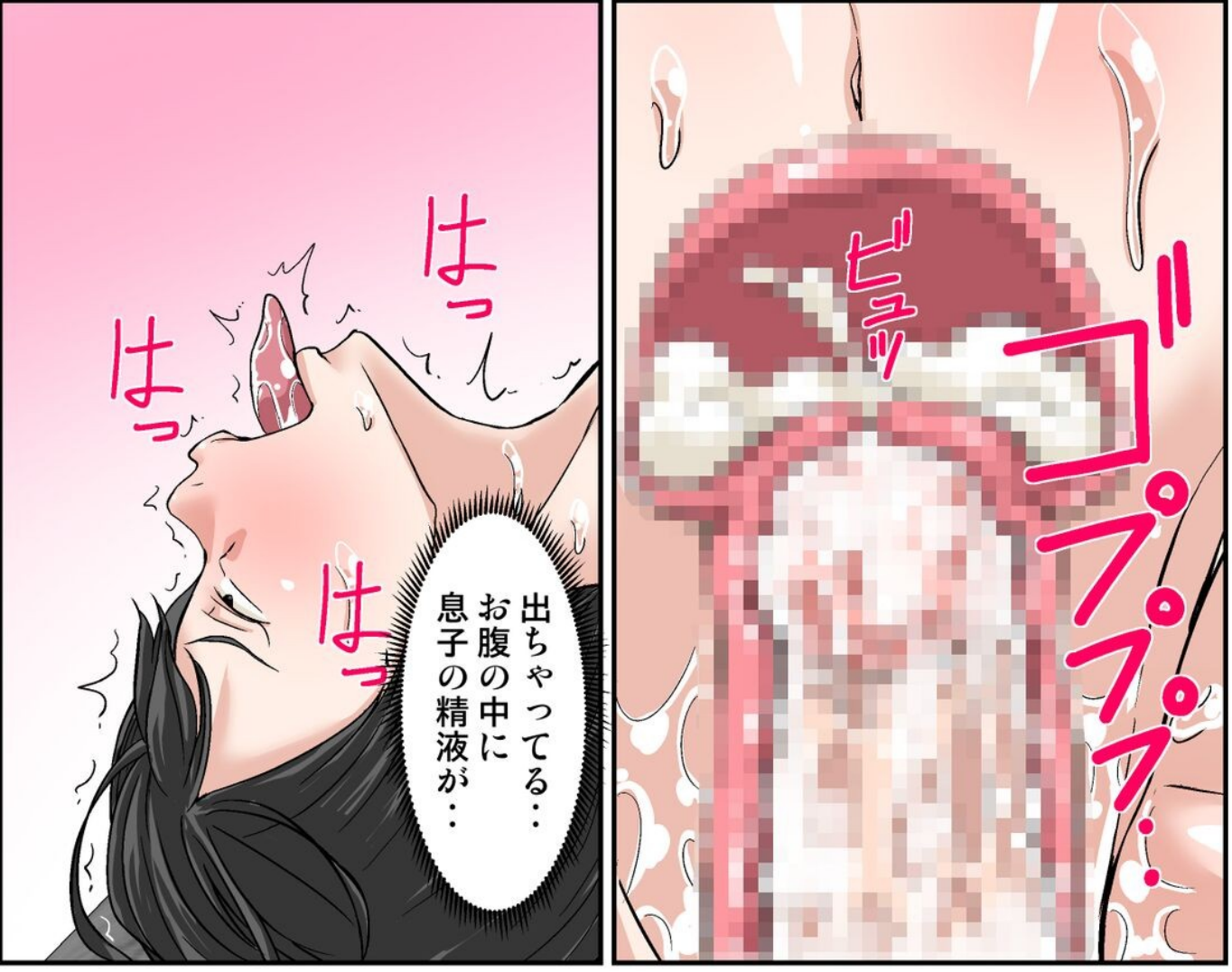
どぴゅっ


・・おっ
おおおおおっ
おっ
ビクッビクッビクッ

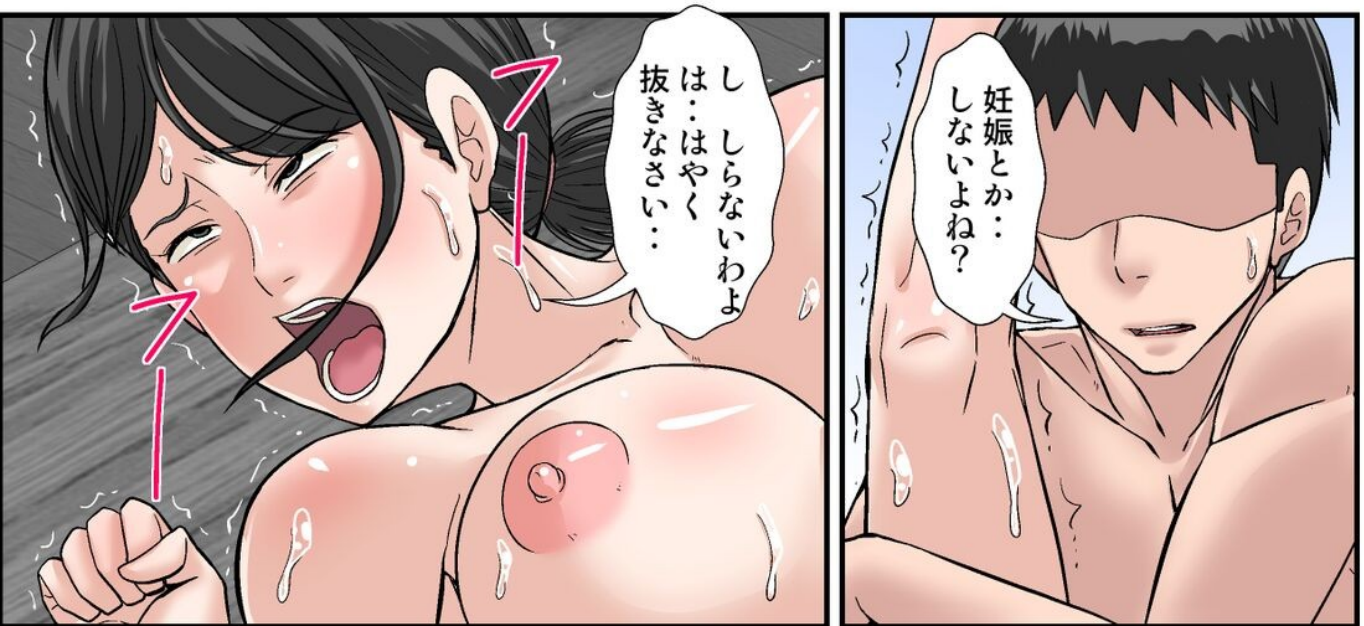
ビクッ
おっ
はっ
ビクッ
おふっ・・
はっ

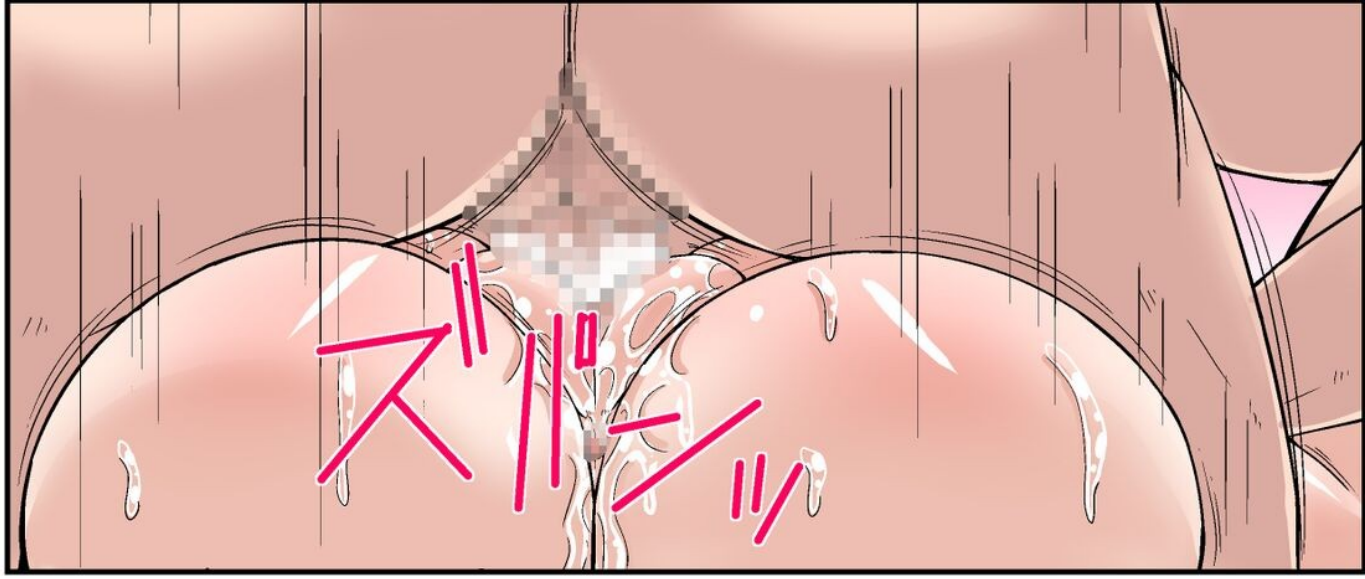
びくっ
びくっ
このバカ・・っ

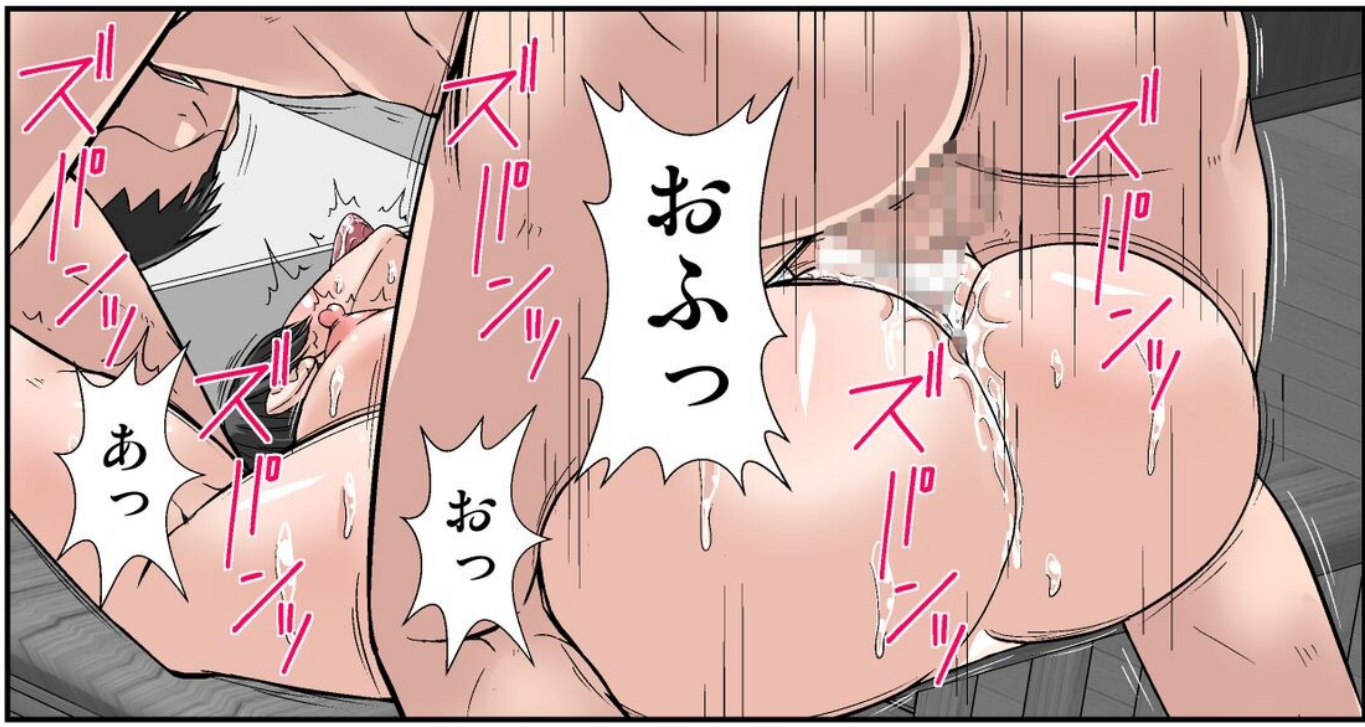

ぐぷっ
ふっ・・ふうううう・・

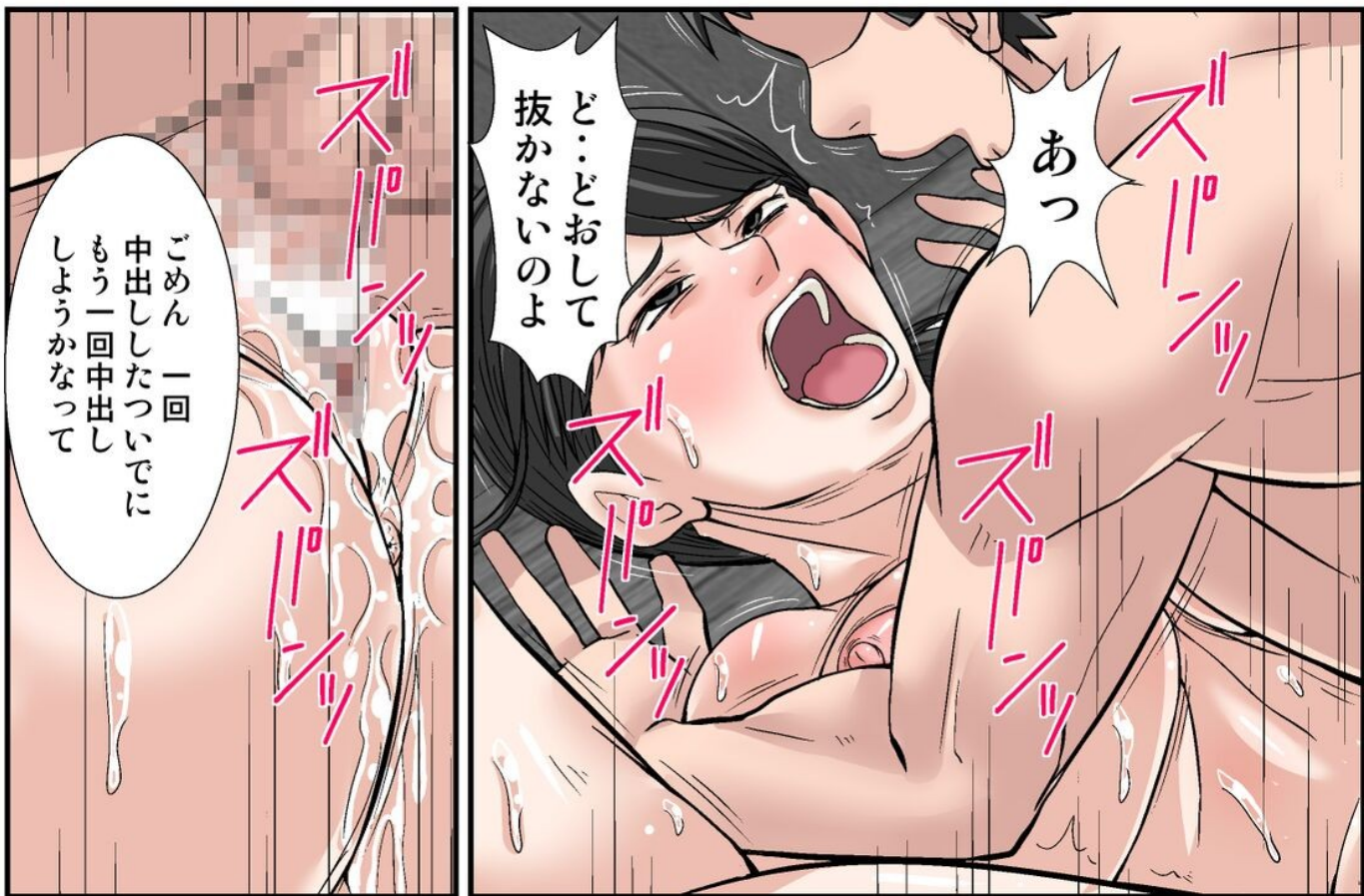

ビュッ
ゴプププ…
はっ
はっ
はっ
出ちゃってる…
お腹の中に
息子の精液が…

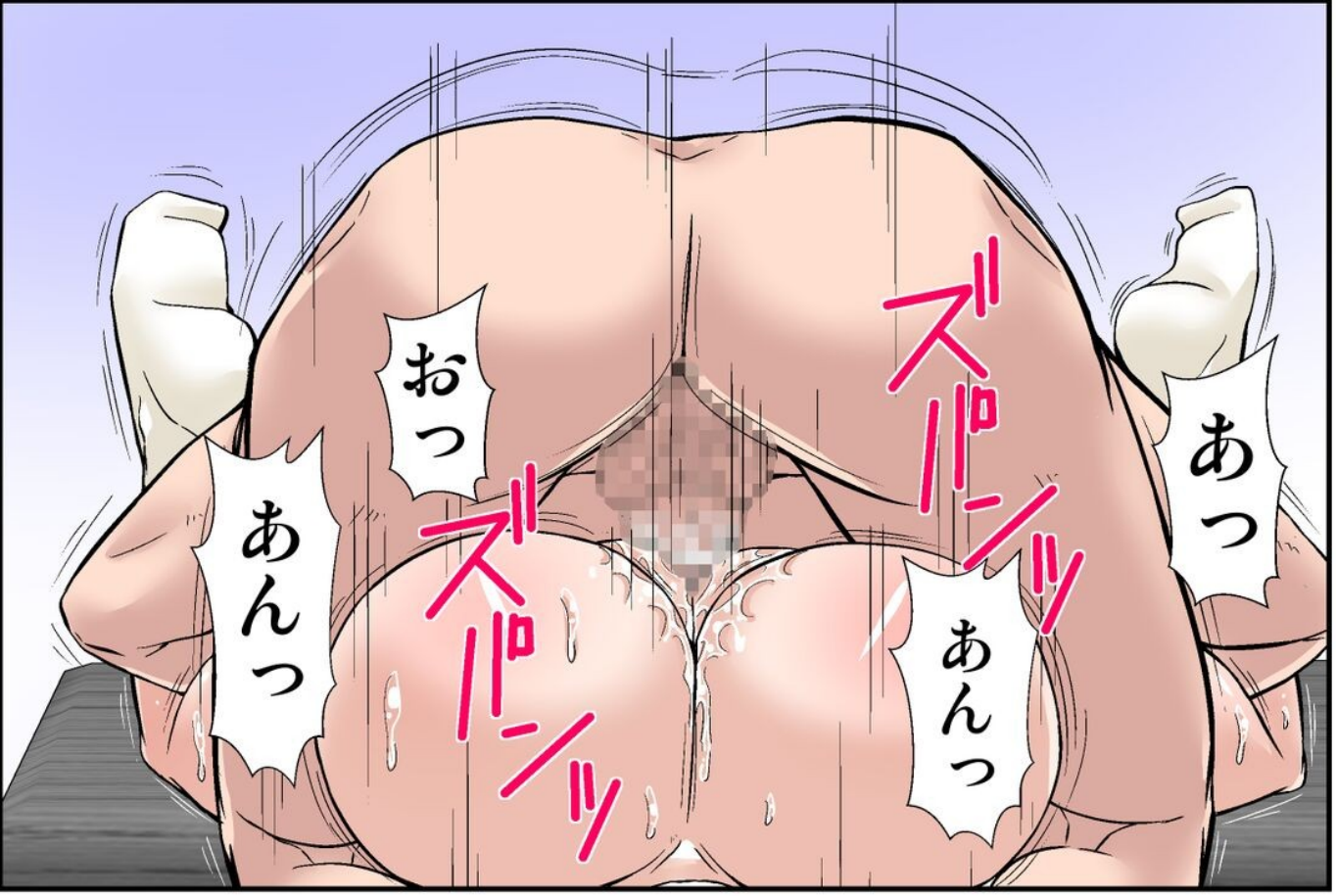
な 中に
だしちゃった…
おあっ…
ぴくっ
ぴくんっ
はー
はー
はー
ぴくっ


妊娠とか…
しないよね？
し しらないわよ
は…はやく
抜きなさい…
フー
フー


ズパンッ

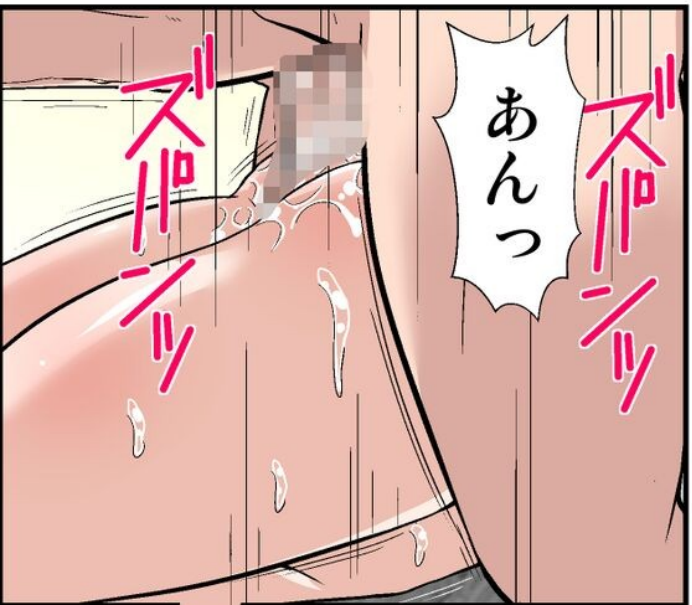

おふっ
おっ
あっ
ズパンッ
ズパンッ
ズパンッ
ズパンッ
ズパンッ


あっ
ど・どおして抜かないのよ
ごめん 一回中出ししたついでにもう一回中出ししようかなって
ズパンッ
ズパンッ
ズパンッ
ズパンッ
ズパンッ


あっ
ズパーンッ
あんっ
おっ
ズパーンッ
あんっ

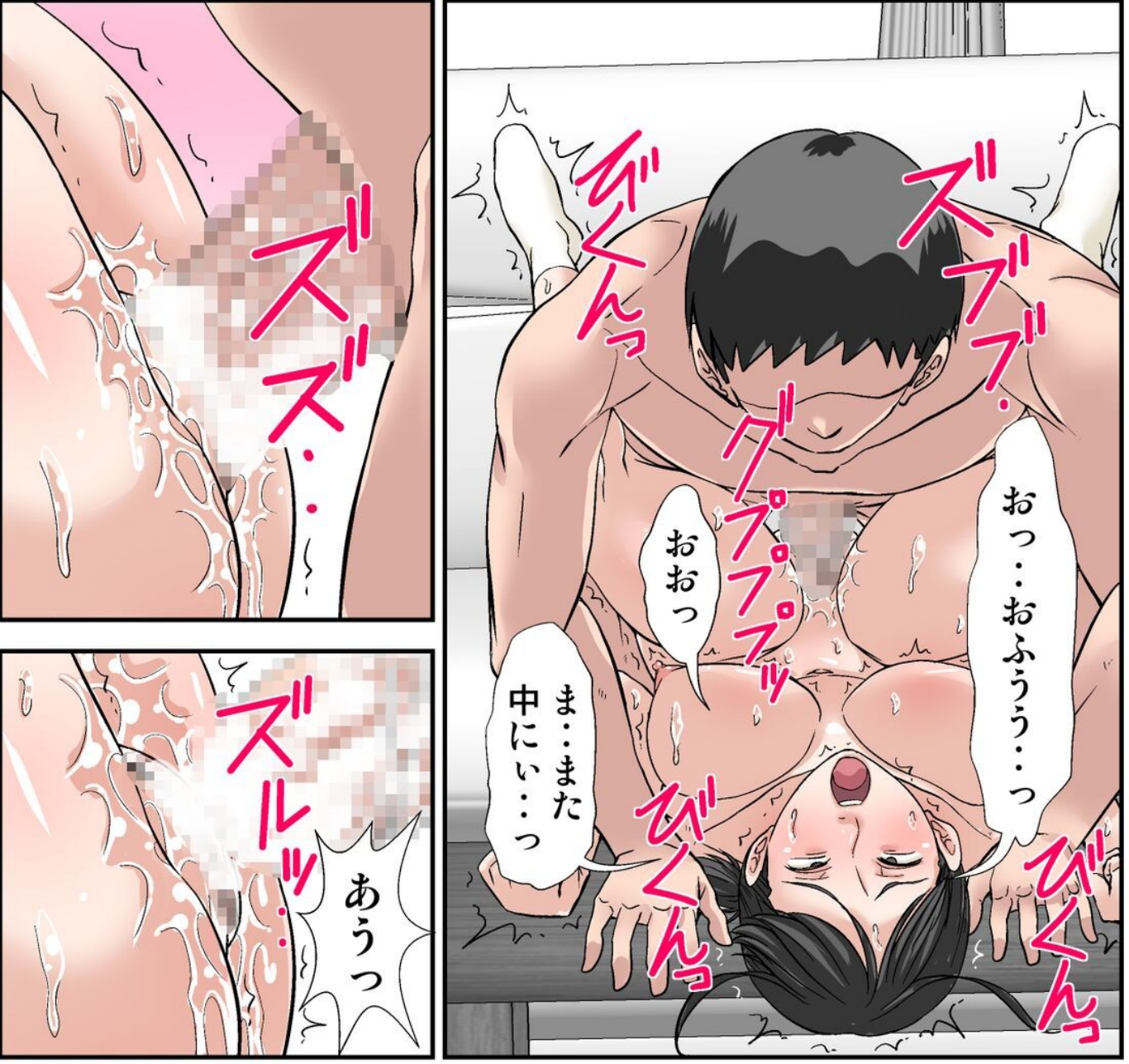
あっ
ズパーンッ
あっ

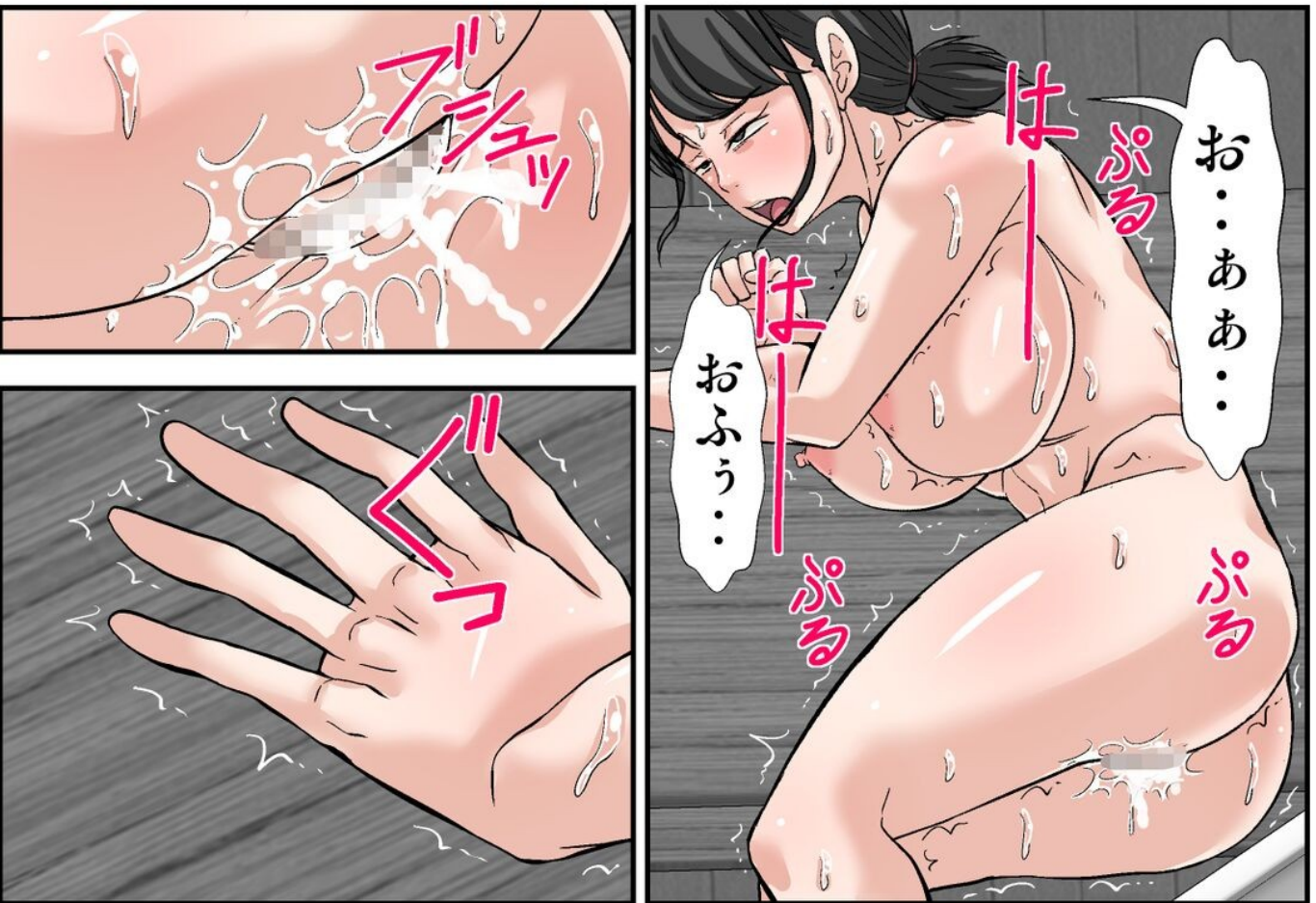
ぬ・・ぬきな・・
ズパーンッ
あんっ
ズパーンッ
あっ


ズパーンッ
あんっ

ズパーンッ
おっ
ズパーンッ
あんっ

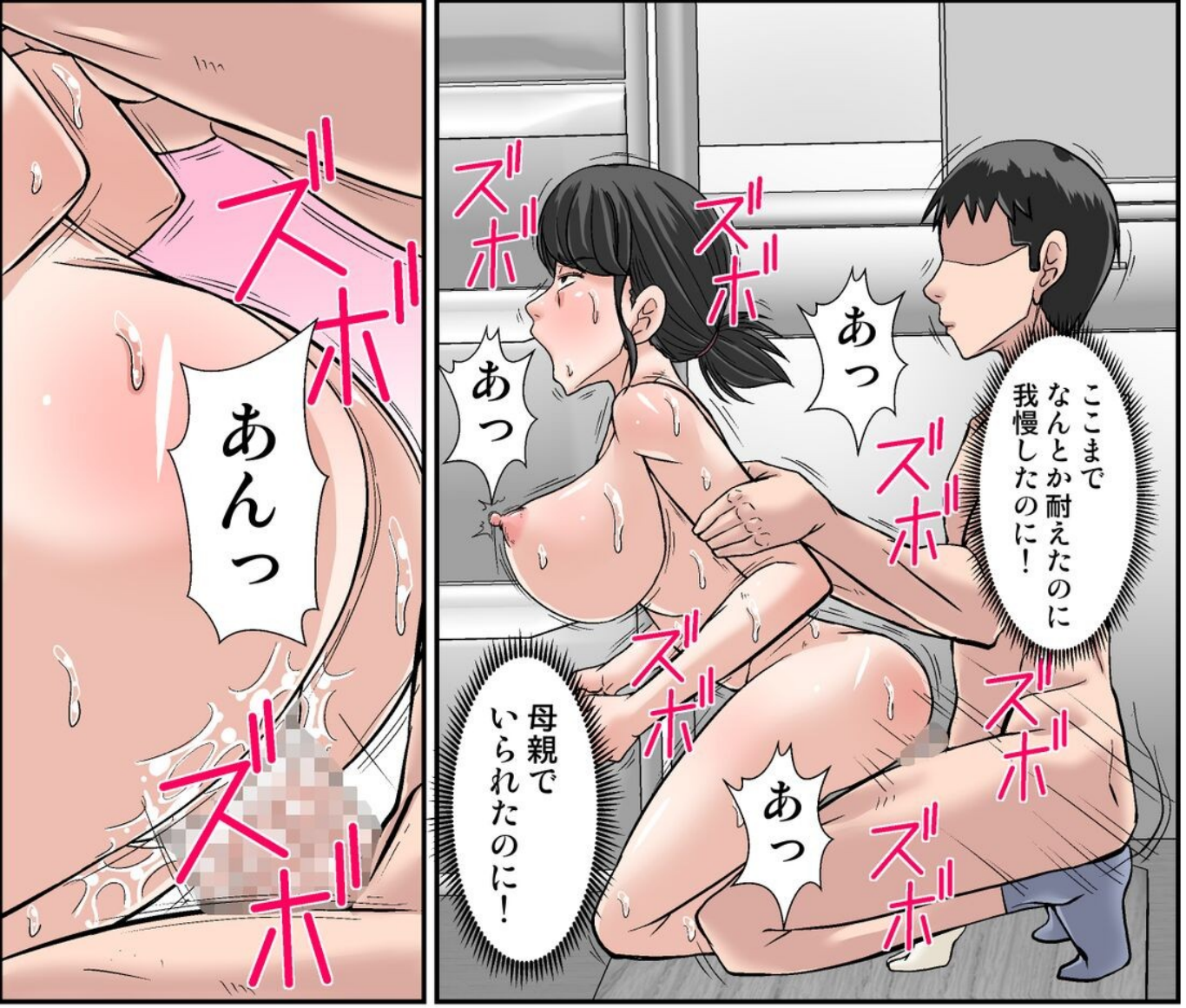
ズパンッ
ズパンッ
ズパンッ
だ だめっ
は 母親に
ま・また中出し・・
な・・んってっ・・
ズパンッ
ズパンッ
ズパンッ
あっ
だめよ
だめっ
あっ
だめっ
あっ
だ・っ
ドビュビュッ
おおんっ！
おっ
ほおんっ！
ビクウッ
ビクウッ


ズブブ・・
びくんっ
グプププッ
おっ・・おふうう・・っ
おおっ
ま・・また中にぃ・・っ
びくんっ
ズズ・・・
ズルッ・・
あうっ


ブシュッ
ビクコ
お・・ああ・・
はーー
ぷる
はーー
おふう・・
ぷる
ぷる

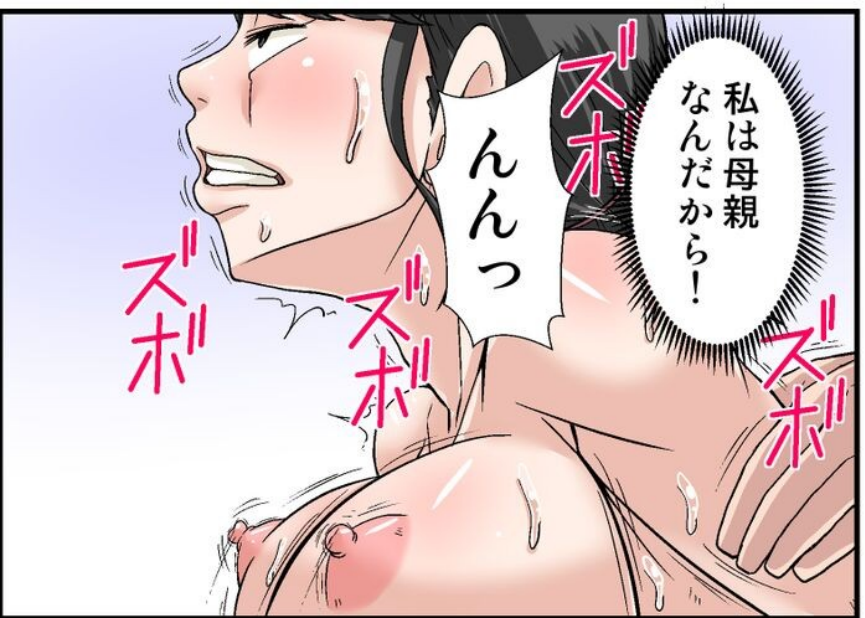
これでもう約束通り
今まで通りの親子の
関係に戻るのよ・
はー
はー
私もなんとか
母親の体裁を
保つ事ができたわ
いいわね・
ガシッ
！
ずぶっ

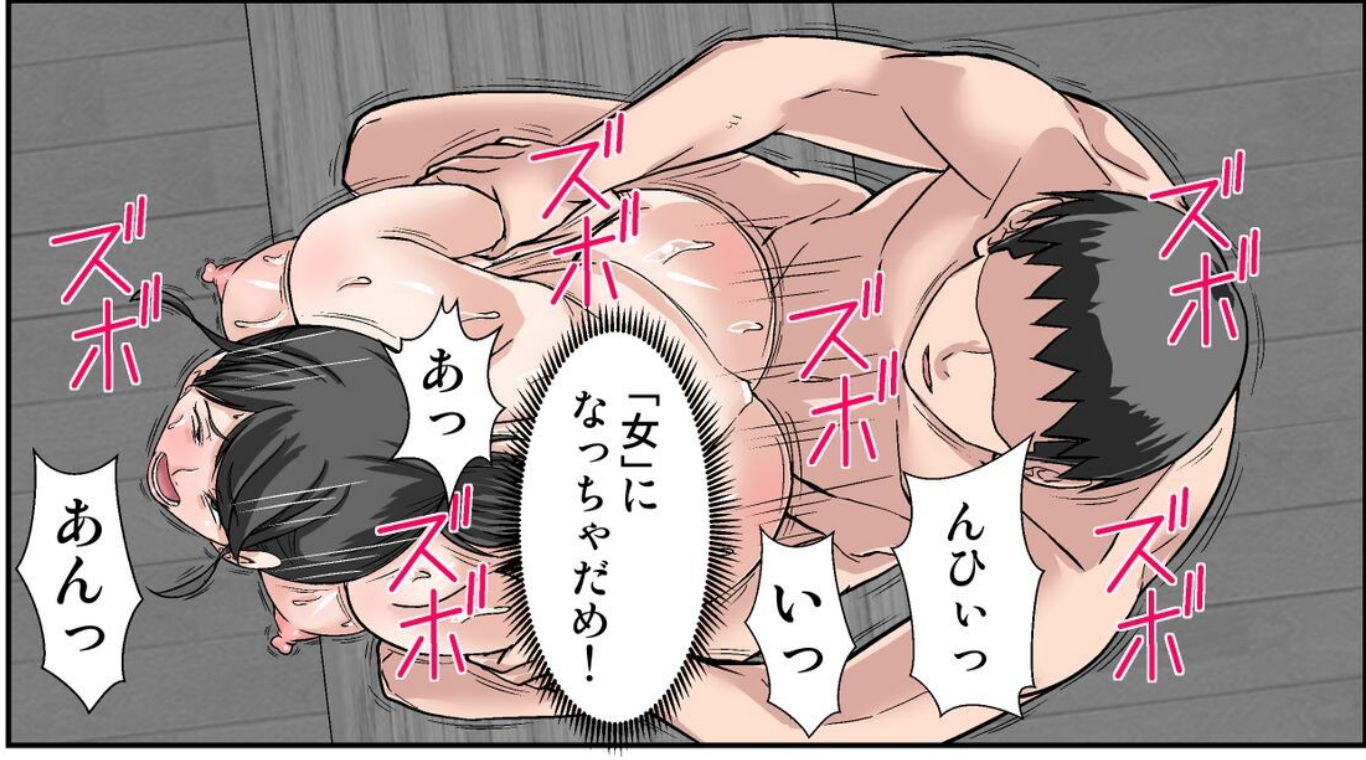
あっ
ああんっ
あっ
ズボ
ズボ
ズボ
ズボ
ズボ
ズボ
このバカ息子！


ここまで
なんとか耐えたのに
我慢したのに！
あっ
あっ
あっ
母親で
いられたのに！
ズボ
ズボ
ズボ
ズボ
ズボ
ズボ
あんっ
ズボ
ズボ

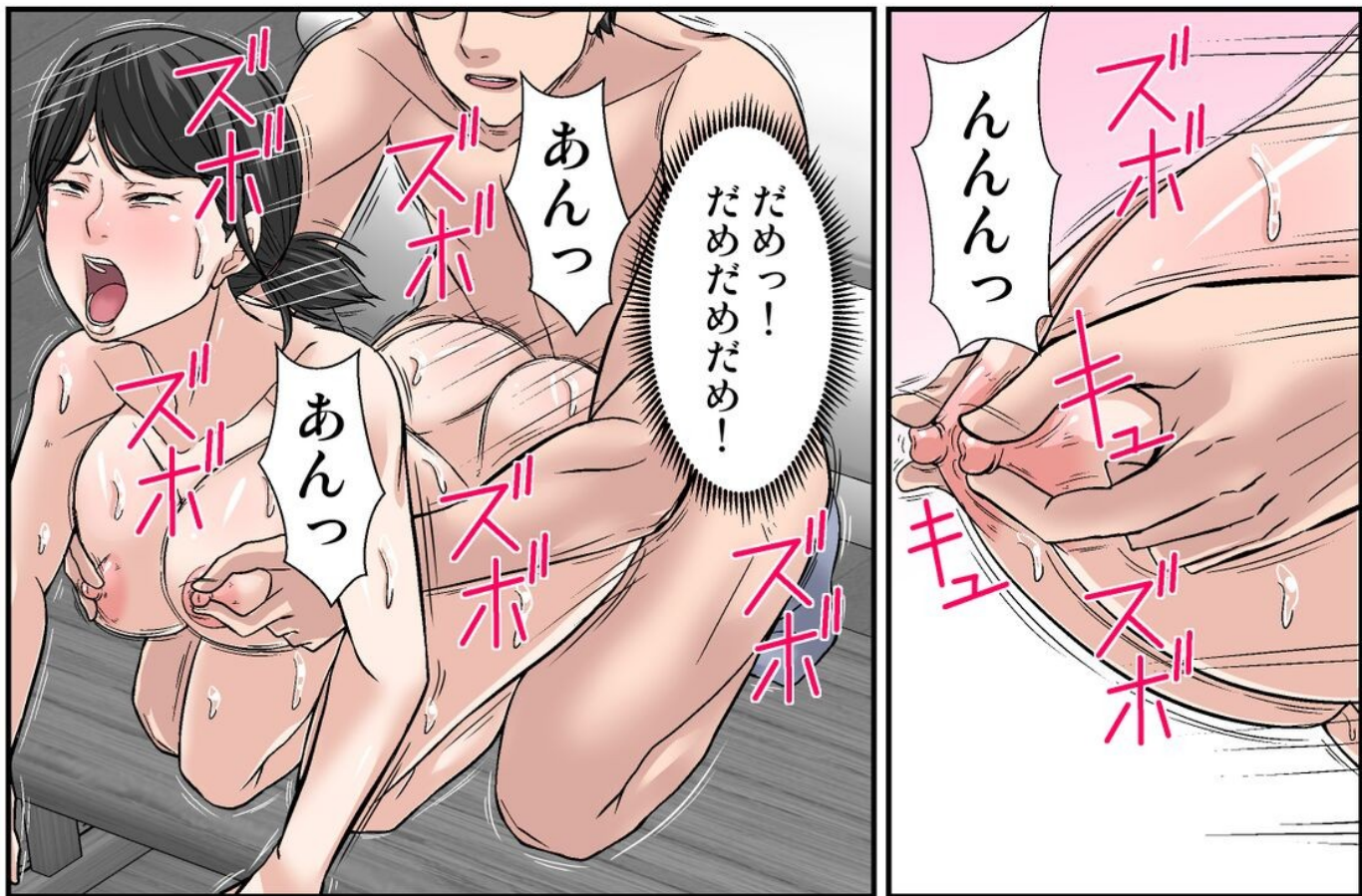
だめよ
まだ我慢するの
あんっ
あんっ
ズボ
ズボ
ズボ
ズボ
ズボ
ズボ

我慢するの
耐えるの
あっ
ズボ
ズボ
ズボ
ズボ


私は母親
なんだから！
んんっ
ズボ
ズボ
ズボ
ズボ


ズボ
ズボ
ズボ
ズボ
んひぃっ
いっ
「女」に
なっちゃだめ！
あっ
あんっ

ズボ
ズボ
ズボ
あんっ
やめなさい
それ以上母さんの
オマンコを突かないで
胸を揉み
しだかないで
あっ


ズボ
キュ
キュ
ズボ
んんんっ
ズボ
ズボ
ズボ
ズボ
だめっ！
だめだめだめ！
あんっ
あんっ

あっ
ズボ
ズボ
我慢・・・
ズボ
ズボ
だめ・っ
ズボ
ズボ
あっ
ズボ
ズボ
あっ
もう・・っ
ギュッ
いっ
イくうぅっ！
ビク
ビク
もう無理
我慢できない！
ビク

き・・気持ち・・いいっ・・
はっ
はっ
はっ
ガク
ガク
ガク

ゴプププ・・

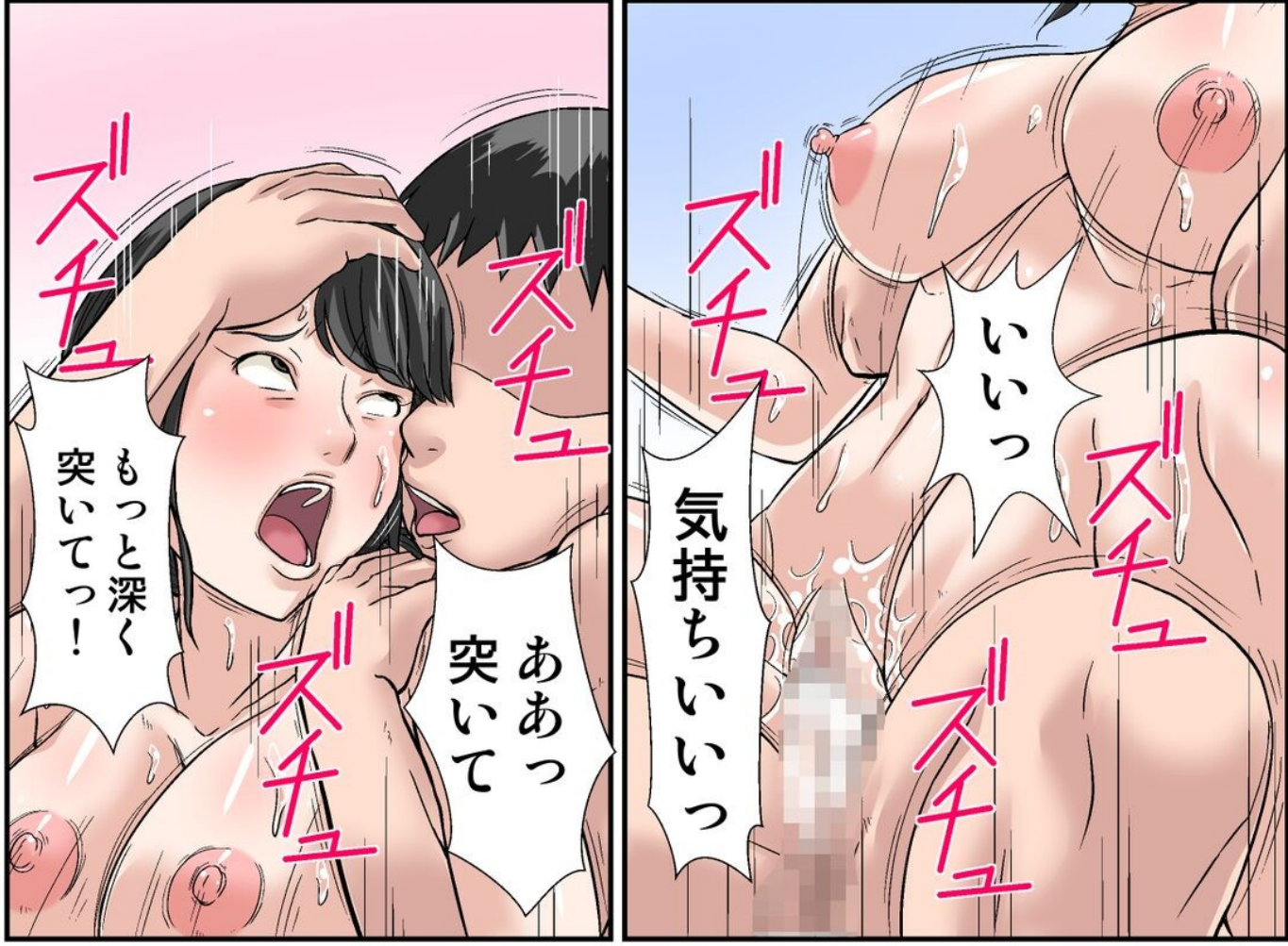
すごい・
ビュッ

ごめんなさい
あなた・・
ビクンッ
ビクンッ

もう無理なの
抗えないの
あっ
くいっ

ズチュ
あっ
ズチュ
息子の
大きなおちんちんが
気持ち良すぎるの！
ズチュ
いいっ
ズチュ
いいのっ
ズチュ

ズチュ
すごいっ！
ズチュ
ズチュ
すごいの！
ズチュ
ズチュ
気持ちいい！
ズチュ
ズチュ


いいっ
気持ちいいっ
ズチュ
ズチュ
ズチュ
ズチュ
ああっ
突いて
もっと深く
突いてっ！
ズチュ
ズチュ
ズチュ

ふむっ
んんっ
んふぅ
ふうっ
ズチュ
ズチュ
ズチュ
ズチュ

んんんっ
おっ
おほっ
ズチュ
ズチュ
ズチュ
ズチュ

おっ
ズチュ
ズチュ
ふぶっ
おふっ
ズチュ
ズチュ
ぶっ
ズチュ
ズチュ
おんっ
ズチュ
ズチュ
あっ
しゅごいっ
ズチュ
ズチュ
おっ
はあっ
ズチュ
ズチュ
息子の
ちんちんが
ズチュ
ズチュ
しゅごいの
ズチュ

あっ
ズチュ
ズチュ
ズチュ
こ こんな
大きくて
太くて・・っ
あっ
あっ
すごいおちんちん
はじめて！
ズチュ
ズチュ
ズチュ

すご・・っ
おっ
おっ
ズチュ
ズチュ
ズチュ
ズチュ

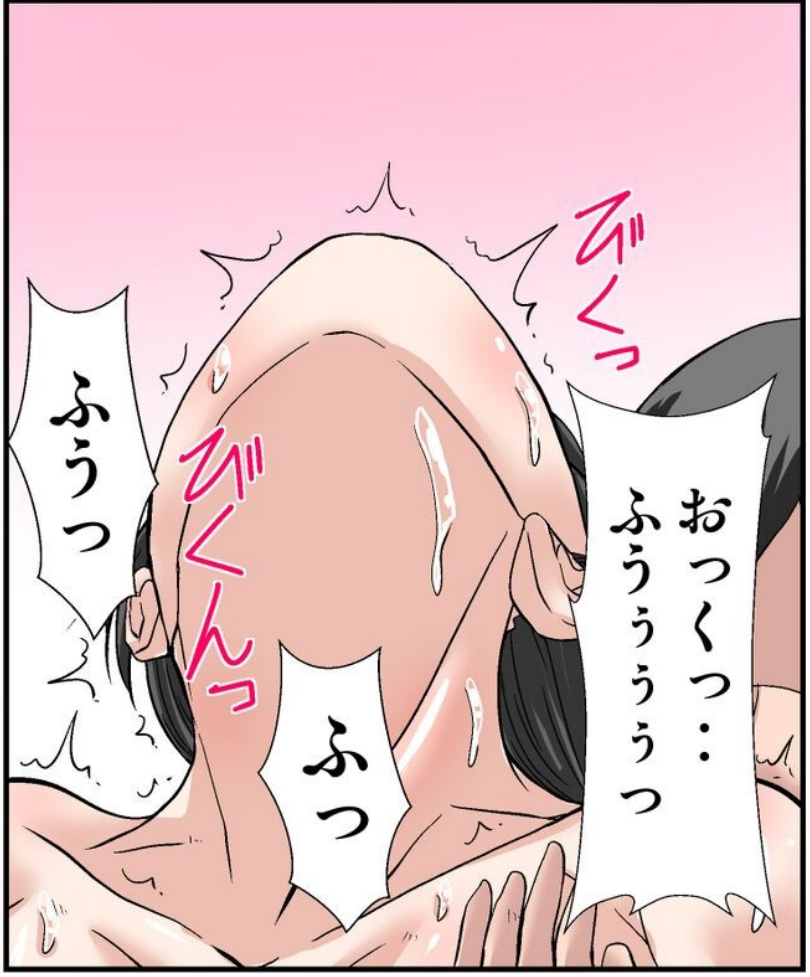
おほっ
おっ
ズチュ
ズチュ
ズチュ

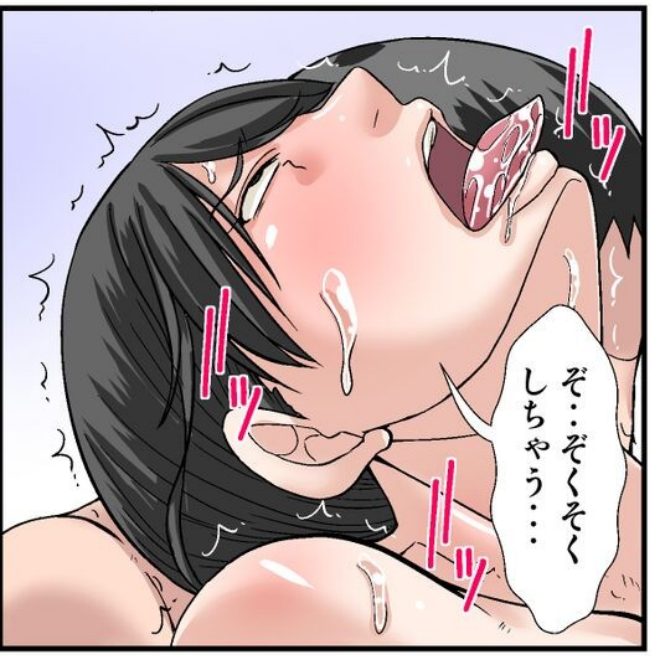
ズチュ
おっ
気持ち良すぎて死んじゃう！
ズチュ
おっ
母さん死んじゃうっ
ズチュ
ズチュ
ズチュ
殺してっチンポで
ズチュ
ズチュ
母さんを・・っ
ズバンッッ
！

あひいっ
こっ・・お
レフーンッッ
あっ
ズバンッッ
深っ・・
おっ
ズバンッッ
おほっ
ズバンッッ
おっ
ズバンッッ

ズボッ
ズボッ
いっ・・いく
おっ
ズボッ
ズボッ
いくいくいく
いくいく・・
いくいくいっ
イくぅ〜っ！
ヒクンッ
ヒクンッ
ドプッ

ゴプププ・・

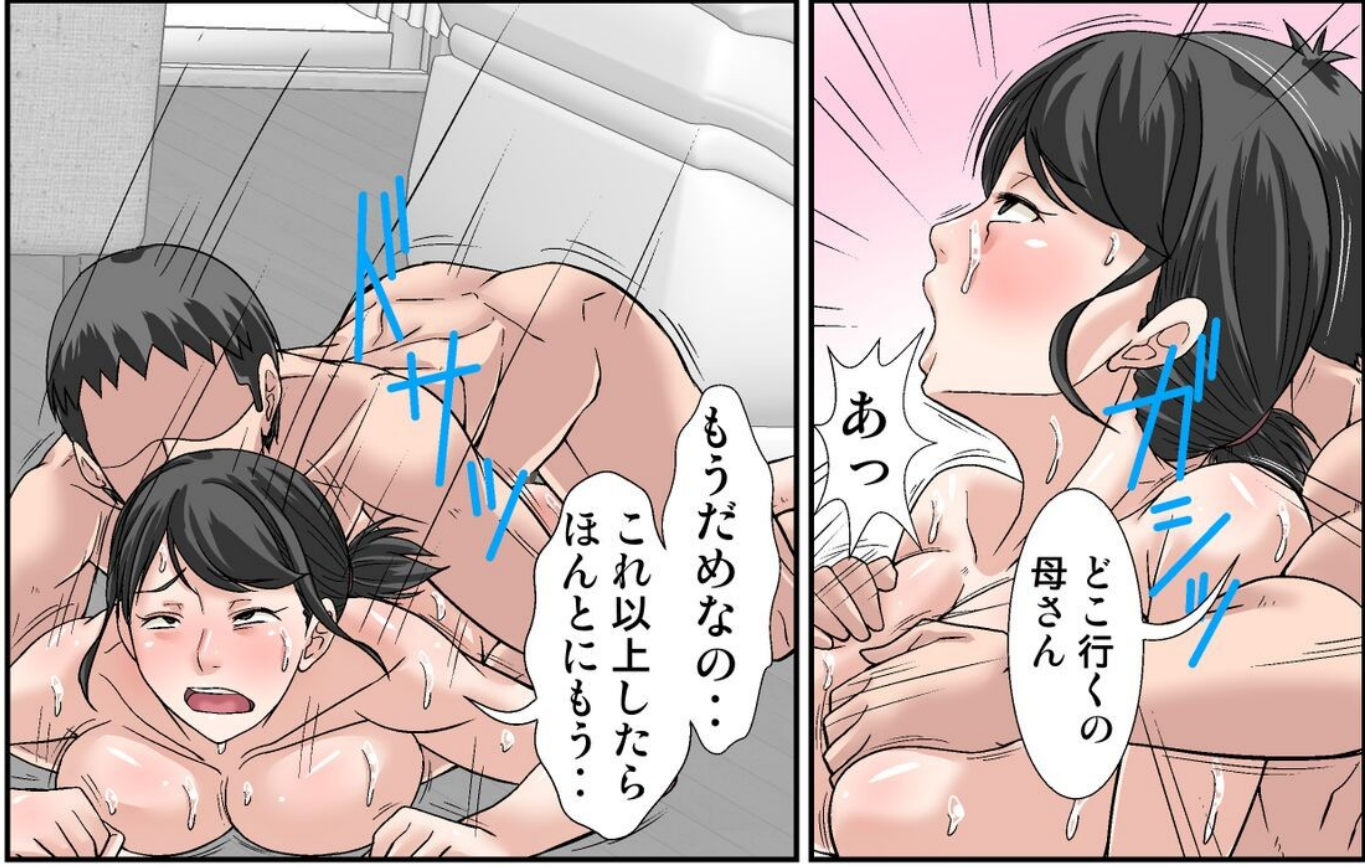

びくっ
おっくっ・
ふううううっ
びくんっ
ふっ
ふうっ

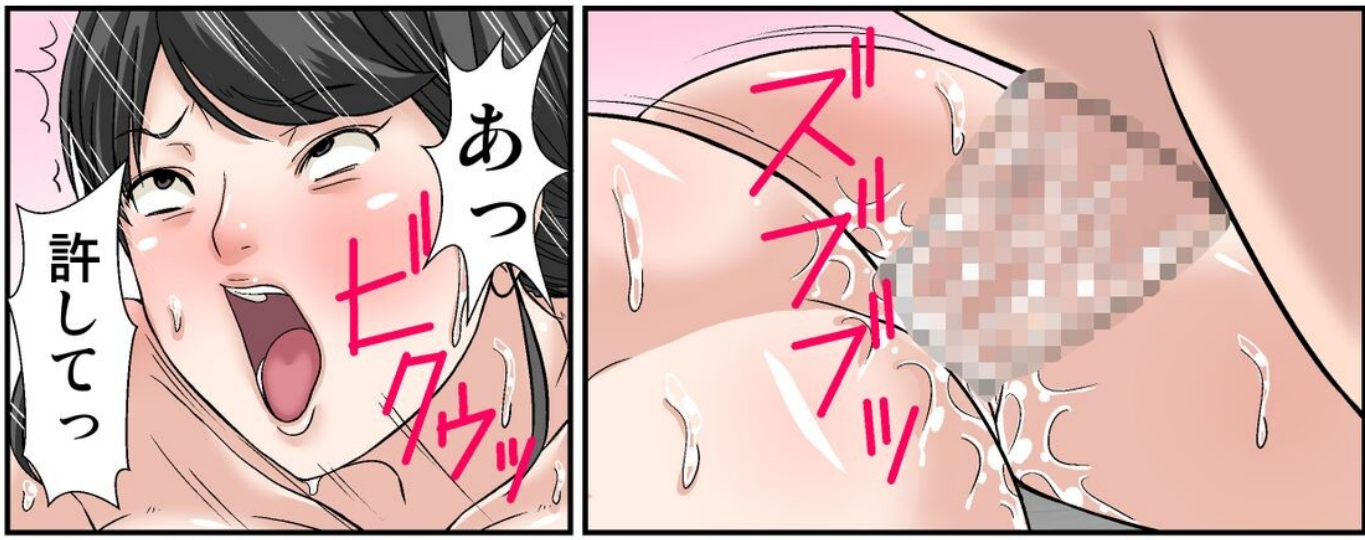

ッッ
ッッ
ッッ
ぞ・ぞくそく
しちゃう・・・

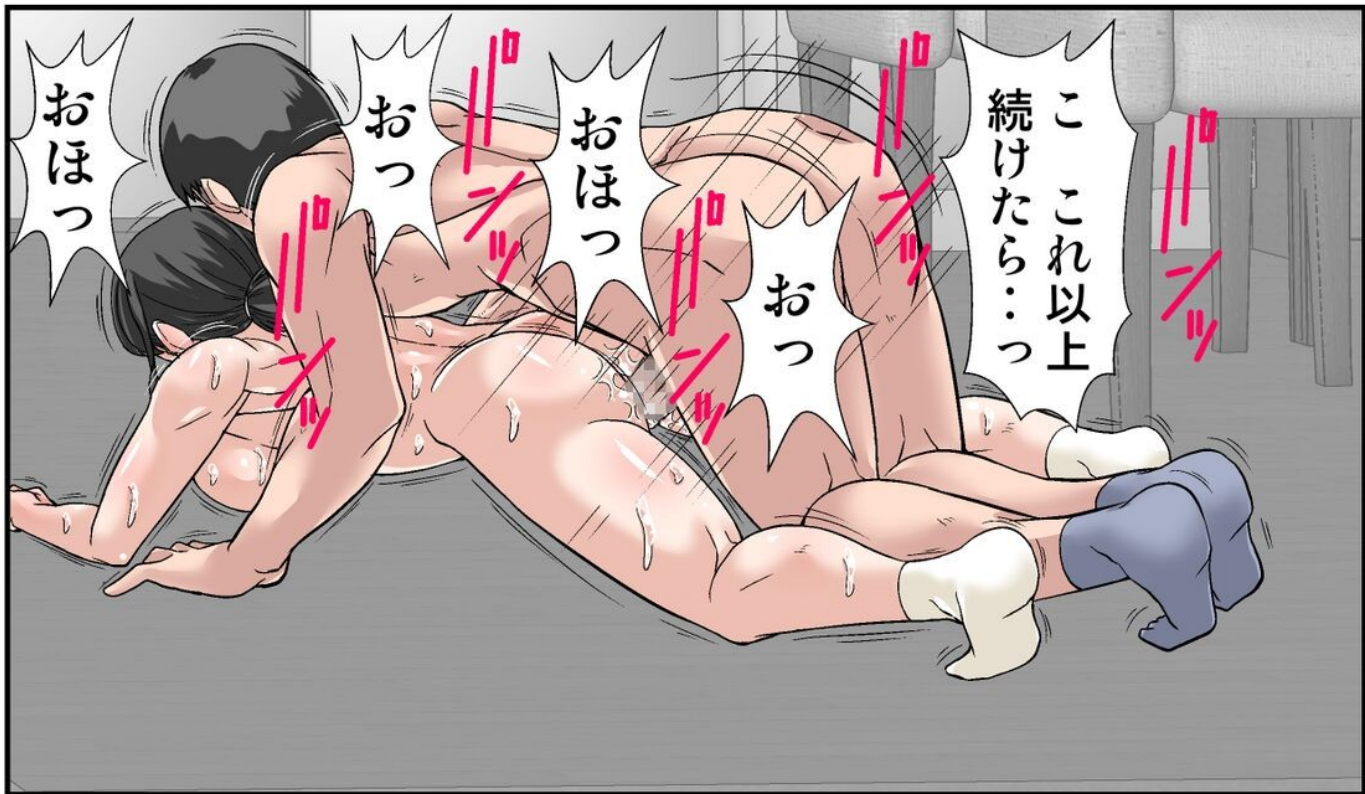
しゅ・しゅごい
中出し気持ちいい・
お腹の中
息子の精液で
いっぱい・
ぴくっ
ぴくっ
ぴくっ

こ・
これ以上は
ふら
ぶら

！
だ・だめ・
ずるっ・・


ガシッ
どこ行くの母さん
あっ
もうだめなの・・
これ以上したらほんとにもう・・
ガッ


ズブブッ
あっ
ビクウッ
許してっ


バンッ
これ以上続けたら・・っ
バンッ
おっ
バンッ
おほっ
バンッ
おっ
バンッ
おほっ

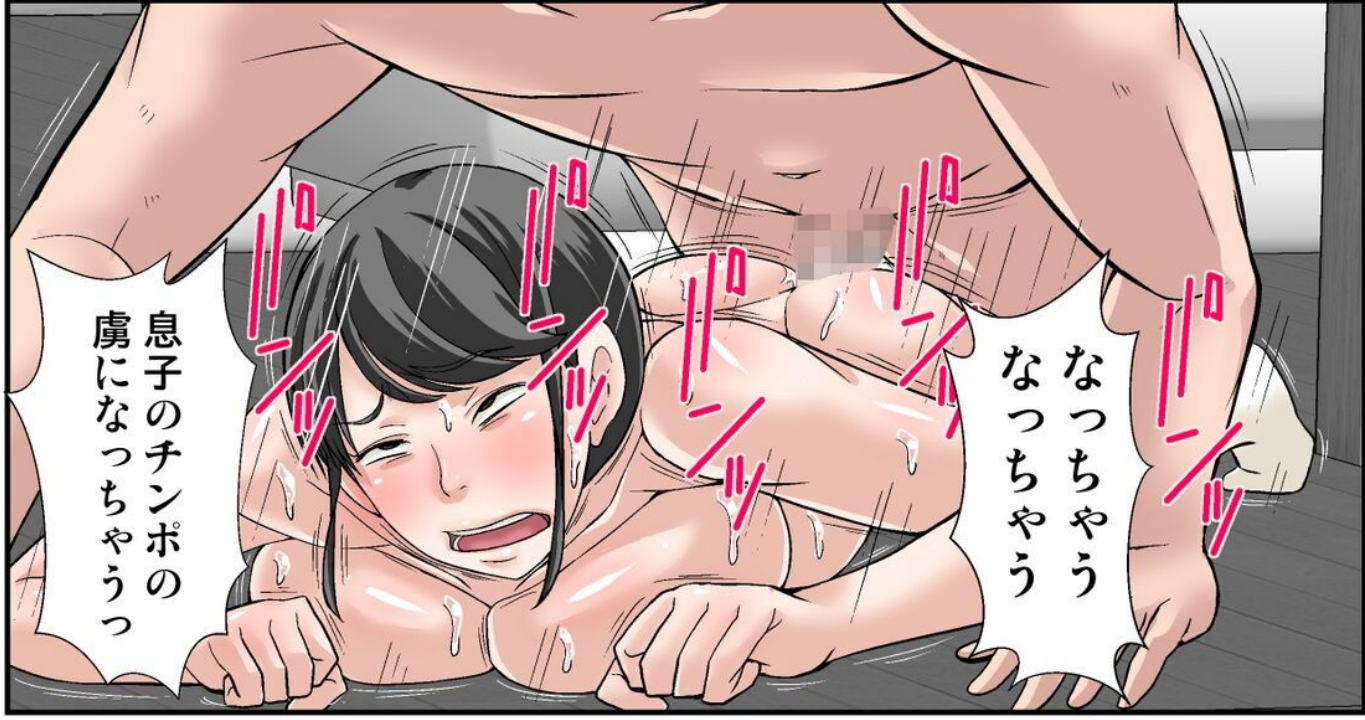
む 息子とのセックスなしじゃ生きられなくなっちゃう
おほっ
おっ
おほっ

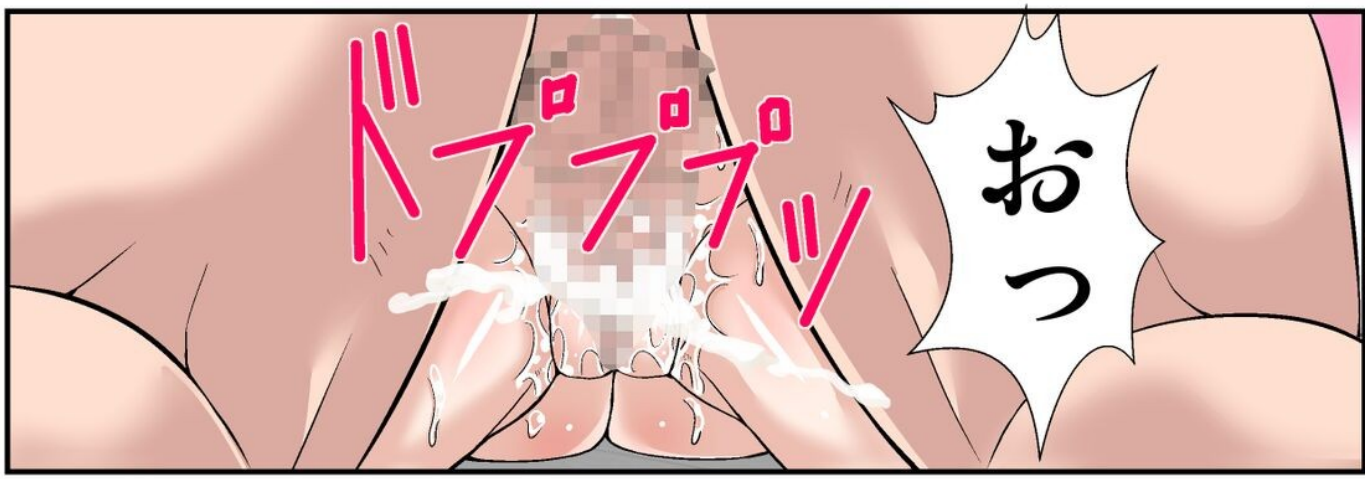
しゅごい
おっ
おほっ
こんなチンポ抗えない

母さんを虜にさせないで
おほっ

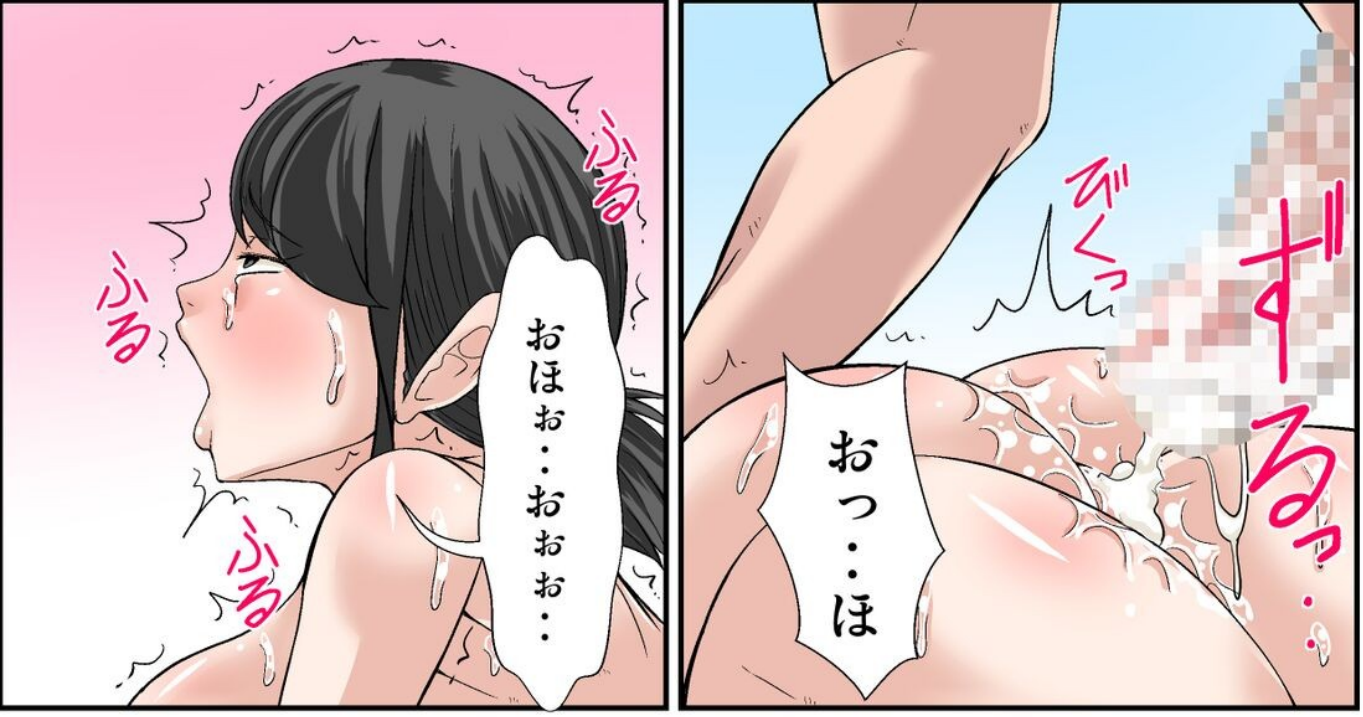
いやよいやいやっ！
おっ

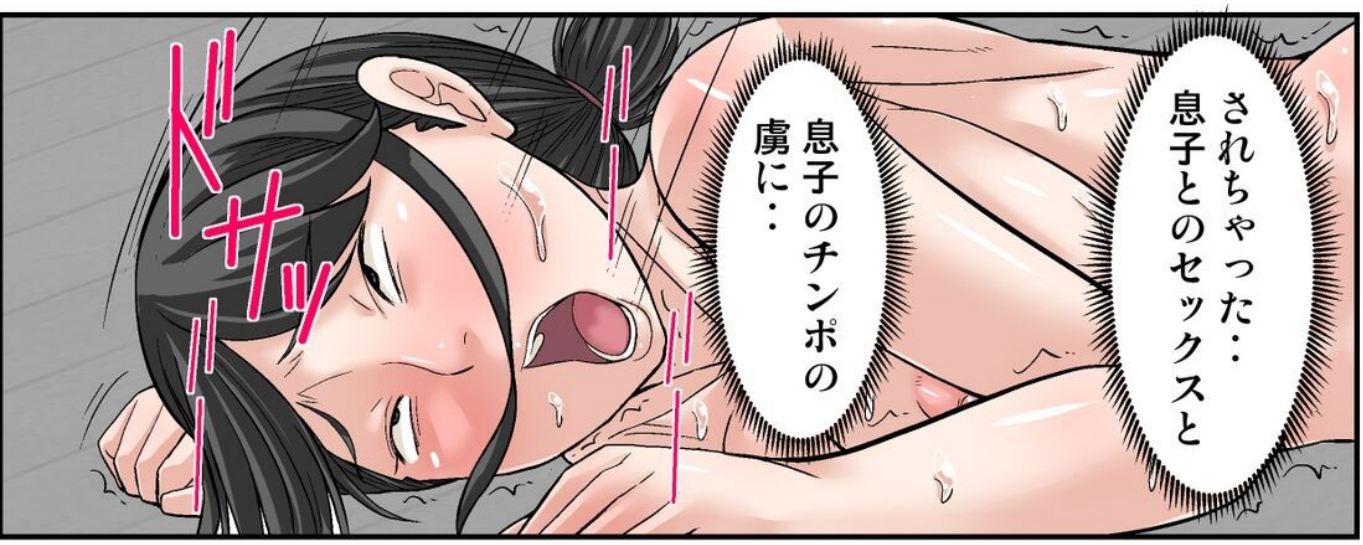
息子のチンポの・・
おほっ
虜にさせないで
おほっ

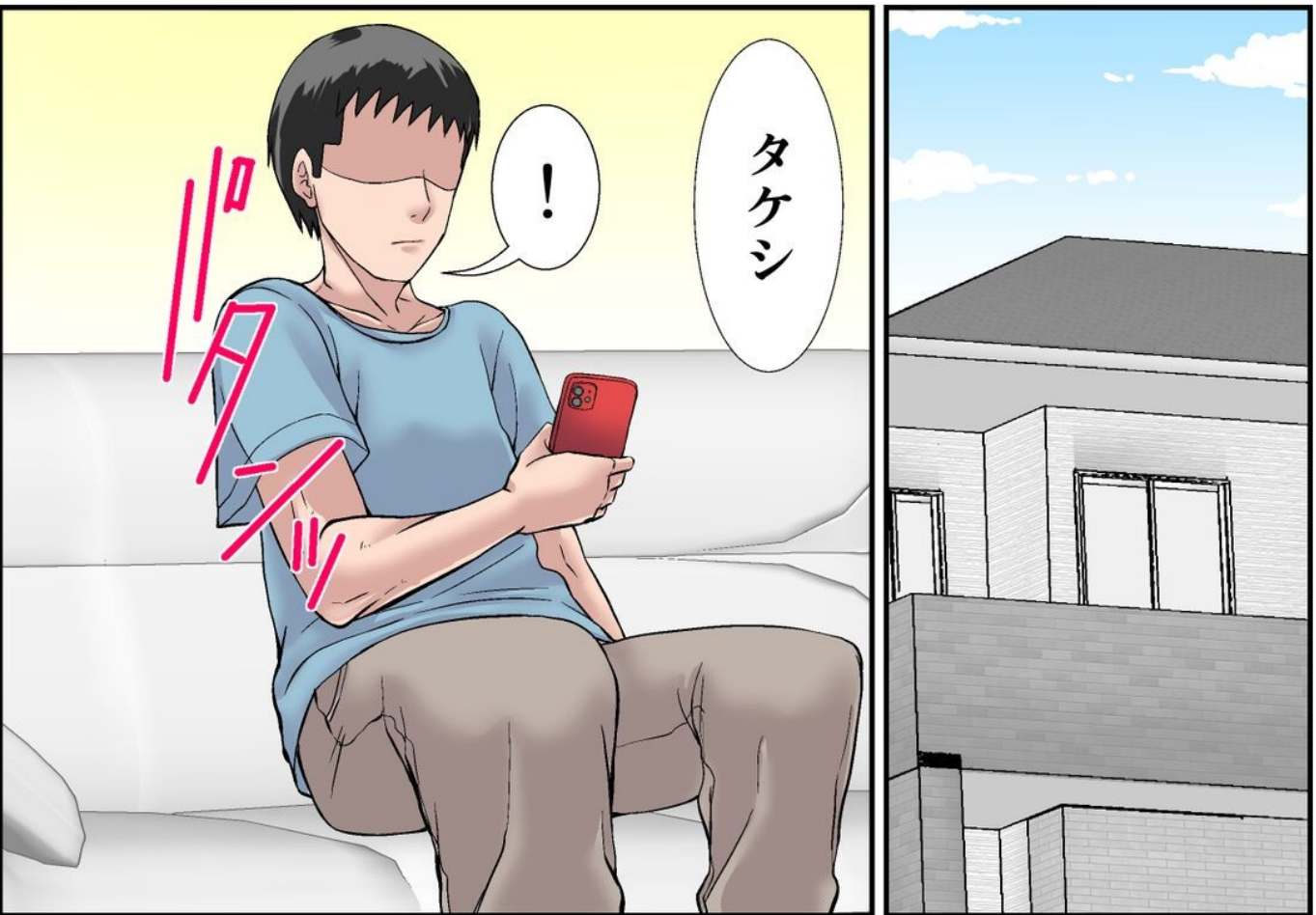

なっちゃう
なっちゃう
息子のチンポの
虜になっちゃうっ
パンッ
パンッ
パンッ


おっ
ドプププッ

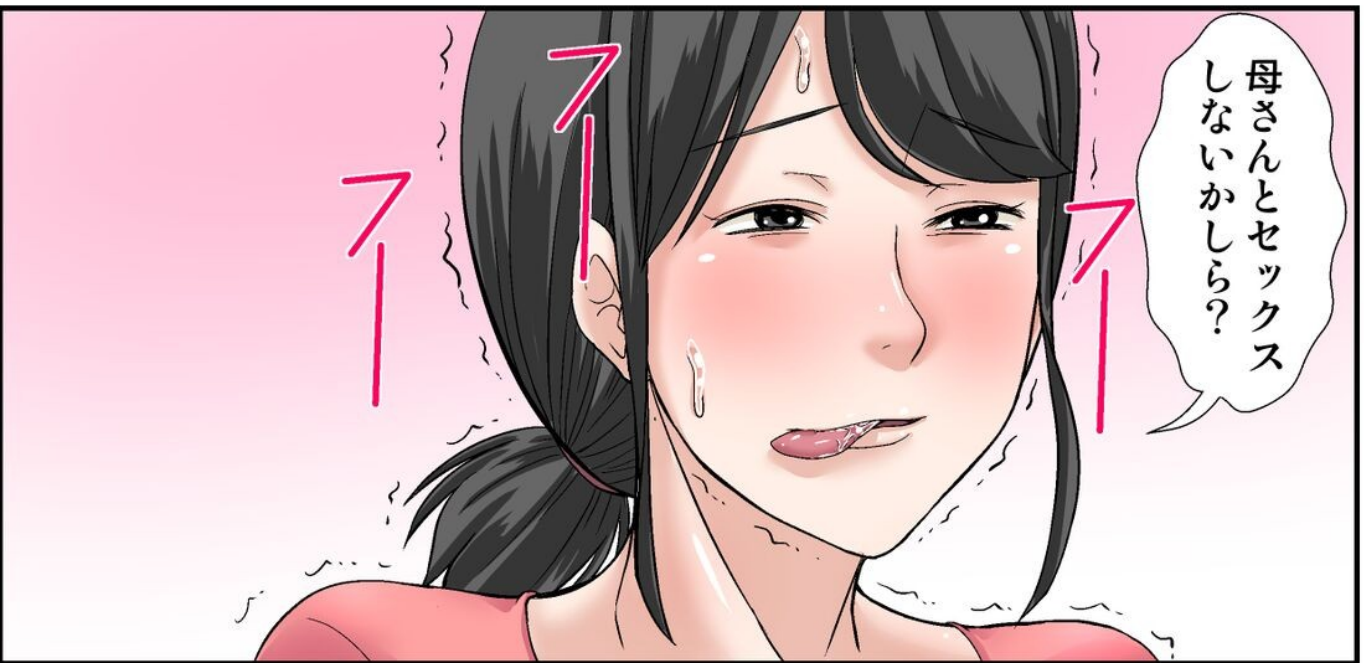
おほお～っ！
ビクンッ
ビクンッ
ビクンッ
ビュルルッ


ずるっ…
びくっ
おっ・・ほ
ふる
ふる
ふる
おほお・・おおお・・


されちゃった・・
息子とのセックスと
息子のチンポの
虜に・・
ドサッ


タケシ
！
ピコン

今ヒマ？
もし時間あるなら
ニヤッ


母さんとセックス
しないかしら？
フー
フー
フー